

越生町こども計画（仮称）策定 ニーズ調査等結果報告書

令和6年3月

越 生 町

— 目 次 —

序章 調査の概要	1
第1節 調査の概要	2
1 調査の目的	2
2 調査対象者	2
3 調査期間及び調査方法	2
4 回収結果	2
5 報告書を見る際の留意点	3

第1編 子育て支援に関するアンケート 5

第1章 就学前児童保護者ニーズ調査	7
第1節 回答者自身の状況について	8
1-1-1 小学校区（問1）	8
1-1-2 子どもの年齢（問2）	8
1-1-3 きょうだいの人数（問3）	9
1-1-4 調査の回答者（問4）	9
1-1-5 回答者の配偶関係（問4-1）	10
1-1-6 子育てを主に行っている人（問5）	10
1-1-7 子育てに日常的に関わっている人や機関（問6）	11
1-1-8 子育てに影響する環境（問7）	11
第2節 周囲のサポートや相談相手について	12
1-2-1 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（問8）	12
1-2-2 親族に子どもをみてもらう際の状況（問8-1）	12
1-2-3 友人・知人に子どもをみてもらう際の状況（問8-2）	13
1-2-4 子育てに関する孤立感の有無（問9）	13
1-2-5 子育てに関する相談相手の有無（問10）	14
1-2-6 子育てに関する相談相手（問10-1）	14
1-2-7 希望する周囲のサポート（問11）	15
第3節 地域子育て支援事業の利用状況等について	16
1-3-1 子育て支援センターの利用状況（問12）	16
1-3-2 子育て支援センターの満足度（問12-1）	17
1-3-3 子育て支援センターの利用意向（問13）	17
1-3-4 子育て支援事業の認知度、利用経験、利用意向（問14）	19
1-3-5 子育て支援事業の満足度（問14-1）	22
第4節 母親の就労状況	23
1-4-1 現在の就労状況（問15）	23
1-4-2 現在の就労形態（問15-1）	23
1-4-3 フルタイムへの転換希望（問15-1付問）	24
1-4-4 就労日数及び就労時間（問15-2）	25
1-4-5 家を出る時刻と帰宅時刻（問15-3）	26
1-4-6 働いていない人の就労希望（問15-4）	27
1-4-7 希望する就労形態（問15-4-1）	28

第 5 節	父親の就労状況	29
1-5-1	現在の就労状況（問 16）	29
1-5-2	現在の就労形態（問 16-1）	29
1-5-3	就労日数及び就労時間（問 16-2）	30
1-5-4	家を出る時刻と帰宅時刻（問 16-3）	31
第 6 節	幼稚園・保育園等の定期的な利用状況について	32
1-6-1	平日の定期的な利用状況（問 17）	32
1-6-2	現在の利用状況と今後の利用希望（問 17-1）	33
1-6-3	利用している場所（問 17-3）	37
1-6-4	利用している理由（問 17-3）	37
1-6-5	利用していない理由（問 17-4）	38
1-6-6	利用を希望する子どもの年齢（問 17-4-1）	38
第 7 節	「こども誰でも通園制度」について	39
1-7-1	「こども誰でも通園制度」の利用希望（問 18）	39
1-7-2	定期利用希望者における子どもの年齢と希望する利用開始年齢（問 18-1）	39
1-7-3	利用したい頻度や時間（問 18-2）	40
第 8 節	幼稚園・保育園等の今後の利用意向	43
1-8-1	幼稚園・保育園等の今後の利用意向（問 19）	43
1-8-2	利用を希望する場所（問 19-1）	43
1-8-3	利用したい理由（19-2）	44
1-8-4	幼稚園と保育サービス併用者における幼稚園の利用希望（問 19-3）	44
第 9 節	土曜・休日や長期休暇中の利用希望	45
1-9-1	幼稚園・保育園等の土曜・休日の利用希望（問 20）	45
1-9-2	たまに利用したい理由（問 20-1）	48
1-9-3	幼稚園の長期休業期間中の利用希望（問 21）	48
1-9-4	たまに利用したい理由（問 21-1）	50
第 10 節	病気の際の対応について	51
1-10-1	通常の利用ができなかった際の対応（問 22）	51
1-10-2	病児・病後児保育の利用希望（問 22-1）	52
1-10-3	望ましい事業形態（問 22-1-1）	52
1-10-4	利用したいと思わない理由（問 22-1-2）	53
1-10-5	父母が休む以外の方法で対処した理由（問 22-2）	54
第 11 節	一時預かり等の不定期な利用について	55
1-11-1	不定期に利用している事業（問 23）	55
1-11-2	利用していない理由（問 23-1）	56
1-11-3	一時預かりサービスの必要性和日数（問 24）	56
1-11-4	望ましい事業形態（問 24-1）	57
1-11-5	泊まりがけで預ける事業の利用希望（問 25）	58
第 12 節	小学校入学後の放課後の過ごし方について	60
1-12-1	小学校低学年の放課後の過ごし方（問 26）	60
1-12-2	小学校高学年の放課後の過ごし方（問 27）	62
1-12-3	土曜・休日の学童保育室の利用希望（問 28）	64
1-12-4	長期休業期間中の学童保育室の利用希望（問 29）	67
第 13 節	仕事と生活の調和について	69
1-13-1	仕事と生活の調和における現実と希望（問 30）	69

1-13-2	仕事と生活の調和への満足度（問 31）	70
第 14 節	育児休業や短時間勤務制度について	71
1-14-1	育児休業に関する制度の認知度（問 32）	71
1-14-2	育児休業の取得状況（問 33）	72
1-14-3	1 歳になるまでの育児休業の利用希望（問 33-1）	74
1-14-4	職場復帰のタイミング（問 33-2）	75
1-14-5	希望する期間に復帰できたか（問 33-3）	76
1-14-6	希望の時期に復帰しなかった理由（問 33-4）	78
1-14-7	3 歳まで取得できる制度の利用希望（問 33-5）	79
1-14-8	復帰時の短時間勤務制度の利用状況（問 33-6）	81
第 15 節	子育て環境や支援全般について	83
1-15-1	今後の重点施策（問 34）	83
1-15-2	町全体の子育て環境の満足度（問 35）	84
第 2 章	小学生保護者ニーズ調査	85
第 1 節	回答者自身の状況	86
2-1-1	小学校（問 1）	86
2-1-2	学年（問 2）	86
2-1-3	調査の回答者（問 3）	87
2-1-4	回答者の配偶者の有無（問 3-1）	87
2-1-5	きょうだいの人数（問 4）	88
2-1-6	子育てを主に行っている人（問 5）	88
第 2 節	周囲のサポートや相談相手について	89
2-2-1	子どもをみてもらえる親族・知人の有無（問 6）	89
2-2-2	親族にみてもらっている状況（問 6-1）	89
2-2-3	友人・知人にみてもらっている状況（問 6-2）	90
2-2-4	子育てに関する孤立感の有無（問 7）	90
2-2-5	子育てに関する相談相手の有無（問 8）	91
2-2-6	子育てに関する相談相手（問 8-1）	91
2-2-7	子育てに関する周囲のサポート（問 9）	92
第 3 節	仕事と生活の調和について	93
2-3-1	仕事と生活の調和における現実と希望（問 10）	93
2-3-2	仕事と生活の調和への満足度（問 11）	94
第 4 節	母親の就労状況	95
2-4-1	現在の就労状況（問 12）	95
2-4-2	現在の就労形態（問 12-1）	95
2-4-3	就労日数及び就労時間（問 12-2）	96
2-4-4	家を出る時刻と帰宅時刻（問 12-3）	97
2-4-5	働いていない人の就労希望（問 12-4）	98
2-4-6	希望する就労形態（問 12-4-1）	99
第 5 節	父親の就労状況	100
2-5-1	現在の就労状況（問 13）	100
2-5-2	現在の就労形態（問 13-1）	100
2-5-3	就労日数及び就労時間（問 13-2）	101
2-5-4	家を出る時刻と帰宅時刻（問 13-3）	102

第 6 節	放課後の過ごし方について.....	103
2-6-1	現在の放課後の過ごし方 (問 14)	103
2-6-2	希望する放課後の過ごし方 (問 15)	104
2-6-3	土曜・休日の学童保育室の利用希望 (問 15-1)	106
2-6-4	長期休業期間中の学童保育室の利用希望 (問 16)	109
第 7 節	子育て支援事業の利用状況、満足度等について.....	111
2-7-1	子育て支援事業の認知度、利用経験、利用意向 (問 17)	111
2-7-2	子育て支援事業の満足度 (問 17-1)	114
第 8 節	現在の暮らしについて	115
2-8-1	今後の重点施策 (問 18)	115
2-8-2	イベント・事業に参加しやすい曜日 (問 19)	116
2-8-3	町全体の子育て環境の満足度 (問 20)	116

第 2 編 子どもの生活実態調査 117

第 3 章	保護者調査 (子どもの貧困)	119
第 1 節	回答者及び家族の状況.....	120
3-1-1	回答者と子どもとの関係 (問 1)	120
3-1-2	家族構成 (問 2)	120
3-1-3	家族の人数 (問 3)	121
3-1-4	子どもの人数 (問 4)	121
3-1-5	親の婚姻状況 (問 5)	122
3-1-6	離婚相手との養育費の取り決めの状況 (問 6)	122
3-1-7	子どもの学年 (問 7)	123
第 2 節	父母の経歴と仕事について.....	124
3-2-1	親の最終学歴 (問 8)	124
3-2-2	親の就労状況 (問 9)	125
3-2-3	働いていない理由 (問 9-1)	126
第 3 節	子育て・教育に関すること.....	127
3-3-1	保護者と子どもの関わり方 (問 10)	127
3-3-2	授業参観や PTA 活動などへの参加状況 (問 11)	128
3-3-3	無料の学習支援の利用意向 (問 12)	129
3-3-4	将来の進学への意向 (問 13)	129
3-3-5	進学したい理由 (問 13-1)	130
3-3-6	進学にあたり、不安に思っていること (問 14)	130
第 4 節	子どもの健康状況.....	131
3-4-1	医療機関に連れていかなかった経験の有無 (問 15)	131
3-4-2	医療機関に連れて行かなかった理由 (問 15-1)	132
3-4-3	朝食の摂食頻度 (問 16)	133
3-4-4	食事ができる居場所の利用意向 (問 17)	133
第 5 節	現在の暮らしについて	134
3-5-1	子育てに関して頼れる人の状況 (問 18)	134
3-5-2	現在の暮らしの状況 (問 19)	137
3-5-3	家族の手取り収入 (問 20)	137
3-5-4	食料が買えなかった経験の有無 (問 21)	138
3-5-5	衣服が買えなかった経験の有無 (問 22)	138

3-5-6	料金未払いになった経験の有無 (問 23)	139
3-5-7	この 1 か月間の気持ちの状況 (問 24)	140
3-5-8	現在の悩みや不安に感じていること (問 25)	141
3-5-9	経済的支援の利用経験の有無 (問 26)	142
3-5-10	支援制度を利用したことがない理由 (問 26-1)	143
第 4 章 児童・生徒調査 (子どもの貧困)		145
第 1 節 子ども自身に関することや健康状態について		146
4-1-1	性別 (問 1)	146
4-1-2	現在の健康状態 (問 2)	146
4-1-3	平日の睡眠時間 (問 3)	147
4-1-4	居眠りや疲れやすいなどの状況 (問 4)	147
4-1-5	生活に関連した物の所有状況 (問 5)	148
第 2 節 普段考えていること		149
4-2-1	普段の考え方 (問 6)	149
4-2-2	将来の進学への意向 (問 7)	150
4-2-3	将来なりたい職業や夢の有無 (問 8)	150
第 3 節 学校生活や勉強について		151
4-3-1	学校に行くことは楽しいか (問 9)	151
4-3-2	平日の勉強時間 (問 10)	151
4-3-3	授業がわからないことの有無 (問 11)	152
4-3-4	勉強がわからないときの相談相手 (問 12)	152
4-3-5	日頃頑張っていること (問 13)	153
第 4 節 食事の状況		154
4-4-1	朝食や夕食の摂食頻度 (問 14)	154
4-4-2	家庭における様々な食品の摂食頻度 (問 15)	155
4-4-3	夕食を誰と食べているか (問 16)	156
4-4-4	「こども食堂」の利用意向 (問 17)	156
4-4-5	生活の満足度 (問 18)	157
第 5 章 児童・生徒調査 (ヤングケアラー)		159
第 1 節 子ども自身の状況		160
5-1-1	性別 (問 1)	160
5-1-2	学校名 (問 2)	160
5-1-3	同居している家族 (問 3)	161
5-1-4	健康状態 (問 4)	161
第 2 節 「ヤングケアラー」に関する状況について		162
5-2-1	世話をしている家族の有無 (問 5)	162
5-2-2	世話をしている家族 (問 5-1)	162
5-2-3	世話の内容 (問 5-2)	163
5-2-4	世話をすることによる影響 (問 5-3)	163
第 3 節 相談相手や居場所、将来のことについて		164
5-3-1	現在の悩みや不安 (問 6)	164
5-3-2	悩みや不安の相談相手 (問 7)	164
5-3-3	安心できる居場所 (問 8)	165
5-3-4	将来の進学の意向 (問 9)	165

第4節 子どもの権利擁護について.....	166
5-4-1 大人にこころがけてほしいこと（問10）.....	166
5-4-2 子どもの権利について大切だと思うこと（問11）.....	167

資料編 **169**

資料1 生活困難層3区分による分析 171

第1節 生活困難層3区分による分析の考え方と方法 172

1 生活困難層3区分による分析の考え方.....	172
2 本調査における分類方法.....	173
3 子どもの学年別にみた生活困難層の割合.....	174

第2節 生活困難層3区分による保護者調査（子どもの貧困）の分析結果..... 175

2-1 家族構成（問2）.....	175
2-2 親の婚姻状況（問5）.....	175
2-3 親の最終学歴（問8）.....	176
2-4 母親の就労状況（問9）.....	177
2-5 保護者と子どもの関わり方（問10）.....	177
2-6 授業参観やPTA活動などへの参加状況（問11）.....	179
2-7 将来の進学への意向（問13）.....	180
2-8 進学したい理由（問13-1）.....	180
2-9 朝食の摂食頻度（問16）.....	181
2-10 現在の暮らしの状況（問19）.....	181
2-11 食料が買えなかった経験の有無（問21）.....	182
2-12 衣服が買えなかった経験の有無（問22）.....	182
2-13 料金未払いになった経験の有無（問23）.....	183
2-14 この1か月間の気持ちの状況（問24）.....	184
2-15 現在の悩みや不安に感じていること（問25）.....	185
2-16 経済的支援の利用経験の有無（問26）.....	186

第3節 生活困難層3区分による児童・生徒調査（子どもの貧困）の分析結果... 187

3-1 平日の睡眠時間（問3）.....	187
3-2 居眠りや疲れやすいなどの状況（問4）.....	187
3-3 生活に関連した物の所有状況（問5）.....	188
3-4 将来の進学への意向（問7）.....	190
3-5 平日の勉強時間（問10）.....	190
3-6 授業がわからないことの有無（問11）.....	191
3-7 朝食や夕食の摂食頻度（問14）.....	191
3-8 生活の満足度（問18）.....	192

資料2 調査票 193

調査票（1）就学前児童保護者ニーズ調査.....	194
調査票（2）小学生保護者ニーズ調査.....	205
調査票（3）保護者調査（子どもの貧困）.....	210
調査票（4）児童・生徒調査（子どもの貧困）.....	214
調査票（5）児童・生徒調査（ヤングケアラー）.....	216

序章

調査の概要

第1節 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、「越生町こども計画（仮称）」策定のための基礎資料を得るために実施しました。

2 調査対象者

次の調査区分ごとに対象者を設定しました。

調査名		対象者	対象者数
(1) 子育て支援に関するアンケート	①就学前児童調査	就学前の子どものいる全世帯	285人
	②小学生調査	小学1年生から4年生の子どものいる全世帯	225人
(2) 子どもの生活実態調査	③保護者調査（子どもの貧困）	越生小学校、梅園小学校の小学5・6年生及び越生中学校の中学1・2年生の保護者	290人
	④児童・生徒調査（子どもの貧困）	越生小学校、梅園小学校の小学5・6年生及び越生中学校の中学1・2年生の児童・生徒	290人
	⑤児童・生徒調査（ヤングケアラー）	同上	290人

3 調査期間及び調査方法

調査期間：令和6年2月1日～2月15日

調査名	調査方法
①就学前児童調査	・町内の保育園・幼稚園・小学校に在籍している方は、各施設を通じた配布・回収 ・上記以外の方は、郵送配布・郵送回収
②小学生調査	
③保護者調査（子どもの貧困）	学校を通じた配布・回収 ※③④は同封して提出し、回答者番号を共有した。
④児童・生徒調査（子どもの貧困）	
⑤児童・生徒調査（ヤングケアラー）	

4 回収結果

調査名	対象者数	有効回収数	有効回収率
①就学前児童調査	285人	188人	66.0%
②小学生調査	225人	187人	83.1%
③保護者調査（子どもの貧困）	290人	252人	86.9%
④児童・生徒調査（子どもの貧困）	290人	249人	85.9%
⑤児童・生徒調査（ヤングケアラー）	290人	260人	89.7%

5 報告書を見る際の留意点

(1) 回答率について

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、比率の合計は100%を上下することがあります。
- ②1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問（複数回答）では、比率の合計が100%を上回ることがあります。

(2) 表記について

- ①図表及び文章中で、選択肢を一部省略して用いています。
- ②文章中で選択肢を引用する場合は「 」を用いています。また、いくつかの選択肢を合わせて一つのまとまりとする場合は“ ”で囲んで表記しています。
- ③属性のクロス分析等で用いられる帯グラフでは、可読性を高めるため、3%未満の数値を省略している場合があります。

第1編

子育て支援に関するアンケート

第1章

就学前児童保護者ニーズ調査

第1節 回答者自身の状況について

1-1-1 小学校区（問1）

問1 お住まいの学区は次のどれですか。

「越生小学校区」が82.4%

小学校区については、「越生小学校区」が82.4%、「梅園小学校区」が11.7%となっています。

図 小学校区

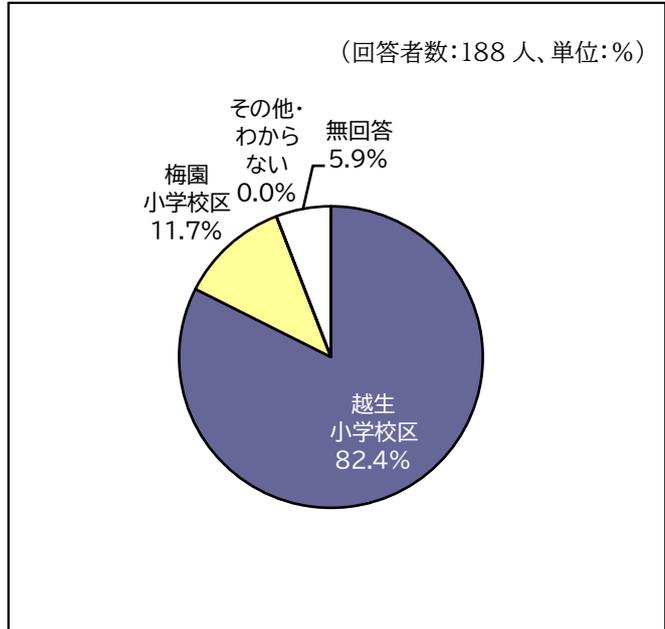


表 小学校区

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
越生小学校区	155 (82.4)
梅園小学校区	22 (11.7)
その他・わからない	0 (0.0)
無回答	11 (5.9)

1-1-2 子どもの年齢（問2）

問2 お子さんの生年月日は、次のどれですか。

「3歳」「4歳」「5歳」が多い

子どもの生年月日から令和5年4月2日現在の年齢を算出したところ、「4歳」及び「3歳」がともに18.1%で最も多く、次いで「5歳」が17.6%が続いています。

図 子どもの年齢

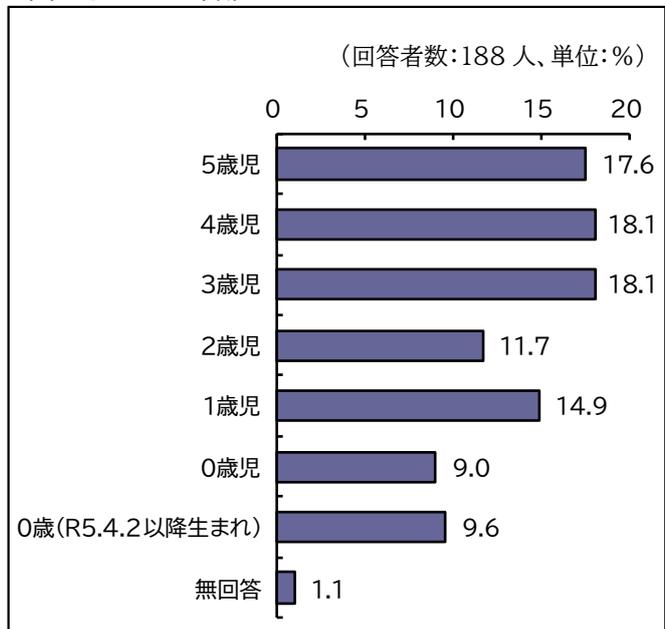


表 子どもの年齢

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
5歳児 (H29.4.2~H30.4.1生まれ)	33 (17.6)
4歳児 (H30.4.2~H31.4.1生まれ)	34 (18.1)
3歳児 (H31.4.2~R2.4.1生まれ)	34 (18.1)
2歳児 (R2.4.2~R3.4.1生まれ)	22 (11.7)
1歳児 (R3.4.2~R4.4.1生まれ)	28 (14.9)
0歳児 (R4.4.2~R5.4.1生まれ)	17 (9.0)
0歳児 (R5.4.2~R5.12.31生まれ)	18 (9.6)
無回答	2 (1.1)

1-1-3 きょうだいの人数（問3）

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。アンケートの対象のお子さんを含めた人数をご記入ください。

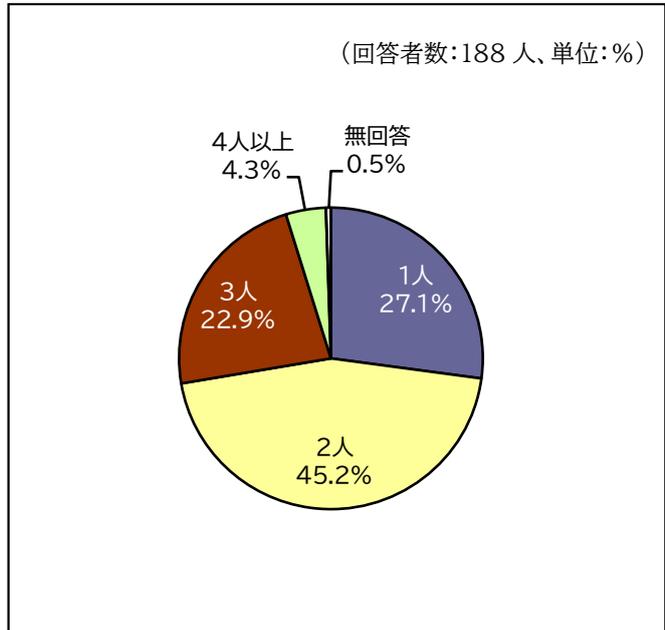
「2人」が最も多い

きょうだいの人数については、「2人」が45.2%で最も多く、次いで「1人」が27.1%、「3人」が22.9%が続いています。

表 きょうだいの人数

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
1人	51 (27.1)
2人	85 (45.2)
3人	43 (22.9)
4人以上	8 (4.3)
無回答	1 (0.5)

図 きょうだいの人数



1-1-4 調査の回答者（問4）

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

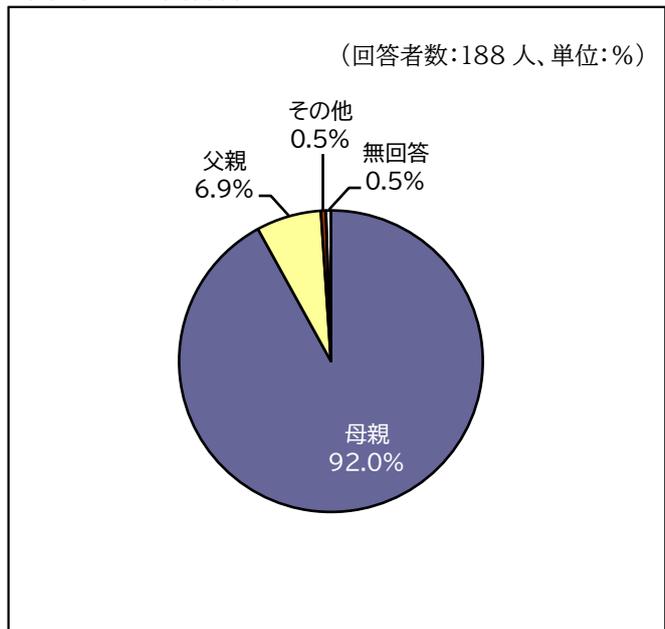
「母親」が92.0%

調査の回答者については、「母親」が92.0%、「父親」が6.9%となっています。

表 調査の回答者

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
母親	173 (92.0)
父親	13 (6.9)
その他	1 (0.5)
無回答	1 (0.5)

図 調査の回答者



1-1-5 回答者の配偶関係（問4-1）

問4-1 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。

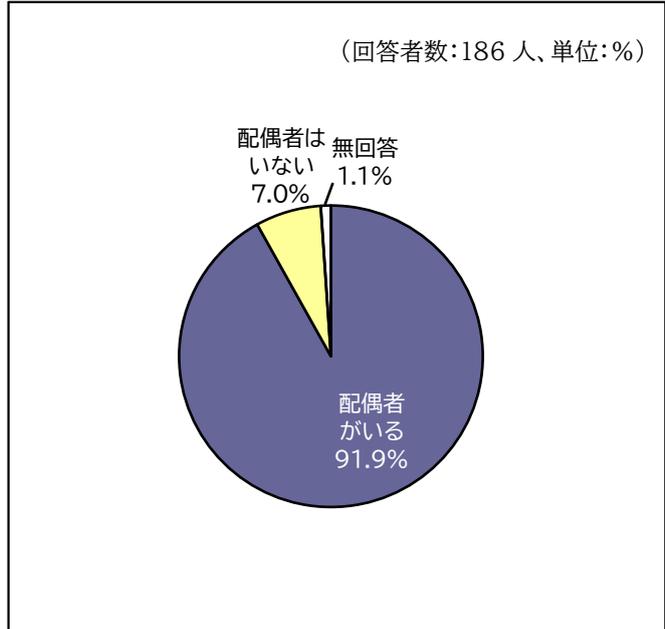
「配偶者がいる」が91.9%

調査の回答者が「母親」または「父親」と回答した186人に対し、回答者の配偶関係について聞いたところ、「配偶者がいる」が91.9%、「配偶者はいない」が7.0%となっています。

表 回答者の配偶関係

区分	人 (%)
回答者総数	186 (100.0)
配偶者がいる	171 (91.9)
配偶者はいない	13 (7.0)
無回答	2 (1.1)

図 回答者の配偶関係



1-1-6 子育てを主に行っている人（問5）

問5 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

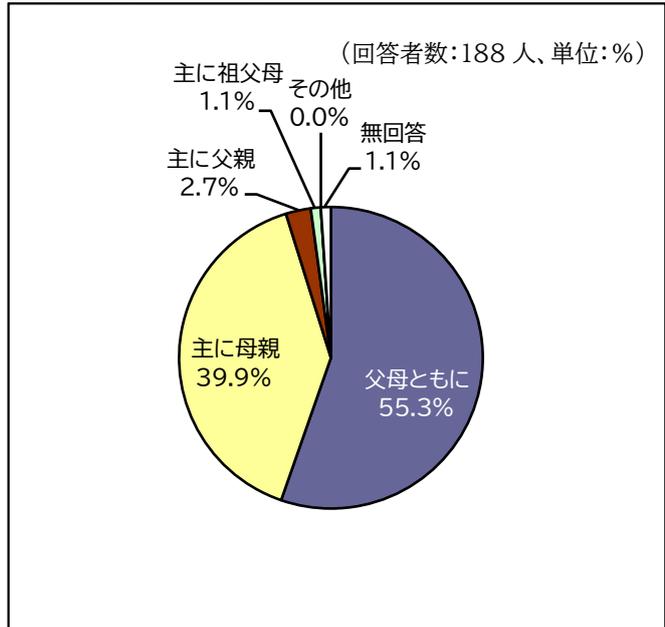
「父母ともに」が55.3%

子育てを主に行っている人については、「父母ともに」が55.3%、「主に母親」が39.9%、「主に父親」が2.7%、「主に祖父母」が1.1%となっています。

表 子育てを主に行っている人

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
父母ともに	104 (55.3)
主に母親	75 (39.9)
主に父親	5 (2.7)
主に祖父母	2 (1.1)
その他	0 (0.0)
無回答	2 (1.1)

図 子育てを主に行っている人



1-1-7 子育てに日常的に関わっている人や機関（問6）

問6 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どこ）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（いくつでも）

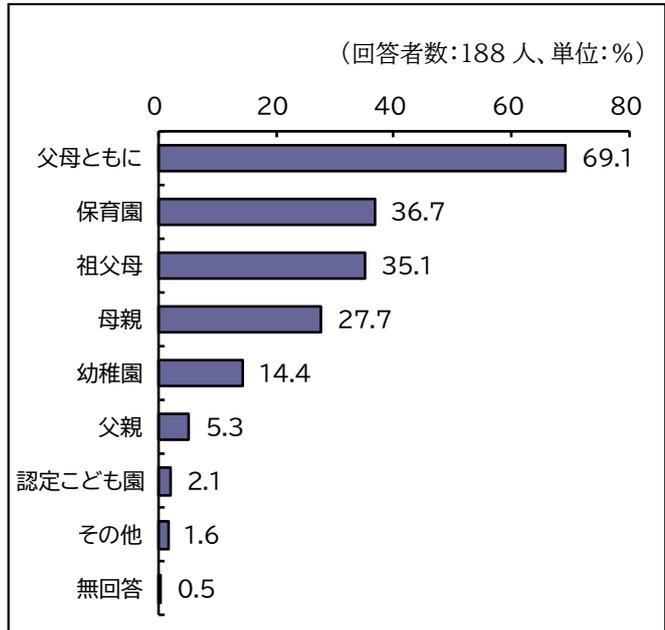
「父母ともに」が最も多い

子育てに日常的に関わっている人や機関については、「父母ともに」が69.1%で最も多く、次いで「保育園」が36.7%、「祖父母」が35.1%が続いています。

表 子育てに日常的に関わっている人や機関（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
父母ともに	130 (69.1)
保育園	69 (36.7)
祖父母	66 (35.1)
母親	52 (27.7)
幼稚園	27 (14.4)
父親	10 (5.3)
認定こども園	4 (2.1)
その他	3 (1.6)
無回答	1 (0.5)

図 子育てに日常的に関わっている人や機関（複数回答）



1-1-8 子育てに影響する環境（問7）

問7 お子さんの子育てに影響すると思われる環境は何ですか。（いくつでも）

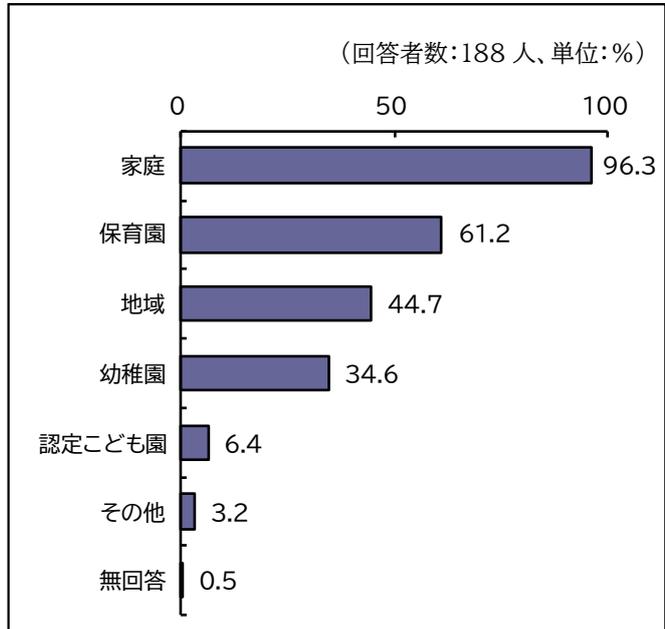
「家庭」が最も多い

子育てに影響する環境については、「家庭」が96.3%で最も多く、次いで「保育園」が61.2%、「地域」が44.7%が続いています。

表 子育てに影響する環境（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
家庭	181 (96.3)
保育園	115 (61.2)
地域	84 (44.7)
幼稚園	65 (34.6)
認定こども園	12 (6.4)
その他	6 (3.2)
無回答	1 (0.5)

図 子育てに影響する環境（複数回答）



第2節 周囲のサポートや相談相手について

1-2-1 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（問8）

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

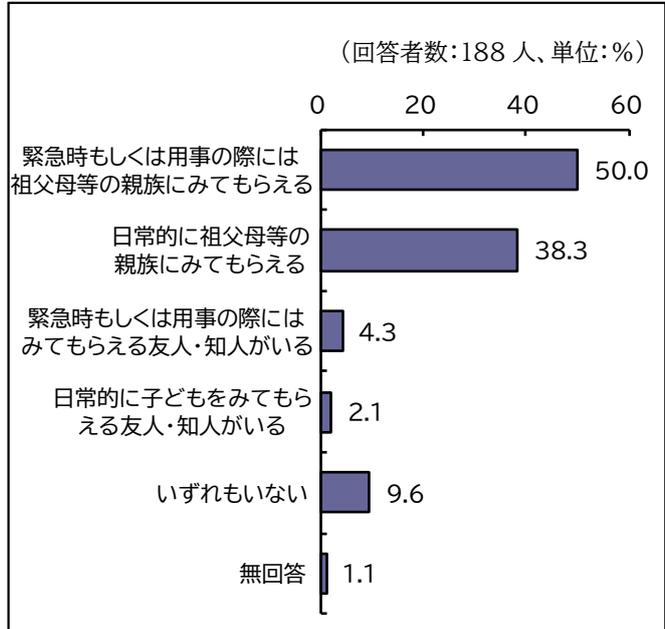
「緊急時に祖父母等」が最も多い

子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が50.0%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が38.3%で続いています。

表 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	94 (50.0)
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	72 (38.3)
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	8 (4.3)
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	4 (2.1)
いずれもない	18 (9.6)
無回答	2 (1.1)

図 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）



※この設問は、本来、単数回答でしたが、複数の選択肢を回答した人が多かったため、複数回答として集計しました。

1-2-2 親族に子どもをみてもらう際の状況（問8-1）

問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（いくつでも）

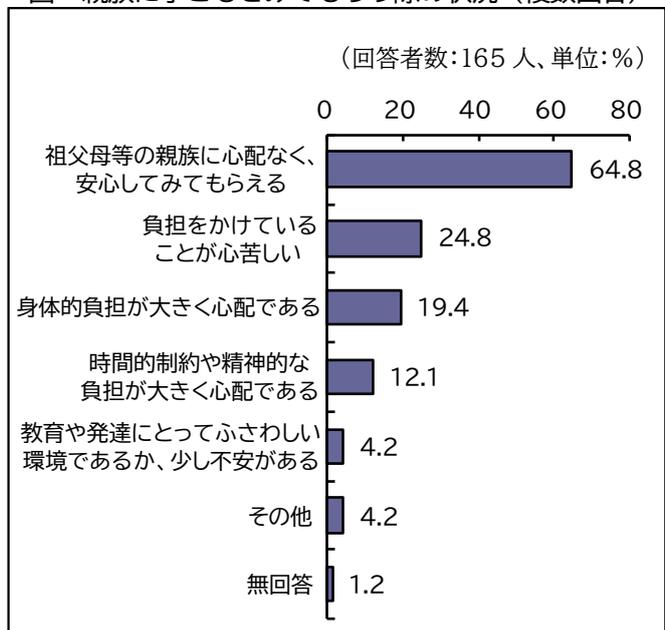
「安心してみてもらえる」が最も多い

緊急時または日常的に親族に子どもをみてみると回答した人（165人）に対し、その際の状況についてと、その際の状況についてと、「心配なく安心して子どもをみてもらえる」が64.8%で最も多く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」が24.8%で続いています。

表 親族に子どもをみてもらう際の状況（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	165 (100.0)
心配なく安心して子どもをみてもらえる	107 (64.8)
負担をかけていることが心苦しい	41 (24.8)
身体的負担が大きく心配である	32 (19.4)
時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	20 (12.1)
子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか少し不安がある	7 (4.2)
その他	7 (4.2)
無回答	2 (1.2)

図 親族に子どもをみてもらう際の状況（複数回答）



1-2-3 友人・知人に子どもをみてもらう際の状況（問 8-2）

問 8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（いくつでも）

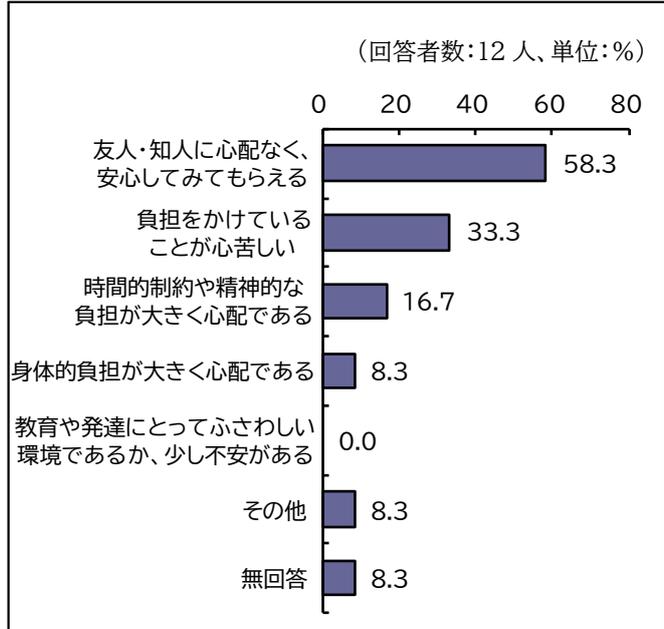
「安心してみてもらえる」が最も多い

緊急時または日常的に友人・知人に子どもをみてもらえると回答した 12 人に対し、その際の状況についてとところ、「心配なく安心して子どもをみてもらえる」が 58.3%で最も多く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」が 33.3%、で続いています。

表 友人・知人にみてもらう際の状況（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者総数	12 (100.0)
心配なく安心して子どもをみてもらえる	7 (58.3)
負担をかけていることが心苦しい	4 (33.3)
時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	2 (16.7)
身体的負担が大きく心配である	1 (8.3)
子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか少し不安がある	0 (0.0)
その他	1 (8.3)
無回答	1 (8.3)

図 友人・知人に子どもをみてもらう際の状況（複数回答）



1-2-4 子育てに関する孤立感の有無（問 9）

問 9 あなたは子育てに関して孤立感を感じることはありますか。

“ある・ときどきある”が 38.8%

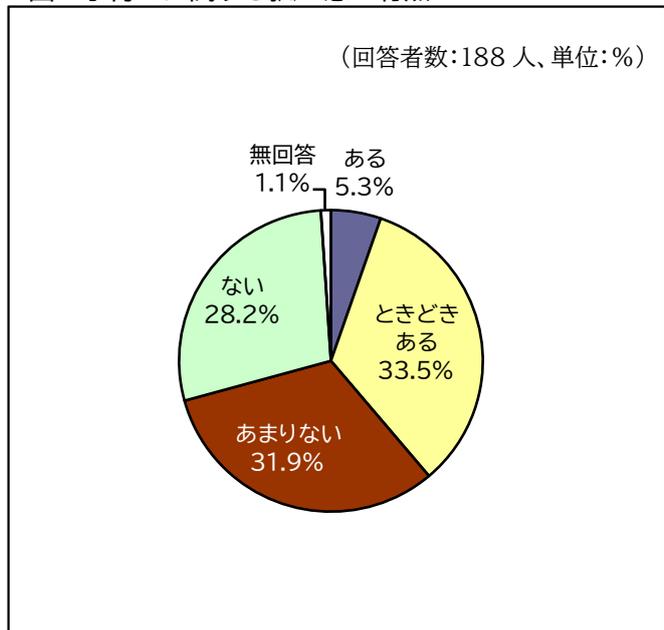
子育てに関する孤立感の有無については、「ある」が 5.3%、「ときどきある」が 33.5%であり、これらを合わせると 38.8%が“ある・ときどきある”と回答しています。

一方、「あまりない」が 31.9%、「ない」が 28.2%であり、これらを合わせると 60.1%が“あまりない・ない”と回答しています。

表 子育てに関する孤立感の有無

区 分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
ある	10 (5.3)
ときどきある	63 (33.5)
あまりない	60 (31.9)
ない	53 (28.2)
無回答	2 (1.1)

図 子育てに関する孤立感の有無



1-2-5 子育てに関する相談相手の有無（問10）

問10 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

「いる／ある」が96.3%

子育てに関する相談相手の有無については、「いる／ある」が96.3%（181人）、「いない／ない」が2.7%となっています。

図 子育てに関する相談相手の有無

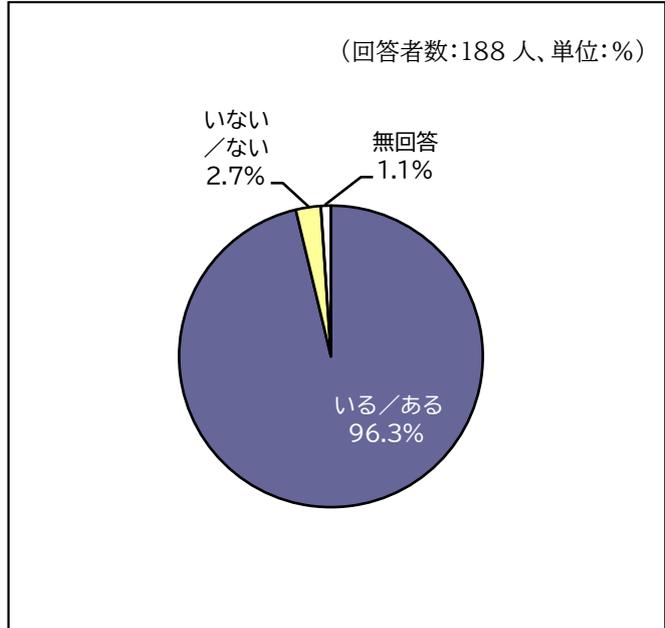


表 子育てに関する相談相手の有無

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
いる／ある	181 (96.3)
いない／ない	5 (2.7)
無回答	2 (1.1)

1-2-6 子育てに関する相談相手（問10-1）

問10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（いくつでも）

「祖父母等」や「友人・知人」が多い

子育てに関する相談相手が「いる／ある」と回答した181人に対し、それは誰かについて聞いたところ、「祖父母等の親族」が85.1%で最も多く、次いで「友人や知人」が82.9%、「保育園」が27.1%で続いています。

図 子育てに関する相談相手（複数回答）

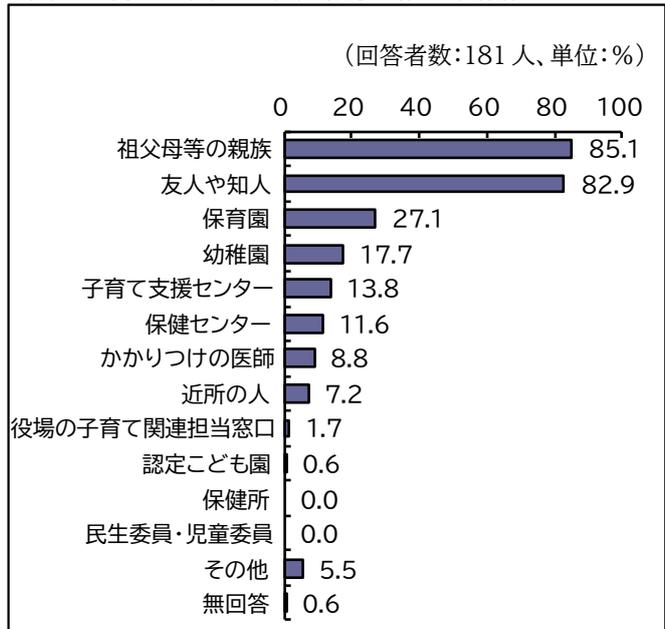


表 子育てに関する相談相手（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	181 (100.0)
祖父母等の親族	154 (85.1)
友人や知人	150 (82.9)
保育園	49 (27.1)
幼稚園	32 (17.7)
子育て支援センター	25 (13.8)
保健センター(子育て世代包括支援センター)	21 (11.6)
かかりつけの医師	16 (8.8)
近所の人	13 (7.2)
役場の子育て関連担当窓口	3 (1.7)
認定こども園	1 (0.6)
保健所	0 (0.0)
民生委員・児童委員	0 (0.0)
その他	10 (5.5)
無回答	1 (0.6)

1-2-7 希望する周囲のサポート（問11）

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）から、どのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。（いくつでも） また、具体的なご意見がありましたら、お書きください。

「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多い

希望する周囲のサポートについては、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が81.9%で最も多く、次いで「親のリフレッシュの場や機会の提供」が56.9%、「子育て中の親同士の仲間づくり」が30.9%で続いています。

図 希望する周囲のサポート（複数回答）

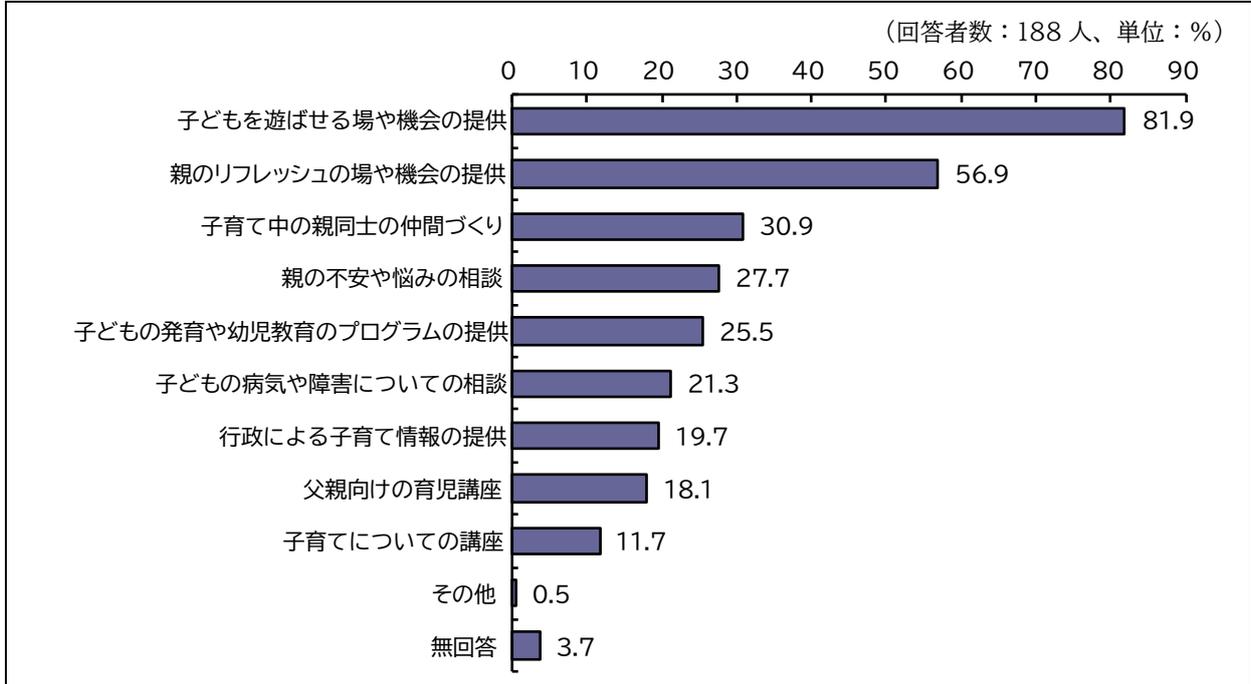


表 希望する周囲のサポート（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
子どもを遊ばせる場や機会の提供	154 (81.9)
親のリフレッシュの場や機会の提供	107 (56.9)
子育て中の親同士の仲間づくり	58 (30.9)
親の不安や悩みの相談	52 (27.7)
子どもの発育や幼児教育のプログラムの提供	48 (25.5)
子どもの病気や障害についての相談	40 (21.3)
行政による子育て情報の提供	37 (19.7)
父親向けの育児講座	34 (18.1)
子育てについての講座	22 (11.7)
その他	1 (0.5)
無回答	7 (3.7)

第3節 地域子育て支援事業の利用状況等について

1-3-1 子育て支援センターの利用状況（問12）

問12 お子さんは、現在、子育て支援センター「すくすく」を利用していますか。利用しているに○をつけた方は、おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。

(1) 利用の有無

「利用している」は19.1%

子育て支援センターの利用状況については、「利用している」が19.1%、「利用していない」が78.7%となっています。

図 子育て支援センターの利用状況

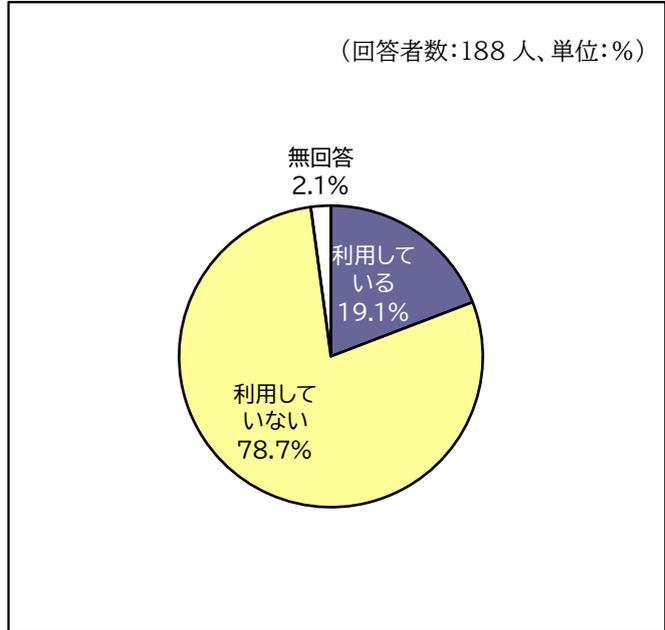


表 子育て支援センターの利用状況

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
利用している	36 (19.1)
利用していない	148 (78.7)
無回答	4 (2.1)

(2) 月あたり利用回数

「1~4回未満」が最も多い

子育て支援センターを「利用している」と回答した36人に対し、月あたり利用回数について聞いたところ、「1~4回未満」が47.2%で最も多くなっています。

図 月あたり利用回数

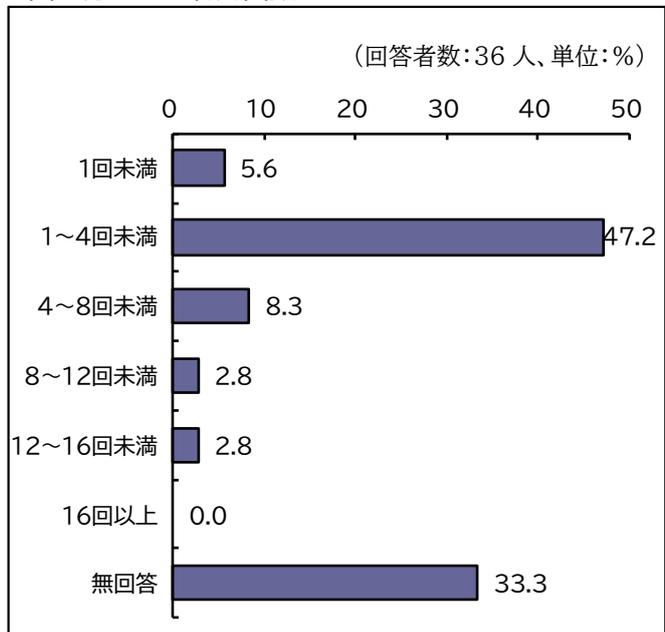


表 月あたり利用回数

区分	人 (%)
回答者総数	36 (100.0)
1回未満	2 (5.6)
1~4回未満	17 (47.2)
4~8回未満	3 (8.3)
8~12回未満	1 (2.8)
12~16回未満	1 (2.8)
16回以上	0 (0.0)
無回答	12 (33.3)

1-3-2 子育て支援センターの満足度（問 12-1）

問 12-1 子育て支援センター「すくすく」の満足度はいかかですか。

“満足・どちらかといえば満足が83.3%

子育て支援センターを「利用している」と回答した 36 人に対し、その満足度について聞いたところ、「満足」が 47.2%、「どちらかといえば満足」が 36.1%であり、これらを合わせると 83.3%が“満足・どちらかといえば満足”と回答しています。

図 子育て支援センターの満足度

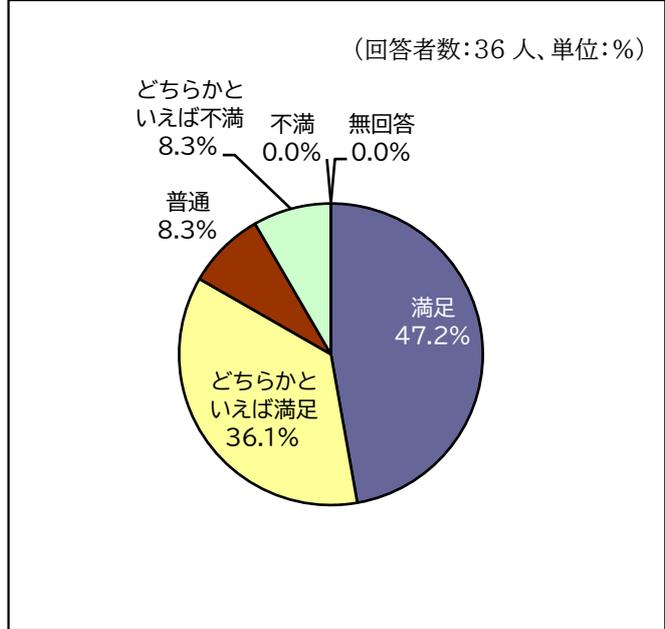


表 子育て支援センターの満足度

区分	人 (%)
回答者総数	36 (100.0)
満足	17 (47.2)
どちらかといえば満足	13 (36.1)
普通	3 (8.3)
どちらかといえば不満	3 (8.3)
不満	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

1-3-3 子育て支援センターの利用意向（問 13）

問 13 子育て支援センター「すくすく」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

(1) 今後の利用意向

“新たに利用または利用回数を増やしたい”が30.9%

子育て支援センターの利用意向については、「利用していないが、今後利用したい」が 21.3% (40 人)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 9.6% (18 人)であり、これらを合わせると 30.9%が“新たに利用または利用回数を増やしたい”と回答しています。

図 子育て支援センターの利用意向

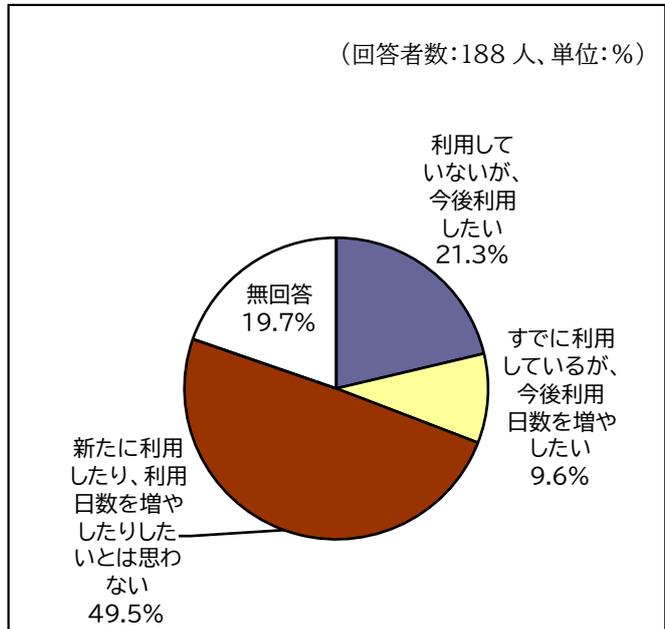


表 子育て支援センターの利用意向

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
利用していないが、今後利用したい	40 (21.3)
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	18 (9.6)
新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない	93 (49.5)
無回答	37 (19.7)

(2) 新たに利用を希望する月あたり回数

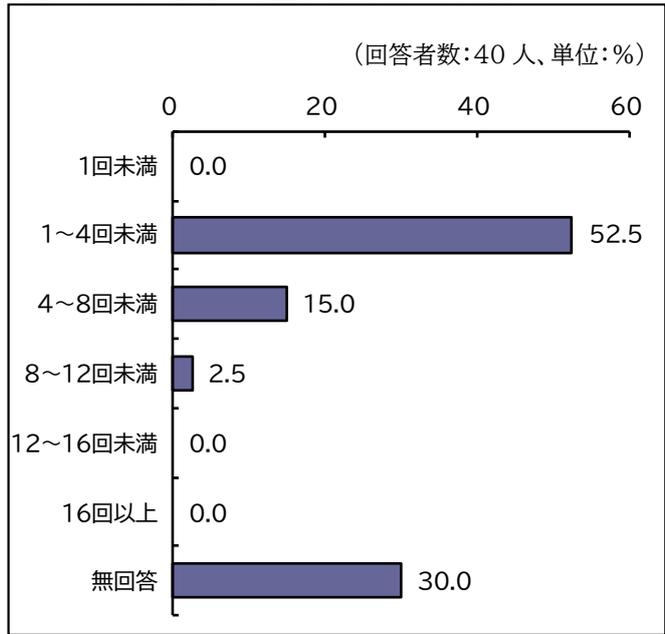
「1～4 回未満」が最も多い

子育て支援センターの新たな利用を希望する 40 人に対し、月あたり回数について聞いたところ、「1～4 回未満」が 52.5%で最も多くなっています。

表 新たに利用を希望する月あたり回数

区分	人 (%)
回答者総数	40 (100.0)
1 回未満	0 (0.0)
1～4 回未満	21 (52.5)
4～8 回未満	6 (15.0)
8～12 回未満	1 (2.5)
12～16 回未満	0 (0.0)
16 回以上	0 (0.0)
無回答	12 (30.0)

図 新たに利用を希望する月あたり回数



(3) 増加を希望する月あたり回数

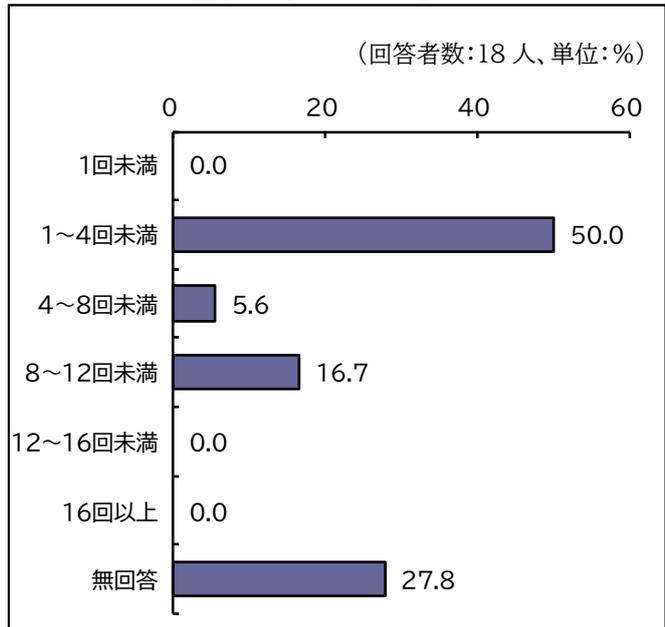
「1～4 回未満」が最も多い

子育て支援センターの利用回数の増加を希望する 18 人に対し、月あたり回数について聞いたところ、「1～4 回未満」が 50.0%で最も多くなっています。

表 増加を希望する月あたり利用回数

区分	人 (%)
回答者総数	18 (100.0)
1 回未満	0 (0.0)
1～4 回未満	9 (50.0)
4～8 回未満	1 (5.6)
8～12 回未満	3 (16.7)
12～16 回未満	0 (0.0)
16 回以上	0 (0.0)
無回答	5 (27.8)

図 増加を希望する月あたり利用回数



1-3-4 子育て支援事業の認知度、利用経験、利用意向（問 14）

問 14 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものは
 何ですか。①～⑩のそれぞれにお答えください。

(1) 子育て支援事業の認知度

「チャイルドシート購入費助成事業」が最も多い

子育て支援事業の認知度について、「はい」の割合に着目すると、「チャイルドシート購入費助成事業」が 88.8%で最も多く、次いで「新生児(乳児)訪問事業」及び「育児相談・母乳相談」がともに 86.7%で続いています。

図 子育て支援事業の認知度

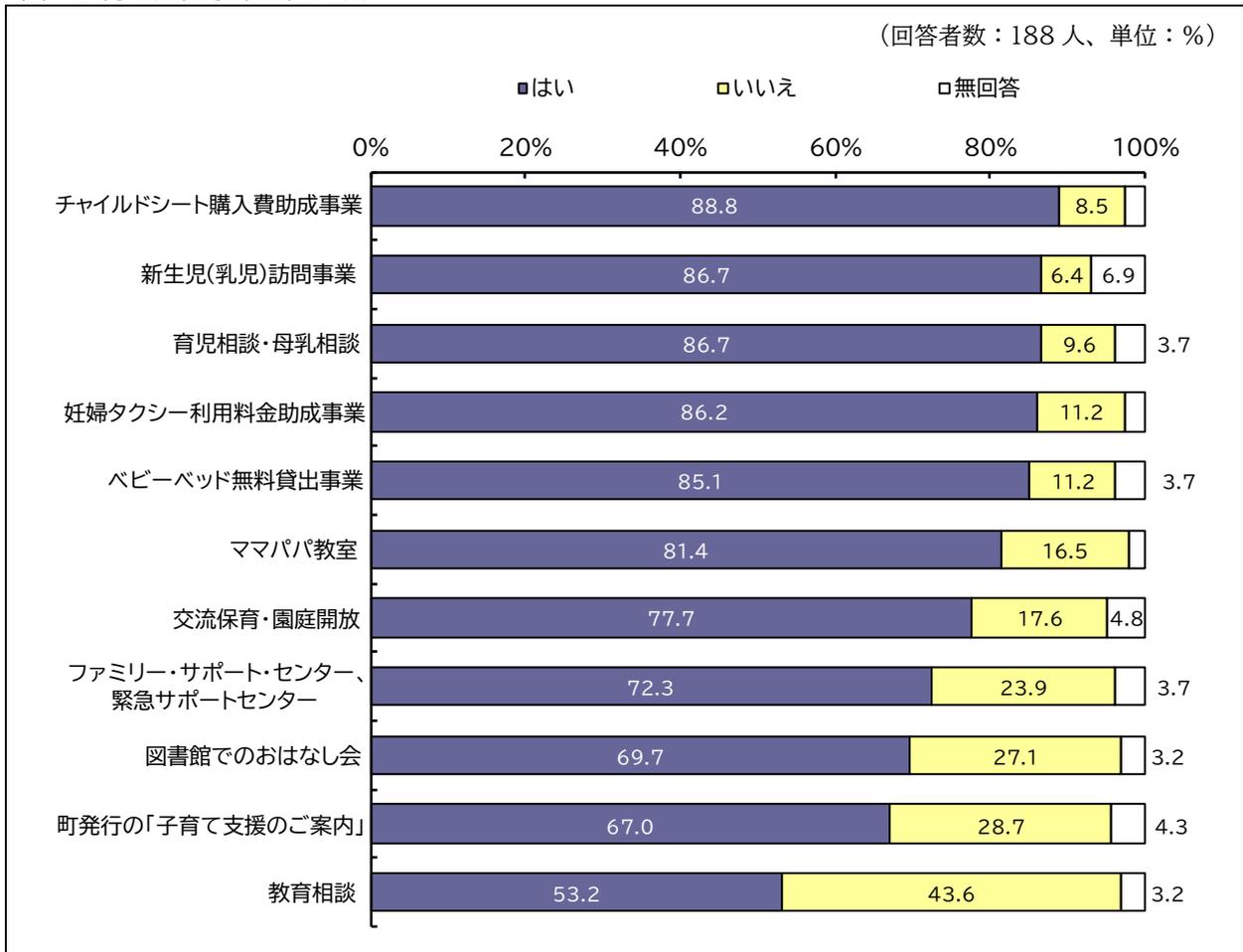


表 子育て支援事業の認知度

回答者総数：188人、単位：人 (%)

区分	はい	いいえ	無回答
チャイルドシート購入費助成事業	167 (88.8)	16 (8.5)	5 (2.7)
新生児(乳児)訪問事業	163 (86.7)	12 (6.4)	13 (6.9)
育児相談・母乳相談	163 (86.7)	18 (9.6)	7 (3.7)
妊婦タクシー利用料金助成事業	162 (86.2)	21 (11.2)	5 (2.7)
ベビーベッド無料貸出事業	160 (85.1)	21 (11.2)	7 (3.7)
ママパパ教室	153 (81.4)	31 (16.5)	4 (2.1)
交流保育・園庭開放	146 (77.7)	33 (17.6)	9 (4.8)
ファミリー・サポート・センター、緊急サポートセンター	136 (72.3)	45 (23.9)	7 (3.7)
図書館でのおはなし会	131 (69.7)	51 (27.1)	6 (3.2)
町発行の「子育て支援のご案内」	126 (67.0)	54 (28.7)	8 (4.3)
教育相談	100 (53.2)	82 (43.6)	6 (3.2)

(2) 子育て支援事業の利用経験

「新生児(乳児)訪問事業」が最も多い

子育て支援事業の利用経験について、「はい」の割合に着目すると、「新生児(乳児)訪問事業」が81.4%で最も多く、次いで「チャイルドシート購入費助成事業」が54.3%、「育児相談・母乳相談」が44.1%が続いています。

図 子育て支援事業の利用経験

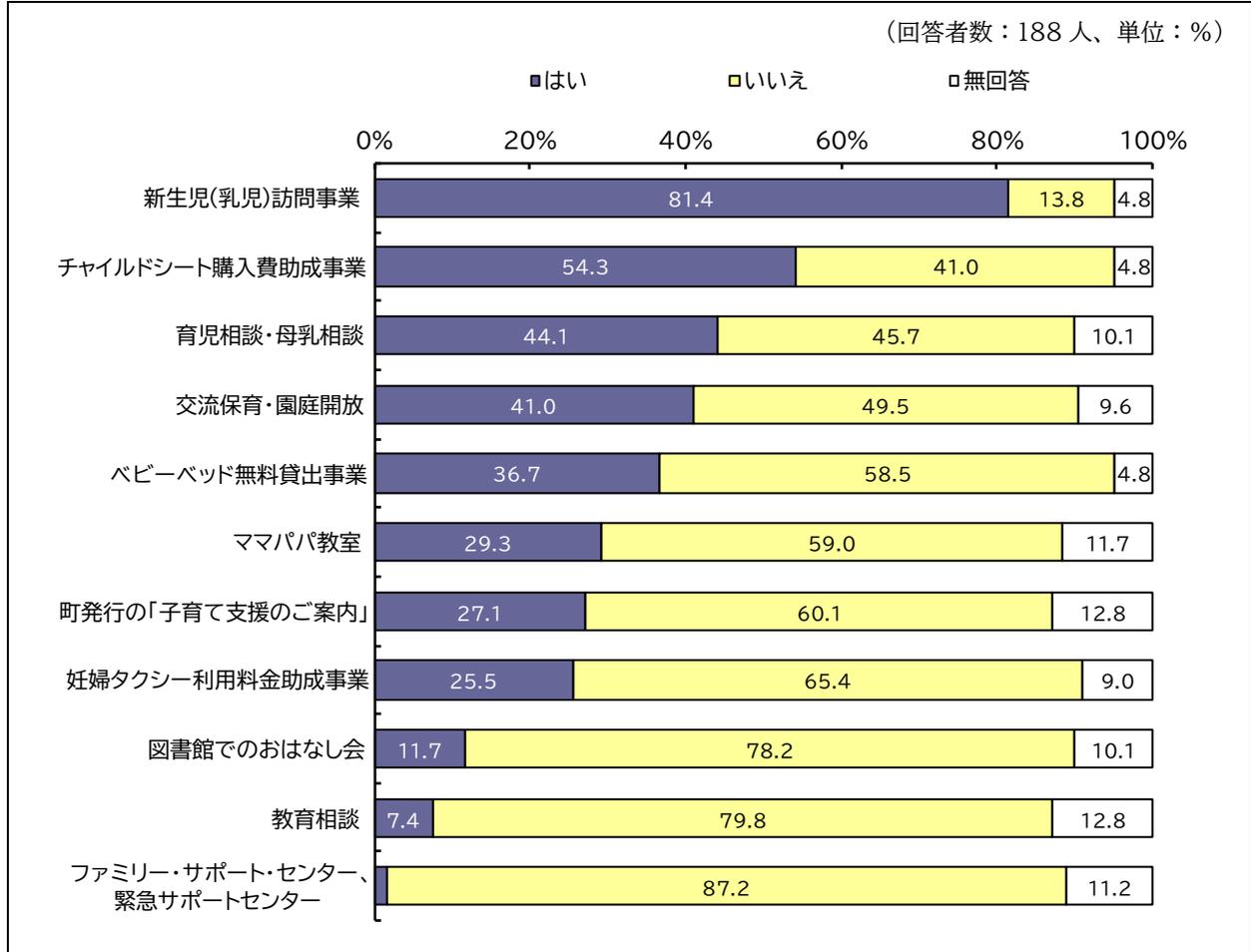


表 子育て支援事業の利用経験

回答者総数：188人、単位：人 (%)

区分	はい	いいえ	無回答
新生児(乳児)訪問事業	153 (81.4)	26 (13.8)	9 (4.8)
チャイルドシート購入費助成事業	102 (54.3)	77 (41.0)	9 (4.8)
育児相談・母乳相談	83 (44.1)	86 (45.7)	19 (10.1)
交流保育・園庭開放	77 (41.0)	93 (49.5)	18 (9.6)
ベビーベッド無料貸出事業	69 (36.7)	110 (58.5)	9 (4.8)
ママパパ教室	55 (29.3)	111 (59.0)	22 (11.7)
町発行の「子育て支援のご案内」	51 (27.1)	113 (60.1)	24 (12.8)
妊婦タクシー利用料金助成事業	48 (25.5)	123 (65.4)	17 (9.0)
図書館でのおはなし会	22 (11.7)	147 (78.2)	19 (10.1)
教育相談	14 (7.4)	150 (79.8)	24 (12.8)
ファミリー・サポート・センター、緊急サポートセンター	3 (1.6)	164 (87.2)	21 (11.2)

(3) 子育て支援事業の利用意向

「図書館でのおはなし会」が最も多い

子育て支援事業の利用意向について、「はい」の割合に着目すると、「図書館でのおはなし会」が54.8%で最も多く、次いで「チャイルドシート購入費助成事業」が53.2%、「町発行の『子育て支援のご案内』」が47.3%が続いています。

図 子育て支援事業の利用意向

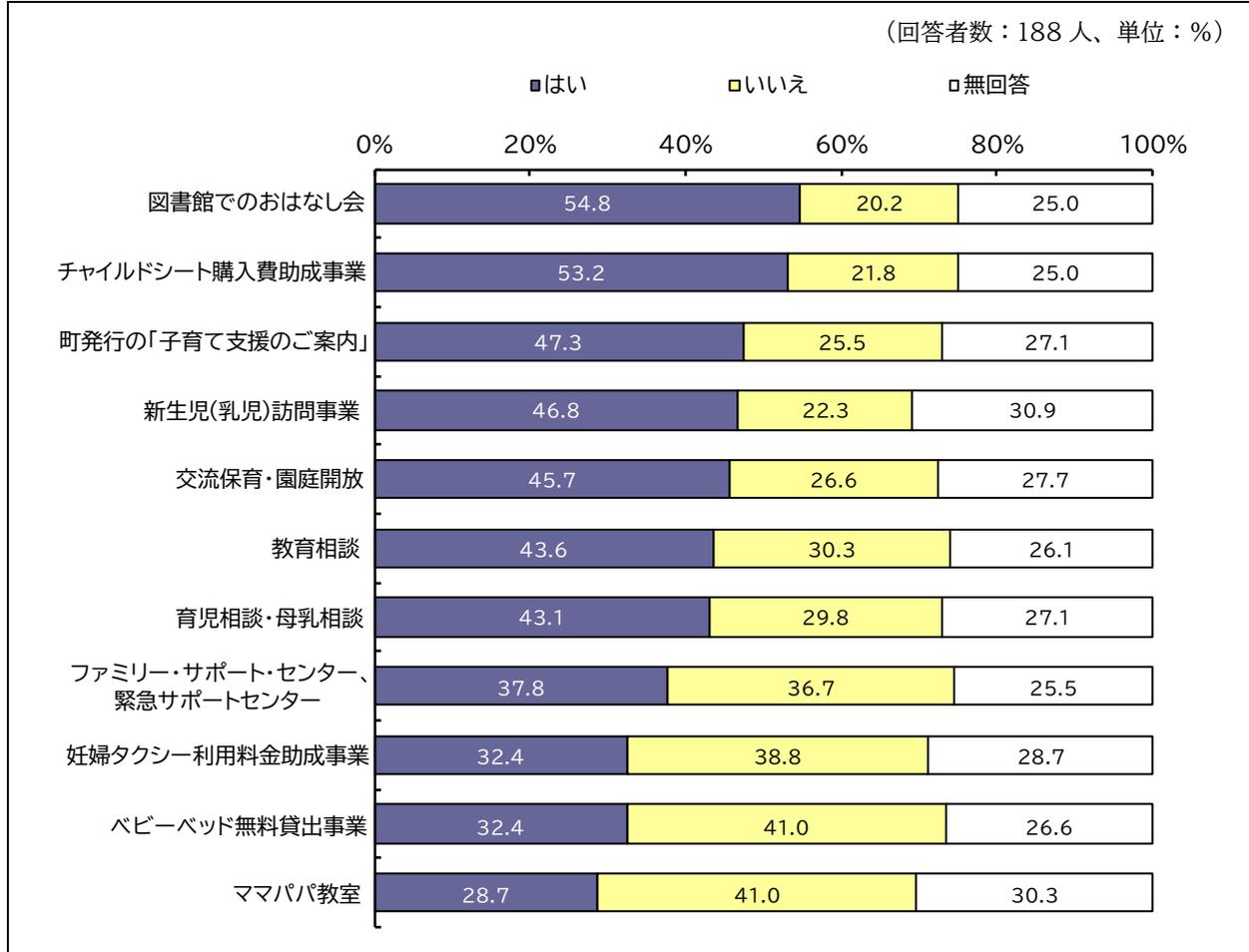


表 子育て支援事業の利用意向

回答者総数：188人、単位：人 (%)

区分	はい	いいえ	無回答
図書館でのおはなし会	103 (54.8)	38 (20.2)	47 (25.0)
チャイルドシート購入費助成事業	100 (53.2)	41 (21.8)	47 (25.0)
町発行の「子育て支援のご案内」	89 (47.3)	48 (25.5)	51 (27.1)
新生児(乳児)訪問事業	88 (46.8)	42 (22.3)	58 (30.9)
交流保育・園庭開放	86 (45.7)	50 (26.6)	52 (27.7)
教育相談	82 (43.6)	57 (30.3)	49 (26.1)
育児相談・母乳相談	81 (43.1)	56 (29.8)	51 (27.1)
ファミリー・サポート・センター、緊急サポートセンター	71 (37.8)	69 (36.7)	48 (25.5)
妊婦タクシー利用料金助成事業	61 (32.4)	73 (38.8)	54 (28.7)
ベビーベッド無料貸出事業	61 (32.4)	77 (41.0)	50 (26.6)
ママパパ教室	54 (28.7)	77 (41.0)	57 (30.3)

1-3-5 子育て支援事業の満足度（問 14-1）

問 14-1 その際の満足度はいかかですか。

「チャイルドシート購入費助成事業」が最も多い

子育て支援事業の満足度について、「満足」の割合に着目すると、「チャイルドシート購入費助成事業」が67.6%で最も多く、次いで「ベビーベッド無料貸出事業」が63.8%、で続いています。

図 子育て支援事業の満足度

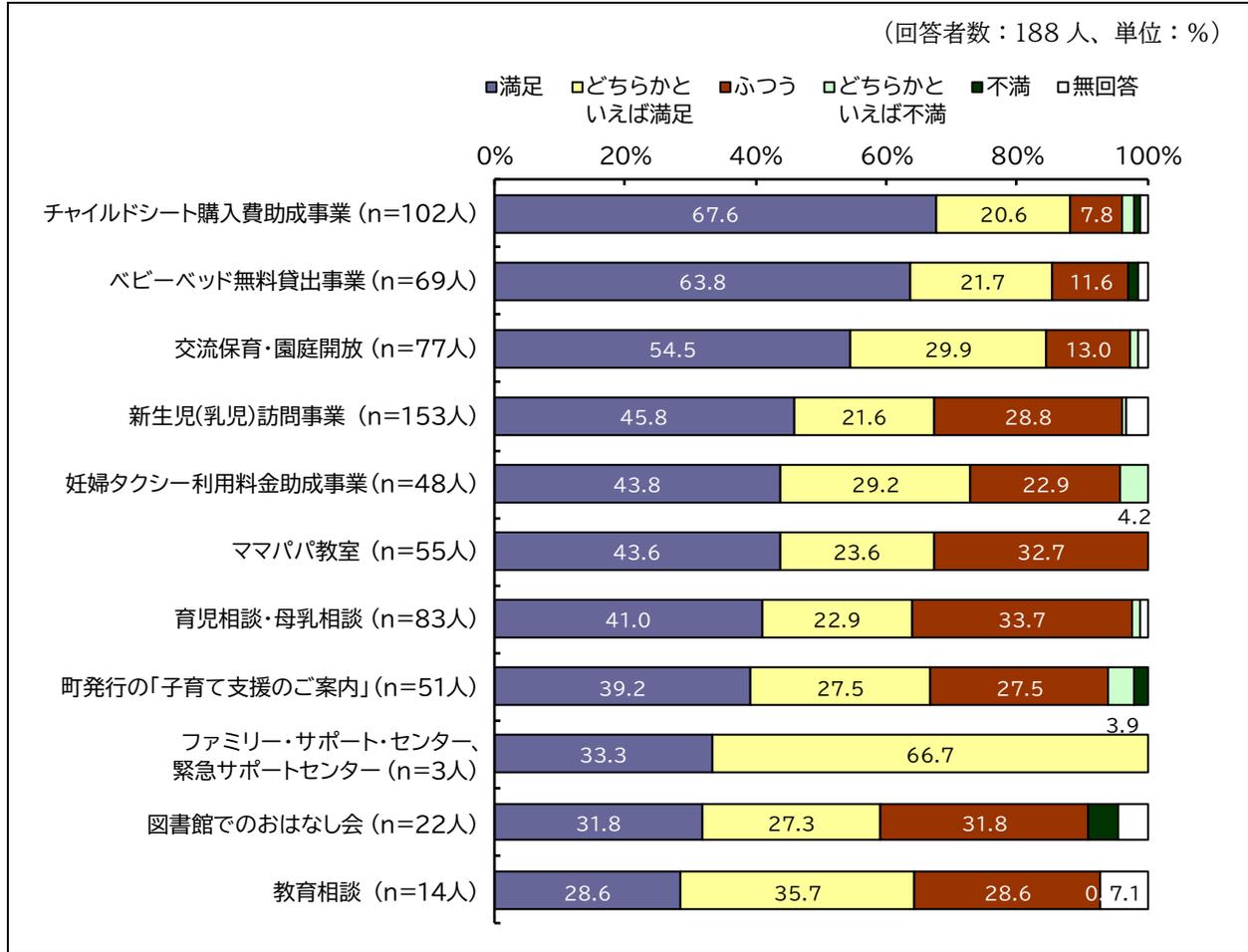


表 子育て支援事業の満足度

単位：人 (%)

問 14-1 満足度	回答者総数	満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満	無回答
チャイルドシート購入費助成事業	102 (100.0)	69 (67.6)	21 (20.6)	8 (7.8)	2 (2.0)	1 (1.0)	1 (1.0)
ベビーベッド無料貸出事業	69 (100.0)	44 (63.8)	15 (21.7)	8 (11.6)	0 (0.0)	1 (1.4)	1 (1.4)
交流保育・園庭開放	77 (100.0)	42 (54.5)	23 (29.9)	10 (13.0)	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (1.3)
新生児(乳児)訪問事業	153 (100.0)	70 (45.8)	33 (21.6)	44 (28.8)	1 (0.7)	0 (0.0)	5 (3.3)
妊婦タクシー利用料金助成事業	48 (100.0)	21 (43.8)	14 (29.2)	11 (22.9)	2 (4.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
ママパパ教室	55 (100.0)	24 (43.6)	13 (23.6)	18 (32.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
育児相談・母乳相談	83 (100.0)	34 (41.0)	19 (22.9)	28 (33.7)	1 (1.2)	0 (0.0)	1 (1.2)
町発行の「子育て支援のご案内」	51 (100.0)	20 (39.2)	14 (27.5)	14 (27.5)	2 (3.9)	1 (2.0)	0 (0.0)
ファミリー・サポート・センター、緊急サポートセンター	3 (100.0)	1 (33.3)	2 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
図書館でのおはなし会	22 (100.0)	7 (31.8)	6 (27.3)	7 (31.8)	0 (0.0)	1 (4.5)	1 (4.5)
教育相談	14 (100.0)	4 (28.6)	5 (35.7)	4 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.1)

第4節 母親の就労状況

1-4-1 現在の就労状況（問15）

問15 母親の就労状況は次のどれですか。

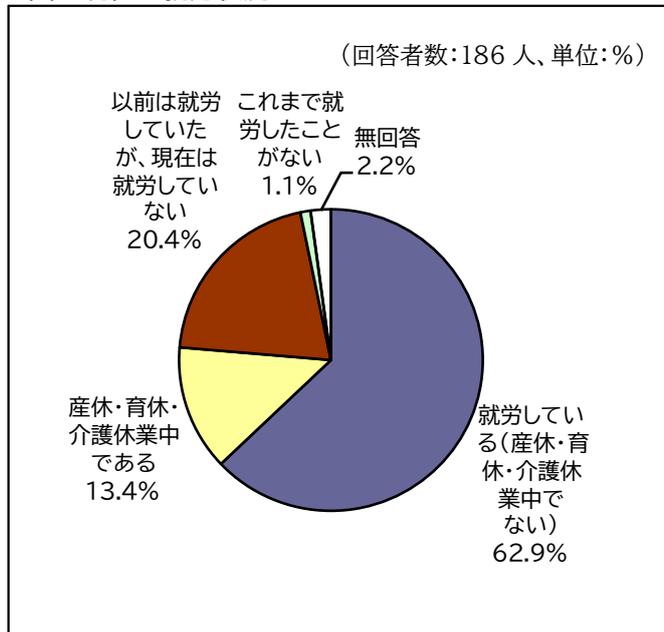
「就労している」が62.9%、

母親の現在の就労状況については、「就労している（産休・育休・介護休業中でない）」が62.9%、「産休・育休・介護休業中である」が13.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.4%となっています。

表 現在の就労状況

区分	人 (%)
回答者総数	186 (100.0)
就労している(産休・育休・介護休業中でない)	117 (62.9)
産休・育休・介護休業中である	25 (13.4)
以前は就労していたが、現在は就労していない	38 (20.4)
これまで就労したことがない	2 (1.1)
無回答	4 (2.2)

図 現在の就労状況



1-4-2 現在の就労形態（問15-1）

問15-1 あなたの就労形態は、フルタイム（週5日・1日8時間程度）ですか、パート・アルバイトですか。

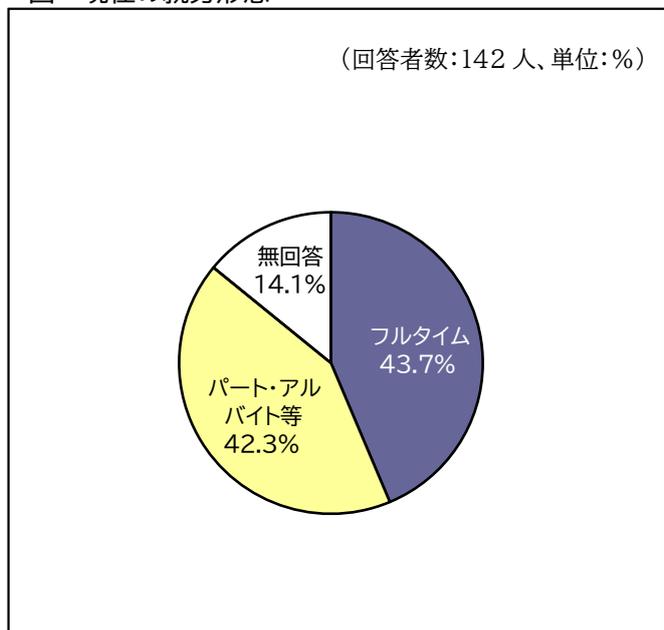
「フルタイム」が43.7%

母親の現在の就労形態については、「フルタイム」が43.7%、「パート・アルバイト等」が42.3%（60人）となっています。

表 現在の就労形態

区分	人 (%)
回答者総数	142 (100.0)
フルタイム	62 (43.7)
パート・アルバイト等	60 (42.3)
無回答	20 (14.1)

図 現在の就労形態



1-4-3 フルタイムへの転換希望（問 15-1 付問）

フルタイムへの転換希望は

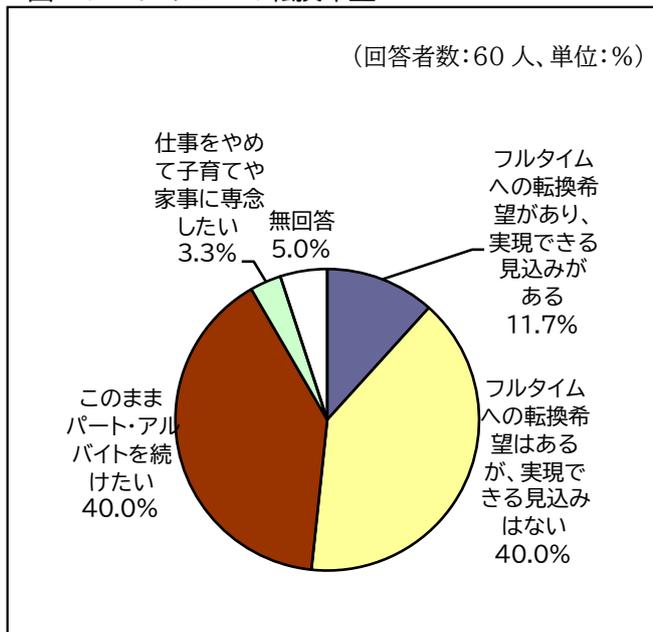
「希望があり、実現できる」は11.7%

現在の就労形態において「パート・アルバイト等」と回答した60人に対し、フルタイムへの転換希望について聞いたところ、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が11.7%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が40.0%となっています。

表 フルタイムへの転換希望

区 分	人 (%)
回答者総数	60 (100.0)
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	7 (11.7)
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	24 (40.0)
このままパート・アルバイトを続けたい	24 (40.0)
仕事をやめて子育てや家事に専念したい	2 (3.3)
無回答	3 (5.0)

図 フルタイムへの転換希望



1-4-4 就労日数及び就労時間（問 15-2）

問 15-2 あなたの平均的な週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」はどれくらいですか。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) 週当たり就労日数

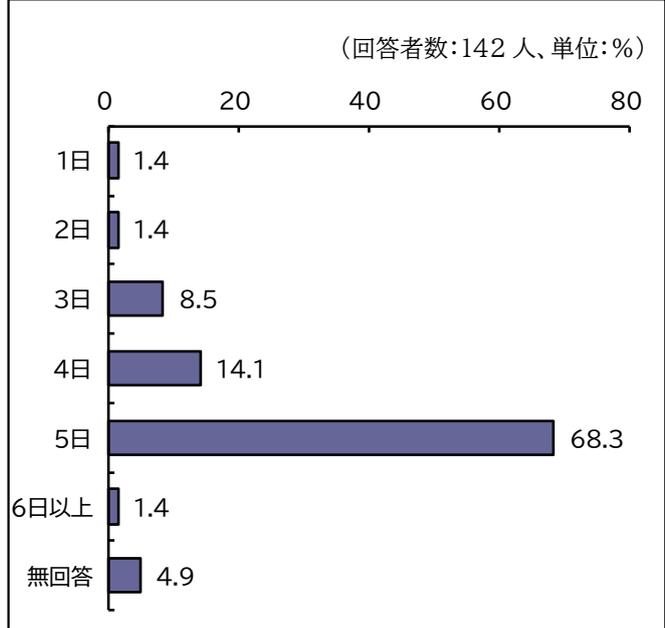
「5日」が最も多い

母親の週当たり就労日数については、「5日」が68.3%で最も多く、次いで「4日」が14.1%、「3日」が8.5%で続いています。

表 週当たり就労日数

区分	人 (%)
回答者総数	142 (100.0)
1日	2 (1.4)
2日	2 (1.4)
3日	12 (8.5)
4日	20 (14.1)
5日	97 (68.3)
6日以上	2 (1.4)
無回答	7 (4.9)

図 週当たり就労日数



(2) 1日当たり就労時間

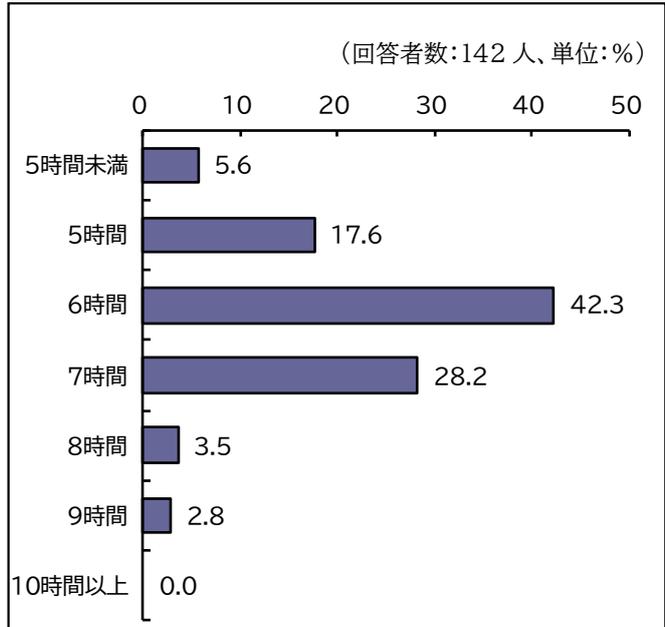
「6時間」が42.3%

母親の1日当たり就労時間については、「6時間」が42.3%で最も多く、次いで「7時間」が28.2%、「5時間」が17.6%で続いています。

表 1日当たり就労時間

区分	人 (%)
回答者総数	142 (100.0)
5時間未満	8 (5.6)
5時間	25 (17.6)
6時間	60 (42.3)
7時間	40 (28.2)
8時間	5 (3.5)
9時間	4 (2.8)
10時間以上	0 (0.0)

図 1日当たり就労時間



1-4-5 家を出る時刻と帰宅時刻（問 15-3）

問 15-3 平均的な家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（24 時間制で）

（1）家を出る時刻

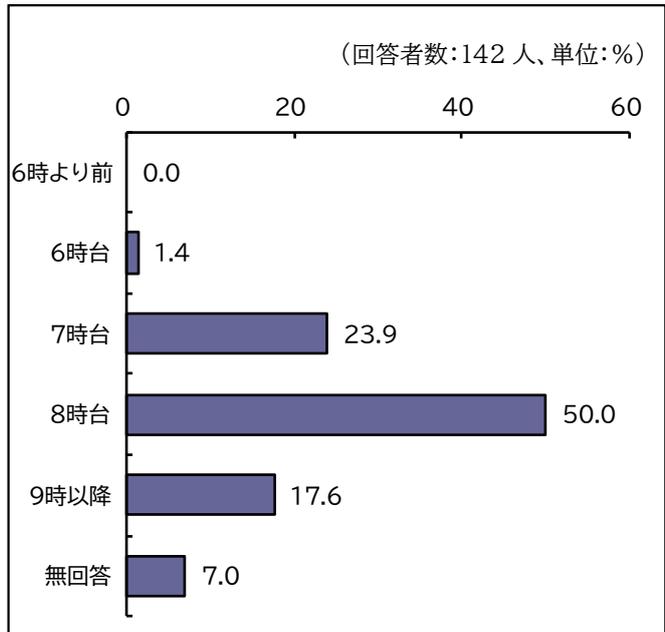
「8 時台」が最も多い

母親の家を出る時刻については、「8 時台」が 50.0%で最も多く、次いで「7 時台」が 23.9%、「9 時以降」が 17.6%で続いています。

表 家を出る時刻

区分	人 (%)
回答者総数	142 (100.0)
6 時より前	0 (0.0)
6 時	2 (1.4)
7 時	34 (23.9)
8 時	71 (50.0)
9 時以降	25 (17.6)
無回答	10 (7.0)

図 家を出る時刻



（2）帰宅時刻

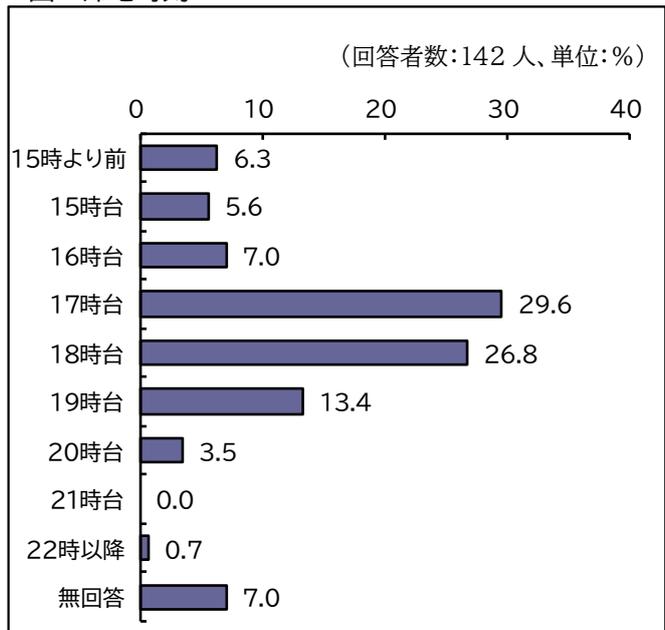
「17 時台」が最も多い

母親の帰宅時刻については、「17 時台」が 29.6%で最も多く、次いで「18 時台」が 26.8%、「19 時台」が 13.4%で続いています。

表 帰宅時刻

区分	人 (%)
回答者総数	142 (100.0)
15 時より前	9 (6.3)
15 時	8 (5.6)
16 時	10 (7.0)
17 時	42 (29.6)
18 時	38 (26.8)
19 時	19 (13.4)
20 時	5 (3.5)
21 時	0 (0.0)
22 時以降	1 (0.7)
無回答	10 (7.0)

図 帰宅時刻



1-4-6 働いていない人の就労希望（問15-4）

問15-4 問15で「3」、「4」（現在は就労していない）に○をつけた方うかがいます。就労したいという希望はありますか。

（1）働いていない人の就労希望

「1年より先」が50.0%

現在の就労状況において「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない働いていない」と回答した40人に対し、就労希望について聞いたところ、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が35.0%（14人）、「1年より先」が50.0%（20人）、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が12.5%となっています。

図 働いていない人の就労希望

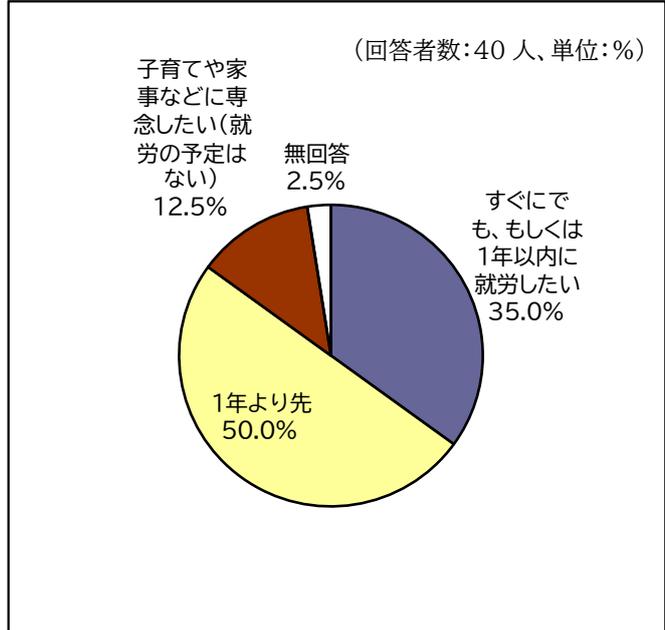


表 働いていない人の就労希望

区分	人 (%)
回答者総数	40 (100.0)
すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	14 (35.0)
1年より先	20 (50.0)
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	5 (12.5)
無回答	1 (2.5)

（2）1年より先の就労を希望する際の末子の年齢

「3～5歳未満」が65.0%

働いていない母親の就労希望において「1年より先」と回答した50人に対し、就労を希望する際の末子の年齢について聞いたところ、「3歳未満」が5.0%、「3～5歳未満」が65.0%、「5～10歳未満」が15.0%、「10歳以上」が10.0%となっています。

図 1年より先の就労を希望する際の末子の年齢

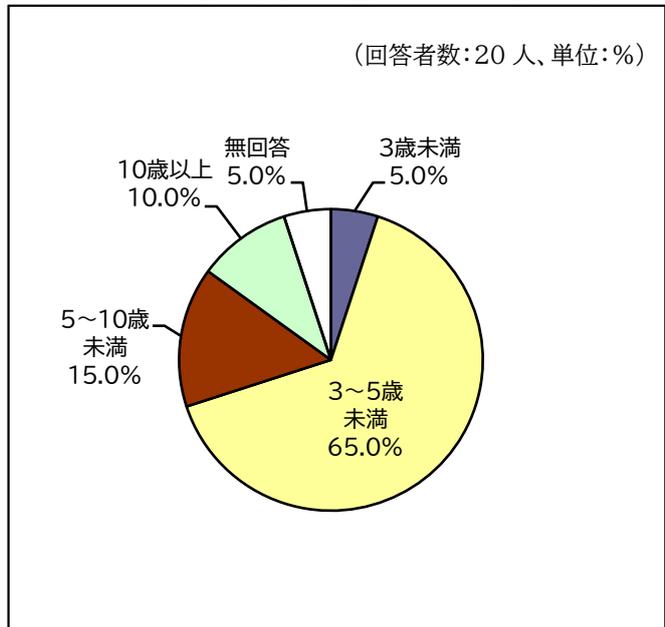


表 1年より先の就労を希望する際の末子の年齢

区分	人 (%)
回答者総数	20 (100.0)
3歳未満	1 (5.0)
3～5歳未満	13 (65.0)
5～10歳未満	3 (15.0)
10歳以上	2 (10.0)
無回答	1 (5.0)

1-4-7 希望する就労形態（問 15-4-1）

問 15-4-1 希望する就労形態は何ですか。

（1）希望する就労形態

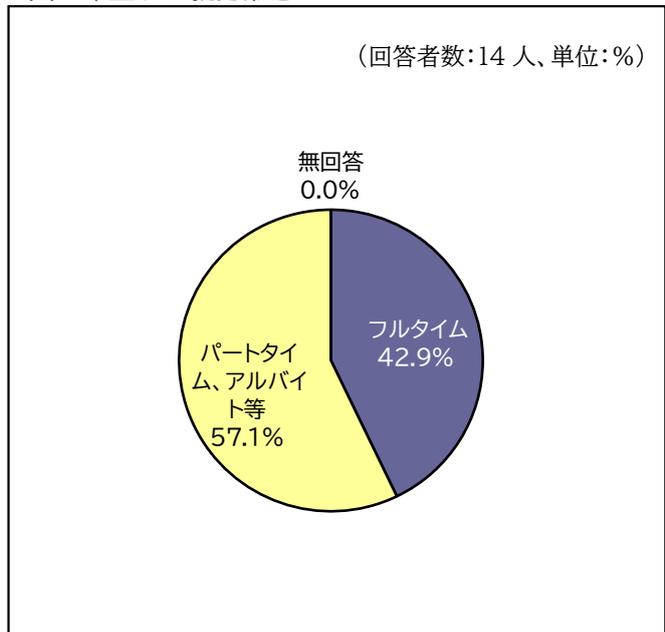
「パートタイム、アルバイト等」が57.1%

働いていない人の就労希望において「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した14人に対し、希望する就労形態について聞いたところ、「フルタイム」が42.9%、「パートタイム、アルバイト等」が57.1%（8人）となっています。

表 希望する就労形態

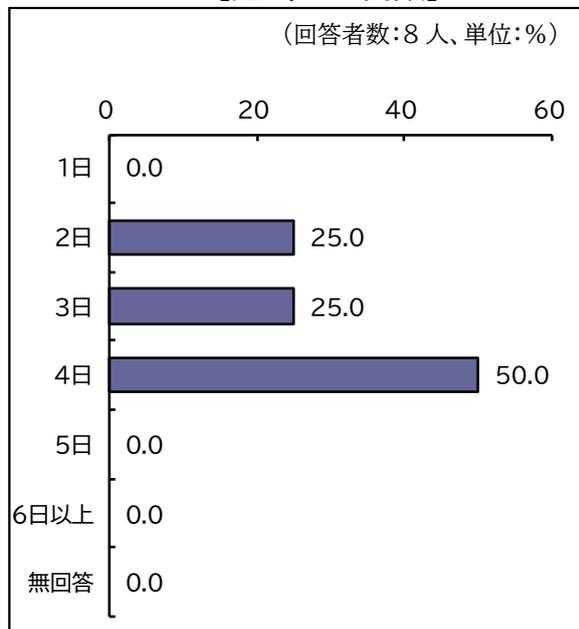
区分	人 (%)
回答者総数	14 (100.0)
フルタイム	6 (42.9)
パートタイム、アルバイト等	8 (57.1)
無回答	0 (0.0)

図 希望する就労形態

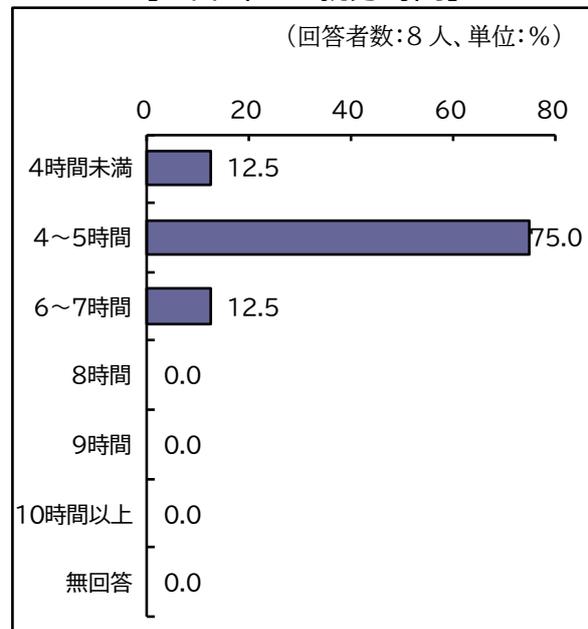


また、「パートタイム、アルバイト等」と回答した8人に対し、週当たり日数及び1日当たり就労時間を聞いたところ、週当たり日数では「4日」、1日当たり就労時間は「4～5時間」が最も多くなっています。

【週当たり日数】



【1日当たり就労時間】



第5節 父親の就労状況

1-5-1 現在の就労状況（問16）

問16 父親の就労状況は次のどれですか。

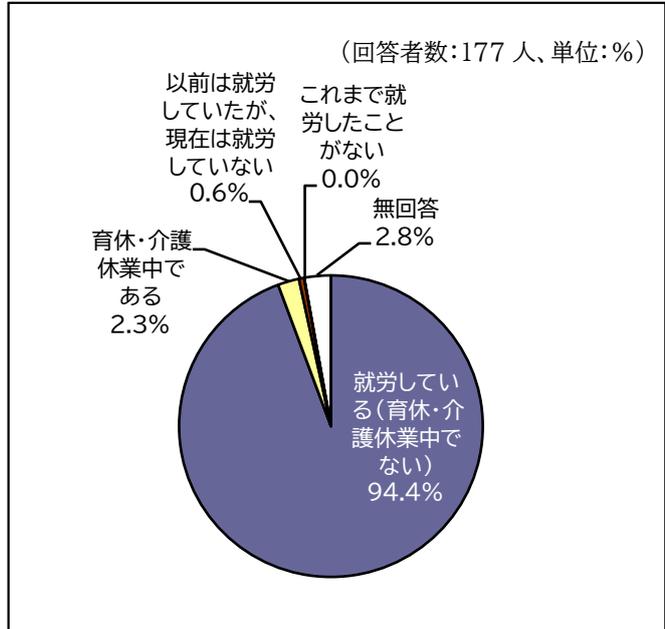
「就労している」が94.4%、

父親の現在の就労状況については、「就労している（育休・介護休業中でない）」が94.4%、「育休・介護休業中である」が2.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.6%となっています。

表 現在の就労状況

区分	人 (%)
回答者総数	177 (100.0)
就労している(育休・介護休業中でない)	167 (94.4)
育休・介護休業中である	4 (2.3)
以前は就労していたが、現在は就労していない	1 (0.6)
これまで就労したことがない	0 (0.0)
無回答	5 (2.8)

図 現在の就労状況



1-5-2 現在の就労形態（問16-1）

問16-1 あなたの就労形態は、フルタイム（週5日・1日8時間程度）ですか、パート・アルバイトですか。

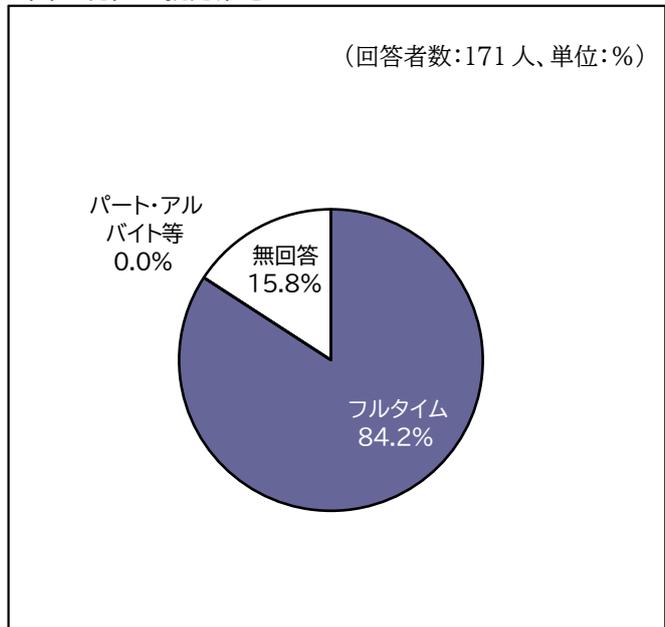
「フルタイム」が84.2%

父親の現在の就労形態については、「フルタイム」が84.2%、「パート・アルバイト等」が0.0%となっています。

表 現在の就労形態

区分	人 (%)
回答者総数	171 (100.0)
フルタイム	144 (84.2)
パート・アルバイト等	0 (0.0)
無回答	27 (15.8)

図 現在の就労形態



なお、「パート・アルバイト等」回答した人のフルタイムへの転換希望（問16-1付問）は、該当者がいないため掲載を省略します。

1-5-3 就労日数及び就労時間（問16-2）

問16-2 あなたの平均的な週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」はどれくらいですか。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) 週当たり就労日数

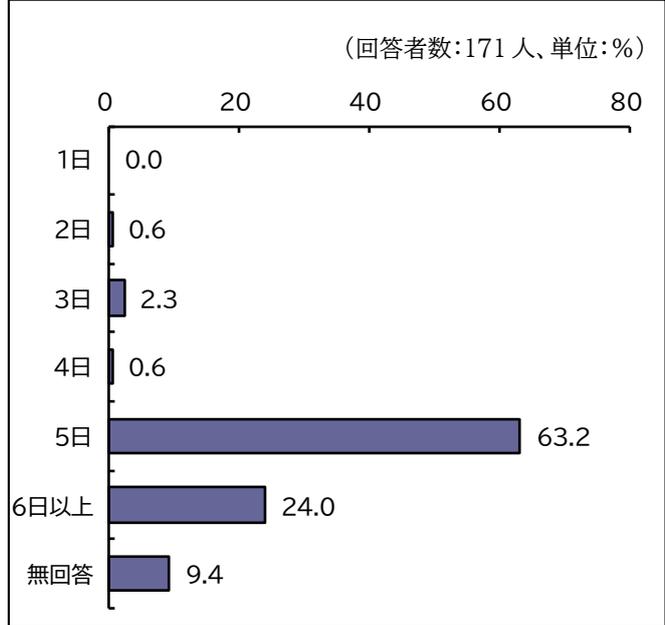
「5日」が最も多い

父親の週当たり就労日数については、「5日」が63.2%で最も多く、次いで「6日以上」が24.0%で続いています。

表 週当たり就労日数

区分	人 (%)
回答者総数	171 (100.0)
1日	0 (0.0)
2日	1 (0.6)
3日	4 (2.3)
4日	1 (0.6)
5日	108 (63.2)
6日以上	41 (24.0)
無回答	16 (9.4)

図 週当たり就労日数



(2) 1日当たり就労時間

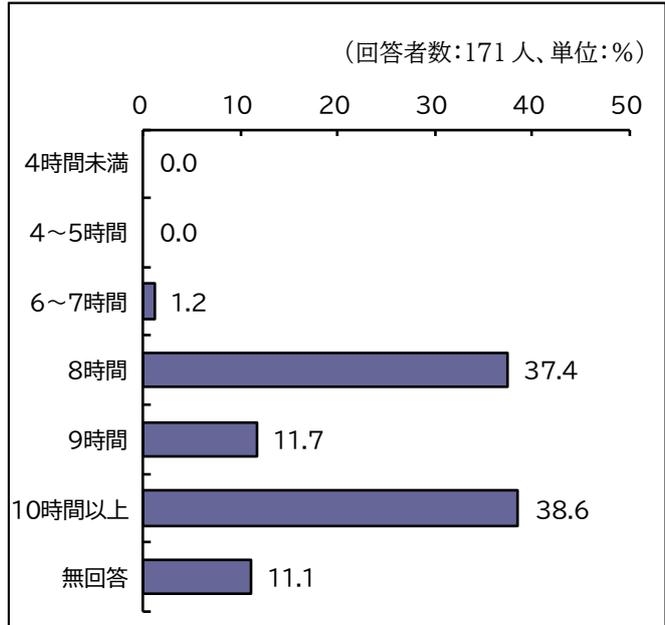
「10時間以上」が最も多い

父親の1日当たり就労時間については、「10時間以上」が38.6%で最も多く、次いで「8時間」が37.4%、「9時間」が11.7%で続いています。

表 1日当たり就労時間

区分	人 (%)
回答者総数	171 (100.0)
4時間未満	0 (0.0)
4~5時間	0 (0.0)
6~7時間	2 (1.2)
8時間	64 (37.4)
9時間	20 (11.7)
10時間以上	66 (38.6)
無回答	19 (11.1)

図 1日当たり就労時間



1-5-4 家を出る時刻と帰宅時刻（問16-3）

問16-3 平均的な家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（24時間制で）

（1）家を出る時刻

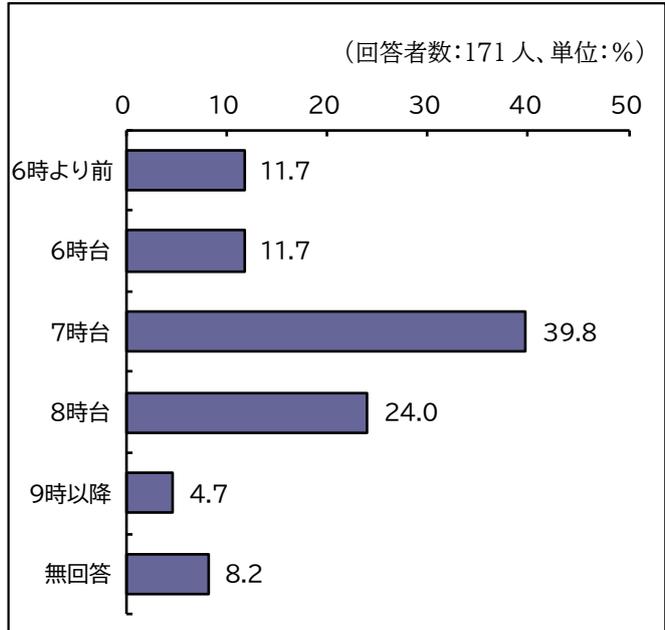
「7時台」が最も多い

父親の家を出る時刻については、「7時台」が39.8%で最も多く、次いで「8時台」が24.0%が続いています。

表 家を出る時刻

区分	人 (%)
回答者総数	171 (100.0)
6時より前	20 (11.7)
6時	20 (11.7)
7時	68 (39.8)
8時	41 (24.0)
9時以降	8 (4.7)
無回答	14 (8.2)

図 家を出る時刻



（2）帰宅時刻

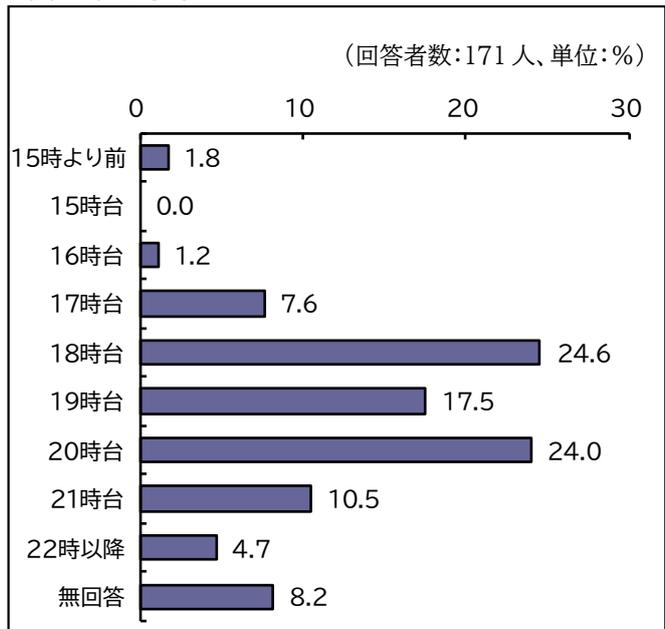
「18時台」が最も多い

父親の帰宅時刻については、「18時台」が24.6%で最も多く、次いで「20時台」が24.0%、「19時台」が17.5%が続いています。

表 帰宅時刻

区分	人 (%)
回答者総数	171 (100.0)
15時より前	3 (1.8)
15時	0 (0.0)
16時	2 (1.2)
17時	13 (7.6)
18時	42 (24.6)
19時	30 (17.5)
20時	41 (24.0)
21時	18 (10.5)
22時以降	8 (4.7)
無回答	14 (8.2)

図 帰宅時刻



なお、次の設問は該当者が少ないため、掲載を省略します。

- 働いていない人の就労希望（問16-4）
- 働いていない人が希望する就労形態（問16-4-1）

第6節 幼稚園・保育園等の定期的な利用状況について

1-6-1 平日の定期的な利用状況（問17）

問17 お子さんは現在、平日に次の場所などを「定期的に」利用されていますか。（いくつでも）

「認可保育所」が最も多い

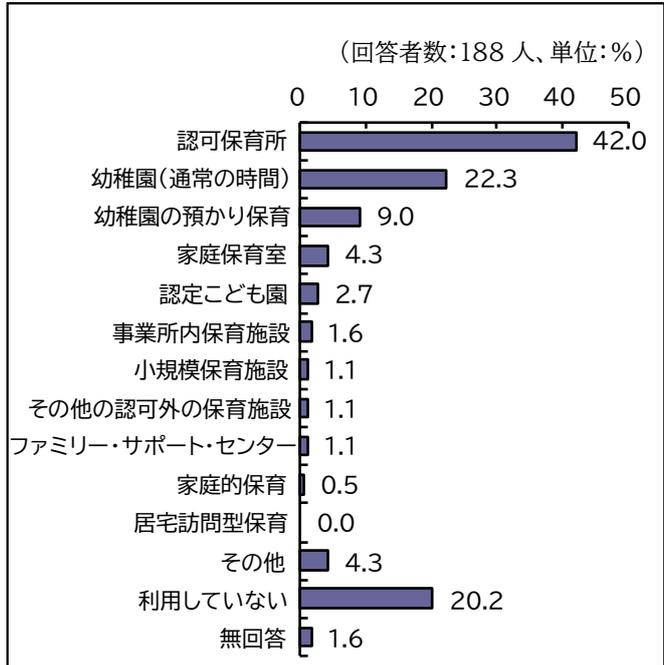
幼稚園・保育園等の平日の定期的な利用状況については、回答者総数から「利用していない」（20.2%）及び無回答（1.6%）を除く78.2%（147人）が“利用している”と回答しています。

その内訳は、「認可保育所」が42.0%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の時間）」が22.3%で続いています。

表 平日の定期的な利用状況（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
認可保育所	79 (42.0)
幼稚園(通常の時間)	42 (22.3)
幼稚園の預かり保育	17 (9.0)
家庭保育室	8 (4.3)
認定こども園	5 (2.7)
事業所内保育施設	3 (1.6)
小規模保育施設	2 (1.1)
その他の認可外の保育施設	2 (1.1)
ファミリー・サポート・センター	2 (1.1)
家庭的保育	1 (0.5)
居宅訪問型保育	0 (0.0)
その他	8 (4.3)
利用していない	38 (20.2)
無回答	3 (1.6)

図 平日の定期的な利用状況（複数回答）



1-6-2 現在の利用状況と今後の利用希望（問17-1）

問17-1 現在、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在の利用状況

①現在の週当たり利用日数

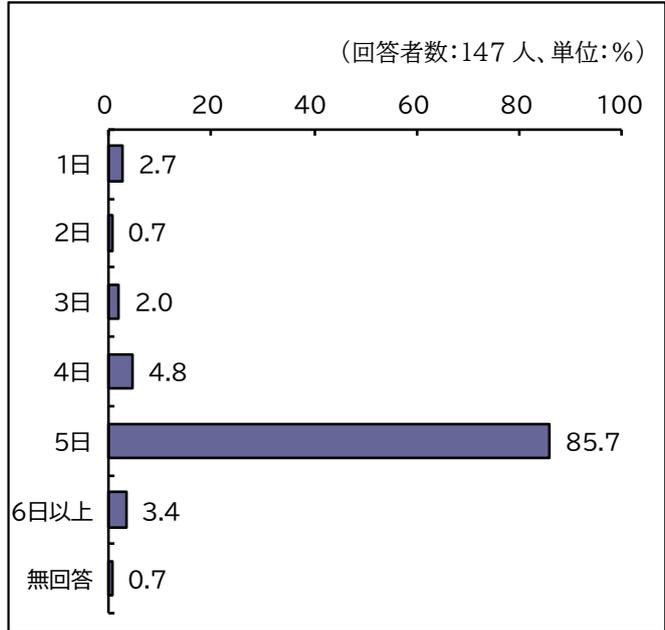
「5日」が85.7%

幼稚園・保育園等の平日の定期的な利用をしていると回答した147人に対し、現在の週当たり利用日数について聞いたところ、「5日」が85.7%で最も多くなっています。

表 現在の週当たり利用日数

区分	人 (%)
回答者総数	147 (100.0)
1日	4 (2.7)
2日	1 (0.7)
3日	3 (2.0)
4日	7 (4.8)
5日	126 (85.7)
6日以上	5 (3.4)
無回答	1 (0.7)

図 現在の週当たり利用日数



②現在の1日当たり利用時間

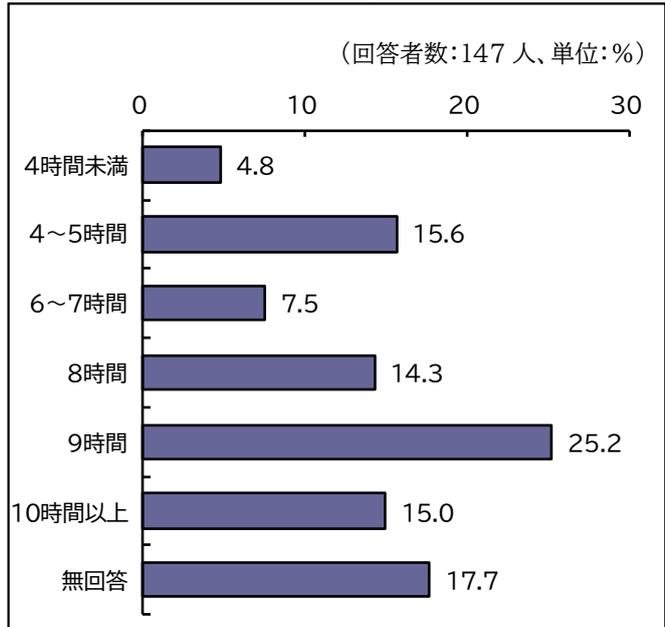
「9時間」が最も多い

現在の1日当たり利用時間については、「9時間」が25.2%で最も多く、次いで「4~5時間」が15.6%、「10時間以上」が15.0%で続いています。

表 現在の1日当たり利用時間

区分	人 (%)
回答者総数	147 (100.0)
4時間未満	7 (4.8)
4~5時間	23 (15.6)
6~7時間	11 (7.5)
8時間	21 (14.3)
9時間	37 (25.2)
10時間以上	22 (15.0)
無回答	26 (17.7)

図 現在の1日当たり利用時間



③現在の利用開始時刻

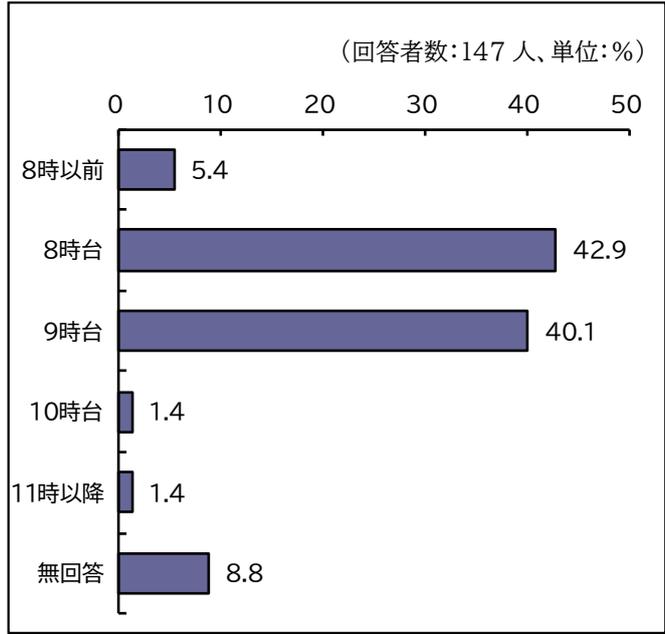
「8時台」、「9時台」が多くみられる

現在の利用開始時刻については、「8時台」が42.9%で最も多く、次いで「9時台」が40.1%、「8時以前」が5.4%で続いています。

表 現在の利用開始時刻

区分	人 (%)
回答者総数	147 (100.0)
8時以前	8 (5.4)
8時	63 (42.9)
9時	59 (40.1)
10時	2 (1.4)
11時以降	2 (1.4)
無回答	13 (8.8)

図 現在の利用開始時刻



④現在の利用終了時刻

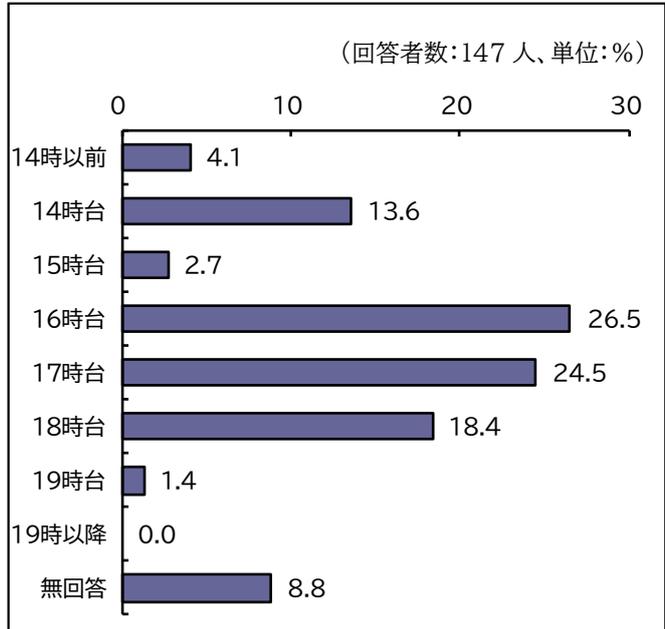
「16時台」が最も多い

現在の利用終了時刻については、「16時台」が26.5%で最も多く、次いで「17時台」が24.5%、「18時台」が18.4%で続いています。

表 現在の利用終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	147 (100.0)
14時以前	6 (4.1)
14時	20 (13.6)
15時	4 (2.7)
16時	39 (26.5)
17時	36 (24.5)
18時	27 (18.4)
19時	2 (1.4)
19時以降	0 (0.0)
無回答	13 (8.8)

図 現在の利用終了時刻



(2) 希望する利用状況

①希望する週当たり利用日数

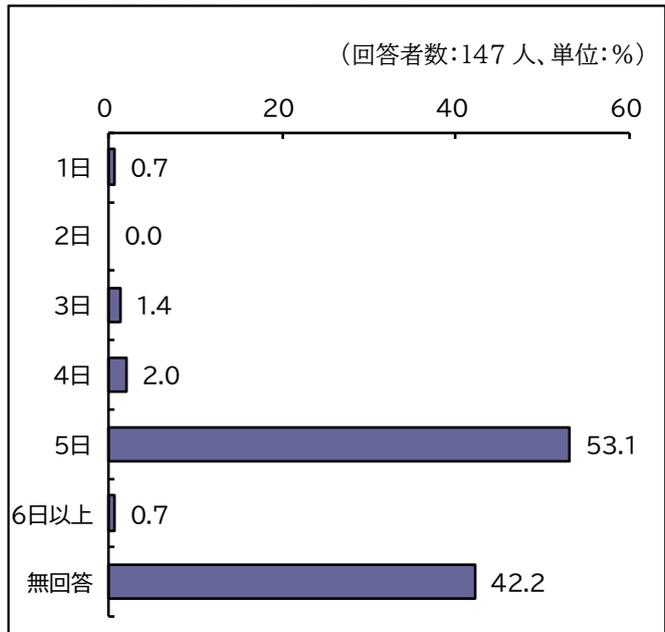
「5日」が最も多い

希望する週当たり利用日数については、「5日」が53.1%で最も多くなっています。

表 希望する週当たり利用日数

区分	人 (%)
回答者総数	147 (100.0)
1日	1 (0.7)
2日	0 (0.0)
3日	2 (1.4)
4日	3 (2.0)
5日	78 (53.1)
6日以上	1 (0.7)
無回答	62 (42.2)

図 希望する週当たり利用日数



②希望する1日当たり利用時間

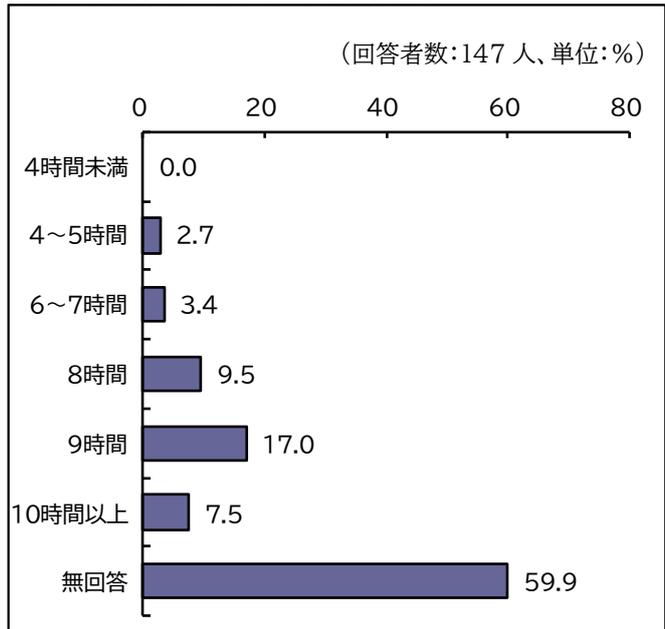
「9時間」が最も多い

希望する1日当たり利用時間については、「9時間」が17.0%で最も多く、次いで「8時間」が9.5%が続いています。

表 希望する1日当たり利用時間

区分	人 (%)
回答者総数	147 (100.0)
4時間未満	0 (0.0)
4~5時間	4 (2.7)
6~7時間	5 (3.4)
8時間	14 (9.5)
9時間	25 (17.0)
10時間以上	11 (7.5)
無回答	88 (59.9)

図 希望する1日当たり利用時間



③希望する利用開始時刻

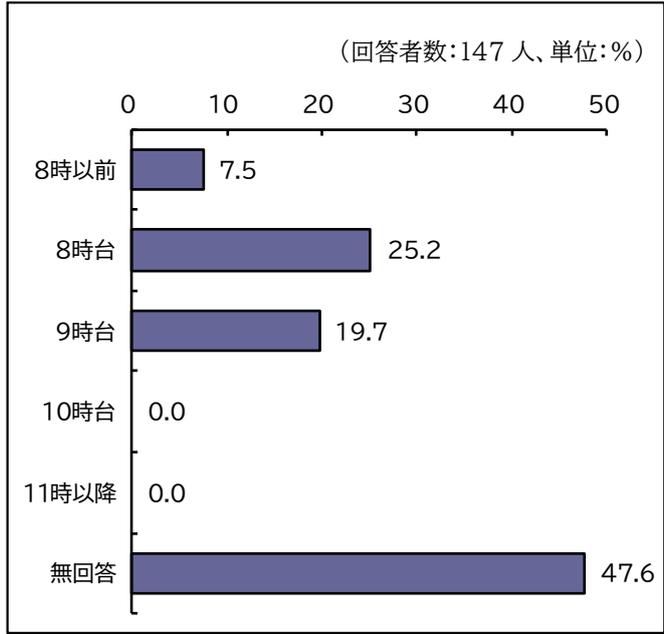
「8時台」が最も多い

希望する利用開始時刻については、「8時以前」が7.5%、「8時台」が25.2%、「9時台」が19.7%となっています。

表 希望する利用開始時刻

区分	人 (%)
回答者総数	147 (100.0)
8時以前	11 (7.5)
8時	37 (25.2)
9時	29 (19.7)
10時	0 (0.0)
11時以降	0 (0.0)
無回答	70 (47.6)

図 希望する利用開始時刻



④希望する利用終了時刻

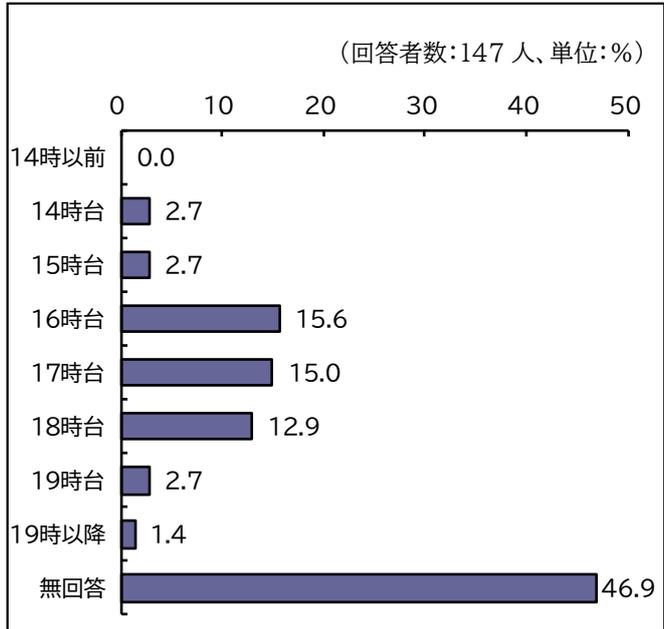
「16時台」が最も多い

希望する利用終了時刻については、「16時台」が15.6%で最も多く、次いで「17時台」が15.0%、「18時台」が12.9%で続いています。

表 希望する利用終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	147 (100.0)
14時以前	0 (0.0)
14時	4 (2.7)
15時	4 (2.7)
16時	23 (15.6)
17時	22 (15.0)
18時	19 (12.9)
19時	4 (2.7)
19時以降	2 (1.4)
無回答	69 (46.9)

図 希望する利用終了時刻



1-6-3 利用している場所（問17-3）

問17-2 場所はどこですか。

「越生町」が86.4%

現在、利用している場所については、「越生町」が86.4%、「他の市町村」が12.9%となっています。

図 利用している場所

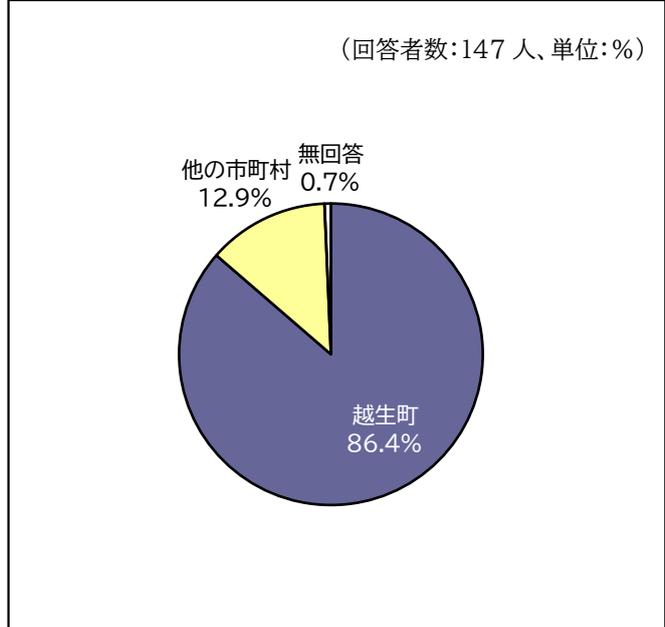


表 利用している場所

区分	人 (%)
回答者総数	147 (100.0)
越生町	127 (86.4)
他の市町村	19 (12.9)
無回答	1 (0.7)

1-6-4 利用している理由（問17-3）

問17-3 利用している理由についてうかがいます。(いくつでも)

「就労しているため」が最も多い

定期的に平日の幼稚園・保育園等を利用している理由については、「子育てをしている方が現在就労しているため」が76.9%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が57.1%で続いています。

図 利用している理由（複数回答）

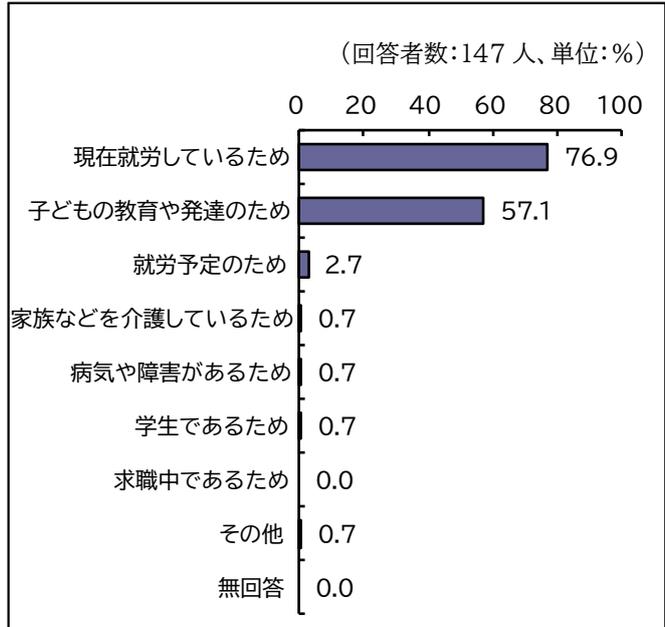


表 利用している理由（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	147 (100.0)
子育てをしている方が現在就労しているため	113 (76.9)
子どもの教育や発達のため	84 (57.1)
子育てをしている方が就労予定のため	4 (2.7)
子育てをしている方が家族・親族などを介護しているため	1 (0.7)
子育てをしている方に病気や障害があるため	1 (0.7)
子育てをしている方が学生であるため	1 (0.7)
子育てをしている方が求職中であるため	0 (0.0)
その他	1 (0.7)
無回答	0 (0.0)

1-6-5 利用していない理由（問 17-4）

問 17-4 問 17 で「13. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。定期的に平日の幼稚園・保育園等を利用していないのはなぜですか。（いくつでも）

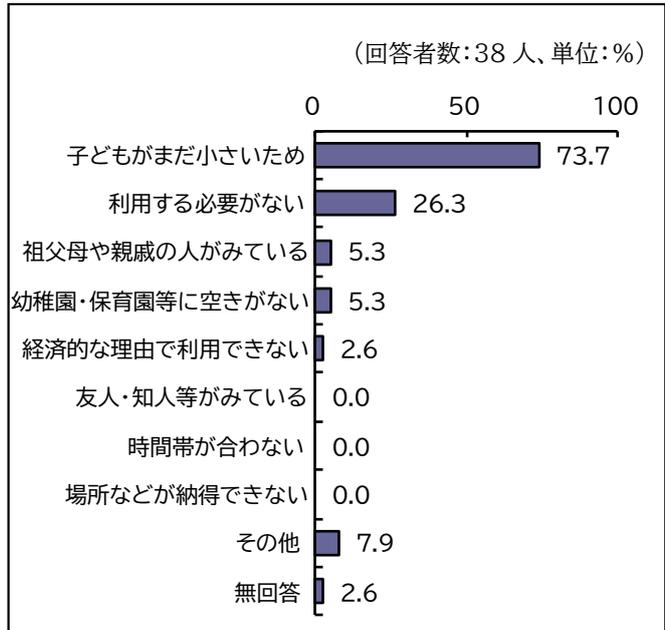
「子どもがまだ小さいため」が最も多い

幼稚園・保育園等の平日の定期的な利用状況において「利用していない」と回答した 38 人に対し、その理由について聞いたところ、「子どもがまだ小さいため」が 73.7%で最も多く、次いで「利用する必要がない（母親か父親が就労していない等）」が 26.3%で続いています。

表 利用していない理由（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	38 (100.0)
子どもがまだ小さいため	28 (73.7)
利用する必要がない(母親か父親が就労していない等)	10 (26.3)
祖父母や親戚の人がみている	2 (5.3)
利用したいが、幼稚園・保育園等に空きがない	2 (5.3)
利用したいが、経済的な理由で利用できない	1 (2.6)
近所の人や父母の友人・知人がみている	0 (0.0)
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	0 (0.0)

図 利用していない理由（複数回答）



区分	人 (%)
利用したいが、質や場所などが納得できない	0 (0.0)
その他	3 (7.9)
無回答	1 (2.6)

1-6-6 利用を希望する子どもの年齢（問 17-4-1）

問 17-4-1 子どもが何歳になったら利用しようと考えていますか。

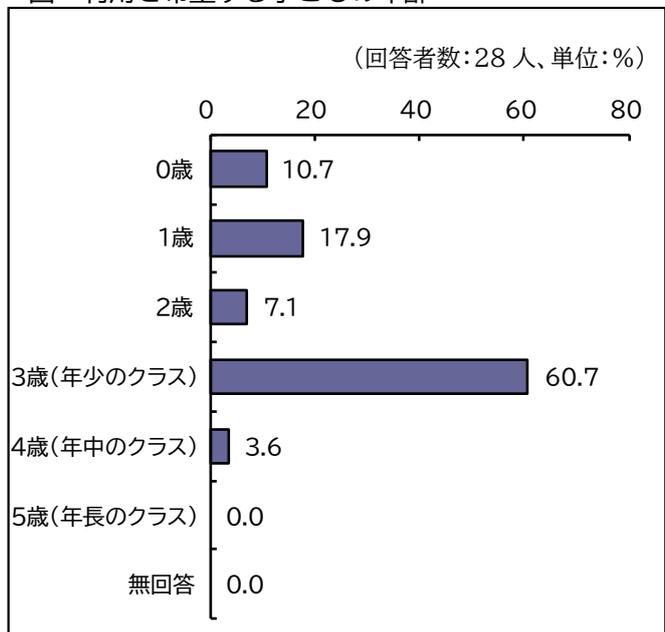
「3歳」が最も多い

利用していない理由において「子どもがまだ小さいため」と回答した 28 人に対し、利用を希望する子どもの年齢について聞いたところ、「3歳（年少のクラス）」が 60.7%で最も多くなっています。

表 利用を希望する子どもの年齢

区分	人 (%)
回答者総数	28 (100.0)
0歳	3 (10.7)
1歳	5 (17.9)
2歳	2 (7.1)
3歳(年少のクラス)	17 (60.7)
4歳(年中のクラス)	1 (3.6)
5歳(年長のクラス)	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 利用を希望する子どもの年齢



第7節 「こども誰でも通園制度」について

1-7-1 「こども誰でも通園制度」の利用希望（問18）

問18 3歳児未満のお子さんのいる保護者（問2で4～7を選択した方）にうかがいます。国が検討している「こども誰でも通園制度」が創設された場合、どのように利用したいと思いますか。

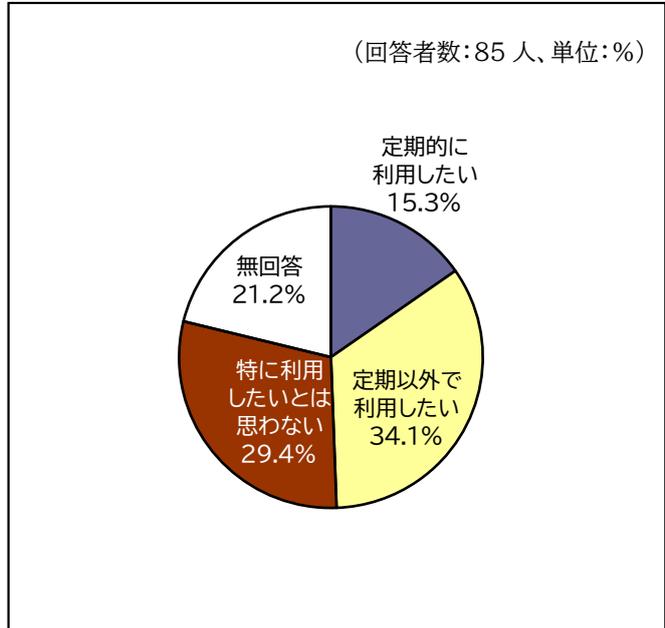
「定期的に利用したい」は15.3%

3歳児未満のお子さんのいる保護者85人に対し、「こども誰でも通園制度」の利用希望について聞いたところ、「定期的に利用したい」が15.3%（13人）、「定期以外で利用したい」が34.1%、「特に利用したいとは思わない」が29.4%となっています。

表 「こども誰でも通園制度」の利用希望

区分	人 (%)
回答者総数	85 (100.0)
定期的に利用したい	13 (15.3)
定期以外で利用したい	29 (34.1)
特に利用したいとは思わない	25 (29.4)
無回答	18 (21.2)

図 「こども誰でも通園制度」の利用希望



1-7-2 定期利用希望者における子どもの年齢と希望する利用開始年齢（問18-1）

問18-1 お子さんの生年月と利用開始を希望するお子さんの年齢にお答えください

(1) 現在の子どもの年齢

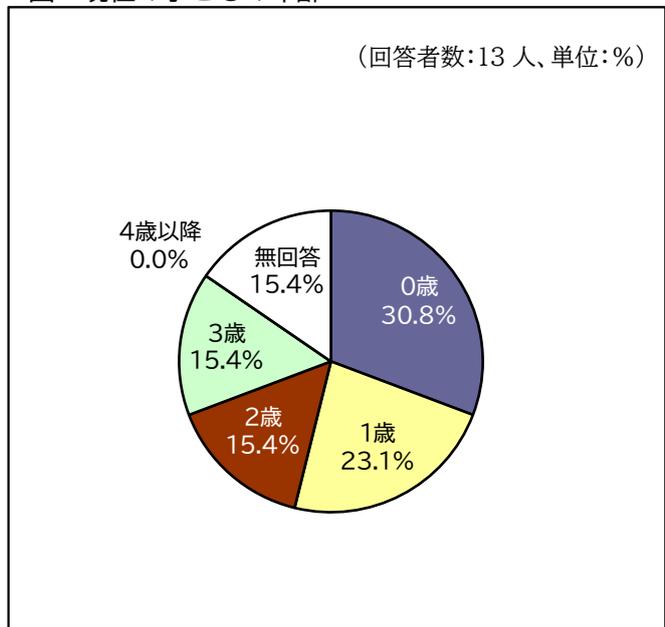
「0歳」が最も多い

「こども誰でも通園制度」を「定期的に利用したい」と回答した13人に対し、現在の子どもの年齢について聞いたところ、「0歳」が30.8%、「1歳」が23.1%、「2歳」が15.4%、「3歳」が15.4%となっています。

表 現在の子どもの年齢

区分	人 (%)
回答者総数	13 (100.0)
0歳	4 (30.8)
1歳	3 (23.1)
2歳	2 (15.4)
3歳	2 (15.4)
4歳以降	0 (0.0)
無回答	2 (15.4)

図 現在の子どもの年齢



(2) 希望する利用開始年齢

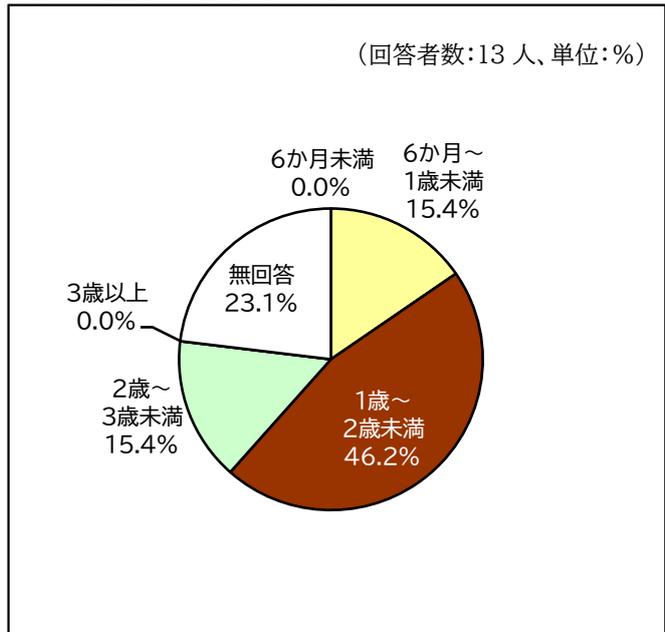
「1歳～2歳未満」が46.2%

希望する利用開始年齢については、「6か月未満」が0.0%、「6か月～1歳未満」が15.4%、「1歳～2歳未満」が46.2%、「2歳～3歳未満」が15.4%となっています。

表 希望する利用開始年齢

区分	人 (%)
回答者総数	13 (100.0)
6か月未満	0 (0.0)
6か月～1歳未満	2 (15.4)
1歳～2歳未満	6 (46.2)
2歳～3歳未満	2 (15.4)
3歳以上	0 (0.0)
無回答	3 (23.1)

図 希望する利用開始年齢



1-7-3 利用したい頻度や時間 (問 18-2)

問 18-2 利用したい頻度や時間についてお答えください

(1) 利用したい週当たり回数

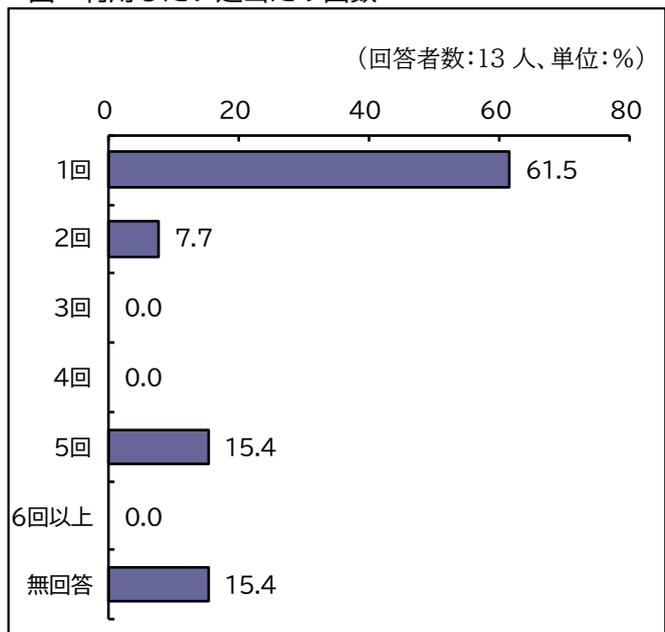
「1回」が61.5%

利用したい週当たり回数については、「1回」が61.5%で最も多くなっています。

表 利用したい週当たり回数

区分	人 (%)
回答者総数	13 (100.0)
1回	8 (61.5)
2回	1 (7.7)
3回	0 (0.0)
4回	0 (0.0)
5回	2 (15.4)
6回以上	0 (0.0)
無回答	2 (15.4)

図 利用したい週当たり回数



(2) 利用したい1回当たり時間

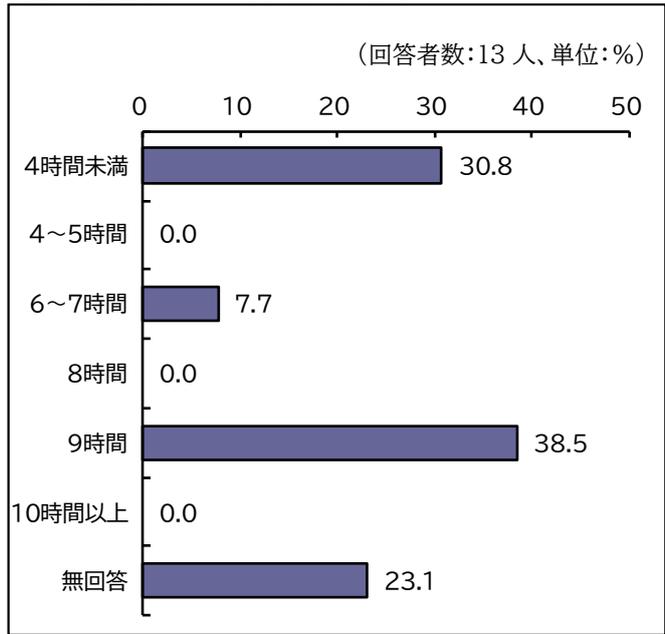
「9時間」が最も多い

利用したい1回当たり時間については、「9時間」が38.5%で最も多く、「4時間未満」が30.8%が続いています。

表 利用したい1回当たり時間

区分	人 (%)
回答者総数	13 (100.0)
4時間未満	4 (30.8)
4~5時間	0 (0.0)
6~7時間	1 (7.7)
8時間	0 (0.0)
9時間	5 (38.5)
10時間以上	0 (0.0)
無回答	3 (23.1)

図 利用したい1回当たり時間



(3) 利用したい開始時刻

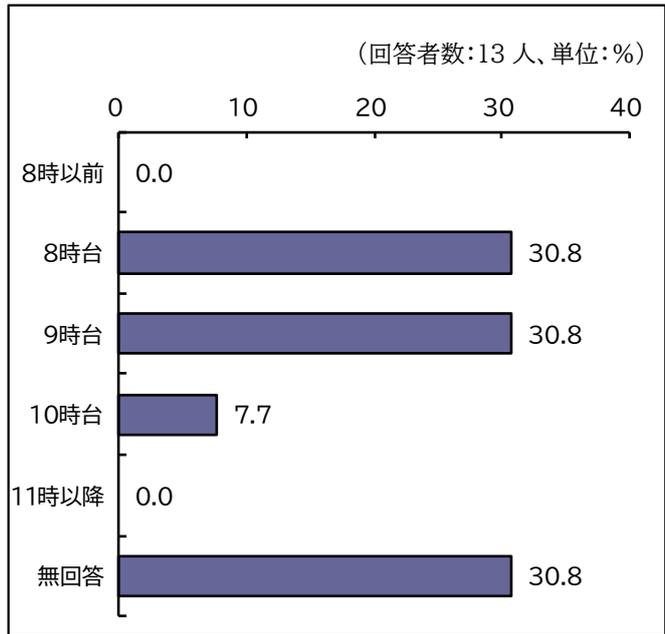
「8時台」及び「9時台」が30.8%

利用したい開始時刻については、「8時台」及び「9時台」が30.8%、「10時台」が7.7%となっています。

表 利用したい開始時刻

区分	人 (%)
回答者総数	13 (100.0)
8時以前	0 (0.0)
8時	4 (30.8)
9時	4 (30.8)
10時	1 (7.7)
11時以降	0 (0.0)
無回答	4 (30.8)

図 利用したい開始時刻



(4) 利用したい終了時刻

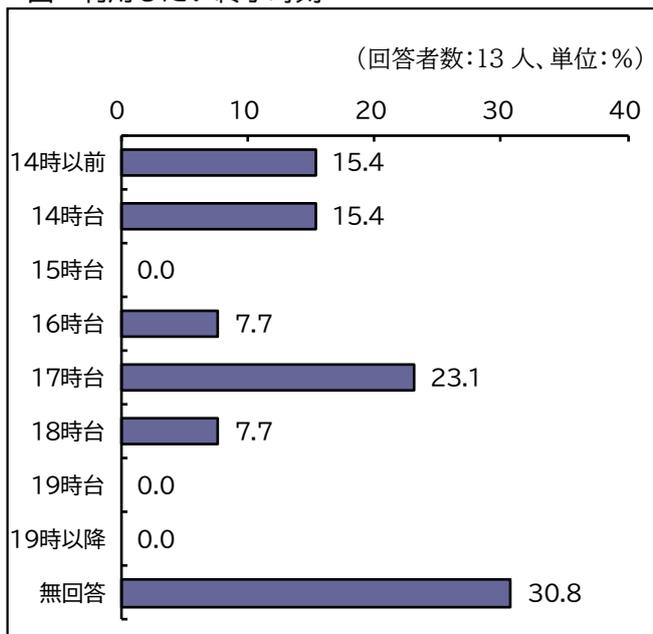
「17時台」が最も多い

利用したい終了時刻については、「17時台」が23.1%で最も多く、次いで「14時以前」及び「14時台」がともに15.4%で続いています。

表 利用したい終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	13 (100.0)
14時以前	2 (15.4)
14時	2 (15.4)
15時	0 (0.0)
16時	1 (7.7)
17時	3 (23.1)
18時	1 (7.7)
19時	0 (0.0)
19時以降	0 (0.0)
無回答	4 (30.8)

図 利用したい終了時刻



第8節 幼稚園・保育園等の今後の利用意向

1-8-1 幼稚園・保育園等の今後の利用意向（問19）

問19 すべての方に、今後の利用意向についてうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんが平日、「定期的に」利用したいと考えるものをお答えください（いくつでも）。

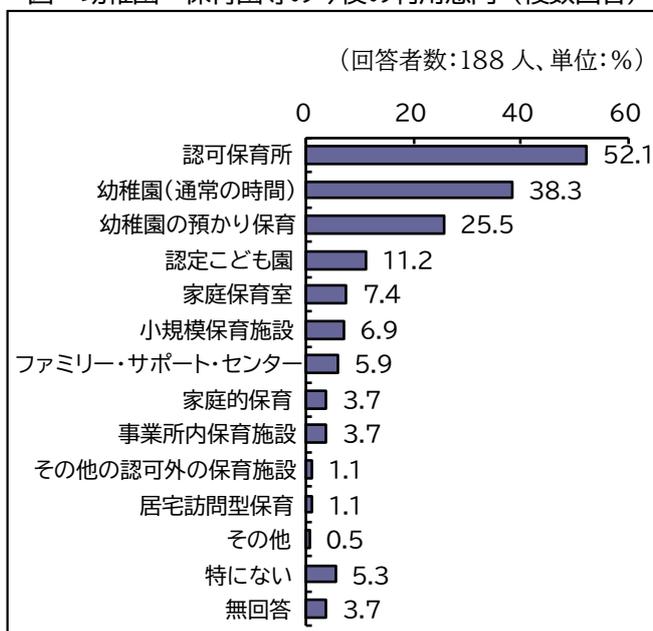
「認可保育所」が最も多い

幼稚園・保育園等の今後の利用意向については、「認可保育所」が52.1%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の時間）」が38.3%、「幼稚園の預かり保育」が25.5%で続いています。

表 幼稚園・保育園等の今後の利用意向（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
認可保育所	98 (52.1)
幼稚園(通常の時間)	72 (38.3)
幼稚園の預かり保育	48 (25.5)
認定こども園	21 (11.2)
家庭保育室	14 (7.4)
小規模保育施設	13 (6.9)
ファミリー・サポート・センター	11 (5.9)
家庭的保育	7 (3.7)
事業所内保育施設	7 (3.7)
その他の認可外の保育施設	2 (1.1)
居宅訪問型保育	2 (1.1)

図 幼稚園・保育園等の今後の利用意向（複数回答）



区分	人 (%)
その他	1 (0.5)
特になし	10 (5.3)
無回答	7 (3.7)

1-8-2 利用を希望する場所（問19-1）

問19-1 どこで利用したいですか。

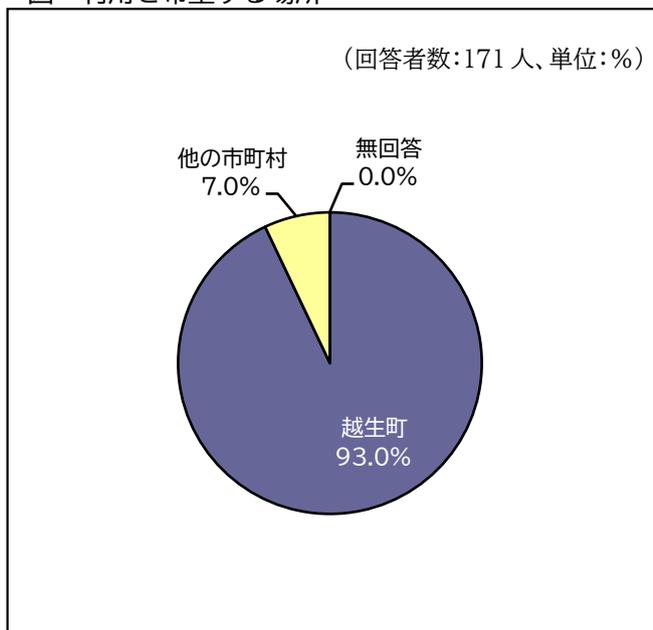
「越生町」が93.0%

利用を希望する場所については、「越生町」が93.0%、「他の市町村」が7.0%となっています。

表 利用を希望する場所

区分	人 (%)
回答者総数	171 (100.0)
越生町	159 (93.0)
他の市町村	12 (7.0)
無回答	0 (0.0)

図 利用を希望する場所



1-8-3 利用したい理由 (19-2)

問 19-2 利用したい理由は何ですか。(いくつでも)

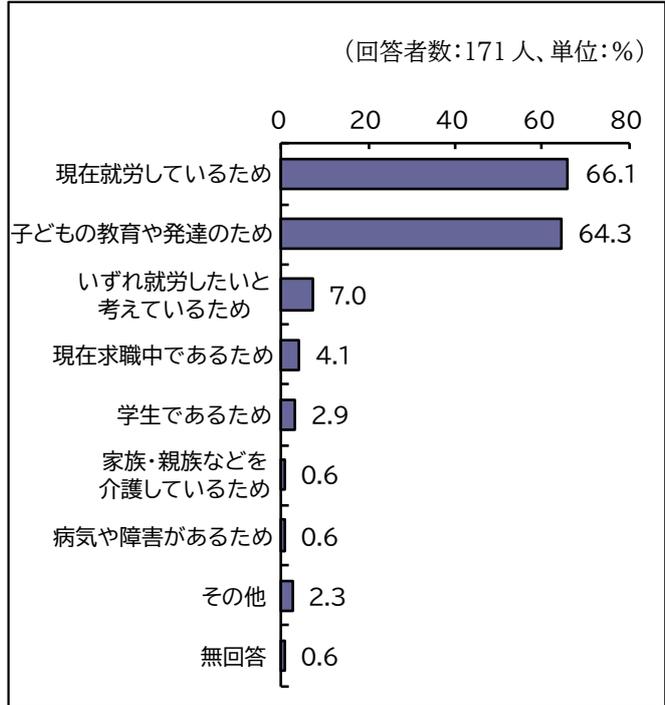
「就労している」、「教育のため」が多くみられる

利用したい理由については、「子育てをしている方が現在就労しているため」が66.1%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が64.3%が続いています。

表 利用したい理由 (複数回答)

区 分	人 (%)
回答者総数	171 (100.0)
子育てをしている方が現在就労しているため	113 (66.1)
子どもの教育や発達のため	110 (64.3)
子育てをしている方がいずれ就労したいと考えているため	12 (7.0)
子育てをしている方が現在求職中であるため	7 (4.1)
子育てをしている方が学生であるため	5 (2.9)
子育てをしている方が家族・親族などを介護しているため	1 (0.6)
子育てをしている方に病気や障害があるため	1 (0.6)
その他	4 (2.3)
無回答	1 (0.6)

図 利用したい理由 (複数回答)



1-8-4 幼稚園と保育サービス併用者における幼稚園の利用希望 (問 19-3)

問 19-3 問 19 で「1. 幼稚園 (通常の時間)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3から12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園 (幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む) の利用を強く希望しますか。

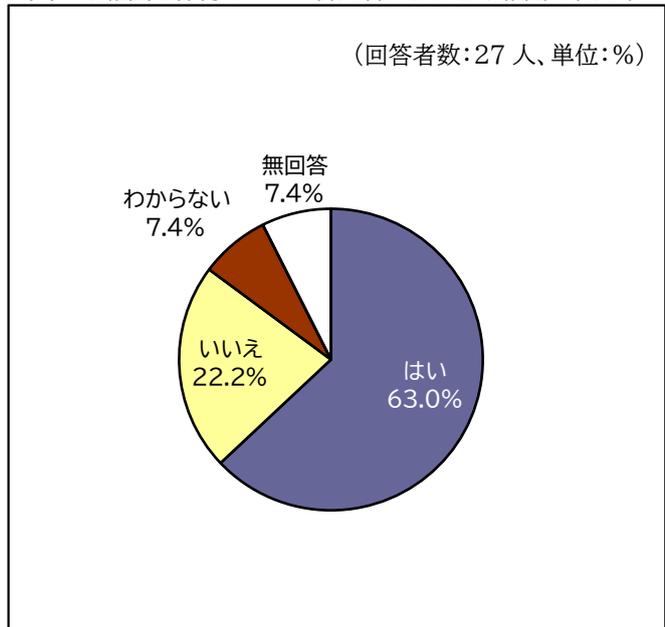
「はい」が63.0%

現在、幼稚園と保育サービスを併用している人 (27 人) に対し、特に幼稚園の利用を強く希望するかについて聞いたところ、「はい」が63.0%、「いいえ」が22.2%、「わからない」が7.4%となっています。

表 幼稚園と保育サービス併用者における幼稚園の利用希望

区 分	人 (%)
回答者総数	27 (100.0)
はい	17 (63.0)
いいえ	6 (22.2)
わからない	2 (7.4)
無回答	2 (7.4)

図 幼稚園と保育サービス併用者における幼稚園の利用希望



第9節 土曜・休日や長期休暇中の利用希望

1-9-1 幼稚園・保育園等の土曜・休日の利用希望（問20）

問20 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園や保育園などを「定期的に」利用したいと思えますか（一時的な利用は除きます）。なお、利用には一定の料金がかかります。

(1) 土曜日の利用希望

① 利用希望の有無

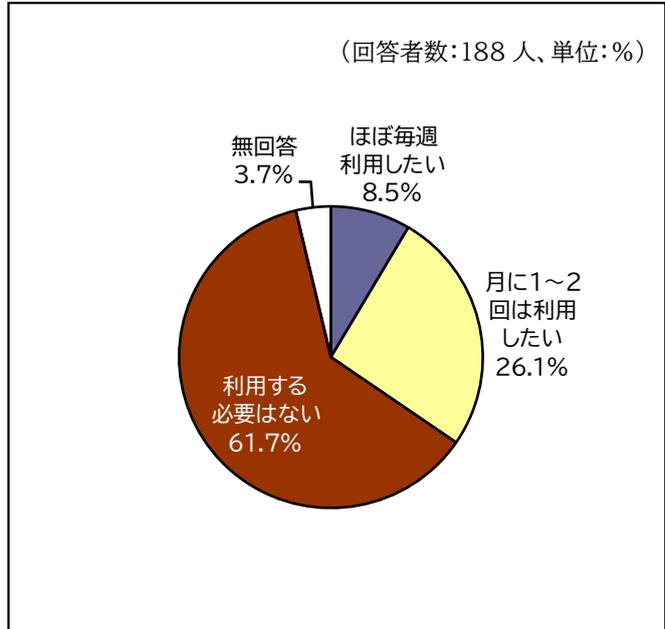
“利用したい”が34.6%

幼稚園・保育園等の土曜日の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が8.5%、「月に1～2回は利用したい」が26.1%であり、これらを合わせると34.6%（65人）が“利用したい”と回答しています。

表 土曜日の利用希望の有無

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
ほぼ毎週利用したい	16 (8.5)
月に1～2回は利用したい	49 (26.1)
利用する必要はない	116 (61.7)
無回答	7 (3.7)

図 土曜日の利用希望の有無



② 希望する開始時刻

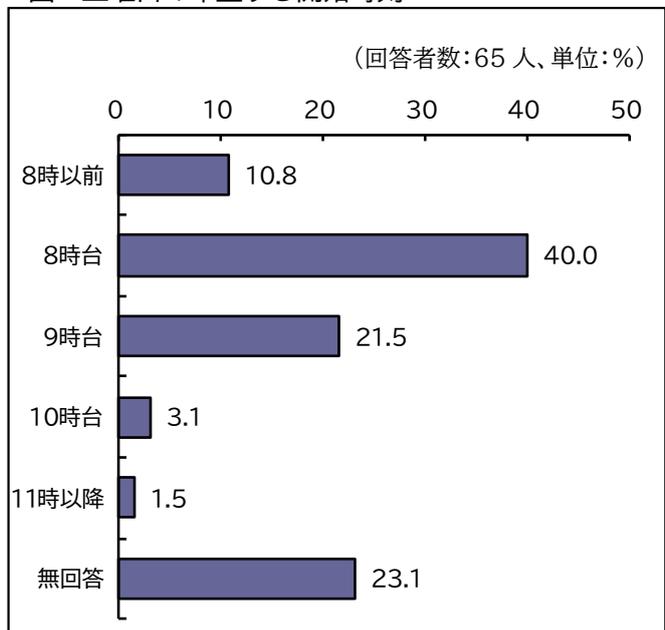
「8時台」が最も多い

幼稚園・保育園等の土曜日の利用希望において“利用したい”と回答した65人に対し、希望する開始時刻について聞いたところ、「8時以前」が10.8%、「8時台」が40.0%、「9時台」が21.5%などとなっています。

表 土曜日の希望する開始時刻

区分	人 (%)
回答者総数	65 (100.0)
8時以前	7 (10.8)
8時	26 (40.0)
9時	14 (21.5)
10時	2 (3.1)
11時以降	1 (1.5)
無回答	15 (23.1)

図 土曜日の希望する開始時刻



③希望する終了時刻

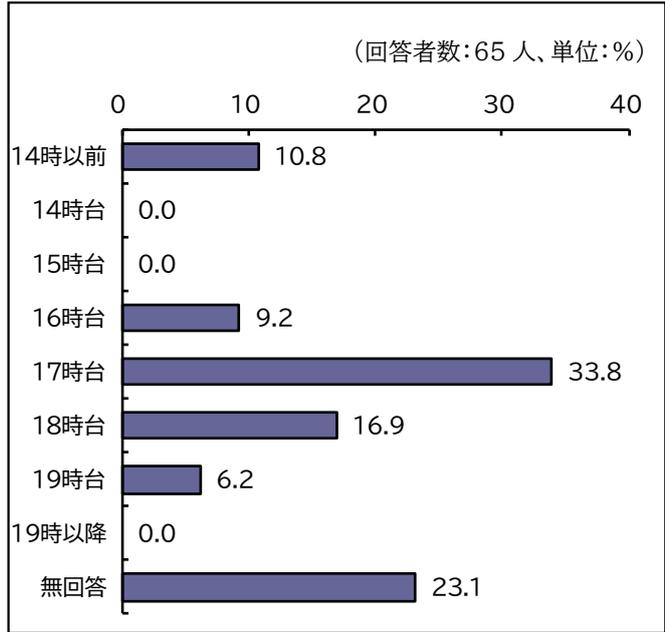
「17時台」が最も多い

土曜日の希望する終了時刻については、「17時台」が33.8%で最も多く、次いで「18時台」が16.9%、「14時以前」が10.8%が続いています。

表 土曜日の希望する終了事項

区分	人 (%)
回答者総数	65 (100.0)
14時以前	7 (10.8)
14時	0 (0.0)
15時	0 (0.0)
16時	6 (9.2)
17時	22 (33.8)
18時	11 (16.9)
19時	4 (6.2)
19時以降	0 (0.0)
無回答	15 (23.1)

図 土曜日の希望する終了時刻



(2) 日曜・祝日の利用希望

①利用希望の有無

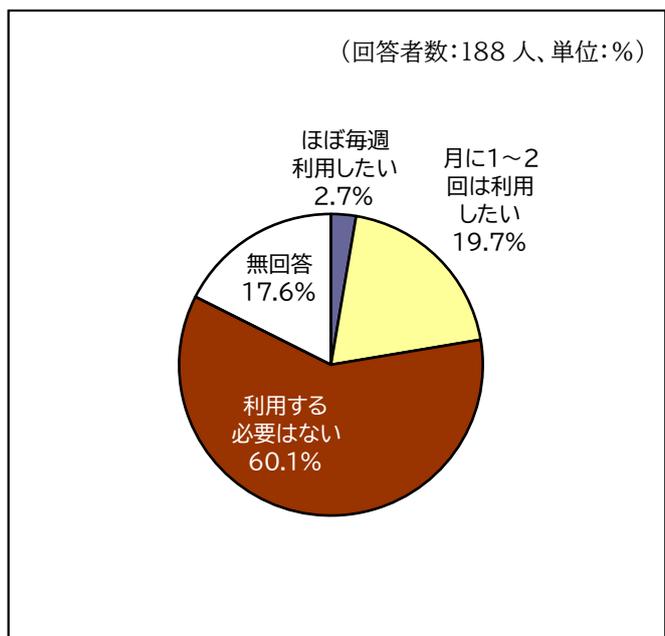
“利用したい”が22.4%

幼稚園・保育園等の日曜・祝日の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が2.7%、「月に1～2回は利用したい」が19.7%であり、これらを合わせると22.4% (42人) が“利用したい”と回答しています。

表 日曜・祝日の利用希望の有無

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
ほぼ毎週利用したい	5 (2.7)
月に1～2回は利用したい	37 (19.7)
利用する必要はない	113 (60.1)
無回答	33 (17.6)

図 日曜・祝日の利用希望の有無



②希望する開始時刻

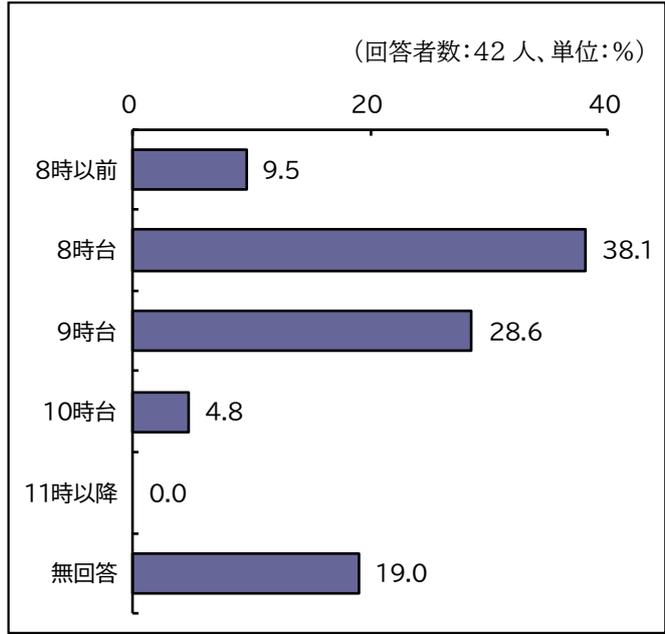
「8時台」が最も多い

日曜日・祝日に“利用したい”と回答した42人に対し、希望する開始時刻について聞いたところ、「8時以前」が9.5%、「8時台」が38.1%、「9時台」が28.6%などとなっています。

表 日曜・祝日の希望する開始時刻

区分	人 (%)
回答者総数	42 (100.0)
8時以前	4 (9.5)
8時	16 (38.1)
9時	12 (28.6)
10時	2 (4.8)
11時以降	0 (0.0)
無回答	8 (19.0)

図 日曜・祝日の希望する開始時刻



③希望する終了時刻

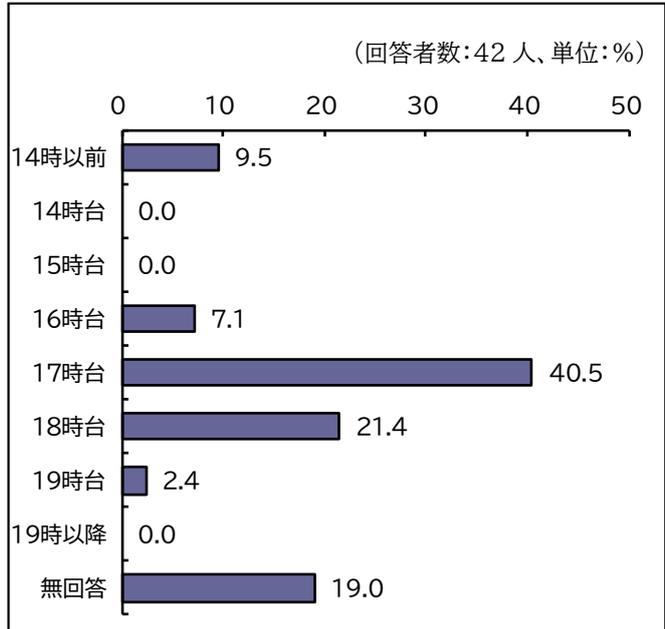
「17時台」が最も多い

日曜・祝日の希望する終了時刻については、「17時台」が40.5%で最も多く、次いで「18時台」が21.4%、「14時以前」が9.5%で続いています。

表 日曜・祝日の希望する終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	42 (100.0)
14時以前	4 (9.5)
14時	0 (0.0)
15時	0 (0.0)
16時	3 (7.1)
17時	17 (40.5)
18時	9 (21.4)
19時	1 (2.4)
19時以降	0 (0.0)
無回答	8 (19.0)

図 日曜・祝日の希望する終了時刻



1-9-2 たまに利用したい理由（問 20-1）

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したいのはなぜですか。（いくつでも）

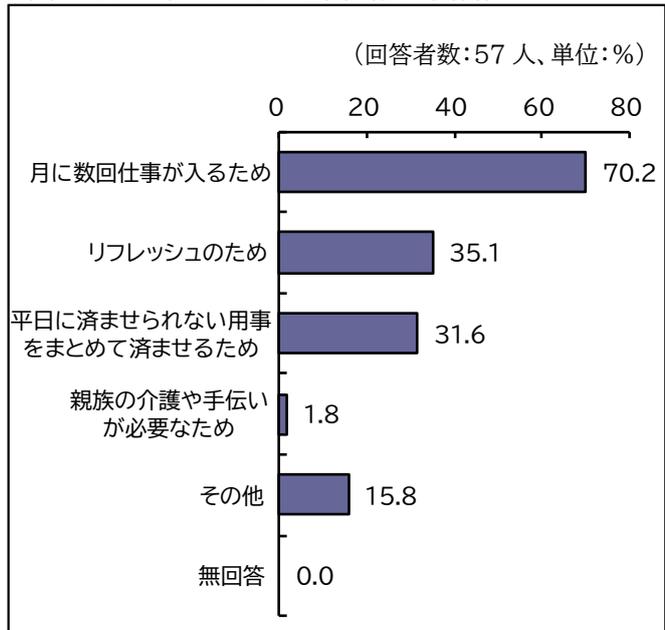
「月に数回仕事が入るため」が最も多い

土曜日または日曜日・祝日のいずれかまたは両方において「週に数日利用したい」と回答した人（57人）に対し、その理由について聞いたところ、「月に数回仕事が入るため」が70.2%で最も多く、次いで「リフレッシュのため」が35.1%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が31.6%が続いています。

表 たまに利用したい理由（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者総数	57 (100.0)
月に数回仕事が入るため	40 (70.2)
リフレッシュのため	20 (35.1)
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	18 (31.6)
親族の介護や手伝いが必要なため	1 (1.8)
その他	9 (15.8)
無回答	0 (0.0)

図 たまに利用したい理由（複数回答）



1-9-3 幼稚園の長期休業期間中の利用希望（問 21）

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中にも幼稚園もしくは保育園などを利用したいと思いますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。なお、利用には一定の料金がかかります。

①利用希望の有無

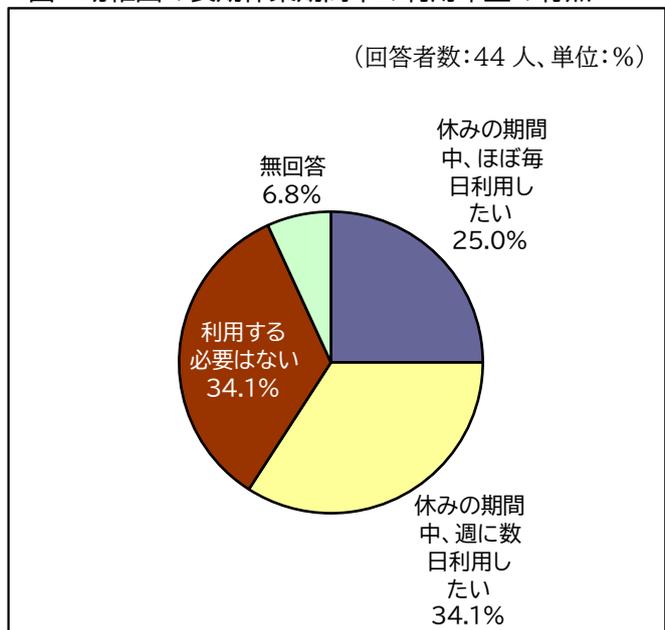
“利用したい”が59.1%

問17において幼稚園を利用していると回答した44人に対し、長期休業期間中の利用希望について聞いたところ、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が25.0%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が34.1%であり、これらを合わせると59.1%（26人）が“利用したい”と回答しています。

表 幼稚園の長期休業期間中の利用希望の有無

区 分	人 (%)
回答者総数	44 (100.0)
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	11 (25.0)
休みの期間中、週に数日利用したい	15 (34.1)
利用する必要はない	15 (34.1)
無回答	3 (6.8)

図 幼稚園の長期休業期間中の利用希望の有無



②希望する開始時刻

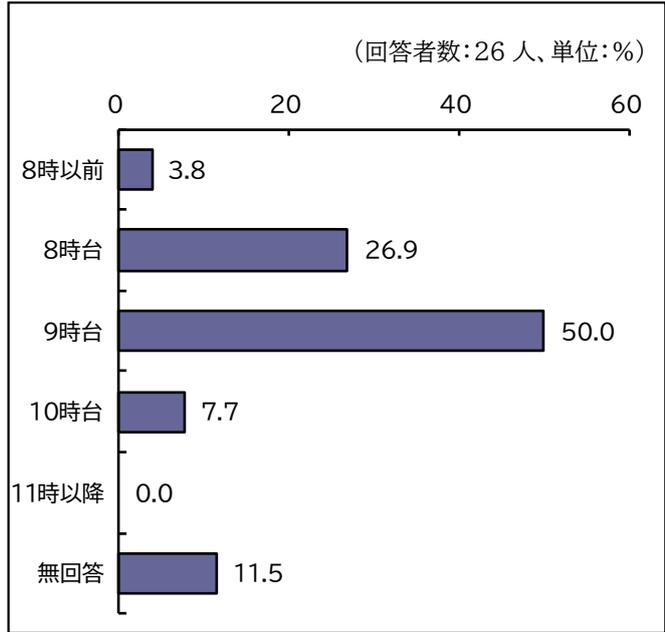
「9時台」が50.0%

長期休業期間中の幼稚園を“利用したい”と回答した26人に対し、希望する開始時刻について聞いたところ、「9時台」が50.0%で最も多く、次いで「8時台」が26.9%、「10時台」が7.7%で続いています。

表 幼稚園の長期休業期間中の希望する開始時刻

区分	人 (%)
回答者総数	26 (100.0)
8時以前	1 (3.8)
8時	7 (26.9)
9時	13 (50.0)
10時	2 (7.7)
11時以降	0 (0.0)
無回答	3 (11.5)

図 幼稚園の長期休業期間中の希望する開始時刻



③希望する終了時刻

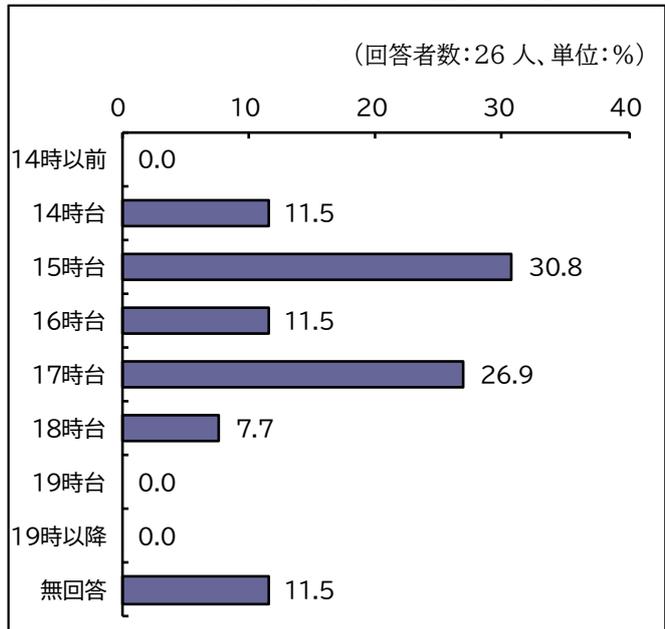
「15時台」が最も多い

長期休業期間中の希望する終了時刻については、「15時台」が30.8%で最も多く、次いで「17時台」が26.9%で続いています。

表 幼稚園の長期休業期間中の希望する終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	26 (100.0)
14時以前	0 (0.0)
14時	3 (11.5)
15時	8 (30.8)
16時	3 (11.5)
17時	7 (26.9)
18時	2 (7.7)
19時	0 (0.0)
19時以降	0 (0.0)
無回答	3 (11.5)

図 幼稚園の長期休業期間中の希望する終了時刻



1-9-4 たまに利用したい理由（問 21-1）

問 21-1 毎日ではなく、たまに利用したいのはなぜですか。（いくつでも）

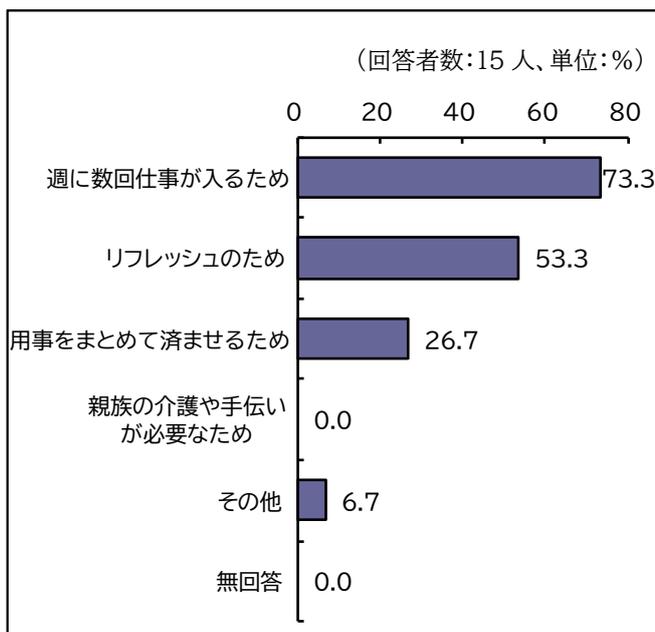
「月に数回仕事が入るため」が最も多い

長期休業期間中に幼稚園を毎日ではなく「週に数日利用したい」と回答した15人に対し、その理由を聞いたところ、「週に数回仕事が入るため」が73.3%で最も多く、次いで「リフレッシュのため」が53.3%が続いています。

表 幼稚園の長期休業期間中にたまに利用したい理由（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	15 (100.0)
週に数回仕事が入るため	11 (73.3)
リフレッシュのため	8 (53.3)
用事をまとめて済ませるため	4 (26.7)
親族の介護や手伝いが必要なため	0 (0.0)
その他	1 (6.7)
無回答	0 (0.0)

図 幼稚園の長期休業期間中にたまに利用したい理由（複数回答）



第10節 病気の際の対応について

1-10-1 通常の利用ができなかった際の対応（問22）

平日の幼稚園や保育園等を定期的にご利用している方（問17で1～12に○をつけた方）にうかがいます。
 問22 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などの通常の利用ができなかったことはありますか。この1年間に行った対処方法とそれぞれの日数もご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

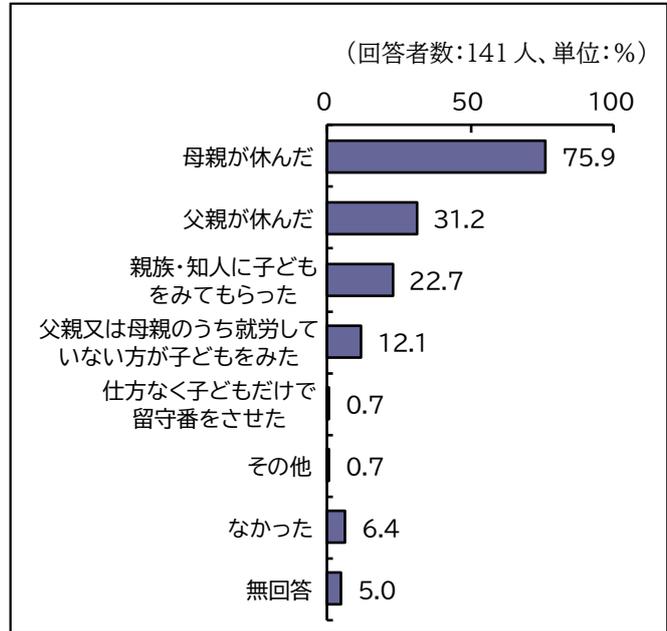
「母親が休んだ」が最も多い

平日の幼稚園や保育園等を定期的にご利用している人（141人）に対し、通常の利用ができなかった際の対応について聞いたところ、「母親が休んだ」が75.9%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が31.2%で続いています。

表 通常の利用ができなかった際の対応（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	141 (100.0)
母親が休んだ	107 (75.9)
父親が休んだ	44 (31.2)
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	32 (22.7)
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	17 (12.1)
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1 (0.7)
病児・病後児の保育サービスを利用した	0 (0.0)
ベビーシッターを利用した	0 (0.0)
ファミリー・サポート・センターを利用した	0 (0.0)
その他	1 (0.7)
なかった	9 (6.4)
無回答	7 (5.0)

図 通常の利用ができなかった際の対応（複数回答）



また、対応ごとの年間平均日数では、「母親が休んだ」が14.4日、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が13.5日となっています。

【対応ごとの年間平均日数】

区分	回答者数(人)	有効回答数(人)	平均日数(日)
母親が休んだ	107	100	14.4
父親が休んだ	44	40	7.1
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	32	30	8.5
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	16	10	13.5
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	1	7.0
病児・病後児の保育サービスを利用した	0	0	0.0
ベビーシッターを利用した	0	0	0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0	0.0
その他	1	1	10.0

1-10-2 病児・病後児保育の利用希望（問 22-1）

問 22-1 その際、「できれば病児・病後児のための保育サービスを利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための保育サービスの利用には一定の利用料がかかり、所定の手続きが必要となります。

「利用したい」は 41.3%

通常の利用ができなかった際の病児・病後児保育の利用希望については、「利用したい」が 41.3%（45 人）、「利用したいとは思わない」が 58.7%となっています。

また、「利用したい」と回答した 45 人に対し、利用したい日数について聞いたところ、年間平均で 9.5 日となっています。

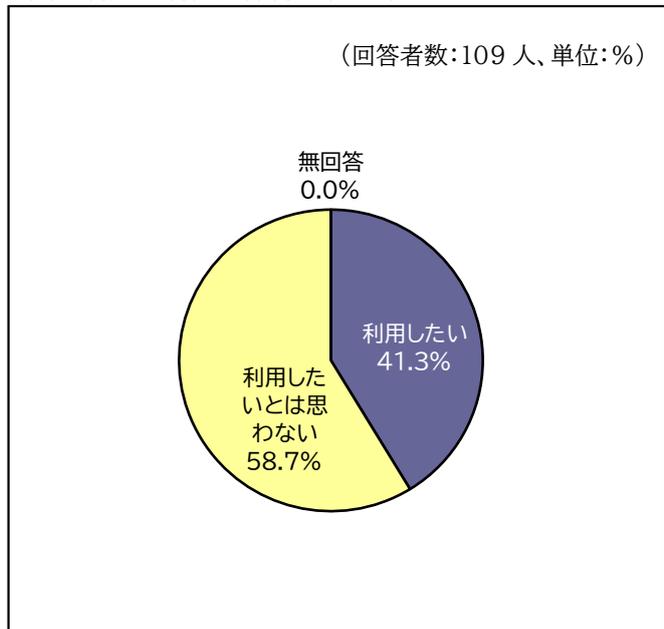
表 病児・病後児保育の利用希望

区分	人 (%)
回答者総数	109 (100.0)
利用したい	45 (41.3)
利用したいとは思わない	64 (58.7)
無回答	0 (0.0)

表 利用したい日数

区分	値
回答者総数(人)	45
有効回答数(人)	31
平均日数(日)	9.5

図 病児・病後児保育の利用希望



1-10-3 望ましい事業形態（問 22-1-1）

問 22-1-1 上記の目的で子どもを預ける場合、どのような形態が望ましいと思われますか。（いくつでも）

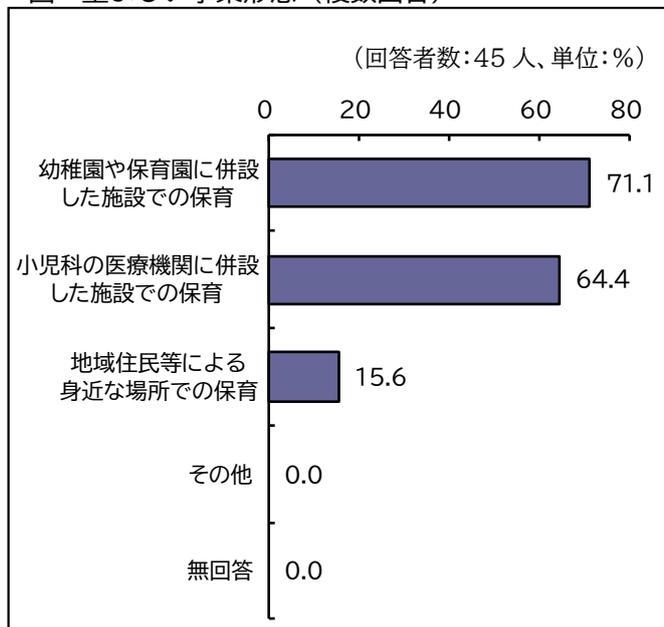
「幼稚園や保育園に併設」が最も多い

病児・病後児保育を「利用したい」と回答した 45 人に対し、望ましい事業形態について聞いたところ、「幼稚園や保育園に併設した施設での保育」が 71.1%で最も多く、次いで「小児科の医療機関に併設した施設での保育」が 64.4%で続いています。

表 望ましい事業形態（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	45 (100.0)
幼稚園や保育園に併設した施設での保育	32 (71.1)
小児科の医療機関に併設した施設での保育	29 (64.4)
地域住民等による身近な場所での保育	7 (15.6)
その他	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 望ましい事業形態（複数回答）



1-10-4 利用したいと思わない理由（問 22-1-2）

問 22-1-2 「利用したいと思わない」と答えた理由は何ですか。（いくつでも）

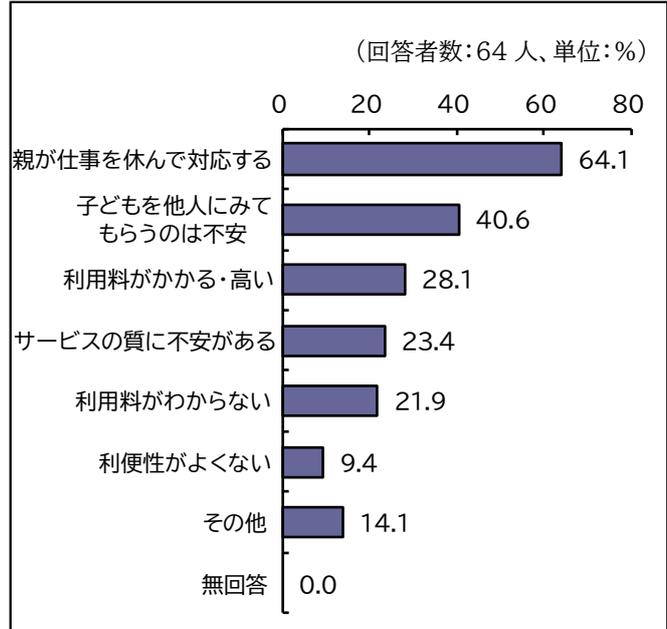
「親が仕事を休んで対応」が最も多い

病児・病後児保育を「利用したいと思わない」と回答した 64 人に対し、その理由について聞いたところ、「親が仕事を休んで対応する」が 64.1%で最も多く、次いで「子どもを他人にみてもらうのは不安」が 40.6%、「利用料がかかる・高い」が 28.1%が続いています。

表 利用したいと思わない理由（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	64 (100.0)
親が仕事を休んで対応する	41 (64.1)
子どもを他人にみてもらうのは不安	26 (40.6)
利用料がかかる・高い	18 (28.1)
サービスの質に不安がある	15 (23.4)
利用料がわからない	14 (21.9)
利便性がよくない(立地や時間・料金・日数など)	6 (9.4)
その他	9 (14.1)
無回答	0 (0.0)

図 利用したいと思わない理由（複数回答）



1-10-5 父母が休む以外の方法で対処した理由（問 22-2）

問 22 の対処方法で「3」～「9」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 父母のいずれかが休んでお子さんをみるのではなく、他の方法で対処した理由は何ですか。（いくつでも）

「休みがとれないから」が最も多い

平日の幼稚園・保育園の通常の利用ができなかった際の対応として「親が仕事を休んで対応する」以外の回答をした人（48人）に対し、その理由について聞いたところ、「子どもの看護を理由に休みがとれないから」が20.8%で最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めなかったから」が18.8%で続いています。

また、父母が休む以外の方法で対処した年間平均日数は7.5日となっています。

表 父母が休む以外の方法で対処した理由（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	48 (100.0)
子どもの看護を理由に休みがとれないから	10 (20.8)
休暇日数が足りないので休めなかったから	9 (18.8)
自営業なので休めないから	0 (0.0)
その他	15 (31.3)
そもそも仕事を休もうとは思えなかった (特に心配はなかったなど)	2 (4.2)
無回答	16 (33.3)

図 父母が休む以外の方法で対処した理由（複数回答）

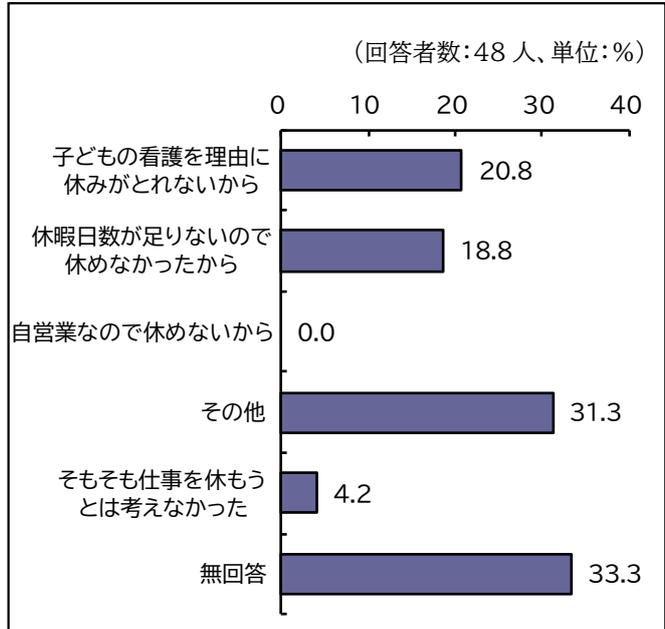


表 父母が休む以外の方法で対処した日数

区分	値
回答者総数(人)	30
有効回答数(人)	23
平均日数(日)	7.5

表 「その他」の内容

- 就労していない方が子どもをみたため
- どっちかがお休みの日に子どもをみた
- 在宅勤務なので子どもを見ながら仕事した
- 専業主婦のため
- 同居の祖父母がいるため
- 祖母にお願いできたので
- 同居の祖父母がいる
- 祖父母が対応できたため
- 祖母が協力してくれてくれる
- 自身の仕事がおわらず、後の影響を考えると休めなかった。
- 仕事がおわらない。顧客との約束がある
- 仕事が忙しくて休めなかった
- 母が就労していないため。
- 人手が足りなく休みづらいから

第11節 一時預かり等の不定期な利用について

1-11-1 不定期に利用している事業（問23）

問23 お子さんについて、病気以外の私用や親の通院、不定期の就労等の目的で「不定期に」利用しているものはありますか（いくつでも）。ある場合は、1年間のおおよその利用日数もご記入ください。

“利用している”は9.6%

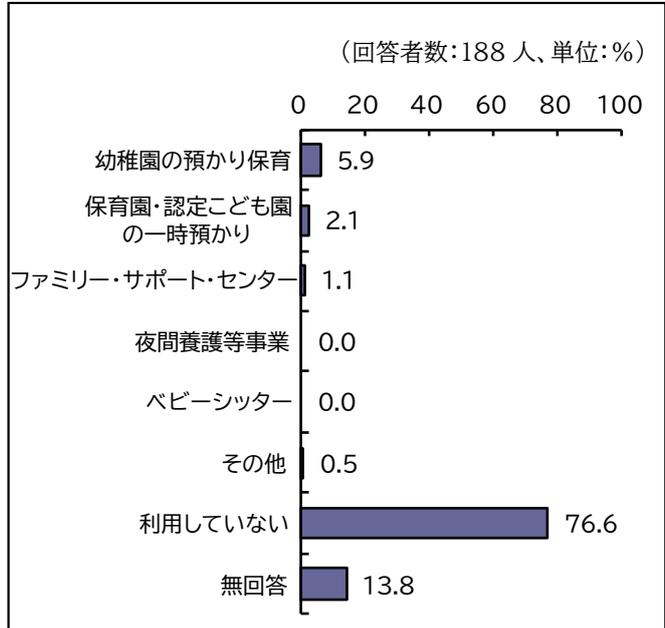
病気以外の私用や親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業については、回答者総数から「利用していない」（76.6%）及び無回答（13.8%）を除く9.6%が“利用している”と回答しています。

その内訳は「幼稚園の預かり保育」が5.9%で最も多くなっています。

表 不定期に利用している事業（複数回答）

区分	人(%)
回答者総数	188(100.0)
幼稚園の預かり保育	11(5.9)
保育園・認定こども園の一時預かり	4(2.1)
ファミリー・サポート・センター	2(1.1)
夜間養護等事業・トワイライトステイ	0(0.0)
ベビーシッター	0(0.0)
その他	1(0.5)
利用していない	144(76.6)
無回答	26(13.8)

図 不定期に利用している事業（複数回答）



【事業ごとの年間日数】

区分	回答者数(人)	有効回答数(人)	平均日数(日)
幼稚園の預かり保育	11	8	17.3
保育園・認定こども園の一時預かり	4	3	9.0
ファミリー・サポート・センター	2	1	10.0
夜間養護等事業・トワイライトステイ	0	0	0.0
ベビーシッター	0	0	0.0
その他	1	1	5.0

1-11-2 利用していない理由（問 23-1）

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。（いくつでも）

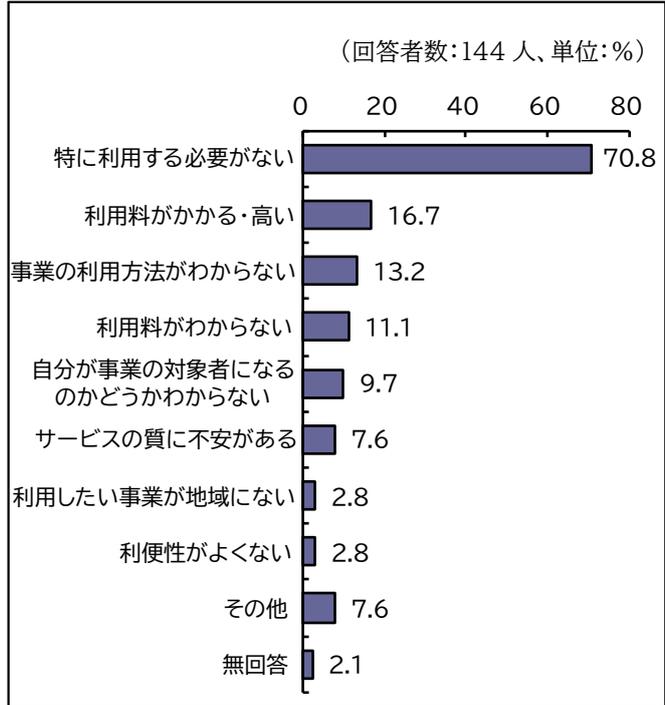
「特に必要がない」が最も多い

一時預かり等の不定期な事業を「利用していない」と回答した144人に対し、その理由について聞いたところ、「特に利用する必要がない」が70.8%で最も多くなっています。

表 利用していない理由（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	144 (100.0)
特に利用する必要がない	102 (70.8)
利用料がかかる・高い	24 (16.7)
事業の利用方法がわからない(手続きなど)	19 (13.2)
利用料がわからない	16 (11.1)
自分が事業の対象者になるのかわからない	14 (9.7)
サービスの質に不安がある	11 (7.6)
利用したい事業が地域にない	4 (2.8)
利便性がよくない(立地や利用可能時間・日数など)	4 (2.8)
その他	11 (7.6)
無回答	3 (2.1)

図 利用していない理由（複数回答）



1-11-3 一時預かりサービスの必要性と日数（問 24）

問 24 お子さんについて、次のような目的で一時預かりサービスを利用する必要があると思いますか（いくつでも）。ある場合は、目的別の年間の日数と合計の日数をご記入ください。

“必要である”は45.8%

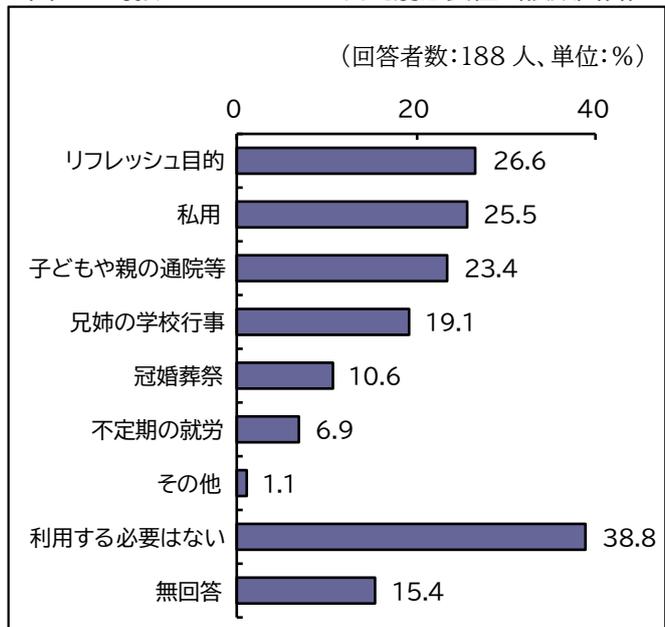
一時預かりサービスの必要性については、回答者総数から「利用する必要はない」（38.8%）及び無回答（15.4%）を除く45.8%（86人）が“必要である”と回答しています。

その内訳は「リフレッシュ目的」が26.6%で最も多く、次いで「私用（買物、子どもや親の習い事等）」が25.5%で続いています。

表 一時預かりサービスの目的別必要性（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
リフレッシュ目的	50 (26.6)
私用(買物、子どもや親の習い事等)	48 (25.5)
子どもや親の通院等	44 (23.4)
兄姉の学校行事	36 (19.1)
冠婚葬祭	20 (10.6)
不定期の就労	13 (6.9)
その他	2 (1.1)

図 一時預かりサービスの目的別必要性（複数回答）



区分	人 (%)
利用する必要はない	73 (38.8)
無回答	29 (15.4)

それらの年間平均日数は、「私用（買物、子どもや親の習い事等）」が11.5日、「不規則の就労」が10.6日などとなっています。

【目的ごとの年間平均日数】

区 分	回答者数(人)	有効回答数(人)	平均日数(日)
リフレッシュ目的	50	38	9.0
私用(買物、子どもや親の習い事等)	48	35	11.5
子どもや親の通院等	44	33	7.9
兄弟の学校行事	36	23	5.0
冠婚葬祭	20	14	2.1
不規則の就労	13	10	10.6
その他	2	2	10.0
合計日数	86	64	19.9

1-11-4 望ましい事業形態（問 24-1）

問 24-1 お子さんを預ける場合、どのような形態が望ましいと思われますか。（いくつでも）

「幼稚園・保育園等」が最も多い

一時預かりサービスが“必要である”と回答した 86 人に対し、望ましい事業形態について聞いたところ、「幼稚園・保育園等での保育」が 93.0%で最も多く、次いで「家庭保育室など小規模な施設での保育」が 31.4%で続いています。

図 望ましい事業形態（複数回答）

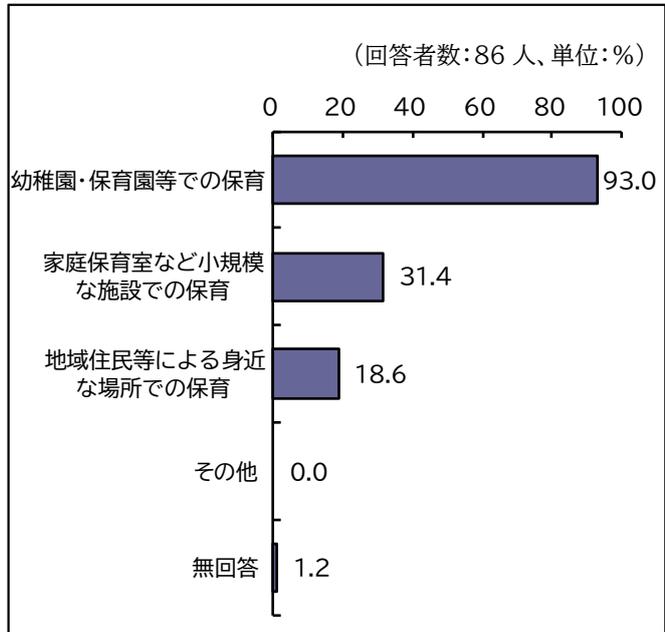


表 望ましい事業形態（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者総数	86 (100.0)
幼稚園・保育園等での保育	80 (93.0)
家庭保育室など小規模な施設での保育	27 (31.4)
地域住民等による身近な場所での保育	16 (18.6)
その他	0 (0.0)
無回答	1 (1.2)

1-11-5 泊まりがけで預ける事業の利用希望（問 25）

問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数をご記入ください。）。

①利用希望の有無

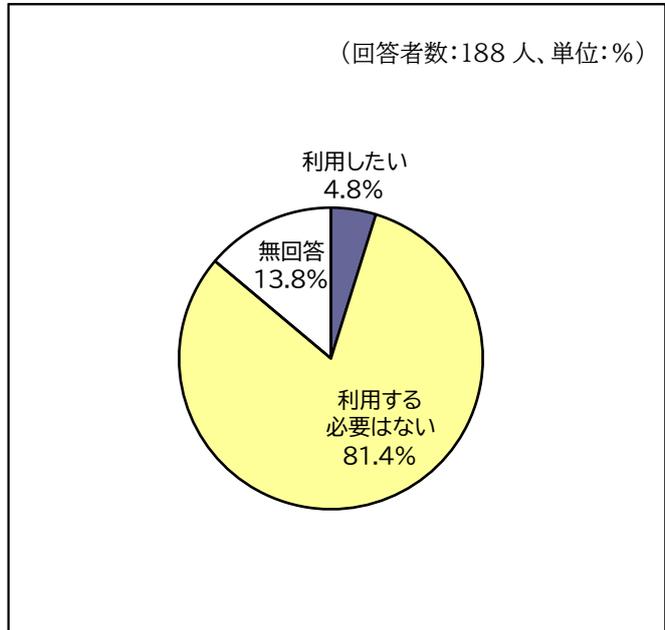
「利用したい」は 4.8%

泊まりがけで預ける事業の利用希望については、「利用したい」が 4.8%（9人）、「利用する必要はない」が 81.4%となっています。

表 泊まりがけで預ける事業の利用希望

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
利用したい	9 (4.8)
利用する必要はない	153 (81.4)
無回答	26 (13.8)

図 泊まりがけで預ける事業の利用希望



②利用したい理由

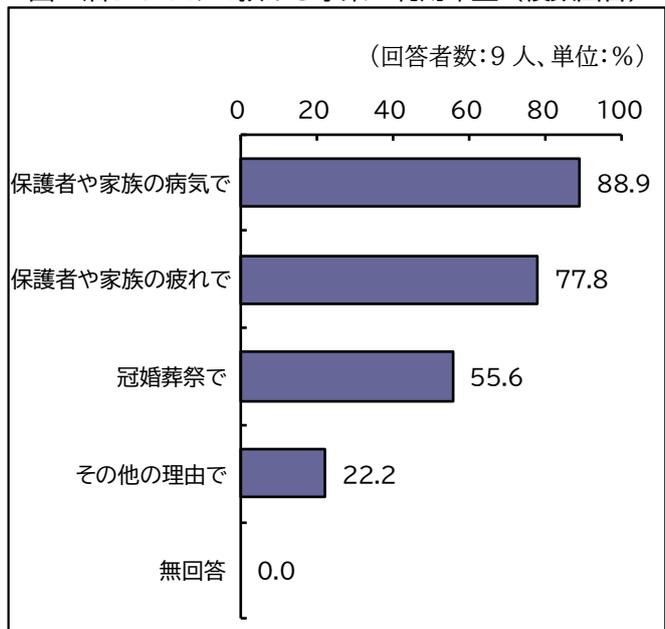
「保護者や家族の病気」が最も多い

泊まりがけで預ける事業を「利用したい」と回答した 9 人に対し、その理由について聞いたところ、「保護者や家族の病気で」が 88.9%で最も多く、次いで「保護者や家族の疲れで」が 77.8%で続いています。

表 泊まりがけで預ける事業の利用希望（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	9 (100.0)
保護者や家族の病気で	8 (88.9)
保護者や家族の疲れで	7 (77.8)
冠婚葬祭で	5 (55.6)
その他の理由で	2 (22.2)
無回答	0 (0.0)

図 泊まりがけで預ける事業の利用希望（複数回答）



それらの年間平均日数については、「保護者や家族の病気で」は 13.7 日、「その他の理由で」が 24.5 日となっています。

【理由ごとの年間平均日数】

区 分	回答者数(人)	有効回答数(人)	平均日数(日)
合計日数	9	6	13.7
保護者や家族の病気で	8	5	2.6
保護者や家族の疲れで	7	5	3.0
冠婚葬祭で	5	2	2.5
その他の理由で	2	2	24.5

第12節 小学校入学後の放課後の過ごし方について

1-12-1 小学校低学年の放課後の過ごし方（問26）

問26 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

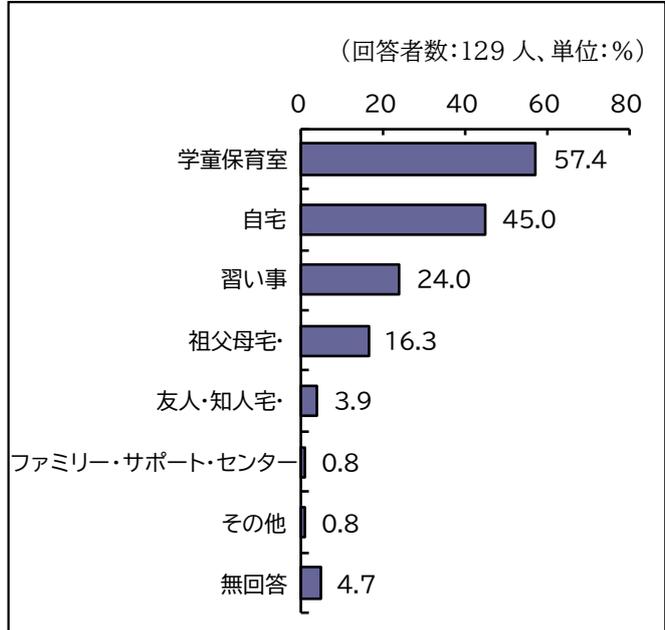
「学童保育室」が最も多い

3歳以上の子どもの保護者129人に対し、小学校低学年の放課後の過ごし方について聞いたところ、「学童保育室」が57.4%で最も多く、次いで「自宅」が45.0%、「習い事」が24.0%が続いています。

表 小学校低学年の放課後の過ごし方（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	129 (100.0)
学童保育室	74 (57.4)
自宅	58 (45.0)
習い事	31 (24.0)
祖父母宅・	21 (16.3)
友人・知人宅・	5 (3.9)
ファミリー・サポート・センター	1 (0.8)
その他	1 (0.8)
無回答	6 (4.7)

図 小学校低学年の放課後の過ごし方（複数回答）



また、それらの週あたり平均日数については、「学童保育室」が4.4日、「祖父母宅」が3.8日、「自宅」が3.7日となっています。

【理由ごとの年間日数】

区分	回答者数(人)	有効回答数(人)	週あたり平均日数(日)
学童保育室	74	67	4.4
自宅	58	46	3.7
習い事	31	27	1.5
祖父母宅	21	14	3.8
友人・知人宅	5	2	3.0
ファミリー・サポート・センター	1	0	0.0
その他	1	1	5.0

(2) 学童保育室の利用終了時刻

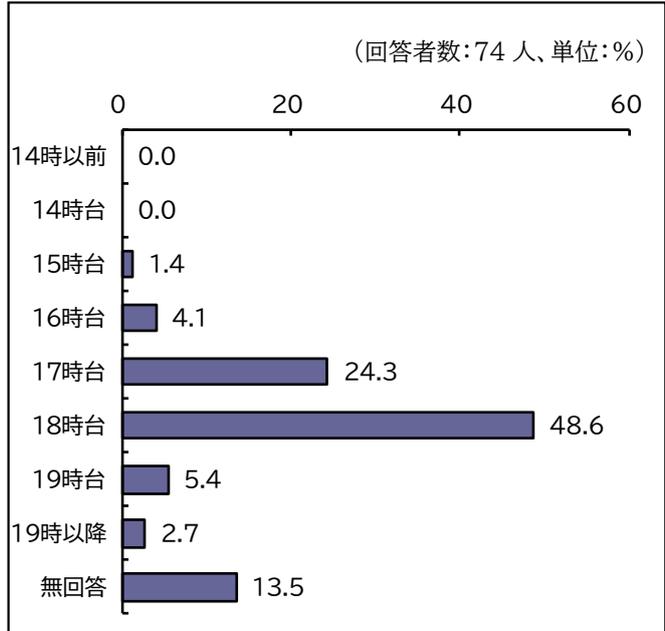
「18 時台」が最も多い

小学校低学年の放課後の過ごし方において「学童保育室」と回答した 74 人に対し、利用終了時刻を聞いたところ、「18 時台」が 48.6%で最も多くなっています。

表 学童保育室の利用終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	74 (100.0)
14 時以前	0 (0.0)
14 時台	0 (0.0)
15 時台	1 (1.4)
16 時台	3 (4.1)
17 時台	18 (24.3)
18 時台	36 (48.6)
19 時台	4 (5.4)
19 時以降	2 (2.7)
無回答	10 (13.5)

図 学童保育室の利用終了時刻



1-12-2 小学校高学年の放課後の過ごし方（問27）

問27 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。

（1）放課後の過ごし方及び日数

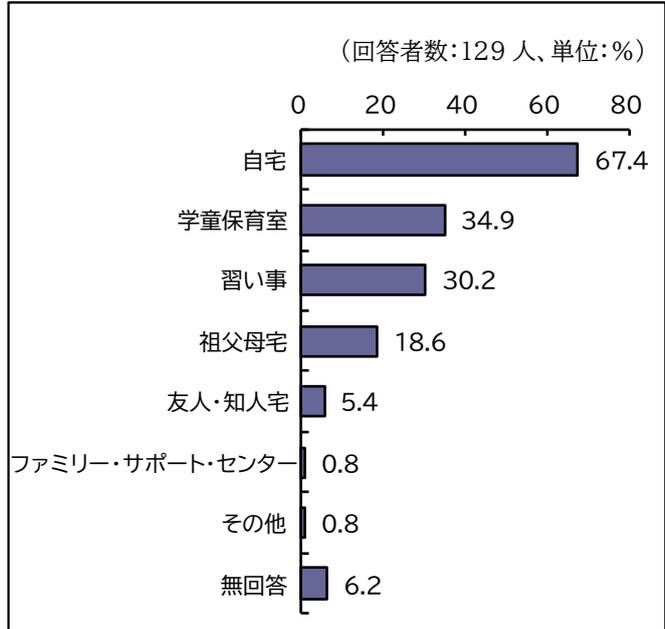
「自宅」が最も多い

小学校高学年の放課後の過ごし方については、「自宅」が67.4%で最も多く、次いで「学童保育室」が34.9%、「習い事」が30.2%が続いています。

表 小学校高学年の放課後の過ごし方（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	129 (100.0)
自宅	87 (67.4)
学童保育室	45 (34.9)
習い事	39 (30.2)
祖父母宅	24 (18.6)
友人・知人宅	7 (5.4)
ファミリー・サポート・センター	1 (0.8)
その他	1 (0.8)
無回答	8 (6.2)

図 小学校高学年の放課後の過ごし方（複数回答）



また、それらの週あたり平均日数については、「学童保育室」及び「祖父母宅」が4.0日となっています。

【場所ごとの日数】

区分	回答者数(人)	有効回答数(人)	週あたり平均日数(日)
自宅	87	63	3.7
学童保育室	45	32	4.0
習い事	39	29	2.1
祖父母宅	24	16	4.0
友人・知人宅	6	2	1.0
ファミリー・サポート・センター	1	0	0.0
その他	1	1	5.0

(2) 学童保育室の利用終了時刻

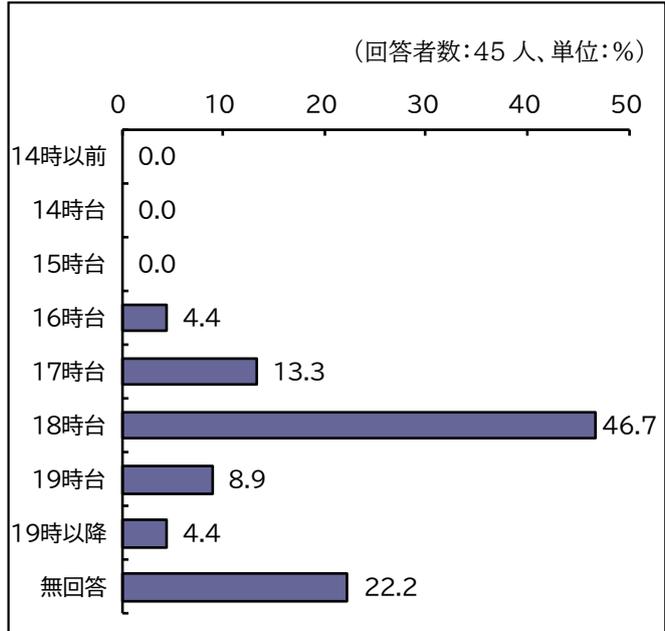
「18 時台」が最も多い

小学校高学年の放課後の過ごし方において「学童保育室」と回答した 45 人に対し、利用終了時刻を聞いたところ、「18 時台」が 46.7%で最も多くなっています。

表 学童保育室の利用終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	45 (100.0)
14 時以前	0 (0.0)
14 時台	0 (0.0)
15 時台	0 (0.0)
16 時台	2 (4.4)
17 時台	6 (13.3)
18 時台	21 (46.7)
19 時台	4 (8.9)
19 時以降	2 (4.4)
無回答	10 (22.2)

図 学童保育室の利用終了時刻



1-12-3 土曜・休日の学童保育室の利用希望（問 28）

問 28 問 26 または問 27 で「5. 学童保育室」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育室の利用希望はありますか（利用には一定の料金がかかります）。また、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。

(1) 土曜日の利用希望

①利用希望の有無

“利用したい”が 39.5%

小学校低学年のうちまたは小学校高学年になった際の放課後の過ごし方として「学童保育室」と回答した 76 人に対し、土曜日の利用希望について聞いたところ、

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 21.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 18.4%であり、これらを合わせると 39.5%（30人）が“利用したい”と回答しています。

図 土曜日の利用希望の有無

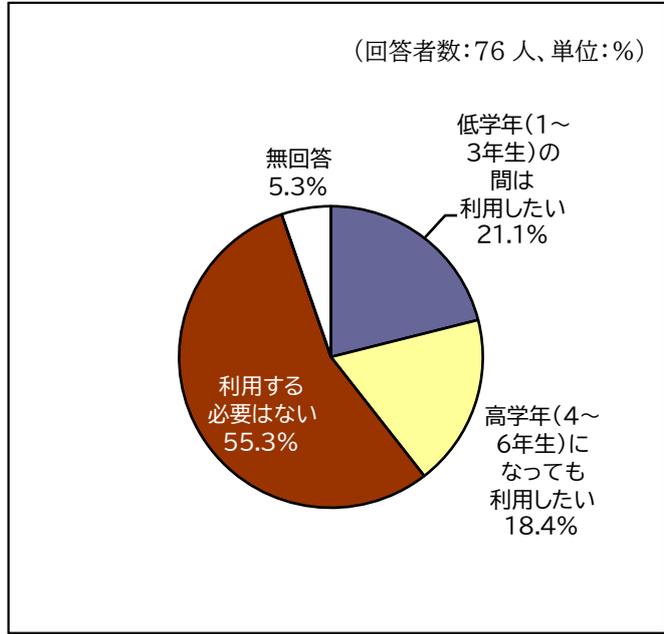


表 土曜日の利用希望の有無

区 分	人 (%)
回答者総数	76 (100.0)
低学年(1～3年生)の間は利用したい	16 (21.1)
高学年(4～6年生)になっても利用したい	14 (18.4)
利用する必要はない	42 (55.3)
無回答	4 (5.3)

②希望の開始時刻

「8 時台」が最も多い

土曜日の学童保育室を“利用したい”と回答した 30 人に対し、希望の開始時刻について聞いたところ、「8 時以前」が 16.7%、「8 時台」が 60.0%、「9 時台」が 13.3%となっています。

図 土曜日の希望の開始時刻

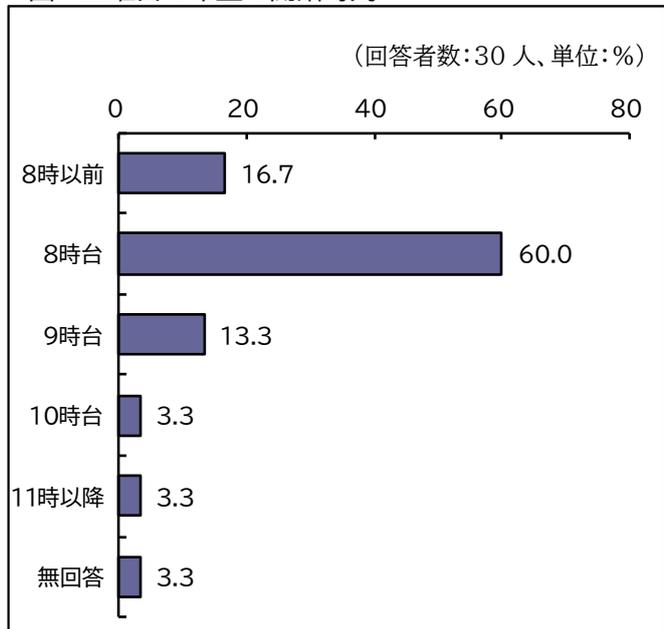


表 土曜日の希望の開始時刻

区 分	人 (%)
回答者総数	30 (100.0)
8 時以前	5 (16.7)
8 時台	18 (60.0)
9 時台	4 (13.3)
10 時台	1 (3.3)
11 時以降	1 (3.3)
無回答	1 (3.3)

③希望の終了時刻

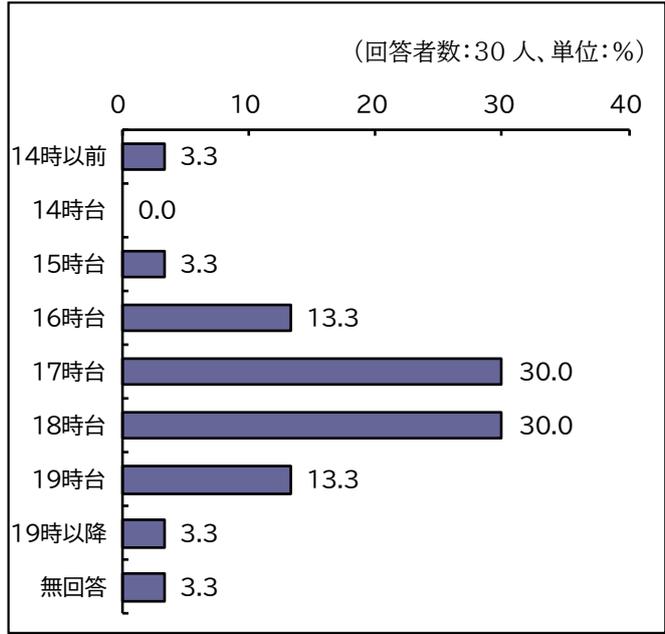
「17時台」及び「18時台」が最も多い

希望の終了時刻については、「17時台」及び「18時台」がともに30.0%で最も多くなっています。

表 土曜日の希望の終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	30 (100.0)
14時以前	1 (3.3)
14時台	0 (0.0)
15時台	1 (3.3)
16時台	4 (13.3)
17時台	9 (30.0)
18時台	9 (30.0)
19時台	4 (13.3)
19時以降	1 (3.3)
無回答	1 (3.3)

図 土曜日の希望の終了時刻



(2) 日曜・祝日の利用希望

①利用希望の有無

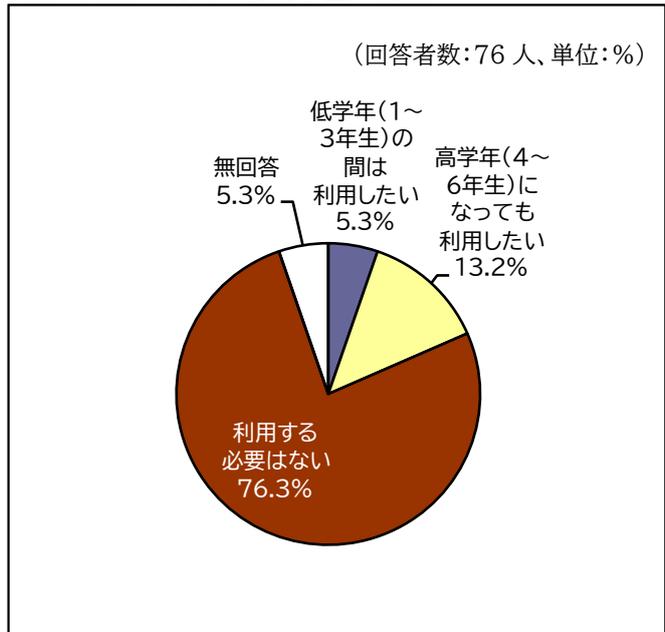
“利用したい”は18.5%

日曜・祝日の学童保育室の利用希望については、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が5.3%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が13.2%であり、これらを合わせると18.5%(14人)が“利用したい”と回答しています。

表 日曜・祝日の利用希望の有無

区分	人 (%)
回答者総数	76 (100.0)
低学年(1～3年生)の間は利用したい	4 (5.3)
高学年(4～6年生)になっても利用したい	10 (13.2)
利用する必要はない	58 (76.3)
無回答	4 (5.3)

図 日曜・祝日の利用希望の有無



②希望の開始時刻

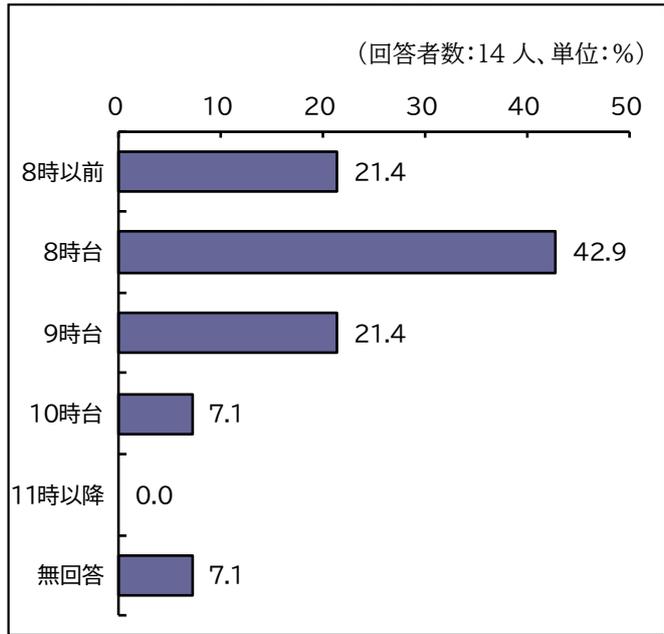
「8時台」が最も多い

日曜・祝日の学童保育室を“利用したい”と回答した14人に対し、希望の開始時刻について聞いたところ、「8時以前」が21.4%、「8時台」が42.9%、「9時台」が21.4%となっています。

表 日曜・祝日の希望の開始時刻

区分	人 (%)
回答者総数	14 (100.0)
8時以前	3 (21.4)
8時台	6 (42.9)
9時台	3 (21.4)
10時台	1 (7.1)
11時以降	0 (0.0)
無回答	1 (7.1)

図 日曜・祝日の希望の開始時刻



③希望の終了時刻

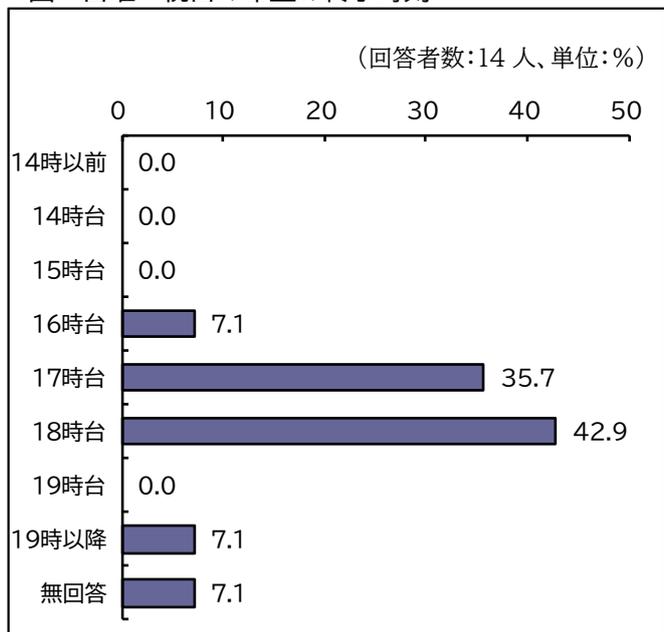
「18時台」が最も多い

希望の終了時刻については、「18時台」が42.9%で最も多く、次いで「17時台」が35.7%で続いています。

表 日曜・祝日の希望の終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	14 (100.0)
14時以前	0 (0.0)
14時台	0 (0.0)
15時台	0 (0.0)
16時台	1 (7.1)
17時台	5 (35.7)
18時台	6 (42.9)
19時台	0 (0.0)
19時以降	1 (7.1)
無回答	1 (7.1)

図 日曜・祝日の希望の終了時刻



1-12-4 長期休業期間中の学童保育室の利用希望（問 29）

問 29 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか（利用には一定の料金がかかります）。また、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。

①利用希望の有無

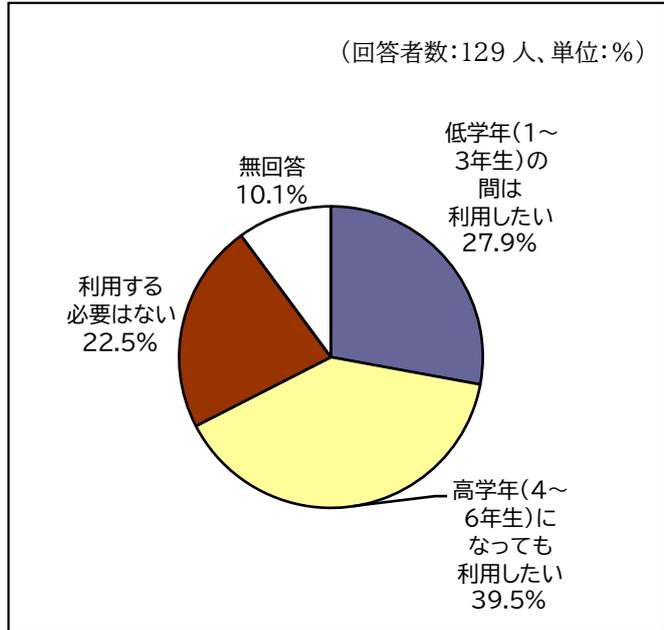
“利用したい”が67.4%

長期休業期間中の学童保育室の利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が27.9%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が39.5%であり、これらを合わせると67.4%（87人）が“利用したい”と回答しています。

表 長期休業期間中の利用希望の有無

区分	人 (%)
回答者総数	129 (100.0)
低学年(1～3年生)の間は利用したい	36 (27.9)
高学年(4～6年生)になっても利用したい	51 (39.5)
利用する必要はない	29 (22.5)
無回答	13 (10.1)

図 長期休業期間中の利用希望の有無



②希望の開始時刻

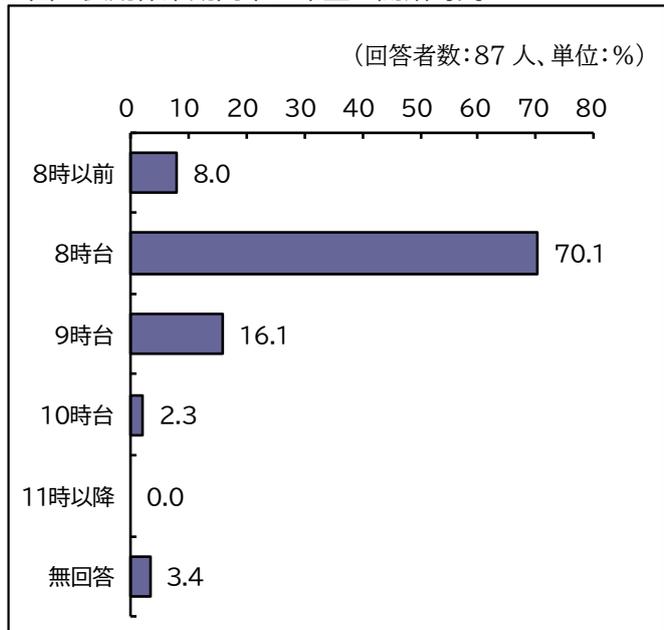
「8時台」が最も多い

長期休業期間中の学童保育室を“利用したい”と回答した87人に対し、希望の開始時刻について聞いたところ、「8時台」が70.1%で最も多くなっています。

表 長期休業期間中の希望の開始時刻

区分	人 (%)
回答者総数	87 (100.0)
8時以前	7 (8.0)
8時台	61 (70.1)
9時台	14 (16.1)
10時台	2 (2.3)
11時以降	0 (0.0)
無回答	3 (3.4)

図 長期休業期間中の希望の開始時刻



③希望の終了時刻

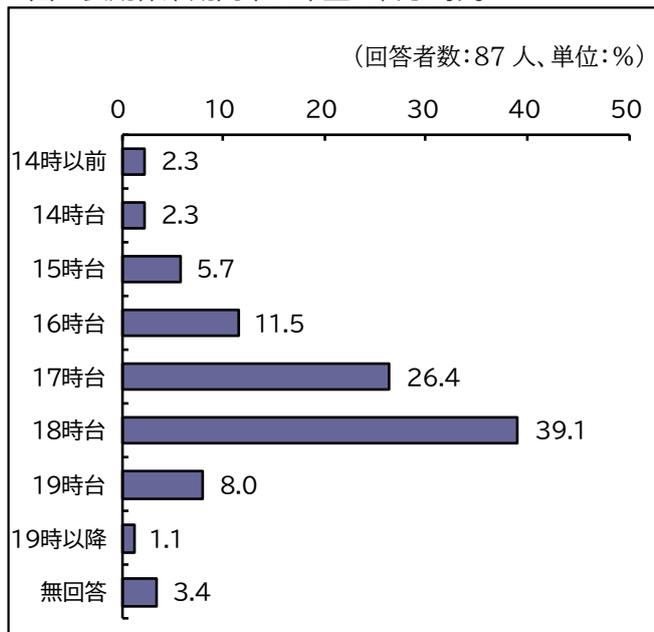
「18時台」が最も多い

長期休業期間中の希望の終了時刻については、「18時台」が39.1%で最も多く、次いで「17時台」が26.4%、「16時台」が11.5%で続いています。

表 長期休業期間中の希望の終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	87 (100.0)
14時以前	2 (2.3)
14時台	2 (2.3)
15時台	5 (5.7)
16時台	10 (11.5)
17時台	23 (26.4)
18時台	34 (39.1)
19時台	7 (8.0)
19時以降	1 (1.1)
無回答	3 (3.4)

図 長期休業期間中の希望の終了時刻



第13節 仕事と生活の調和について

1-13-1 仕事と生活の調和における現実と希望（問30）

問30 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてうかがいます。「現実」と「希望」それぞれについて回答欄の中から1つ選んで○をつけてください。

(1) 仕事と生活の現実の優先状況

「家事（育児）時間を優先」が54.8%

仕事と生活の現実の優先状況については、「仕事時間を優先」が41.0%、「家事（育児）時間を優先」が54.8%、「プライベートを優先」が0.0%となっています。

図 仕事と生活の現実の優先状況

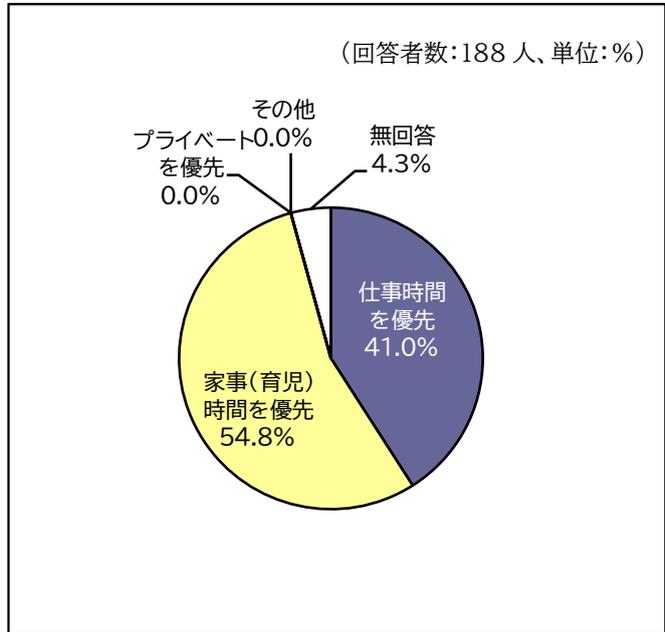


表 仕事と生活の現実の優先状況

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
仕事時間を優先	77 (41.0)
家事(育児)時間を優先	103 (54.8)
プライベートを優先	0 (0.0)
その他	0 (0.0)
無回答	8 (4.3)

(2) 仕事と生活の希望の優先状況

「家事（育児）時間を優先」が67.6%

仕事と生活の希望の優先状況については、「仕事時間を優先」が11.2%、「家事（育児）時間を優先」が67.6%、「プライベートを優先」が12.8%となっています。

図 仕事と生活の希望の優先状況

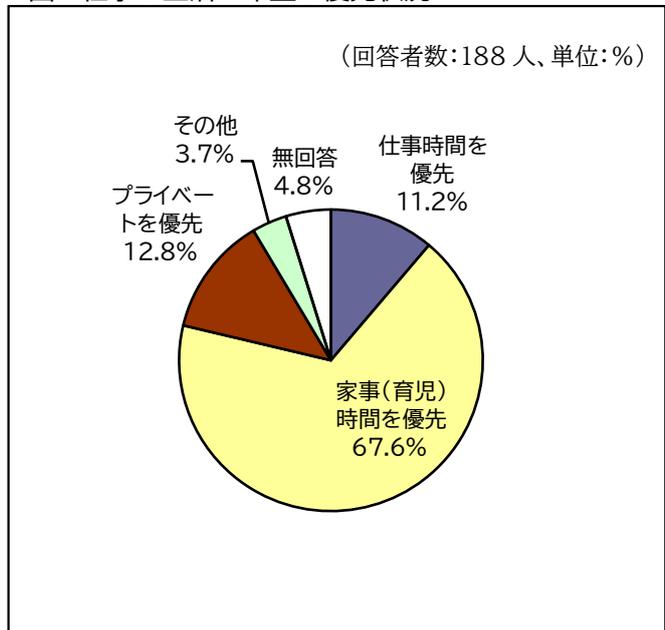


表 仕事と生活の希望の優先状況

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
仕事時間を優先	21 (11.2)
家事(育児)時間を優先	127 (67.6)
プライベートを優先	24 (12.8)
その他	7 (3.7)
無回答	9 (4.8)

1-13-2 仕事と生活の調和への満足度（問31）

問31 現在、誰もがやりがいや充実感を感じながら働く一方で、個人の時間が持てて健康で豊かな生活ができるよう、「仕事と生活の調和」（ワーク・ライフ・バランス）が大切であるとされています。あなたは、ご自分の生活における「仕事と生活の調和」について、どのようにお考えですか。母親・父親についてそれぞれご自身がお答えください。

①母親の仕事と生活の調和への満足度

“満足している”は38.3%

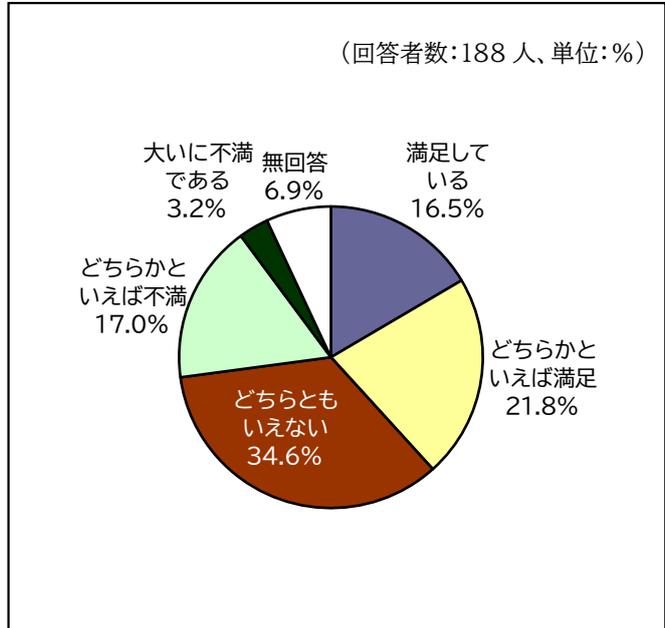
母親の仕事と生活の調和への満足度については、「満足している」が16.5%、「どちらかといえば満足」が21.8%であり、これらを合わせると38.3%が“満足している”と回答しています。

一方、“不満である”は合わせて20.2%となっています。

表 母親の仕事と生活の調和への満足度

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
満足している	31 (16.5)
どちらかといえば満足	41 (21.8)
どちらともいえない	65 (34.6)
どちらかといえば不満	32 (17.0)
大いに不満である	6 (3.2)
無回答	13 (6.9)

図 母親の仕事と生活の調和への満足度



②父親の仕事と生活の調和への満足度

“満足している”は37.3%

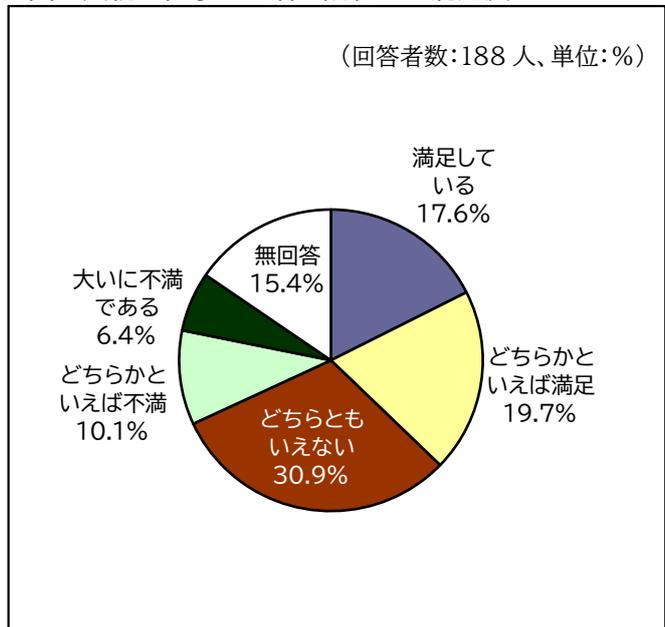
父親の仕事と生活の調和への満足度については、「満足している」が17.6%、「どちらかといえば満足」が19.7%であり、これらを合わせると37.3%が“満足している”と回答しています。

一方、“不満である”は合わせて16.5%となっています。

表 父親の仕事と生活の調和への満足度

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
満足している	33 (17.6)
どちらかといえば満足	37 (19.7)
どちらともいえない	58 (30.9)
どちらかといえば不満	19 (10.1)
大いに不満である	12 (6.4)
無回答	29 (15.4)

図 父親の仕事と生活の調和への満足度



第14節 育児休業や短時間勤務制度について

1-14-1 育児休業に関する制度の認知度（問32）

問32 あなたは、育児休業に関して、次のような仕組みがあることを知っていましたか。

「育児休業給付」の認知度は83.5%

育児休業に関する制度の認知度について、「はい」の割合に着目すると、「育児休業給付の認知度」が83.5%、「保険料免除の認知度」が53.7%となっています。

図 育児休業に関する制度の認知度

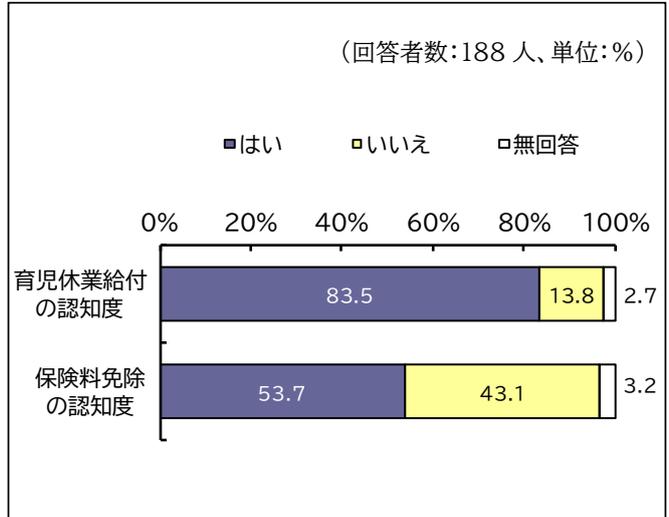


表 育児休業に関する制度の認知度

回答者数:188人、単位:%

区分	はい	いいえ	無回答
育児休業給付の認知度	157 (83.5)	26 (13.8)	5 (2.7)
保険料免除の認知度	101 (53.7)	81 (43.1)	6 (3.2)

1-14-2 育児休業の取得状況（問33）

問33 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。

(1) 母親の取得状況

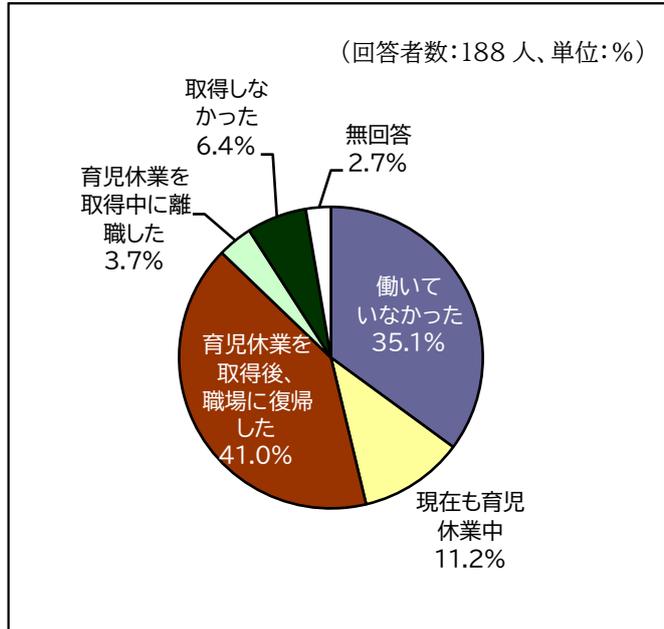
「取得後、職場に復帰した」が41.0%

母親の育児休業の取得状況については、「働いていなかった」が35.1%、「現在も育児休業中」が11.2%（21人）、「育児休業を取得後、職場に復帰した」が41.0%（77人）、「取得しなかった」が6.4%（12人）などとなっています。

表 母親の取得状況

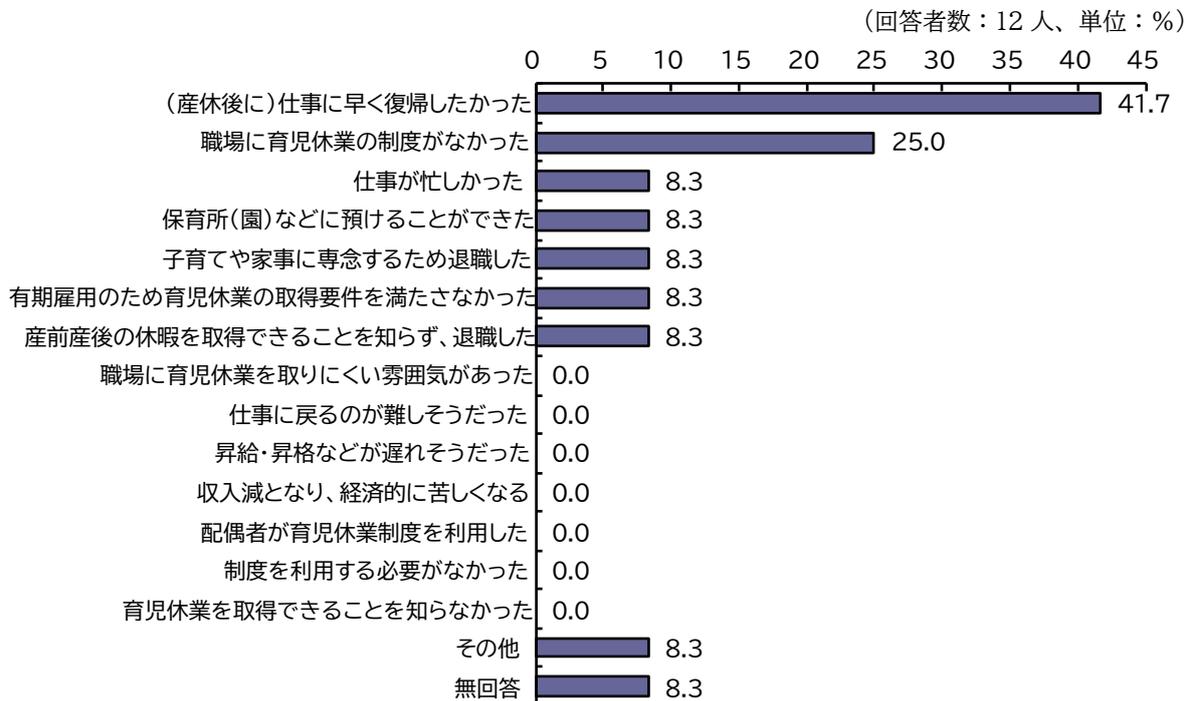
区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
働いていなかった	66 (35.1)
現在も育児休業中	21 (11.2)
育児休業を取得後、職場に復帰した	77 (41.0)
育児休業を取得中に離職した	7 (3.7)
取得しなかった	12 (6.4)
無回答	5 (2.7)

図 母親の取得状況



また、「取得しなかった」と回答した12人に対し、その理由を聞いたところ、「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」が41.7%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が25.0%で続いています。

図 取得しなかった理由（複数回答）



(2) 父親の取得状況

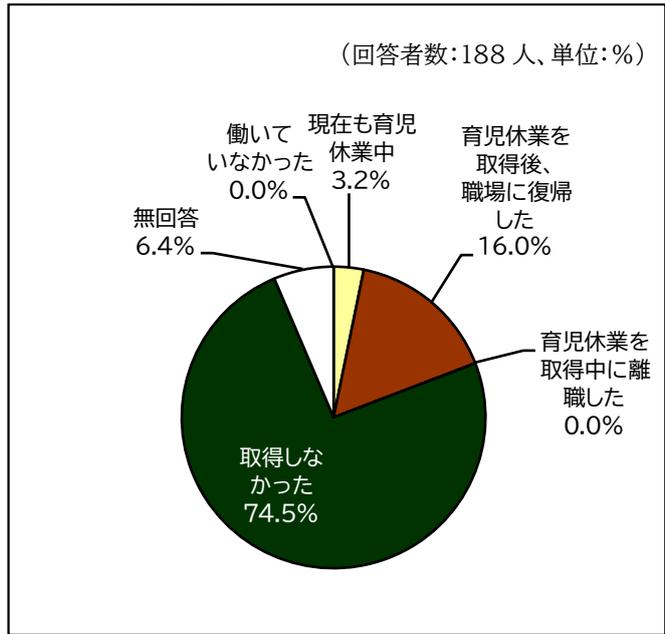
「取得しなかった」が74.5%

父親の育児休業の取得状況については、「現在も育児休業中」が3.2%（6人）、「育児休業を取得後、職場に復帰した」が16.0%（30人）、「取得しなかった」が74.5%（140人）などとなっています。

表 父親の取得状況

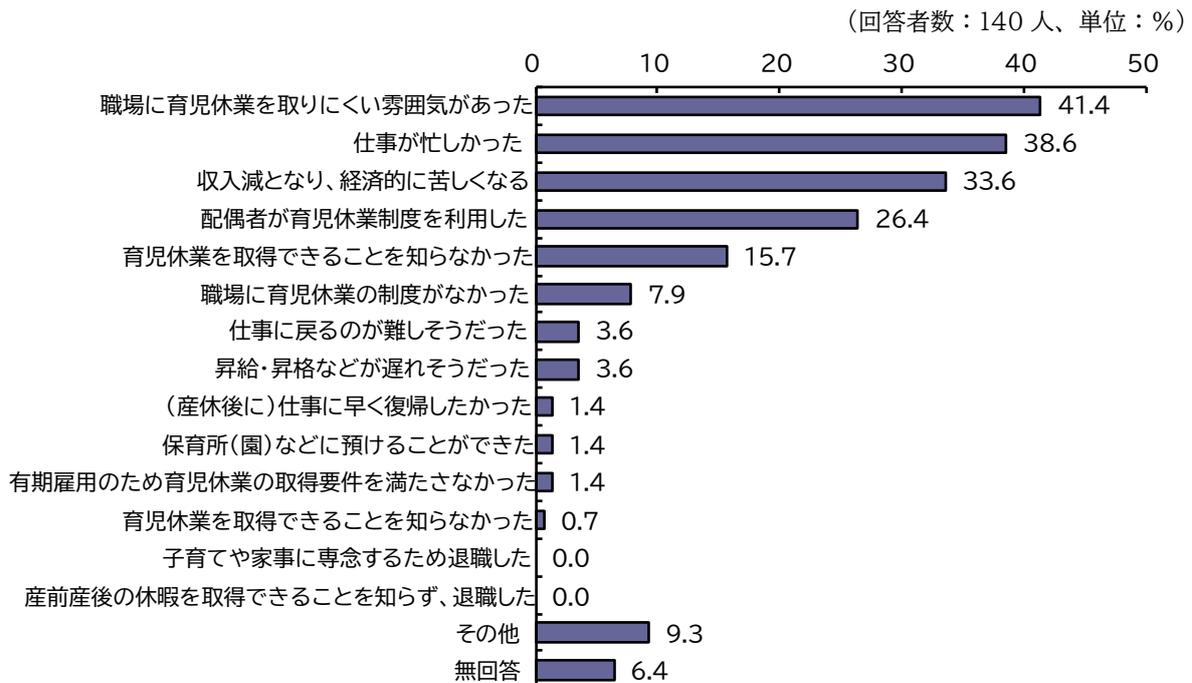
区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
働いていなかった	0 (0.0)
現在も育児休業中	6 (3.2)
育児休業を取得後、職場に復帰した	30 (16.0)
育児休業を取得中に離職した	0 (0.0)
取得しなかった	140 (74.5)
無回答	12 (6.4)

図 父親の取得状況



また、「取得しなかった」と回答した140人に対し、その理由を聞いたところ、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が41.4%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が38.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が33.6%が続いています。

図 取得しなかった理由（複数回答）



1-14-3 1歳になるまでの育児休業の利用希望（問 33-1）

問 33-1 問 33 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、お子さんが1歳になったときに利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

①母親の利用希望

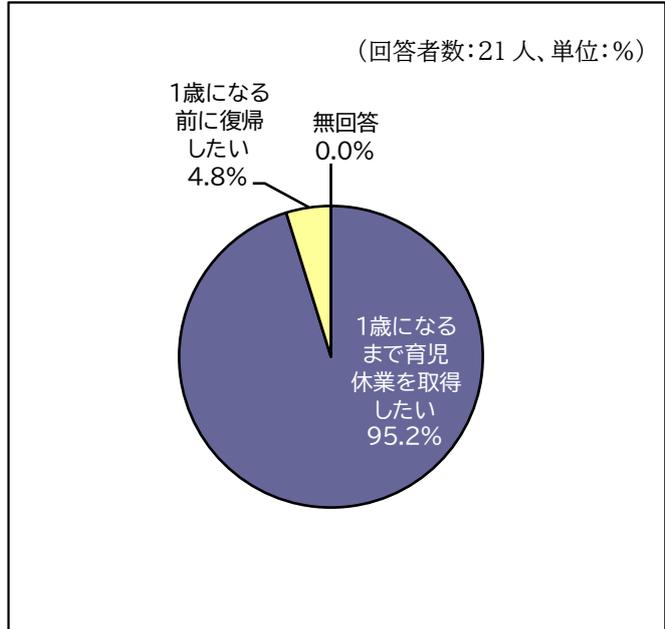
「取得したい」が95.2%

育児休業の取得状況で母親が「現在も育児休業中である」と回答した21人に対し、子どもが1歳になるまでの育児休業の利用希望について聞いたところ、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が95.2%、「1歳になる前に復帰したい」が4.8%となっています。

表 母親の利用希望

区分	人 (%)
回答者総数	21 (100.0)
1歳になるまで育児休業を取得したい	20 (95.2)
1歳になる前に復帰したい	1 (4.8)
無回答	0 (0.0)

図 母親の利用希望



②父親の利用希望

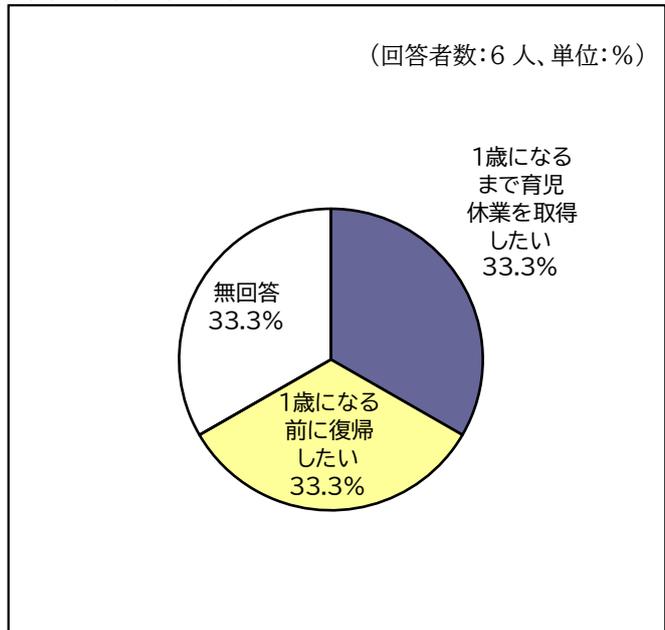
「取得したい」は33.3%

育児休業の取得状況で父親が「現在も育児休業中である」と回答した6人に対し、子どもが1歳になるまでの育児休業の利用希望について聞いたところ、「1歳になるまで育児休業を取得したい」及び「1歳になる前に復帰したい」がともに33.3%となっています。

表 父親の利用希望

区分	人 (%)
回答者総数	6 (100.0)
1歳になるまで育児休業を取得したい	2 (33.3)
1歳になる前に復帰したい	2 (33.3)
無回答	2 (33.3)

図 父親の利用希望



1-14-4 職場復帰のタイミング（問 33-2）

問 33 で「3. 育児休業を取得後、職場に復帰した」と回答した方で、お子さんが保育園を利用した方にうかがいます。

問 33-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。

①母親の職場復帰のタイミング

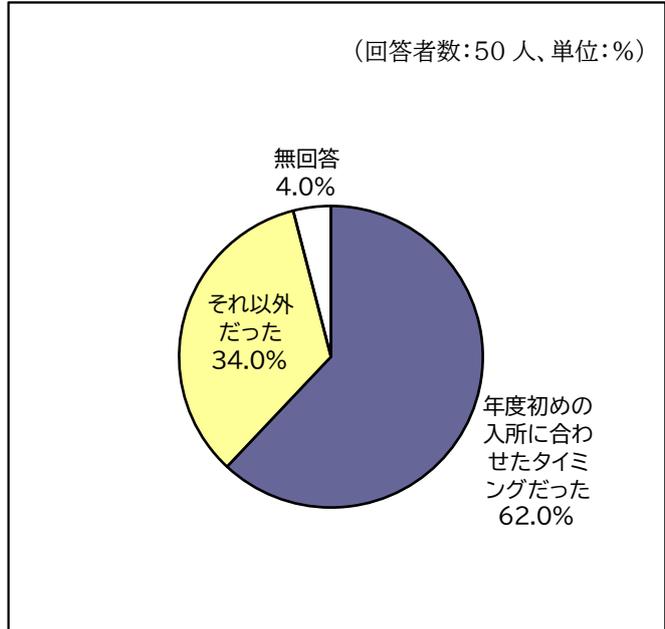
「年度初めに合わせた」が 62.0%

母親の育児休業の取得状況において「育児休業を取得後、職場に復帰した」と回答し、かつ保育園を利用した人 50 人に対し、母親の職場復帰のタイミングについて聞いたところ、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 62.0%、「それ以外だった」が 34.0%となっています。

表 母親の職場復帰のタイミング

区分	人 (%)
回答者総数	50 (100.0)
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	31 (62.0)
それ以外だった	17 (34.0)
無回答	2 (4.0)

図 母親の職場復帰のタイミング



②父親の職場復帰のタイミング

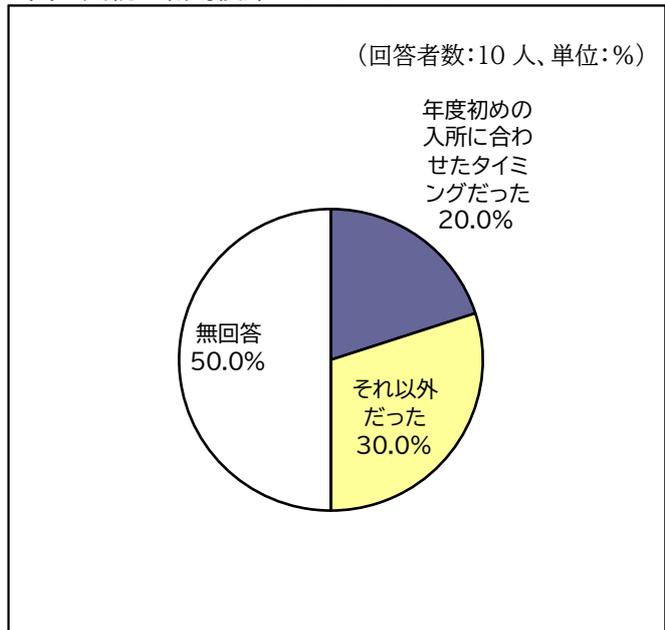
「年度初めに合わせた」は 20.0%

父親の育児休業の取得状況において「育児休業を取得後、職場に復帰した」と回答し、かつ保育園を利用した人 10 人に対し、父親の職場復帰のタイミングについて聞いたところ、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 20.0%、「それ以外だった」が 30.0%となっています。

表 父親の職場復帰のタイミング

区分	人 (%)
回答者総数	10 (100.0)
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2 (20.0)
それ以外だった	3 (30.0)
無回答	5 (50.0)

図 父親の職場復帰のタイミング



1-14-5 希望する期間に復帰できたか（問 33-3）

問 33-3 育児休業からは、希望する期間に職場復帰できましたか。実際と希望の復帰時期もそれぞれご自身をご記入ください。

(1) 母親の復帰時期

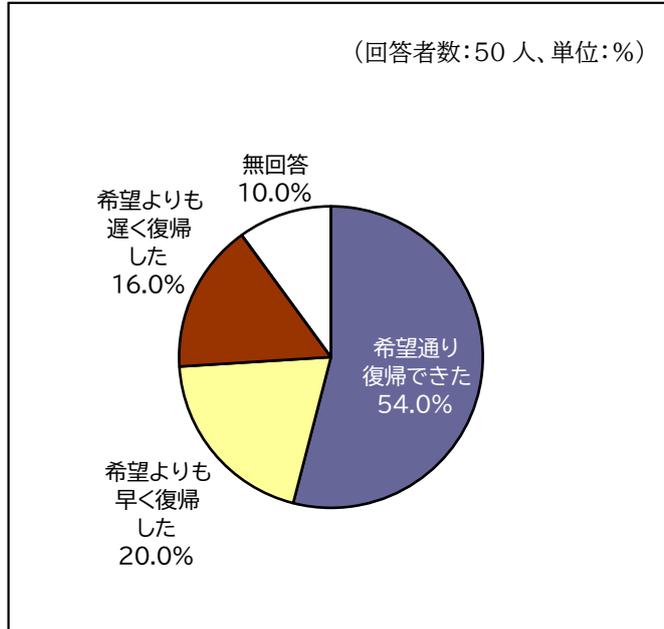
「希望通り復帰できた」が 54.0%

母親の復帰時期については、「希望通り復帰できた」が 54.0%、「希望よりも早く復帰した」が 20.0%（10 人）、「希望よりも遅く復帰した」が 16.0%（8 人）となっています。

表 母親の復帰時期

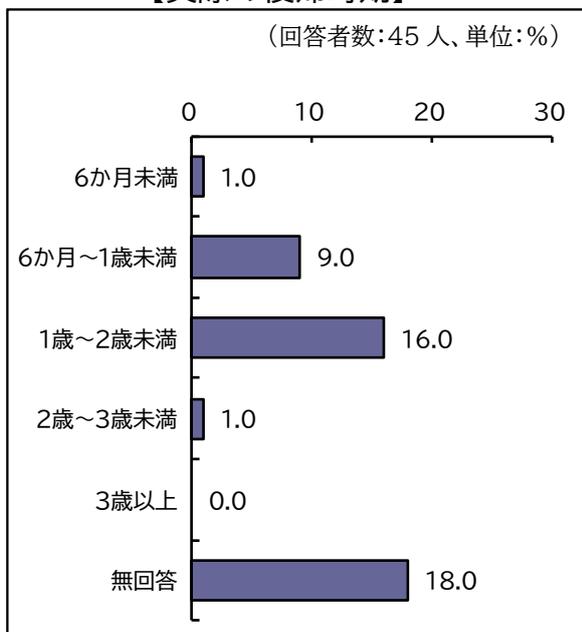
区分	人 (%)
回答者総数	50 (100.0)
希望通り復帰できた	27 (54.0)
希望よりも早く復帰した	10 (20.0)
希望よりも遅く復帰した	8 (16.0)
無回答	5 (10.0)

図 母親の復帰時期

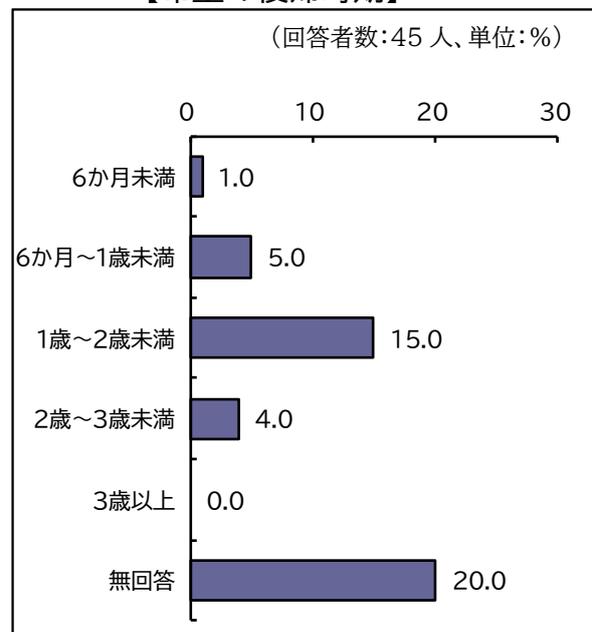


また、復帰した時期については、実際の復帰時期、希望の復帰時期ともに「1 歳～2 歳未満」が最も多くなっています。

【実際の復帰時期】



【希望の復帰時期】



(2) 父親の復帰時期

「希望通り復帰できた」が70.0%

父親の復帰時期については、「希望通り復帰できた」が70.0%、「希望よりも早く復帰した」が30.0%（3人）、「希望よりも遅く復帰した」が0.0%となっています

図 父親の復帰時期

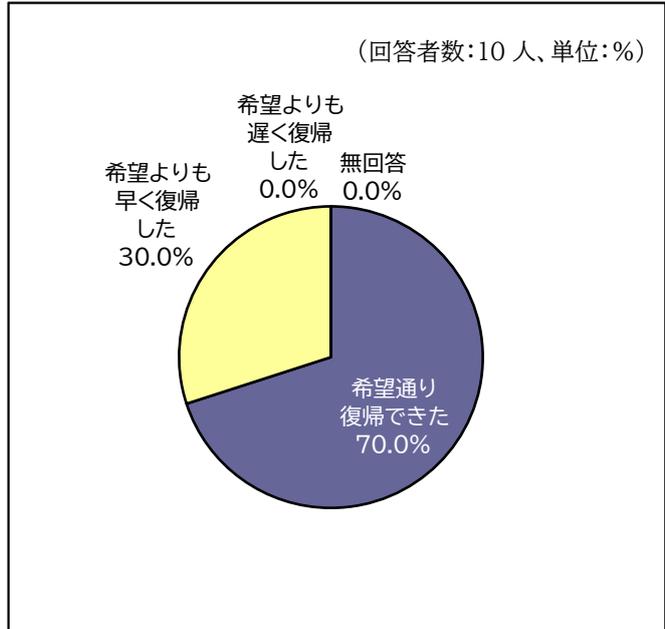
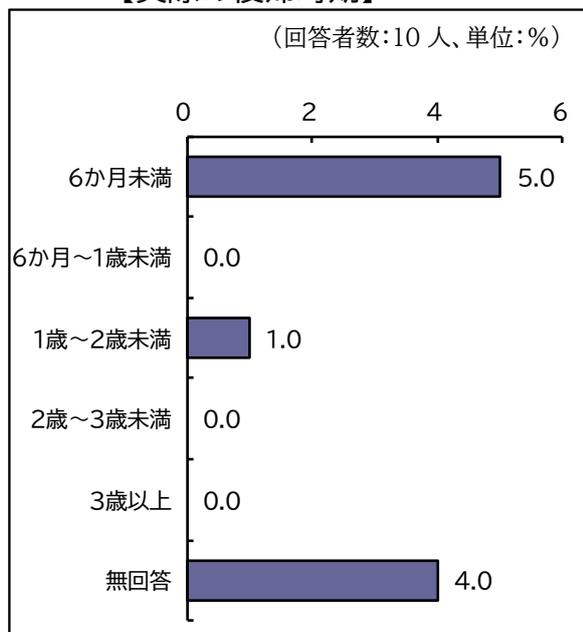


表 父親の復帰時期

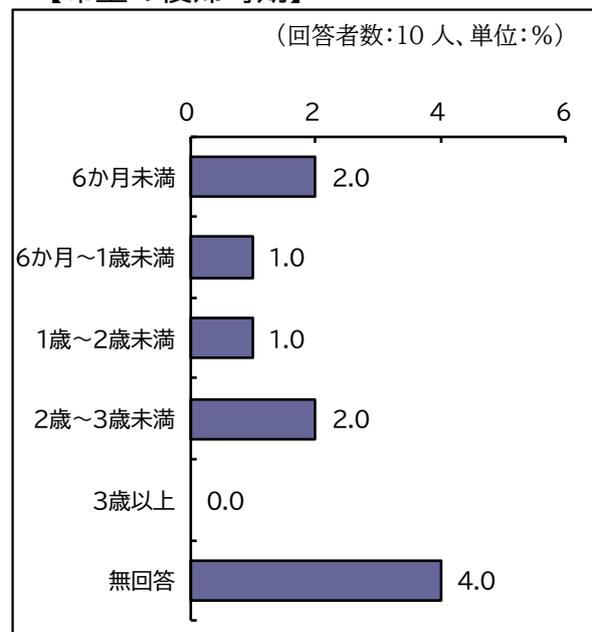
区分	人 (%)
回答者総数	10 (100.0)
希望通り復帰できた	7 (70.0)
希望よりも早く復帰した	3 (30.0)
希望よりも遅く復帰した	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

また、復帰した時期については、実際の復帰時期は「6か月未満」が最も多くなっていますが、希望の復帰時期は「2～3歳未満」も回答者がみられます。

【実際の復帰時期】



【希望の復帰時期】



1-14-6 希望の時期に復帰しなかった理由（問 33-4）

問 33-4 実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 希望よりも早く復帰した理由

①母親の理由

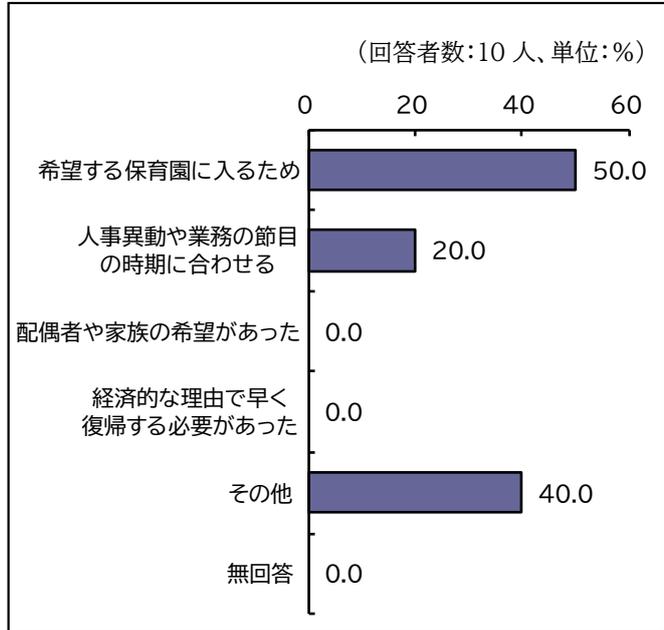
「希望する保育園に入るため」が50.0%

母親の復帰時期において「希望よりも早く復帰した」と回答した10人に対し、その理由について聞いたところ、「希望する保育園に入るため」が50.0%で最も多くなっています。

表 母親の理由

区分	人 (%)
回答者総数	10 (100.0)
希望する保育園に入るため	5 (50.0)
人事異動や業務の節目の時期に合わせる	2 (20.0)
配偶者や家族の希望があった	0 (0.0)
経済的な理由で早く復帰する必要がある	0 (0.0)
その他	4 (40.0)
無回答	0 (0.0)

図 母親の理由



なお、父親の理由については、該当者が3人と少ないため、掲載を省略します。

(2) 希望よりも遅く復帰した理由

①母親の理由

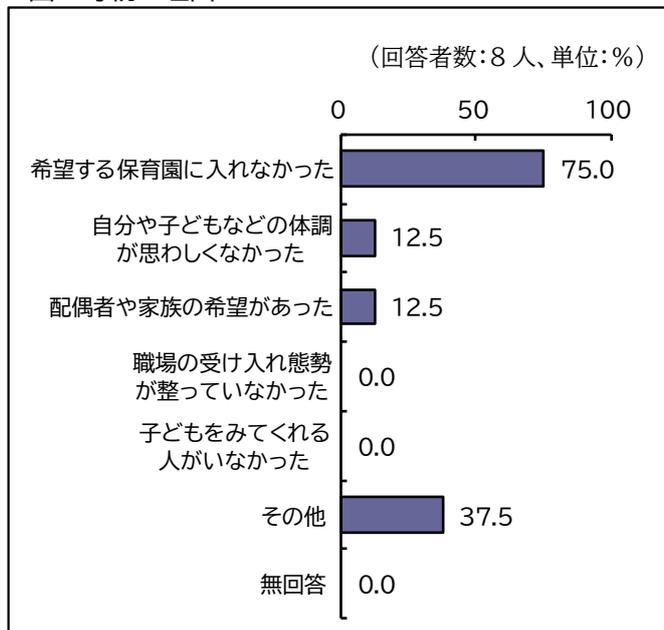
「希望する保育園に入れなかった」が75.0%

母親の復帰時期において「希望よりも遅く復帰した」と回答した8人に対し、その理由について聞いたところ、「希望する保育園に入れなかった」が75.0%で最も多くなっています。

表 母親の理由

区分	人 (%)
回答者総数	8 (100.0)
希望する保育園に入れなかった	6 (75.0)
自分や子どもなどの体調が思わしくなかった	1 (12.5)
配偶者や家族の希望があった	1 (12.5)
職場の受け入れ態勢が整っていなかった	0 (0.0)
子どもをみてくれる人がいなかった	0 (0.0)
その他	3 (37.5)
無回答	0 (0.0)

図 母親の理由



なお、父親の理由は、該当者がいないため、掲載を省略します。

1-14-7 3歳まで取得できる制度の利用希望（問33-5）

問33-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、利用したいと思いましたが。また、利用しなかった場合、希望としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

(1) 母親の利用希望

① 利用希望の有無

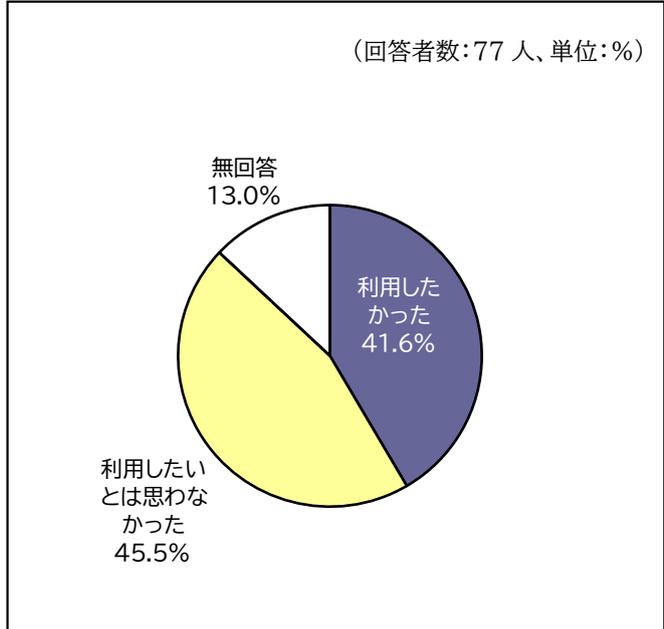
「利用しなかった」は41.6%

母親の育児休業の取得状況において「育児休業を取得後、職場に復帰した」と回答した77人に対し、勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の利用希望について聞いたところ、「利用しなかった」が41.6%（32人）、「利用したいとは思わなかった」が45.5%となっています。

表 母親の利用希望

区分	人 (%)
回答者総数	77 (100.0)
利用しなかった	32 (41.6)
利用したいとは思わなかった	35 (45.5)
無回答	10 (13.0)

図 母親の利用希望



② 利用しなかった年齢

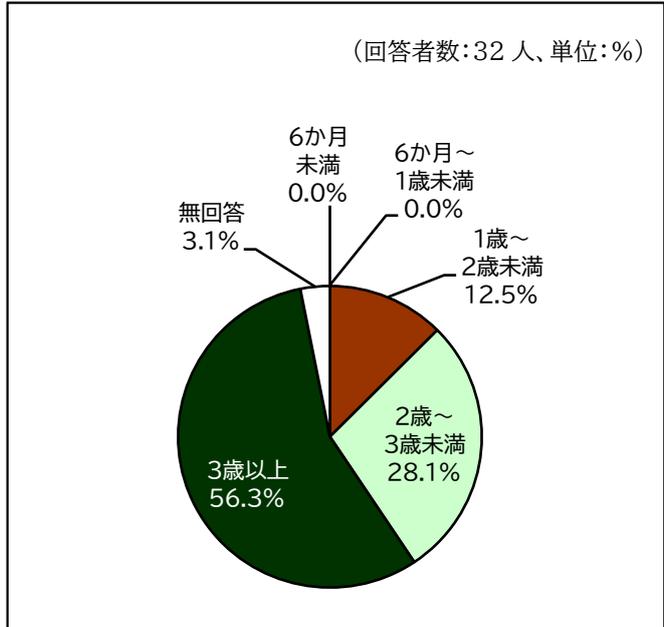
「3歳以上」が56.3%

3歳まで取得できる制度を「利用しなかった」と回答した32人に対し、利用しなかった年齢について聞いたところ、「3歳以上」が56.3%で最も多く、次いで「2歳～3歳未満」が28.1%が続いています。

表 利用しなかった年齢

区分	人 (%)
回答者総数	32 (100.0)
6か月未満	0 (0.0)
6か月～1歳未満	0 (0.0)
1歳～2歳未満	4 (12.5)
2歳～3歳未満	9 (28.1)
3歳以上	18 (56.3)
無回答	1 (3.1)

図 利用しなかった年齢



(2) 父親の利用希望

①利用希望の有無

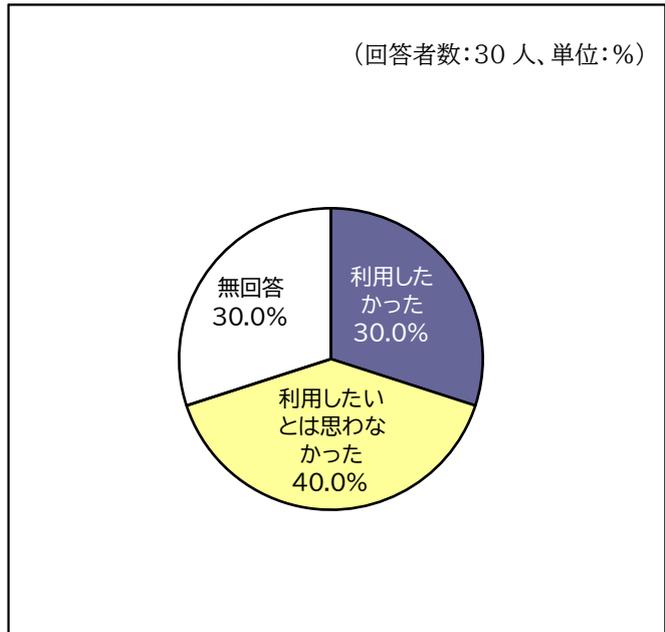
「利用しなかった」は30.0%

父親の育児休業の取得状況において「育児休業を取得後、職場に復帰した」と回答した30人に対し、勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の利用希望について聞いたところ、「利用しなかった」が30.0%（9人）、「利用したいとは思わなかった」が40.0%となっています。

表 父親の利用希望

区分	人 (%)
回答者総数	30 (100.0)
利用しなかった	9 (30.0)
利用したいとは思わなかった	12 (40.0)
無回答	9 (30.0)

図 父親の利用希望



②利用しなかった年齢

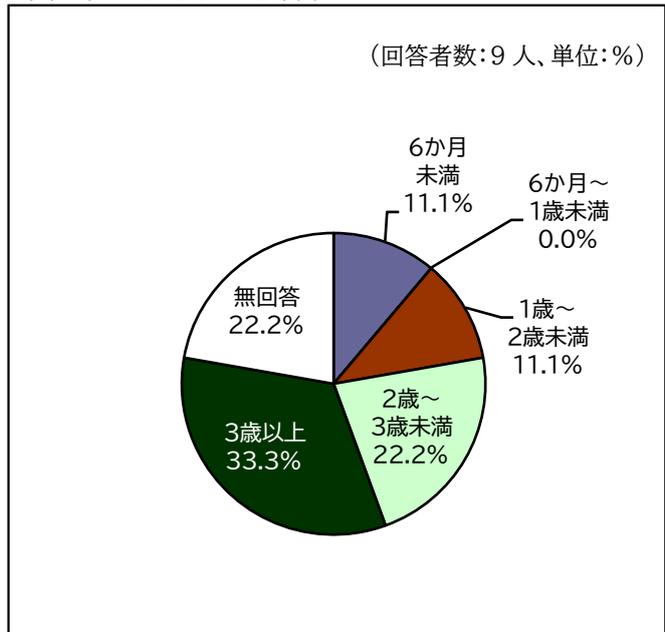
「3歳以上」が最も多い

3歳まで取得できる制度を「利用しなかった」と回答した9人に対し、利用しなかった年齢について聞いたところ、「3歳以上」が33.3%で最も多く、次いで「2歳～3歳未満」が22.2%が続いています。

表 利用しなかった年齢

区分	人 (%)
回答者総数	9 (100.0)
6か月未満	1 (11.1)
6か月～1歳未満	0 (0.0)
1歳～2歳未満	1 (11.1)
2歳～3歳未満	2 (22.2)
3歳以上	3 (33.3)
無回答	2 (22.2)

図 利用しなかった年齢



1-14-8 復帰時の短時間勤務制度の利用状況（問 33-6）

問 33-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

①母親の利用状況

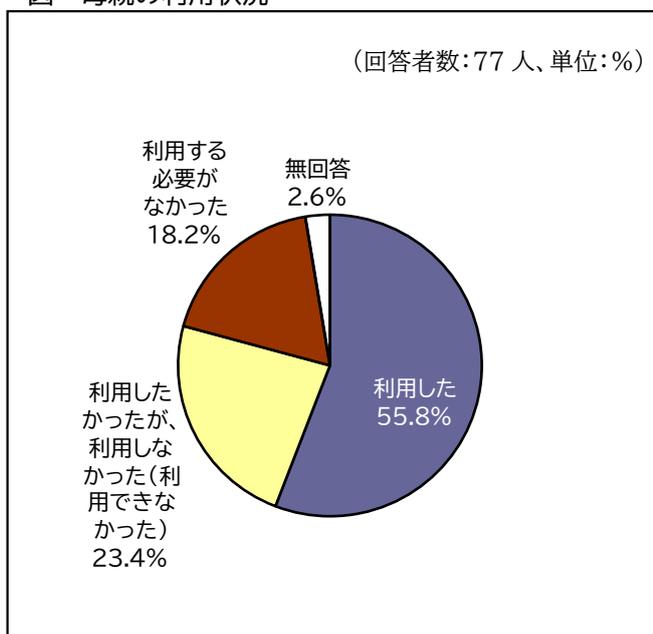
「利用した」が55.8%

母親の育児休業からの職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況については、「利用した」が55.8%、「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が23.4%、「利用する必要がなかった」が18.2%（14人）となっています。

表 母親の利用状況

区分	人 (%)
回答者総数	77 (100.0)
利用した	43 (55.8)
利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）	18 (23.4)
利用する必要がなかった	14 (18.2)
無回答	2 (2.6)

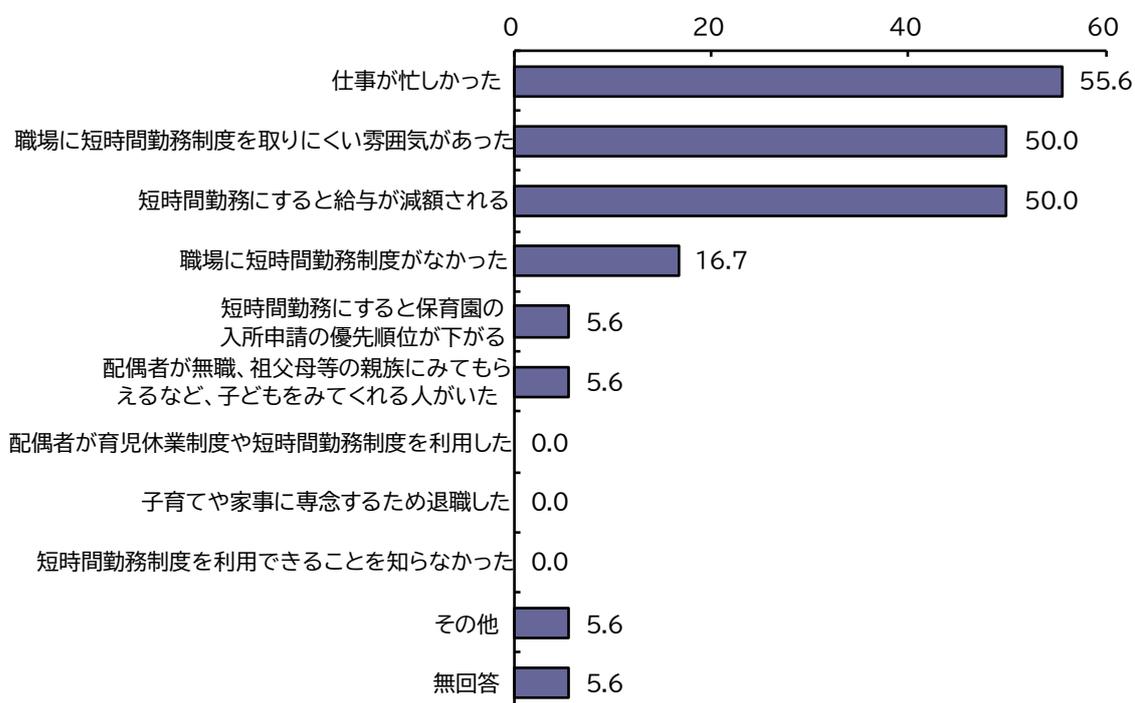
図 母親の利用状況



また、短時間勤務制度を「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した18人に対し、その理由について聞いたところ、「仕事が忙しかった」が55.6%で最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」及び「短時間勤務にすると給与が減額される」がともに50.0%で続いています。

図 短時間勤務制度を利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）理由（複数回答）

(回答者数:18人、単位:%)



②父親の利用状況

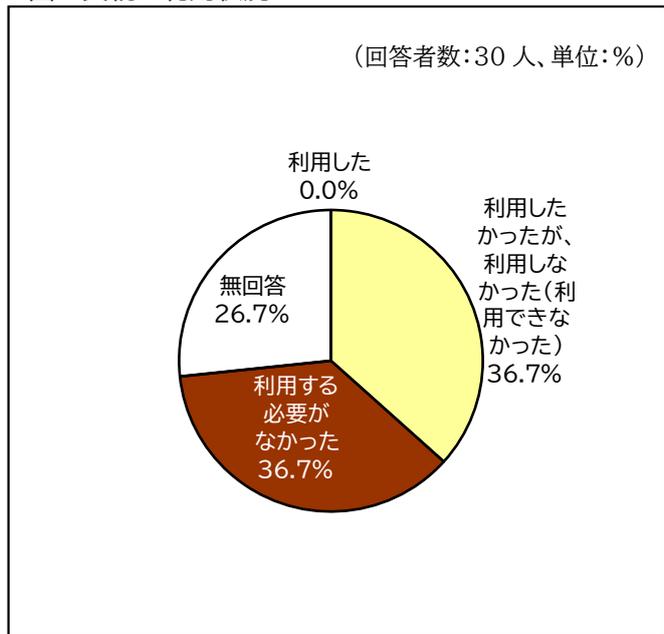
「利用できなかった」が36.7%

父親の育児休業からの職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況については、「利用した」が0.0%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が36.7%、「利用する必要がなかった」が36.7%（11人）となっています。

表 父親の利用状況

区分	人 (%)
回答者総数	30 (100.0)
利用した	0 (0.0)
利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	11 (36.7)
利用する必要がなかった	11 (36.7)
無回答	8 (26.7)

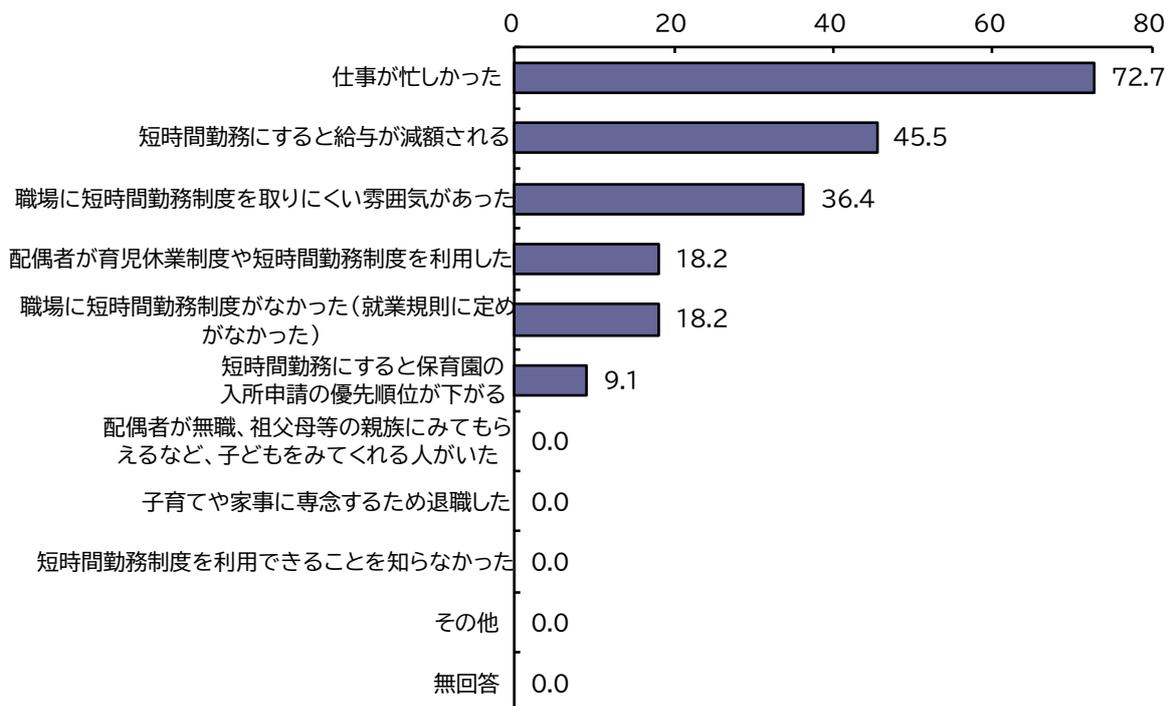
図 父親の利用状況



また、短時間勤務制度を「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した11人に対し、その理由について聞いたところ、「仕事が忙しかった」が72.7%で最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が45.5%「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が36.4%で続いています。

図 短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）理由（複数回答）

(回答者数:11人、単位:%)



第15節 子育て環境や支援全般について

1-15-1 今後の重点施策（問34）

問34 今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは何ですか。あてはまる番号を5つまで選んで○をつけてください。

「身近な公園の充実」、「経済的支援の充実」、「幼児期の教育・保育の充実」が多くみられる

今後の重点施策については、「身近な公園の充実」が75.5%で最も多く、次いで「経済的支援の充実」が64.9%、「幼児期の教育・保育の充実」が63.8%が続いています。

図 今後の重点施策（複数回答）

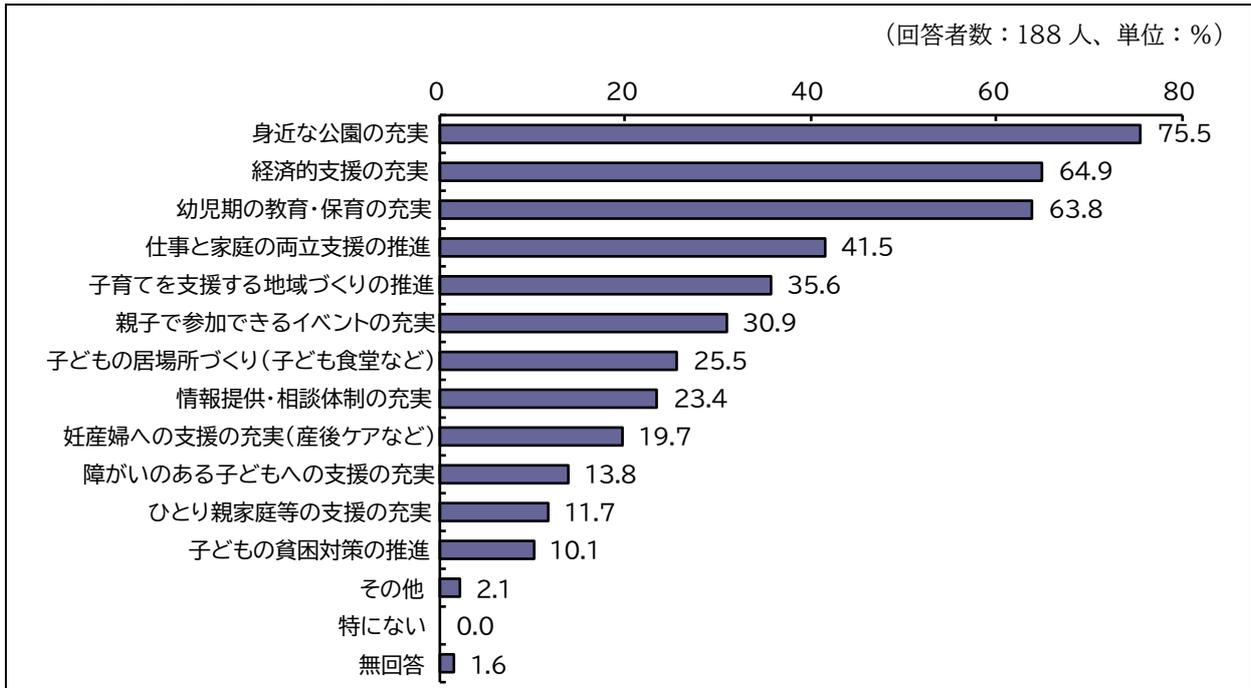


表 今後の重点施策（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
身近な公園の充実	142 (75.5)
経済的支援の充実	122 (64.9)
幼児期の教育・保育の充実	120 (63.8)
仕事と家庭の両立支援の推進	78 (41.5)
子育てを支援する地域づくりの推進	67 (35.6)
親子で参加できるイベントの充実	58 (30.9)
子どもの居場所づくり(子ども食堂など)	48 (25.5)

区分	人 (%)
情報提供・相談体制の充実	44 (23.4)
妊産婦への支援の充実(産後ケアなど)	37 (19.7)
障がいのある子どもへの支援の充実	26 (13.8)
ひとり親家庭等の支援の充実	22 (11.7)
子どもの貧困対策の推進	19 (10.1)
その他	4 (2.1)
特にない	0 (0.0)
無回答	3 (1.6)

1-15-2 町全体の子育て環境の満足度（問 35）

問 35 越生町全体の子育て環境や子育て支援への満足度はいかがですか。

“満足・どちらかといえば満足” が 44.7%

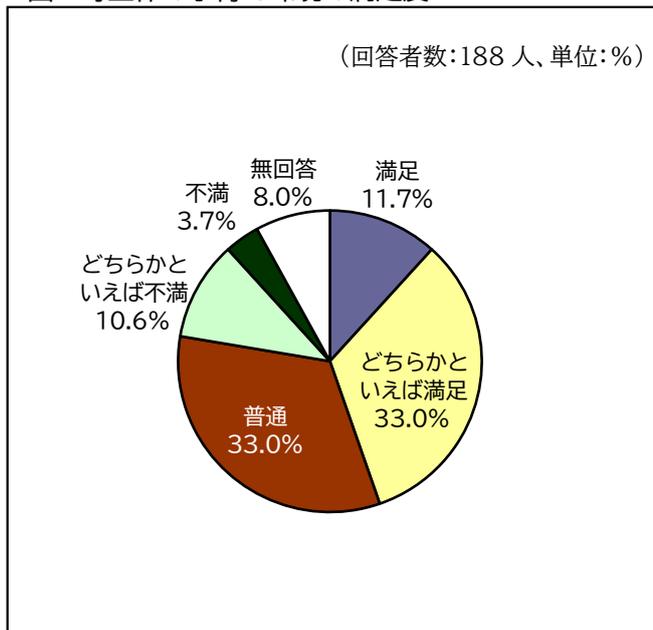
町全体の子育て環境の満足度については、「満足」が 11.7%、「どちらかといえば満足」が 33.0%であり、これらを合わせると 44.7%が“満足・どちらかといえば満足”と回答しています。

一方、「どちらかといえば不満」が 10.6%、「不満」が 3.7%であり、これらを合わせると 14.3%が“どちらかといえば不満・不満”と回答しています。

表 町全体の子育て環境の満足度

区 分	人 (%)
回答者総数	188 (100.0)
満足	22 (11.7)
どちらかといえば満足	62 (33.0)
普通	62 (33.0)
どちらかといえば不満	20 (10.6)
不満	7 (3.7)
無回答	15 (8.0)

図 町全体の子育て環境の満足度



第2章

小学生保護者ニーズ調査

第1節 回答者自身の状況

2-1-1 小学校（問1）

問1 お子さんの小学校は次のどれですか。

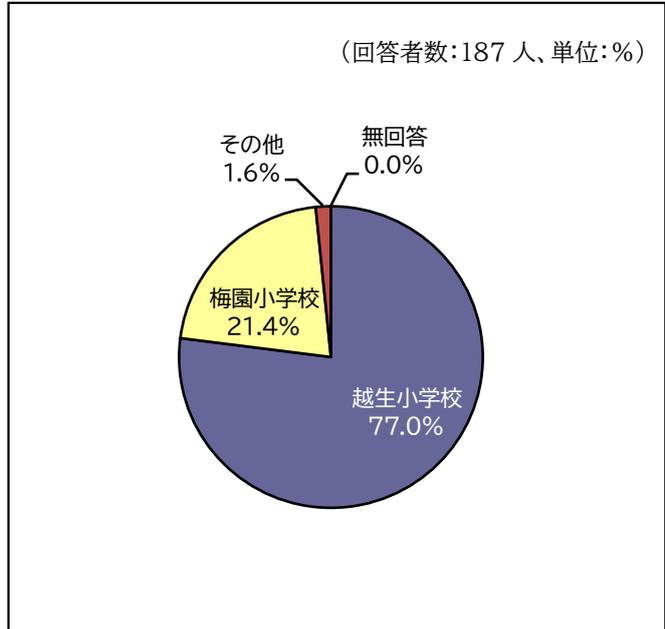
「越生小学校」が77.0%

小学校については、「越生小学校」が77.0%、「梅園小学校」が21.4%となっています。

表 小学校

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
越生小学校	144 (77.0)
梅園小学校	40 (21.4)
その他	3 (1.6)
無回答	0 (0.0)

図 小学校



2-1-2 学年（問2）

問2 お子さんの学年は次のどれですか。

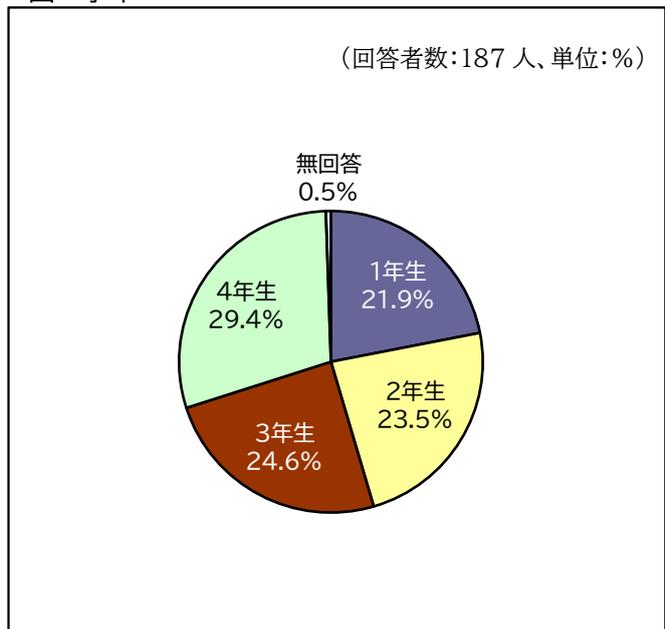
高学年になるほど多い

学年については、「1年生」が21.9%、「2年生」が23.5%、「3年生」が24.6%、「4年生」が29.4%となっています。

表 学年

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
1年生	41 (21.9)
2年生	44 (23.5)
3年生	46 (24.6)
4年生	55 (29.4)
無回答	1 (0.5)

図 学年



2-1-3 調査の回答者（問3）

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

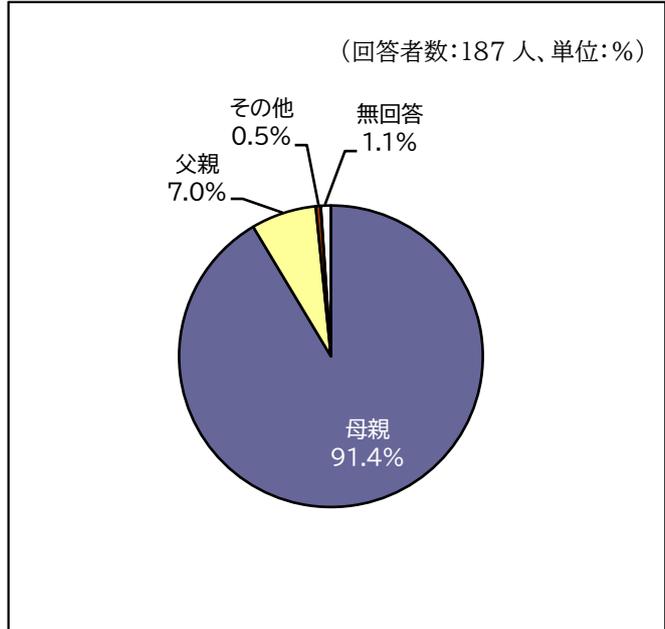
「母親」が91.4%

調査の回答者については、「母親」が91.4%、「父親」が7.0%となっています。

表 調査の回答者

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
母親	171 (91.4)
父親	13 (7.0)
その他	1 (0.5)
無回答	2 (1.1)

図 調査の回答者



2-1-4 回答者の配偶者の有無（問3-1）

問3-1 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。

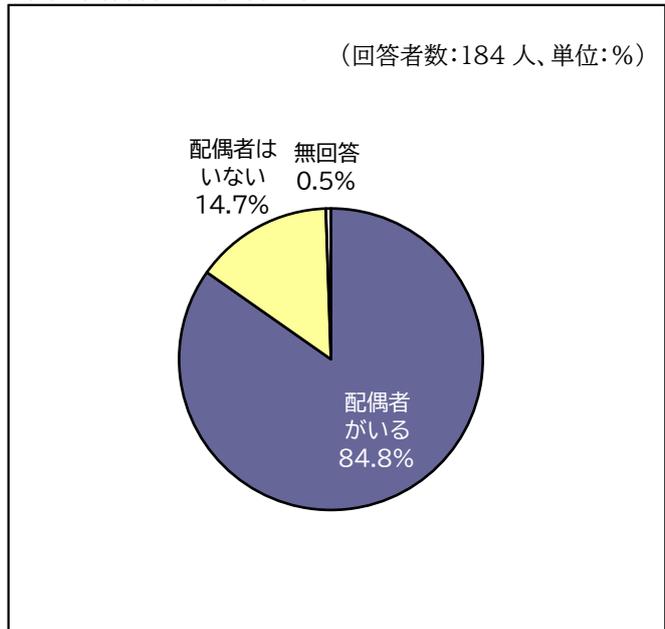
「配偶者がいる」が84.8%

調査の回答者において「母親」または「父親」と回答した184人に対し、回答者の配偶者の有無について聞いたところ、「配偶者がいる」が84.8%、「配偶者はいない」が14.7%となっています。

表 回答者の配偶者の有無

区分	人 (%)
回答者総数	184 (100.0)
配偶者がいる	156 (84.8)
配偶者はいない	27 (14.7)
無回答	1 (0.5)

図 回答者の配偶者の有無



2-1-5 きょうだいの人数 (問4)

問4 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。アンケートの対象のお子さんを含めた人数をご記入ください。

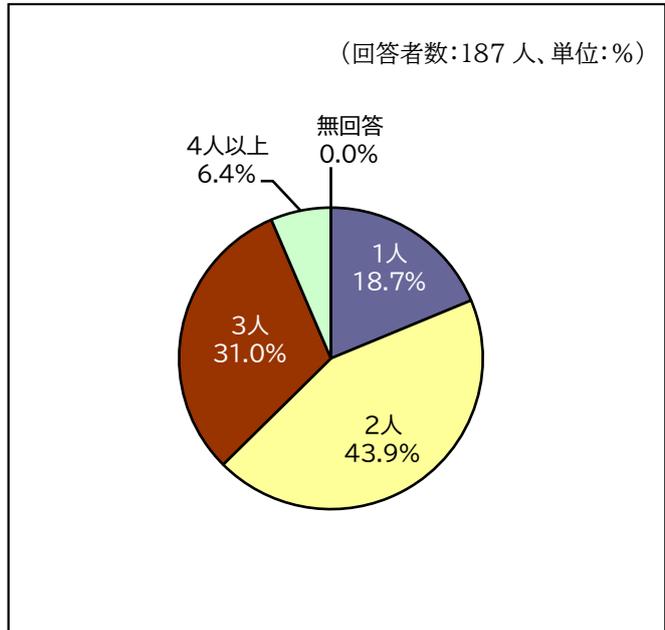
「2人」が最も多い

きょうだいの人数については、「1人」が18.7%、「2人」が43.9%、「3人」が31.0%、「4人以上」が6.4%となっています。

表 きょうだいの人数

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
1人	35 (18.7)
2人	82 (43.9)
3人	58 (31.0)
4人以上	12 (6.4)
無回答	0 (0.0)

図 きょうだいの人数



2-1-6 子育てを主に行っている人 (問5)

問5 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

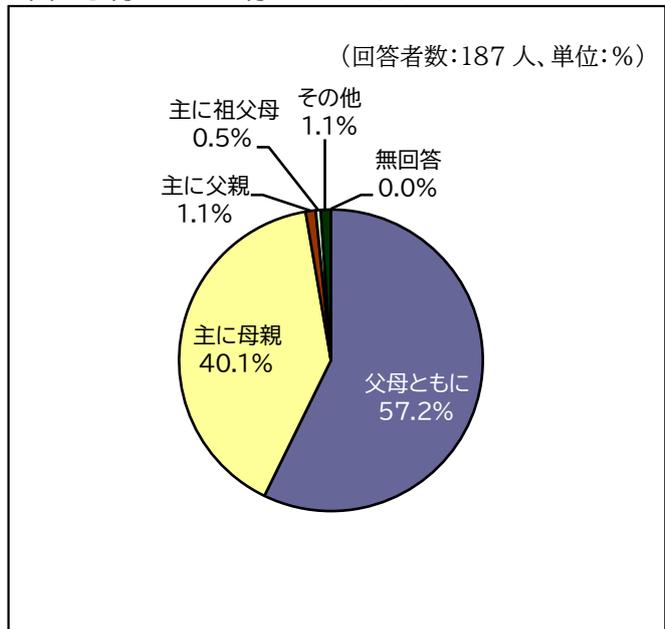
「父母ともに」が最も多い

子育てを主に行っている人については、「父母ともに」が57.2%、「主に母親」が40.1%、「主に父親」が1.1%などとなっています。

表 子育てを主に行っている人

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
父母ともに	107 (57.2)
主に母親	75 (40.1)
主に父親	2 (1.1)
主に祖父母	1 (0.5)
その他	2 (1.1)
無回答	0 (0.0)

図 子育てを主に行っている人



第2節 周囲のサポートや相談相手について

2-2-1 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（問6）

問6 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

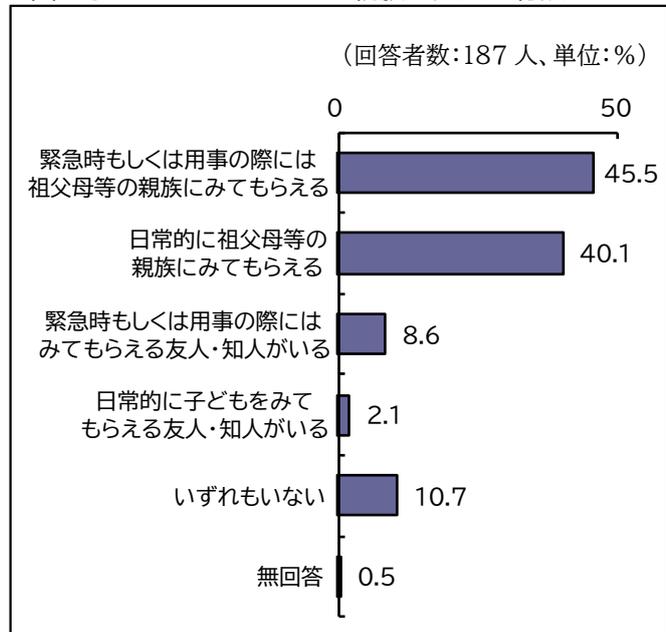
「緊急時には祖父母等」が最も多い

子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が45.5%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が40.1%で続いています。

表 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	85 (45.5)
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	75 (40.1)
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	16 (8.6)
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	4 (2.1)
いずれもない	20 (10.7)
無回答	1 (0.5)

図 子どもをみてもらえる親族・知人の有無



2-2-2 親族にみてもらっている状況（問6-1）

問6-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（いくつでも）

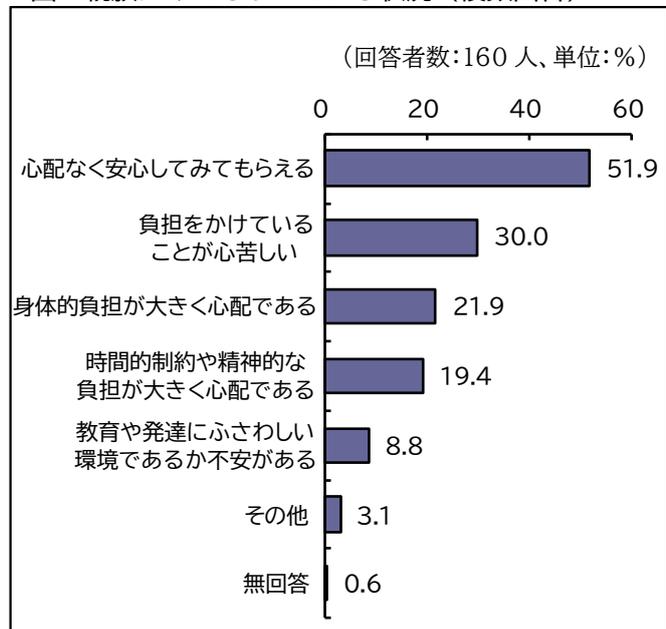
「安心してみてもらえる」が最も多い

緊急時または日常的に「親族にみてもらえる」と回答した160人に対し、その状況について聞いたところ、「心配なく安心して子どもをみてもらえる」が51.9%で最も多く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」が30.0%で続いています。

表 親族にみてもらっている状況（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	160 (100.0)
心配なく安心して子どもをみてもらえる	83 (51.9)
負担をかけていることが心苦しい	48 (30.0)
身体的負担が大きく心配である	35 (21.9)
時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	31 (19.4)
子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか少し不安がある	14 (8.8)
その他	5 (3.1)
無回答	1 (0.6)

図 親族にみてもらっている状況（複数回答）



2-2-3 友人・知人にみてもらっている状況（問6-2）

問6-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（いくつでも）

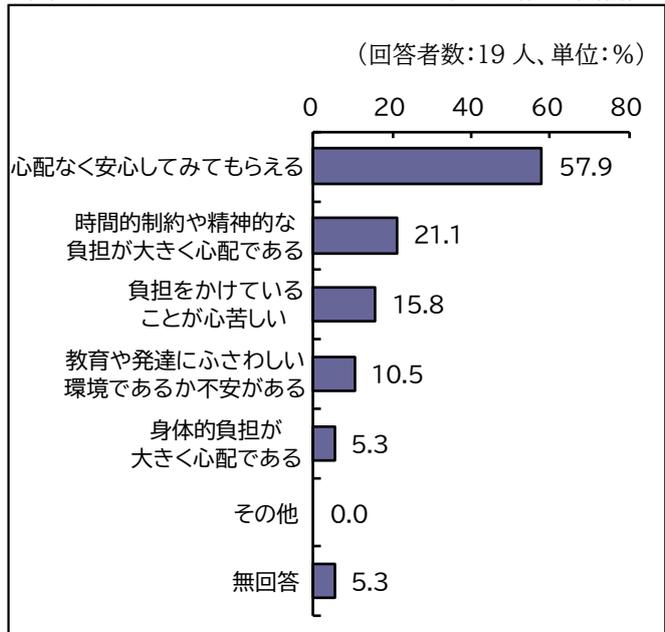
「安心してみてもらえる」が最も多い

緊急時または日常的に「友人・知人にみてもらえる」と回答した19人に対し、その状況について聞いたところ、「心配なく安心して子どもをみてもらえる」が57.9%で最も多く、次いで「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が21.1%で続いています。

表 友人・知人にみてもらっている状況（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	19 (100.0)
心配なく安心して子どもをみてもらえる	11 (57.9)
時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	4 (21.1)
負担をかけていることが心苦しい	3 (15.8)
子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか少し不安がある	2 (10.5)
身体的負担が大きく心配である	1 (5.3)
その他	0 (0.0)
無回答	1 (5.3)

図 友人・知人にみてもらっている状況（複数回答）



2-2-4 子育てに関する孤立感の有無（問7）

問7 あなたは子育てに関して孤立感を感じることはありますか。

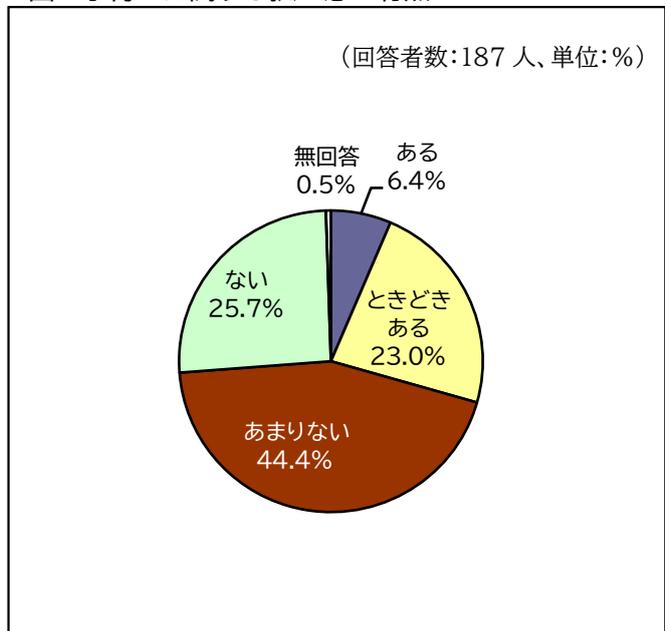
“ある・ときどきある”は29.4%

子育てに関する孤立感の有無については、「ある」が6.4%、「ときどきある」が23.0%であり、これらを合わせると29.4%が“ある・ときどきある”と回答しています。

表 子育てに関する孤立感の有無

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
ある	12 (6.4)
ときどきある	43 (23.0)
あまりない	83 (44.4)
ない	48 (25.7)
無回答	1 (0.5)

図 子育てに関する孤立感の有無



2-2-5 子育てに関する相談相手の有無（問8）

問8 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

「いる／ある」が91.4%

子育てに関する相談相手の有無については、「いる／ある」が91.4%（171人）、「いない／ない」が8.6%となっています。

図 子育てに関する相談相手の有無

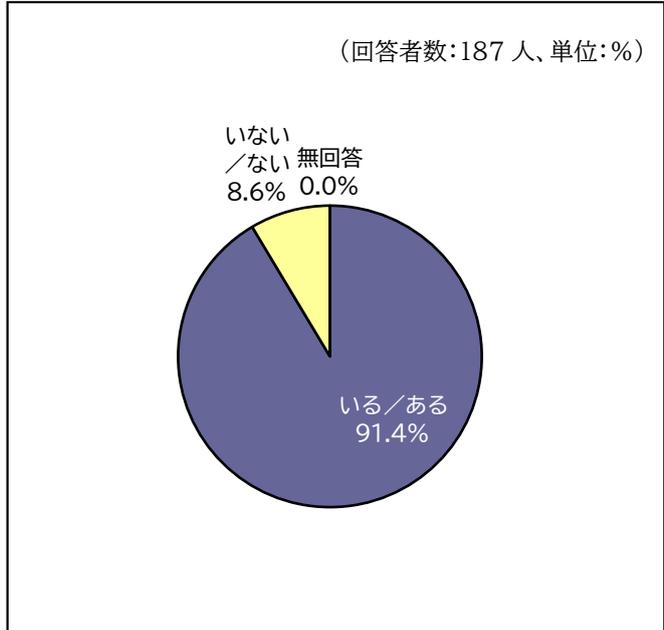


表 子育てに関する相談相手の有無

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
いる／ある	171 (91.4)
いない／ない	16 (8.6)
無回答	0 (0.0)

2-2-6 子育てに関する相談相手（問8-1）

問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（いくつでも）

「友人や知人」が83.0%

子育てに関する相談相手の有無について「いる／ある」と回答した171人に対し、それは誰かについて聞いたところ、「友人や知人」が83.0%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」が80.7%で続いています。

図 子育てに関する相談相手（複数回答）

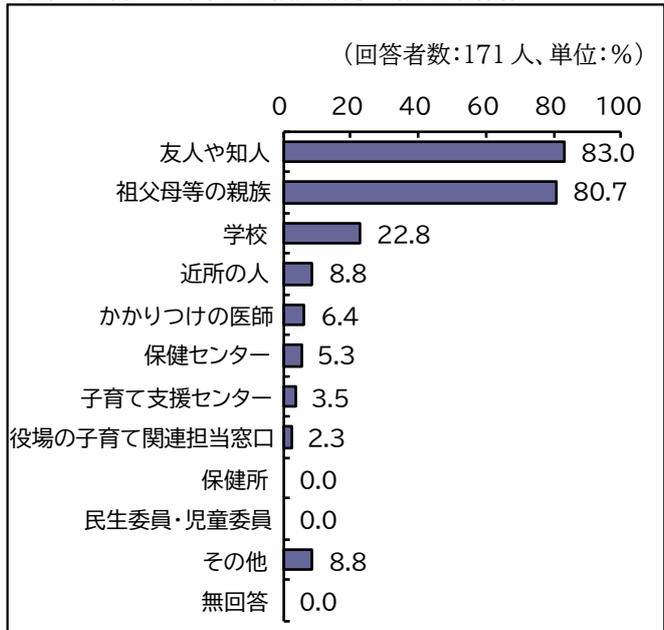


表 子育てに関する相談相手（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	171 (100.0)
友人や知人	142 (83.0)
祖父母等の親族	138 (80.7)
学校	39 (22.8)
近所の人	15 (8.8)
かかりつけの医師	11 (6.4)
保健センター	9 (5.3)
子育て支援センター	6 (3.5)
役場の子育て関連担当窓口	4 (2.3)
保健所	0 (0.0)
民生委員・児童委員	0 (0.0)
その他	15 (8.8)
無回答	0 (0.0)

2-2-7 子育てに関する周囲のサポート（問9）

問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）から、どのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。（いくつでも）

「遊べる場や機会の提供」が最も多い

子育てに関する周囲のサポートについては、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が65.8%で最も多く、次いで「親のリフレッシュの場や機会の提供」が27.8%が続いています。

図 子育てに関する周囲のサポート（複数回答）

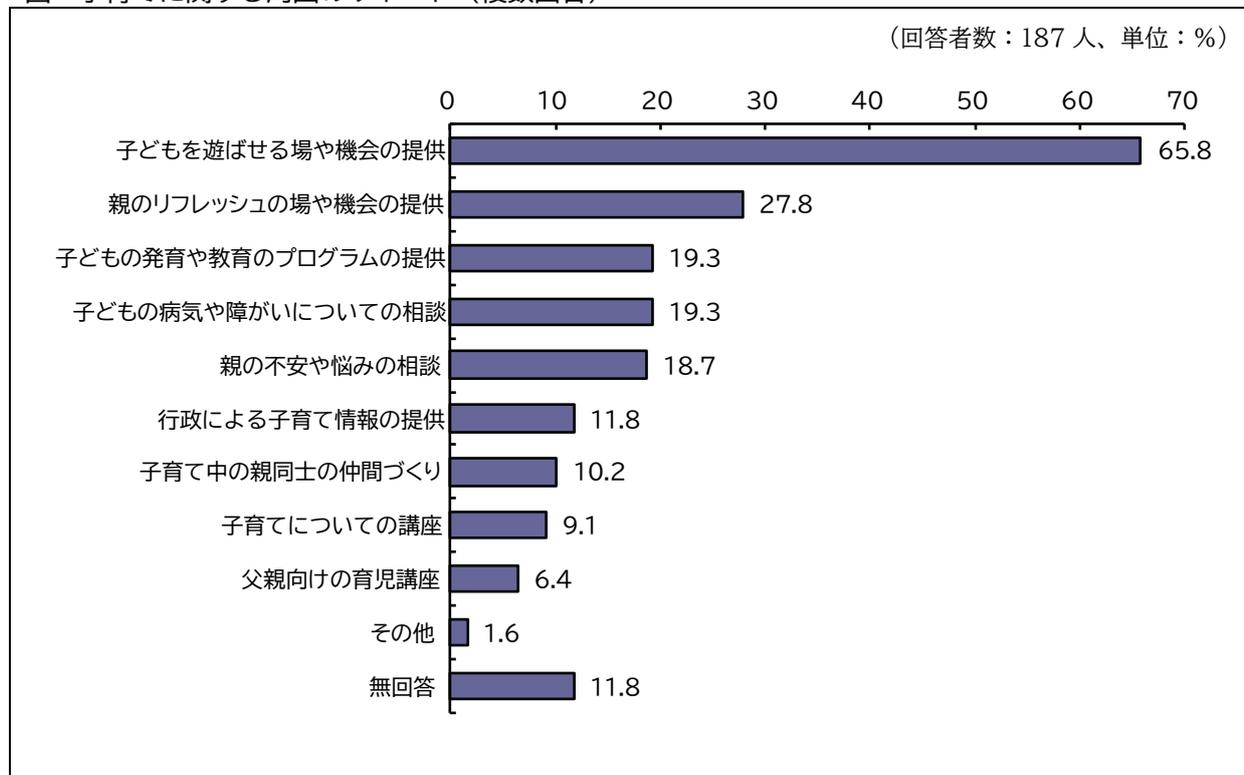


表 子育てに関する周囲のサポート（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
子どもを遊ばせる場や機会の提供	123 (65.8)
親のリフレッシュの場や機会の提供	52 (27.8)
子どもの発育や教育のプログラムの提供	36 (19.3)
子どもの病気や障がいについての相談	36 (19.3)
親の不安や悩みの相談	35 (18.7)
行政による子育て情報の提供	22 (11.8)
子育て中の親同士の仲間づくり	19 (10.2)
子育てについての講座	17 (9.1)
父親向けの育児講座	12 (6.4)
その他	3 (1.6)
無回答	22 (11.8)

第3節 仕事と生活の調和について

2-3-1 仕事と生活の調和における現実と希望（問10）

問10 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてうかがいます。「現実」と「希望」それぞれについて回答欄の中から1つ選んで○をつけて下さい。

（1）仕事と生活の現実の優先状況

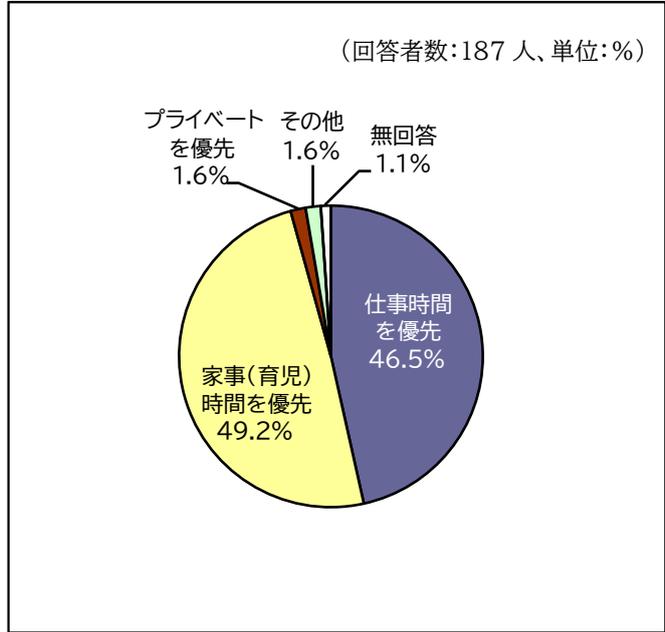
「家事（育児）時間を優先」が49.2%

仕事と生活の現実の優先状況については、「仕事時間を優先」が46.5%、「家事（育児）時間を優先」が49.2%、「プライベートを優先」が1.6%となっています。

表 仕事と生活の現実の優先状況

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
仕事時間を優先	87 (46.5)
家事(育児)時間を優先	92 (49.2)
プライベートを優先	3 (1.6)
その他	3 (1.6)
無回答	2 (1.1)

図 仕事と生活の現実の優先状況



（2）仕事と生活の希望の優先状況

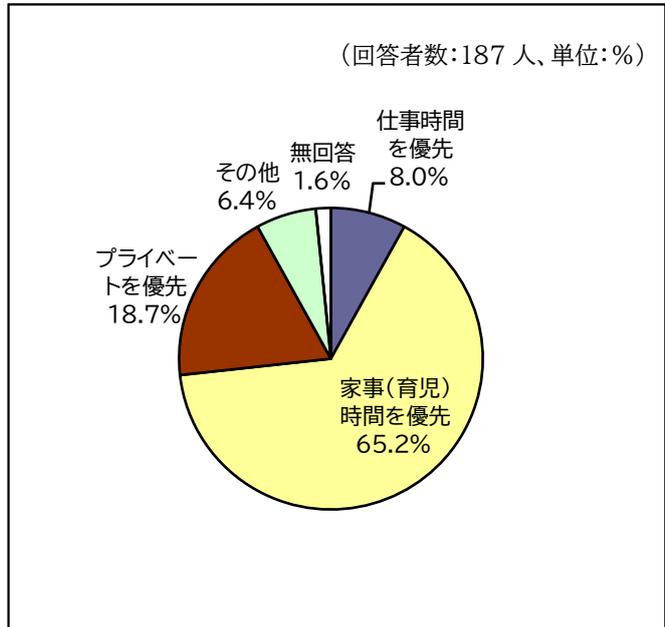
「家事（育児）時間を優先」が65.2%

仕事と生活の希望の優先状況については、「仕事時間を優先」が8.0%、「家事（育児）時間を優先」が65.2%、「プライベートを優先」が18.7%となっています。

表 仕事と生活の希望の優先状況

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
仕事時間を優先	15 (8.0)
家事(育児)時間を優先	122 (65.2)
プライベートを優先	35 (18.7)
その他	12 (6.4)
無回答	3 (1.6)

図 仕事と生活の希望の優先状況



2-3-2 仕事と生活の調和への満足度（問11）

問11 現在、誰もがやりがいや充実感を感じながら働く一方で、個人の時間が持てて健康で豊かな生活ができるよう、「仕事と生活の調和」（ワーク・ライフ・バランス）が大切であるとされています。あなたは、ご自分の生活における「仕事と生活の調和」について、どのようにお考えですか。母親・父親についてそれぞれご自身がお答えください。

①母親の仕事と生活の調和への満足度

“満足・どちらかといえば満足”は46.0%

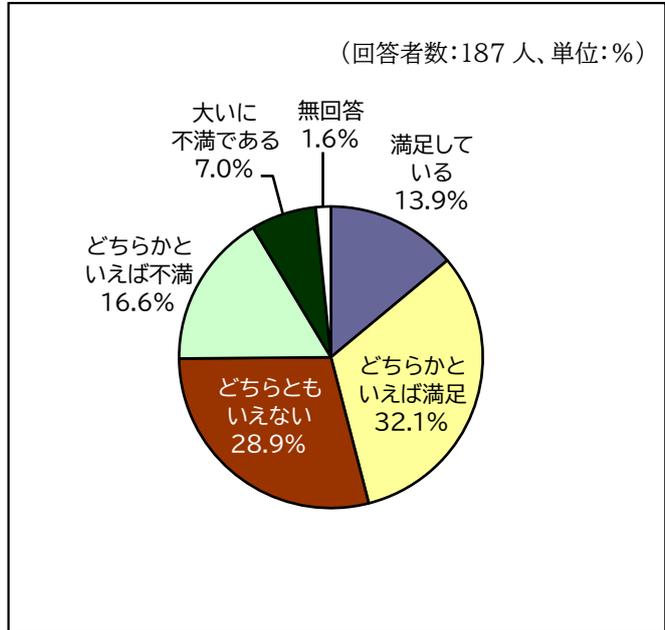
母親の仕事と生活の調和への満足度については、「満足している」が13.9%、「どちらかといえば満足」が32.1%であり、これらを合わせると46.0%が“満足・どちらかといえば満足”と回答しています。

一方、“不満”は合わせて23.6%となっています。

表 母親の仕事と生活の調和への満足度

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
満足している	26 (13.9)
どちらかといえば満足	60 (32.1)
どちらともいえない	54 (28.9)
どちらかといえば不満	31 (16.6)
大いに不満である	13 (7.0)
無回答	3 (1.6)

図 母親の仕事と生活の調和への満足度



②父親の仕事と生活の調和への満足度

“満足・どちらかといえば満足”は34.2%

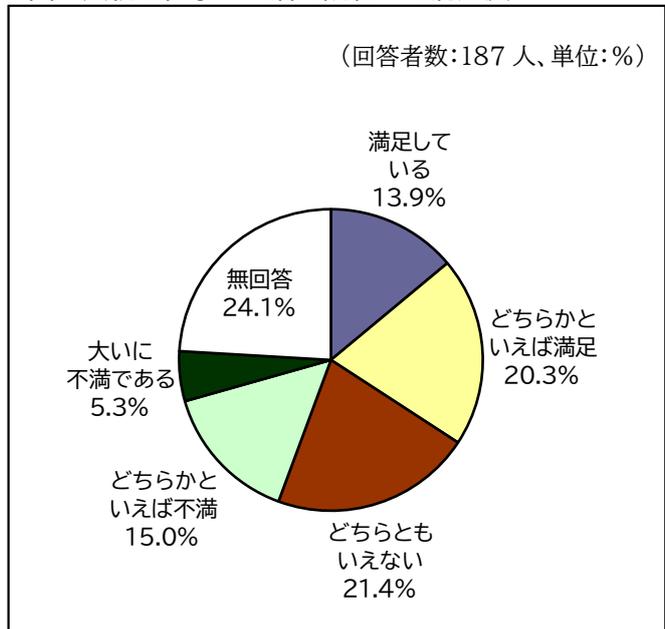
父親の仕事と生活の調和への満足度については、「満足している」が13.9%、「どちらかといえば満足」が20.3%であり、これらを合わせると34.2%が“満足・どちらかといえば満足”と回答しています。

一方、“不満”は合わせて20.3%となっています。

表 父親の仕事と生活の調和への満足度

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
満足している	26 (13.9)
どちらかといえば満足	38 (20.3)
どちらともいえない	40 (21.4)
どちらかといえば不満	28 (15.0)
大いに不満である	10 (5.3)
無回答	45 (24.1)

図 父親の仕事と生活の調和への満足度



第4節 母親の就労状況

2-4-1 現在の就労状況（問12）

問12 母親の就労状況は次のどれですか。

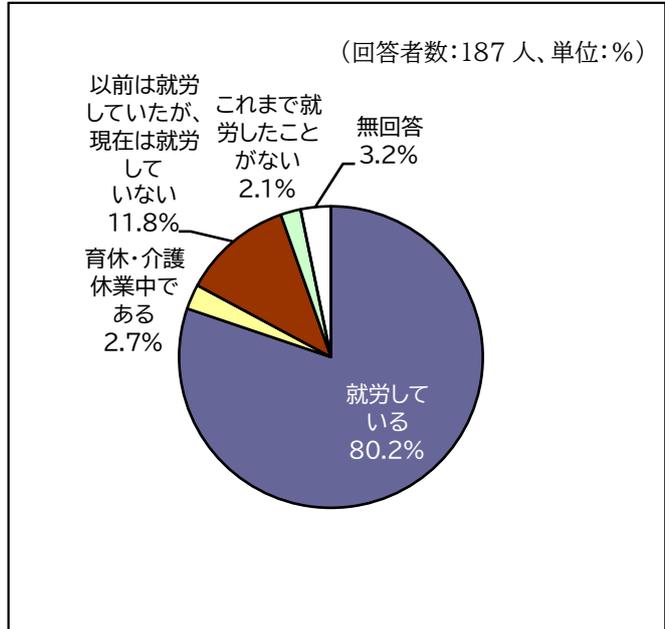
「就労している」が80.2%

母親の現在の就労状況については、「就労している」が80.2%、「育休・介護休業中である」が2.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が11.8%、「これまで就労したことがない」が2.1%となっています。

表 現在の就労状況

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
就労している	150 (80.2)
育休・介護休業中である	5 (2.7)
以前は就労していたが、現在は就労していない	22 (11.8)
これまで就労したことがない	4 (2.1)
無回答	6 (3.2)

図 現在の就労状況



2-4-2 現在の就労形態（問12-1）

問12-1 あなたの就労形態は、フルタイム（週5日・1日8時間程度）ですか、パート・アルバイトですか。

①現在の就労形態

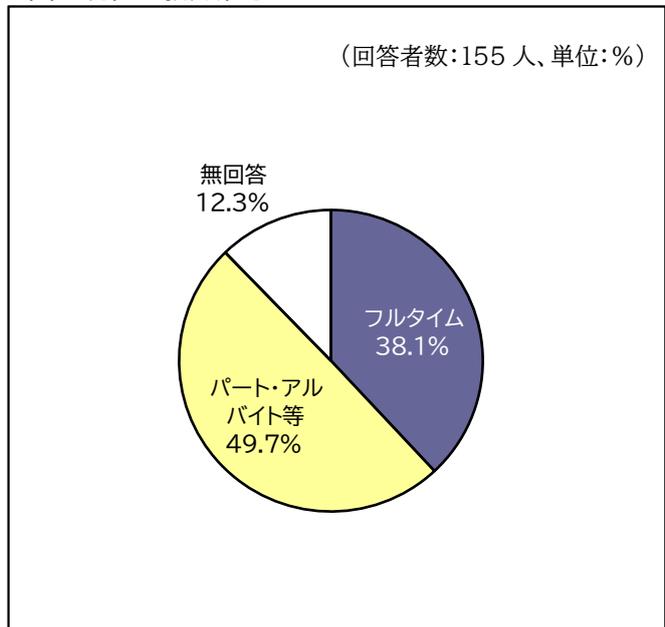
「パート・アルバイト等」が49.7%

現在の就労状況において「就労している」または「育休・介護休業中である」と回答した155人に対し、現在の就労形態について聞いたところ、「フルタイム」が38.1%、「パート・アルバイト等」が49.7%（77人）となっています。

表 現在の就労形態

区分	人 (%)
回答者総数	155 (100.0)
フルタイム	59 (38.1)
パート・アルバイト等	77 (49.7)
無回答	19 (12.3)

図 現在の就労形態



②フルタイムへの転換希望

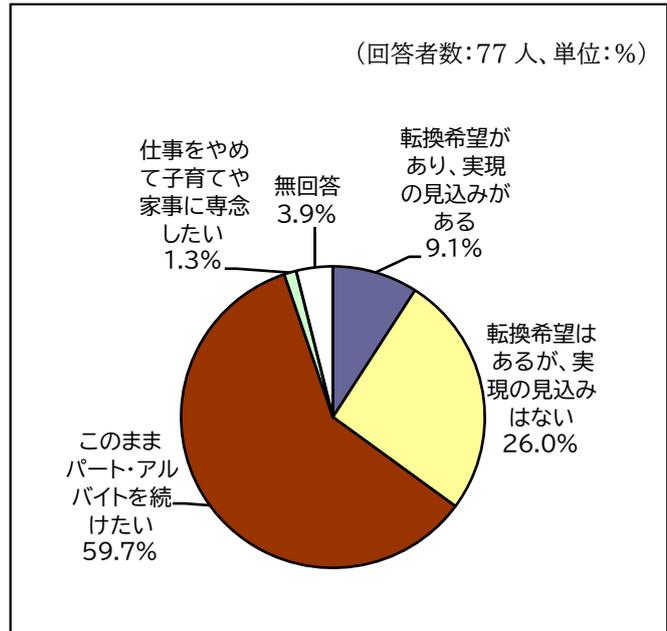
「このままパート・アルバイトを続けたい」が59.7%

現在の就労形態において「パート・アルバイト」と回答した77人に対し、フルタイムへの転換希望について聞いたところ、「このままパート・アルバイトを続けたい」が59.7%で最も多く、次いで「転換希望はあるが、実現の見込みはない」が26.0%、「転換希望があり、実現の見込みがある」が9.1%が続いています。

表 フルタイムへの転換希望

区分	人 (%)
回答者総数	77 (100.0)
転換希望があり、実現の見込みがある	7 (9.1)
転換希望はあるが、実現の見込みはない	20 (26.0)
このままパート・アルバイトを続けたい	46 (59.7)
仕事をやめて子育てや家事に専念したい	1 (1.3)
無回答	3 (3.9)

図 フルタイムへの転換希望



2-4-3 就労日数及び就労時間 (問 12-2)

問 12-2 あなたの平均的な週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」はどれくらいですか。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) 週当たり就労日数

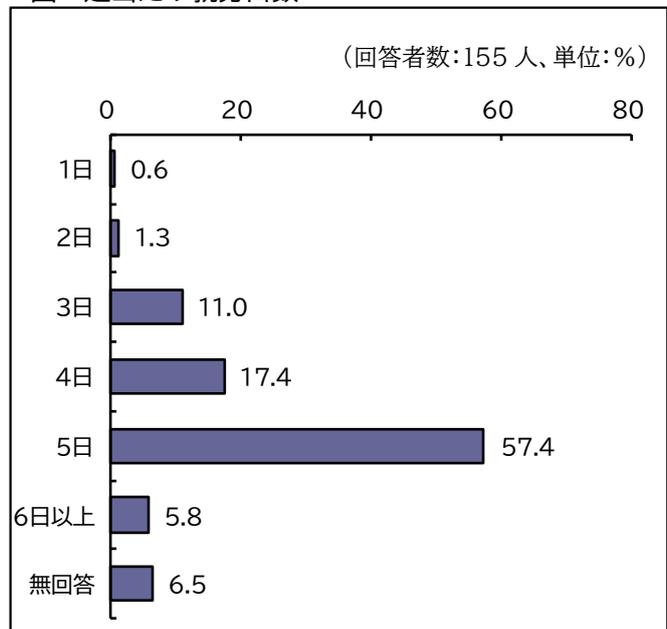
「5日」が最も多い

母親の週当たり就労日数については、「5日」が57.4%で最も多く、次いで「4日」が17.4%、「3日」が11.0%が続いています。

表 週当たり就労日数

区分	人 (%)
回答者総数	155 (100.0)
1日	1 (0.6)
2日	2 (1.3)
3日	17 (11.0)
4日	27 (17.4)
5日	89 (57.4)
6日以上	9 (5.8)
無回答	10 (6.5)

図 週当たり就労日数



(2) 1日当たり就労時間

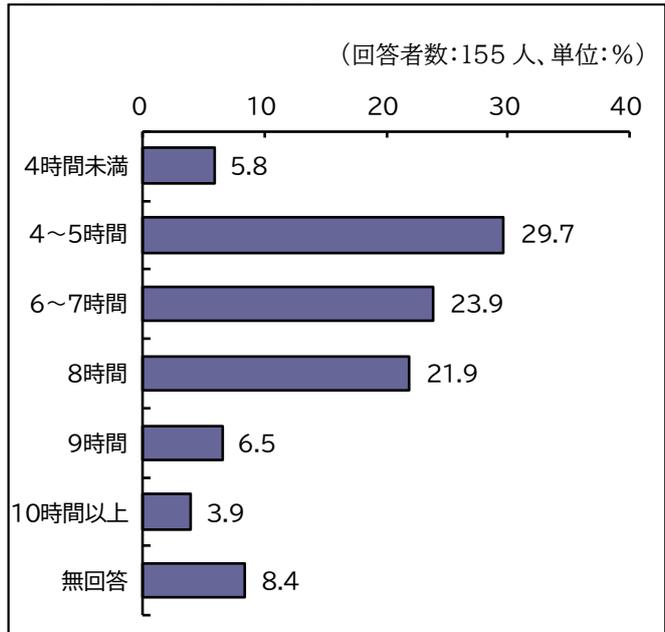
「4～5時間」が最も多い

母親の1日当たり就労時間については、「4～5時間」が29.7%で最も多く、次いで「6～7時間」が23.9%、「8時間」が21.9%で続いています。

表 1日当たり就労時間

区分	人 (%)
回答者総数	155 (100.0)
4時間未満	9 (5.8)
4～5時間	46 (29.7)
6～7時間	37 (23.9)
8時間	34 (21.9)
9時間	10 (6.5)
10時間以上	6 (3.9)
無回答	13 (8.4)

図 1日当たり就労時間



2-4-4 家を出る時刻と帰宅時刻 (問 12-3)

問 12-3 平均的な家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(24時間制で)

(1) 家を出る時刻

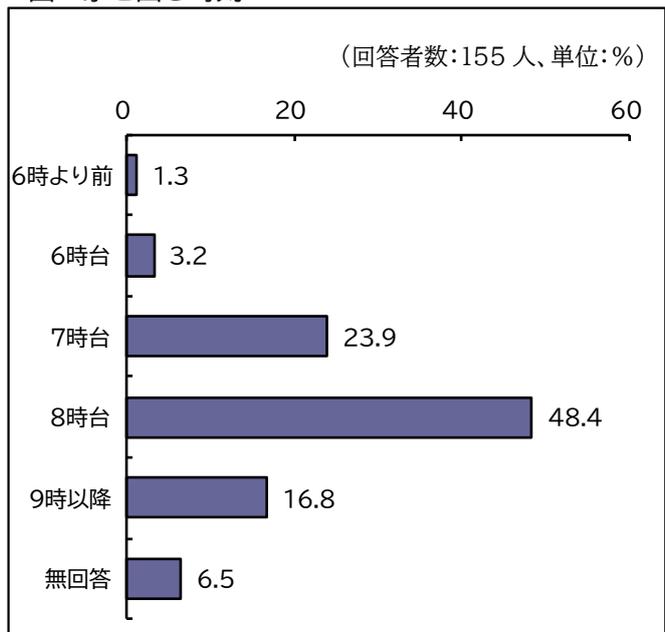
「8時台」が最も多い

母親の家を出る時刻については、「8時台」が48.4%で最も多く、次いで「7時台」が23.9%、「9時以降」が16.8%で続いています。

表 家を出る時刻

区分	人 (%)
回答者総数	155 (100.0)
6時より前	2 (1.3)
6時台	5 (3.2)
7時台	37 (23.9)
8時台	75 (48.4)
9時以降	26 (16.8)
無回答	10 (6.5)

図 家を出る時刻



(2) 帰宅時刻

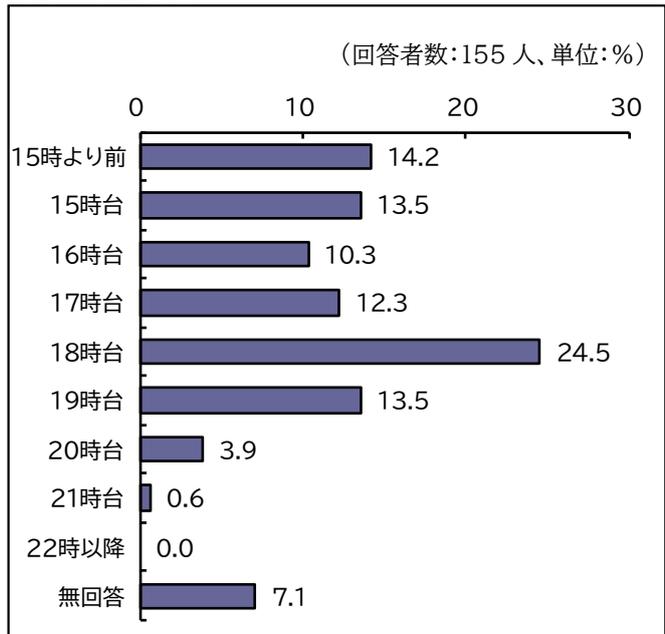
「18時台」が最も多い

母親の帰宅時刻については、「18時台」が24.5%で最も多く、その他は「15時より前」から「19時台」にかけて回答者が分散しています。

表 帰宅時刻

区分	人 (%)
回答者総数	155 (100.0)
15時より前	22 (14.2)
15時台	21 (13.5)
16時台	16 (10.3)
17時台	19 (12.3)
18時台	38 (24.5)
19時台	21 (13.5)
20時台	6 (3.9)
21時台	1 (0.6)
22時以降	0 (0.0)
無回答	11 (7.1)

図 帰宅時刻



2-4-5 働いていない人の就労希望 (問12-4)

問12-4 問12で「3」、「4」(現在は就労していない)に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。

①就労希望の有無

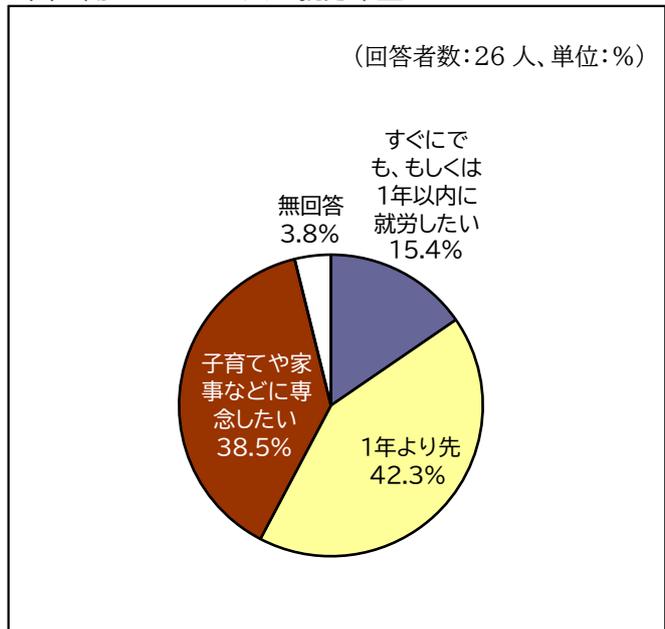
「1年より先」が42.3%

現在の就労状況において“現在は就労していない”と回答した26人に対し、就労希望について聞いたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が15.4% (4人)、「1年より先」が42.3% (11人)、「子育てや家事などに専念したい」が38.5%となっています。

表 働いていない人の就労希望

区分	人 (%)
回答者総数	26 (100.0)
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	4 (15.4)
1年より先	11 (42.3)
子育てや家事などに専念したい	10 (38.5)
無回答	1 (3.8)

図 働いていない人の就労希望



②1年より先を希望する際の末子の年齢

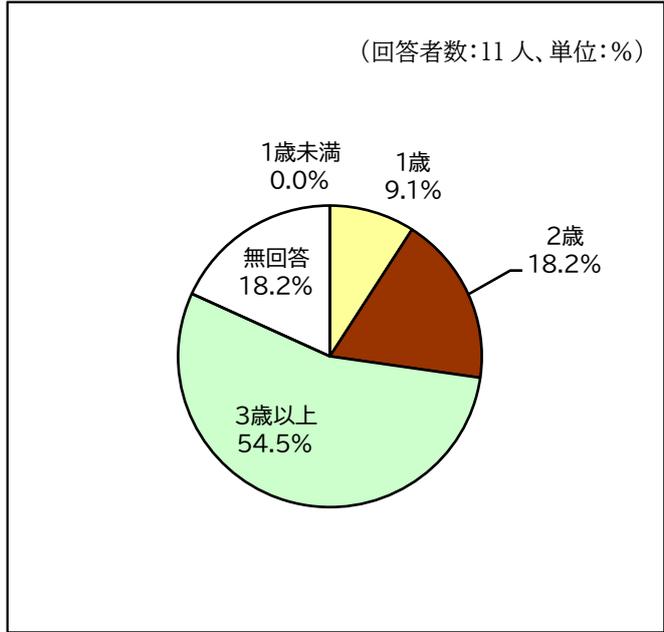
「3歳以上」が最も多い

就労希望において「1年より先」と回答した11人に対し、就労する際の末子の年齢について聞いたところ、「3歳以上」が54.5%で最も多く、次いで「2歳」が18.2%で続いています。

表 1年より先を希望する際の末子の年齢

区分	人 (%)
回答者総数	11 (100.0)
1歳未満	0 (0.0)
1歳	1 (9.1)
2歳	2 (18.2)
3歳以上	6 (54.5)
無回答	2 (18.2)

図 1年より先を希望する際の末子の年齢



2-4-6 希望する就労形態 (問 12-4-1)

問 12-4-1 希望する就労形態は何ですか。

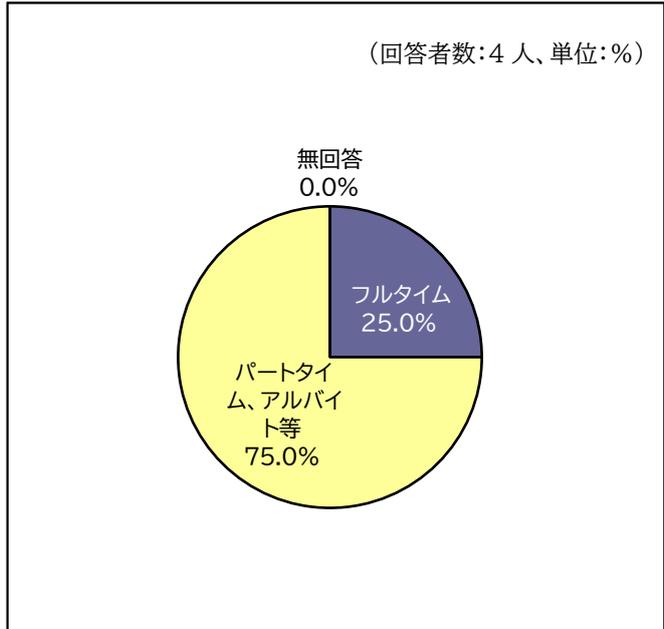
「パートタイム、アルバイト等」が75.0%

就労希望において「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した4人に対し、希望する就労形態について聞いたところ、「フルタイム」が25.0%、「パートタイム、アルバイト等」が75.0%となっています。

表 希望する就労形態

区分	人 (%)
回答者総数	4 (100.0)
フルタイム	1 (25.0)
パートタイム、アルバイト等	3 (75.0)
無回答	0 (0.0)

図 希望する就労形態



なお、パートタイム、アルバイト等を希望する人の週当たり就労日数及び1日当たり就労時間は、該当者が3人と少ないため、掲載を省略します。

第5節 父親の就労状況

2-5-1 現在の就労状況（問13）

問13 父親の就労状況は次のどれですか。

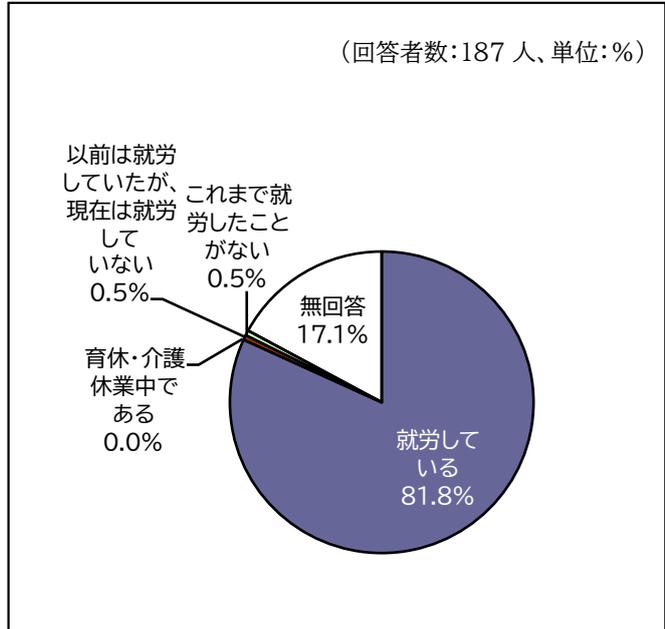
「就労している」が81.8%

父親の現在の就労状況については、「就労している」が81.8%（153人）、「育休・介護休業中である」が0.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.5%となっています。

表 現在の就労状況

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
就労している	153 (81.8)
育休・介護休業中である	0 (0.0)
以前は就労していたが、現在は就労していない	1 (0.5)
これまで就労したことがない	1 (0.5)
無回答	32 (17.1)

図 現在の就労状況



2-5-2 現在の就労形態（問13-1）

問13-1 あなたの就労形態は、フルタイム（週5日・1日8時間程度）ですか、パート・アルバイトですか。

①現在の就労形態

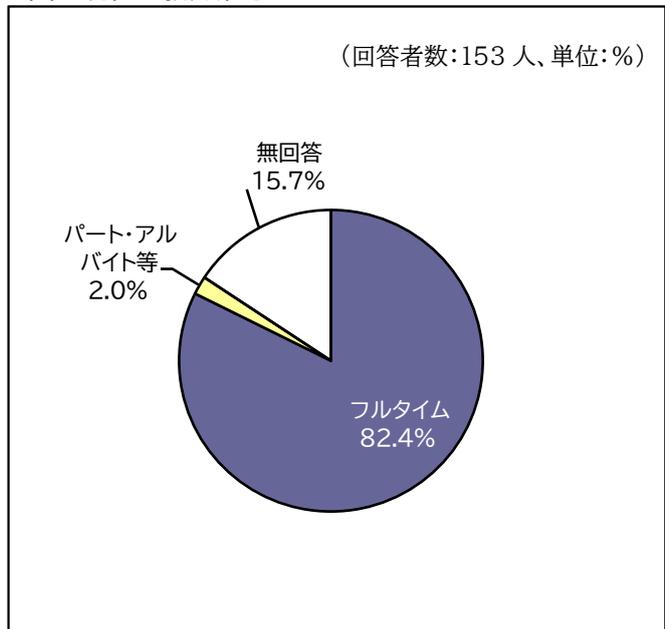
「フルタイム」が82.4%

現在の就労状況において「就労している」と回答した153人に対し、現在の就労形態について聞いたところ、「フルタイム」が82.4%、「パート・アルバイト等」が2.0%となっています。

表 現在の就労形態

区分	人 (%)
回答者総数	153 (100.0)
フルタイム	126 (82.4)
パート・アルバイト等	3 (2.0)
無回答	24 (15.7)

図 現在の就労形態



なお、「パート・アルバイト等」と回答した人のフルタイムへの転換希望は、該当者が3人と少ないため、掲載を省略します。

2-5-3 就労日数及び就労時間（問 13-2）

問 13-2 あなたの平均的な週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」はどれくらいですか。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（1）週当たり就労日数

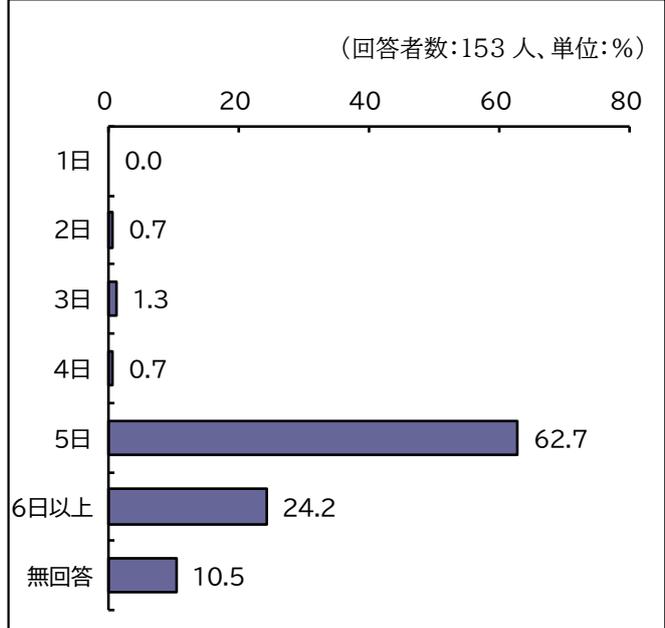
「5日」が最も多い

父親の週当たり就労日数については、「5日」が62.7%で最も多く、次いで「6日以上」が24.2%が続いています。

表 週当たり就労日数

区分	人 (%)
回答者総数	153 (100.0)
1日	0 (0.0)
2日	1 (0.7)
3日	2 (1.3)
4日	1 (0.7)
5日	96 (62.7)
6日以上	37 (24.2)
無回答	16 (10.5)

図 週当たり就労日数



（2）1日当たり就労時間

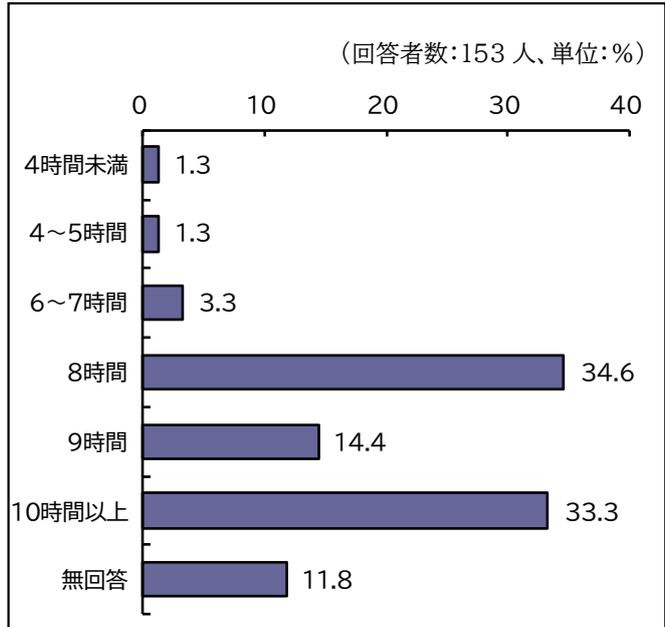
「8時間」が最も多い

父親の1日当たり就労時間については、「8時間」が34.6%で最も多く、次いで「10時間以上」が33.3%が続いています。

表 1日当たり就労時間

区分	人 (%)
回答者総数	153 (100.0)
4時間未満	2 (1.3)
4~5時間	2 (1.3)
6~7時間	5 (3.3)
8時間	53 (34.6)
9時間	22 (14.4)
10時間以上	51 (33.3)
無回答	18 (11.8)

図 1日当たり就労時間



2-5-4 家を出る時刻と帰宅時刻（問 13-3）

問 13-3 平均的な家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（24 時間制で）

（1）家を出る時刻

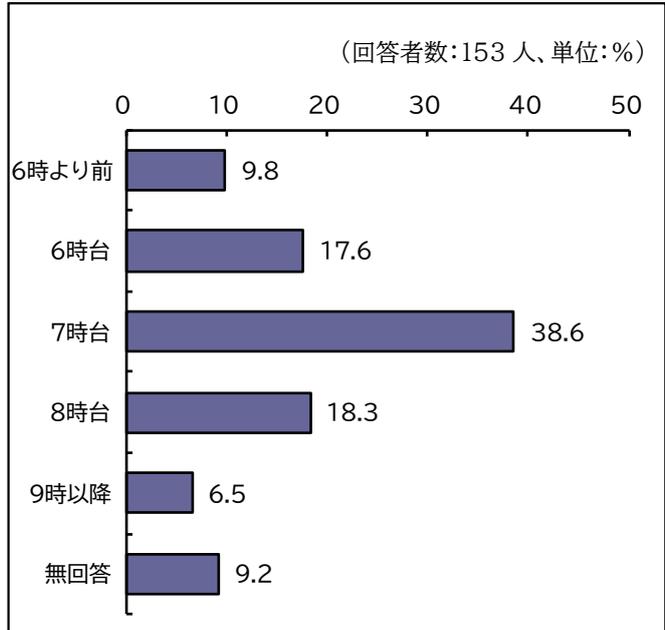
「7 時台」が最も多い

父親の家を出る時刻については、「7 時台」が 38.6%で最も多く、次いで「8 時台」が 18.3%、「6 時台」が 17.6%で続いています。

表 家を出る時刻

区 分	人 (%)
回答者総数	153 (100.0)
6 時より前	15 (9.8)
6 時台	27 (17.6)
7 時台	59 (38.6)
8 時台	28 (18.3)
9 時以降	10 (6.5)
無回答	14 (9.2)

図 家を出る時刻



（2）帰宅時刻

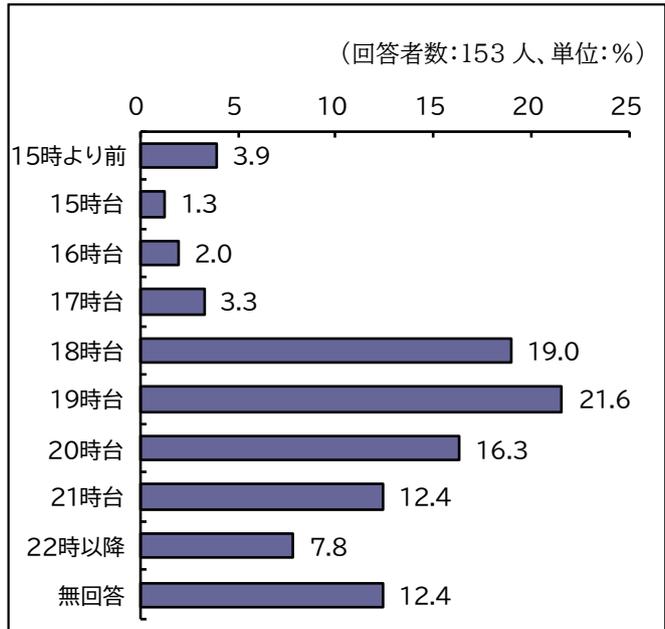
「19 時台」が最も多い

父親の帰宅時刻については、「19 時台」が 21.6%で最も多く、次いで「18 時台」が 19.0%、「20 時台」が 16.3%で続いています。

表 帰宅時刻

区 分	人 (%)
回答者総数	153 (100.0)
15 時より前	6 (3.9)
15 時台	2 (1.3)
16 時台	3 (2.0)
17 時台	5 (3.3)
18 時台	29 (19.0)
19 時台	33 (21.6)
20 時台	25 (16.3)
21 時台	19 (12.4)
22 時以降	12 (7.8)
無回答	19 (12.4)

図 帰宅時刻



なお、次の設問は、該当者が少ないため掲載を省略します。

○働いていない父親の就労希望（問 13-4）

○働いていない父親の希望する就労形態（問 13-5-1）

第6節 放課後の過ごし方について

2-6-1 現在の放課後の過ごし方（問14）

問14 お子さんは、現在、放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、週当たり日数もご記入ください。

(1) 現在の過ごし方及び週当たり日数

「自宅」が73.8%

現在の放課後の過ごし方については、「自宅」が73.8%で最も多く、次いで「習い事」が39.0%、「学童保育室」が28.3%で続いています。

表 現在の放課後の過ごし方（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
自宅	138 (73.8)
習い事	73 (39.0)
学童保育室	53 (28.3)
祖父母宅	27 (14.4)
友人・知人宅	8 (4.3)
ファミリー・サポート・センター	2 (1.1)
その他	8 (4.3)
無回答	2 (1.1)

図 現在の放課後の過ごし方（複数回答）

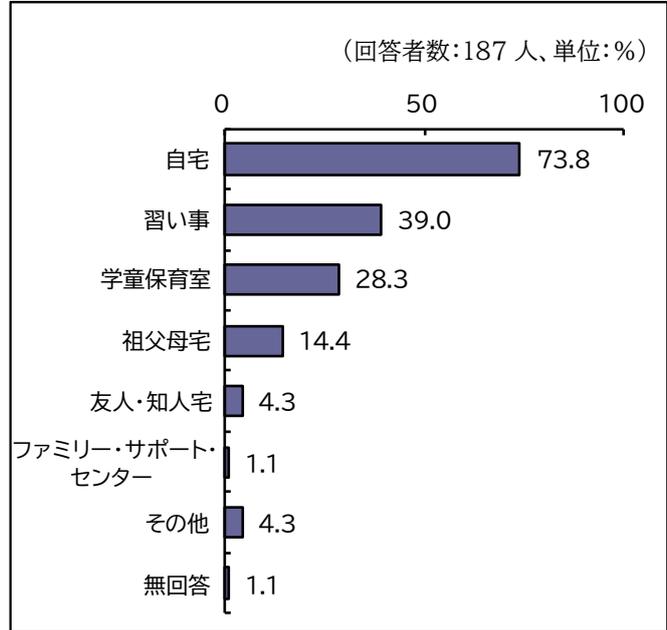


表 場所ごとの週当たり日数

区分	回答者数(人)	有効回答数(人)	平均日数(日)
自宅	138	123	4.7
習い事	73	71	2.2
学童保育室	53	45	4.5
祖父母宅	27	25	3.3
友人・知人宅	8	8	1.1
ファミリー・サポート・センター	2	2	1.5
その他	8	7	3.6

(2) 学童保育室の利用終了時刻

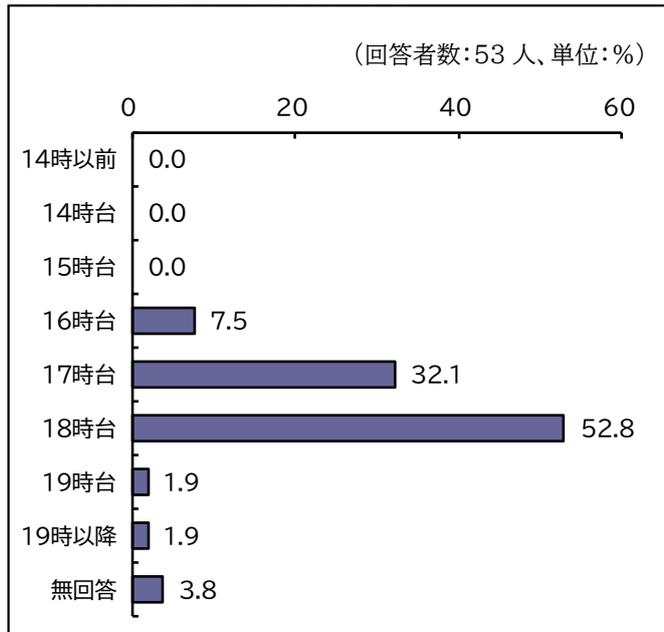
「18時台」が最も多い

現在の放課後の過ごし方において「学童保育室」と回答した53人に対し、利用終了時刻について聞いたところ、「18時台」が52.8%で最も多くなっています。

表 学童保育室の利用終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	53 (100.0)
14時以前	0 (0.0)
14時台	0 (0.0)
15時台	0 (0.0)
16時台	4 (7.5)
17時台	17 (32.1)
18時台	28 (52.8)
19時台	1 (1.9)
19時以降	1 (1.9)
無回答	2 (3.8)

図 学童保育室の利用終了時刻



2-6-2 希望する放課後の過ごし方 (問15)

問15 お子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、週当たり日数もご記入ください。

「自宅」が75.9%

希望する放課後の過ごし方については、「自宅」が75.9%で最も多く、次いで「習い事」が38.5%、「学童保育室」が25.7% (48人) で続いています。

表 希望する放課後の過ごし方 (複数回答)

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
自宅	142 (75.9)
習い事	72 (38.5)
学童保育室	48 (25.7)
祖父母宅	24 (12.8)
友人・知人宅	14 (7.5)
ファミリー・サポート・センター	2 (1.1)
その他	11 (5.9)
無回答	9 (4.8)

図 希望する放課後の過ごし方 (複数回答)

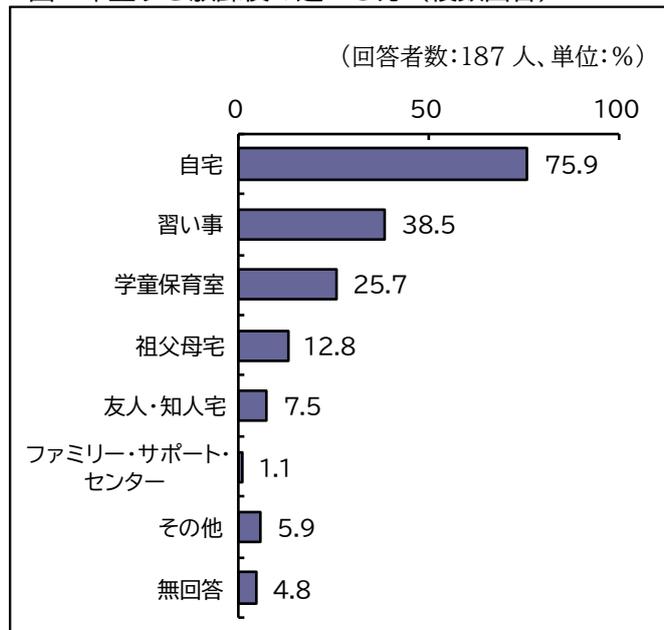


表 場所ごとの週当たり日数

区 分	回答者数(人)	有効回答数(人)	平均日数(日)
自宅	142	113	4.2
習い事	72	61	2.1
学童保育室	48	33	3.9
祖父母宅	24	18	3.1
友人・知人宅	14	12	1.3
ファミリー・サポート・センター	2	2	2.0
その他	11	0	0.0

(2) 学童保育室の利用終了時刻

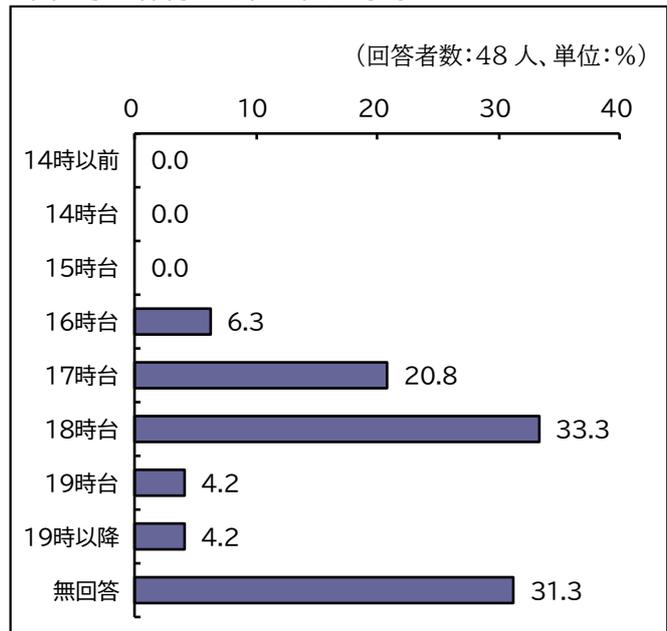
「18 時台」が最も多い

希望する放課後の過ごし方において「学童保育室」と回答した 48 人に対し、利用終了時刻について聞いたところ、「18 時台」が 33.3% で最も多くなっています。

表 学童保育室の利用終了時刻

区 分	人 (%)
回答者総数	48 (100.0)
14 時以前	0 (0.0)
14 時台	0 (0.0)
15 時台	0 (0.0)
16 時台	3 (6.3)
17 時台	10 (20.8)
18 時台	16 (33.3)
19 時台	2 (4.2)
19 時以降	2 (4.2)
無回答	15 (31.3)

図 学童保育室の利用終了時刻



2-6-3 土曜・休日の学童保育室の利用希望（問 15-1）

問 15-1 お子さんについて、土曜日や日曜日・祝日の学童保育室の利用希望はありますか（利用には一定の料金がかかります）。また、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。

（1）土曜日の利用希望

①利用希望の有無

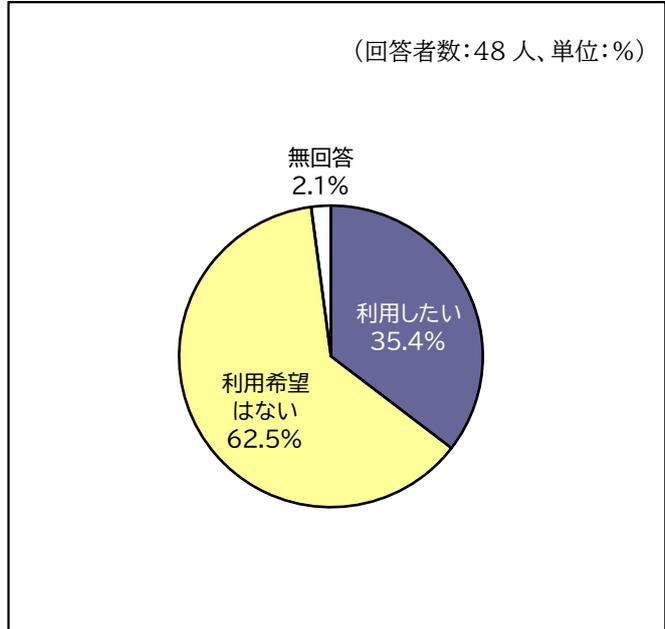
「利用したい」は 35.4%

希望する放課後の過ごし方において「学童保育室」と回答した 48 人に対し、土曜日の学童保育室の利用希望について聞いたところ、「利用したい」が 35.4%、（17 人）、「利用希望はない」が 62.5%となっています。

表 土曜日の利用希望

区分	人 (%)
回答者総数	48 (100.0)
利用したい	17 (35.4)
利用希望はない	30 (62.5)
無回答	1 (2.1)

図 土曜日の利用希望



②希望する開始時刻

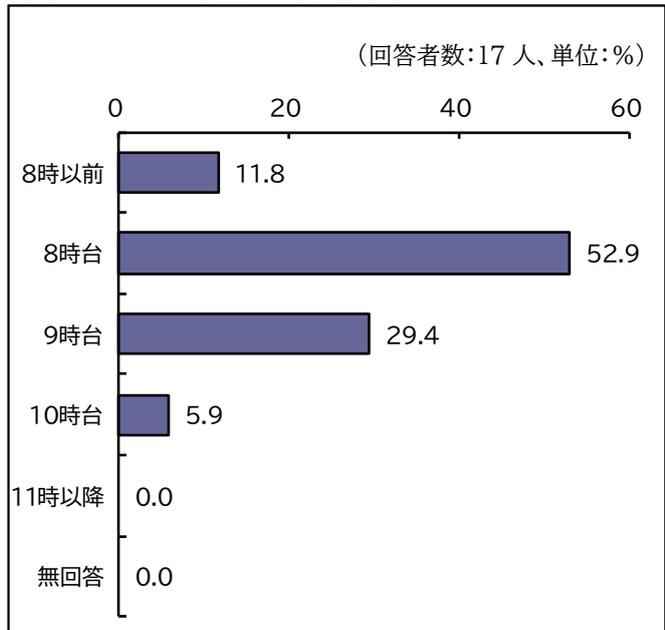
「8 時台」が最も多い

土曜日の学童保育室を「利用したい」と回答した 17 人に対し、希望する開始時刻について聞いたところ、「8 時台」が 52.9%で最も多く、次いで「9 時台」が 29.4%、「8 時以前」が 11.8%が続いています。

表 土曜日の希望する開始時刻

区分	人 (%)
回答者総数	17 (100.0)
8 時以前	2 (11.8)
8 時台	9 (52.9)
9 時台	5 (29.4)
10 時台	1 (5.9)
11 時以降	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 土曜日の希望する開始時刻



③希望する終了時刻

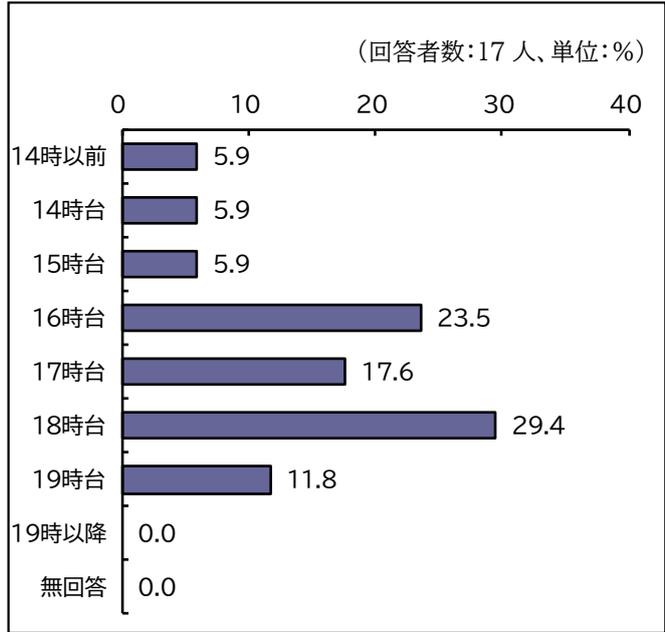
「18時台」が最も多い

希望する開始時刻については、「18時台」が29.4%で最も多く、次いで「16時台」が23.5%、「17時台」が17.6%で続いています。

表 希望する終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	17 (100.0)
14時以前	1 (5.9)
14時台	1 (5.9)
15時台	1 (5.9)
16時台	4 (23.5)
17時台	3 (17.6)
18時台	5 (29.4)
19時台	2 (11.8)
19時以降	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 土曜日の希望する終了時刻



(2) 日曜・祝日の利用希望

①利用希望の有無

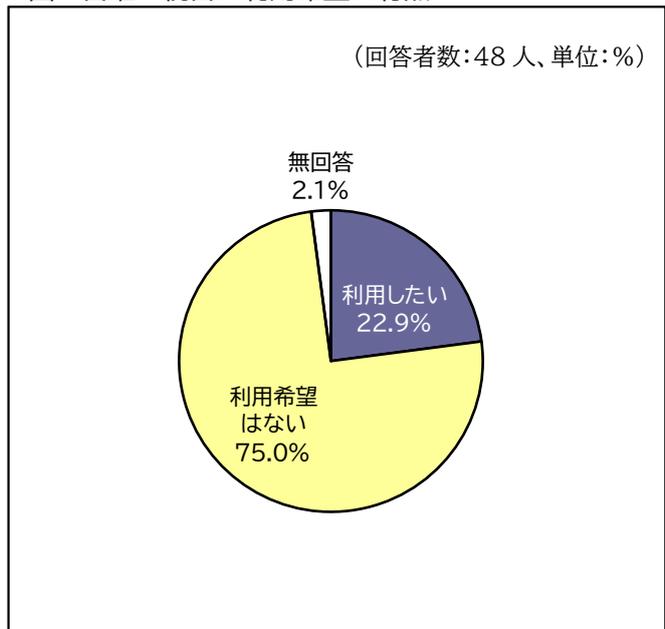
「利用したい」は22.9%

希望する放課後の過ごし方において「学童保育室」と回答した48人に対し、日曜・祝日の学童保育室の利用希望について聞いたところ、「利用したい」が22.9% (11人)、「利用希望はない」が75.0%となっています。

表 日曜・祝日の利用希望の有無

区分	人 (%)
回答者総数	48 (100.0)
利用したい	11 (22.9)
利用希望はない	36 (75.0)
無回答	1 (2.1)

図 日曜・祝日の利用希望の有無



②希望する開始時刻

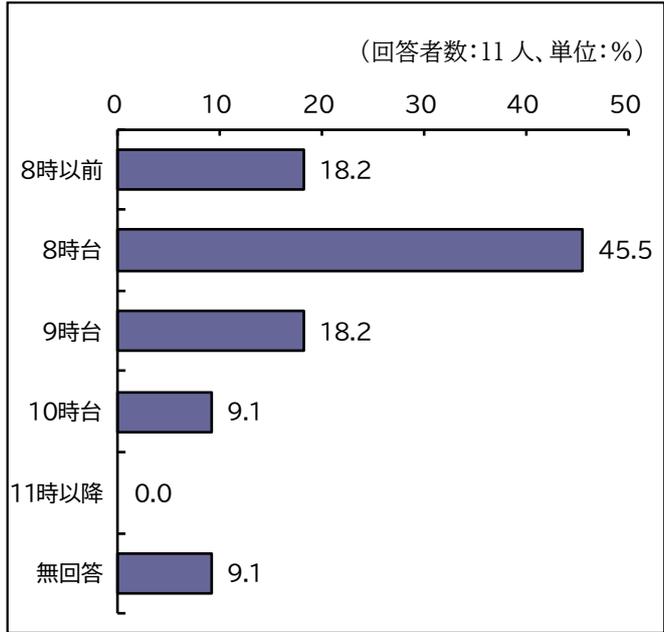
「8時台」が最も多い

日曜・祝日の学童保育室を「利用したい」と回答した11人に対し、希望する開始時刻について聞いたところ、「8時台」が45.5%で最も多く、次いで「9時台」及び「8時以前」がともに18.2%で続いています。

表 日曜・祝日の希望する開始時刻

区分	人 (%)
回答者総数	11 (100.0)
8時以前	2 (18.2)
8時台	5 (45.5)
9時台	2 (18.2)
10時台	1 (9.1)
11時以降	0 (0.0)
無回答	1 (9.1)

図 日曜・祝日の希望する開始時刻



③希望する終了時刻

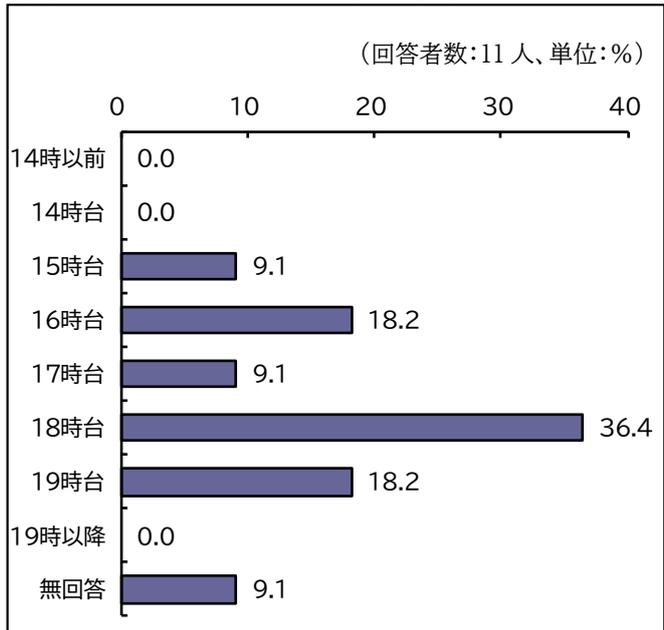
「18時台」が最も多い

希望する終了時刻については、「18時台」が36.4%で最も多く、次いで「16時台」及び「19時台」がともに18.2%で続いています。

表 日曜・祝日の希望する終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	11 (100.0)
14時以前	0 (0.0)
14時台	0 (0.0)
15時台	1 (9.1)
16時台	2 (18.2)
17時台	1 (9.1)
18時台	4 (36.4)
19時台	2 (18.2)
19時以降	0 (0.0)
無回答	1 (9.1)

図 日曜・祝日の希望する終了時刻



2-6-4 長期休業期間中の学童保育室の利用希望（問16）

問16 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか（利用には一定の料金がかかります）。また、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。

①利用希望の有無

「利用したい」は41.2%

長期休業期間中の学童保育室の利用希望については、「利用したい」が41.2%（77人）、「利用希望はない」が48.7%となっています。

図 長期休業期間中の利用希望の有無

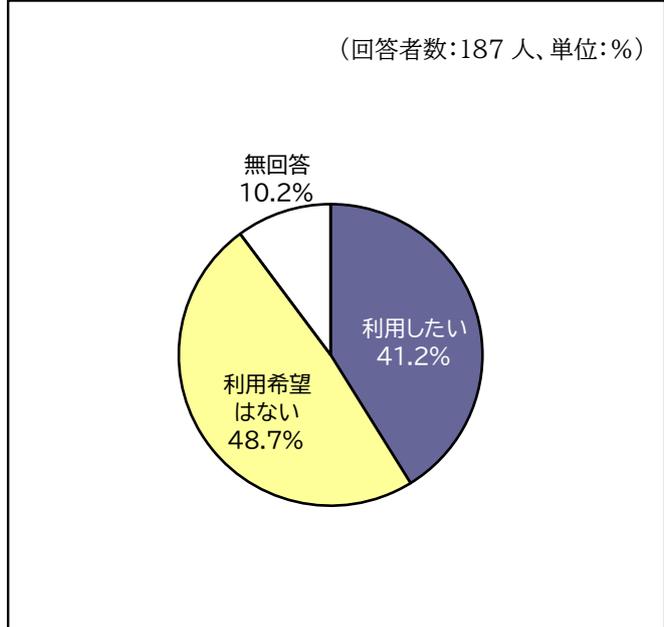


表 長期休業期間中の利用希望の有無

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
利用したい	77 (41.2)
利用希望はない	91 (48.7)
無回答	19 (10.2)

②希望する開始時刻

「8時台」が最も多い

長期休業期間中の学童保育室を「利用したい」と回答した77人に対し、希望する開始時刻について聞いたところ、「8時台」が51.9%で最も多く、次いで「9時台」が22.1%、「8時以前」が18.2%で続いています。

図 長期休業期間中の希望する開始時刻

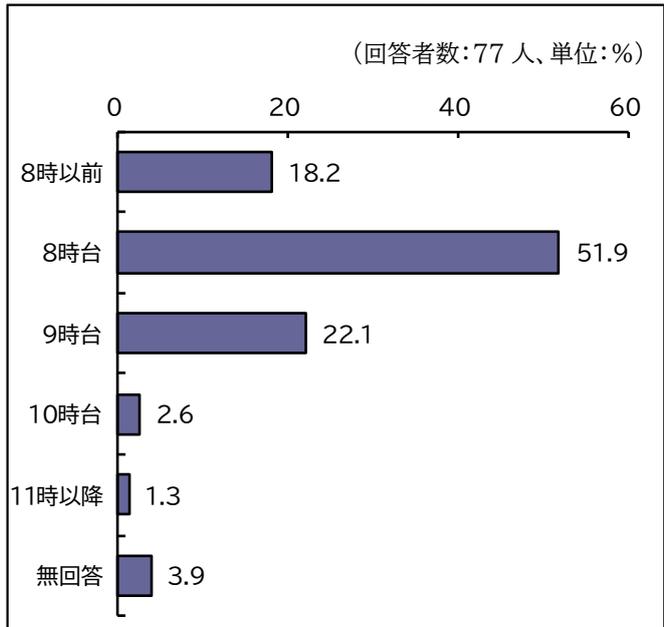


表 長期休業期間中の希望する開始時刻

区分	人 (%)
回答者総数	77 (100.0)
8時以前	14 (18.2)
8時台	40 (51.9)
9時台	17 (22.1)
10時台	2 (2.6)
11時以降	1 (1.3)
無回答	3 (3.9)

③希望する終了時刻

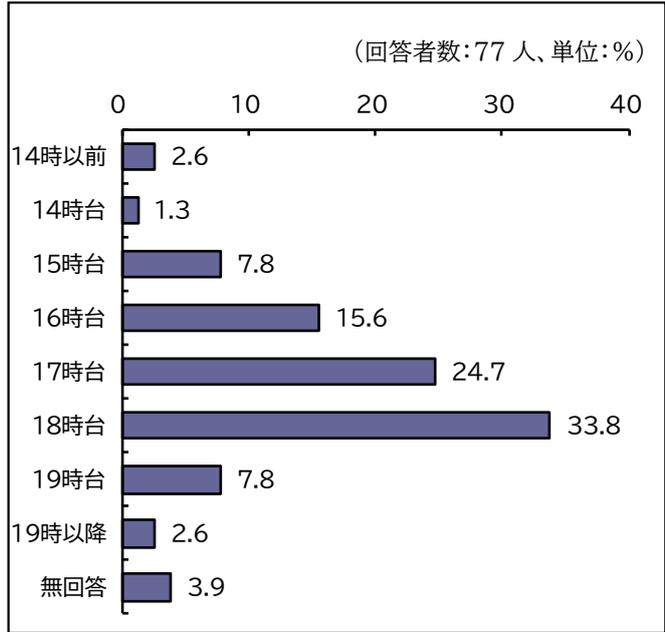
「18時台」が最も多い

希望する終了時刻については、「18時台」が33.8%で最も多く、次いで「17時台」が24.7%、「16時台」が15.6%で続いています。

表 長期休業期間中の希望する終了時刻

区分	人 (%)
回答者総数	77 (100.0)
14時以前	2 (2.6)
14時台	1 (1.3)
15時台	6 (7.8)
16時台	12 (15.6)
17時台	19 (24.7)
18時台	26 (33.8)
19時台	6 (7.8)
19時以降	2 (2.6)
無回答	3 (3.9)

図 長期休業期間中の希望する終了時刻



第7節 子育て支援事業の利用状況、満足度等について

2-7-1 子育て支援事業の認知度、利用経験、利用意向（問17）

問17 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものは何ですか。①～⑨の事業ごとに○をつけてください。

(1) 子育て支援事業の認知度

「学童保育室」、「育児相談」、「図書館でのおはなし会」が多くみられる

子育て支援事業の認知度について「はい」の割合に着目すると、「学童保育室」が95.2%で最も多く、次いで「育児相談」が86.6%、「図書館でのおはなし会」が85.6%で続いています。

図 子育て支援事業の認知度

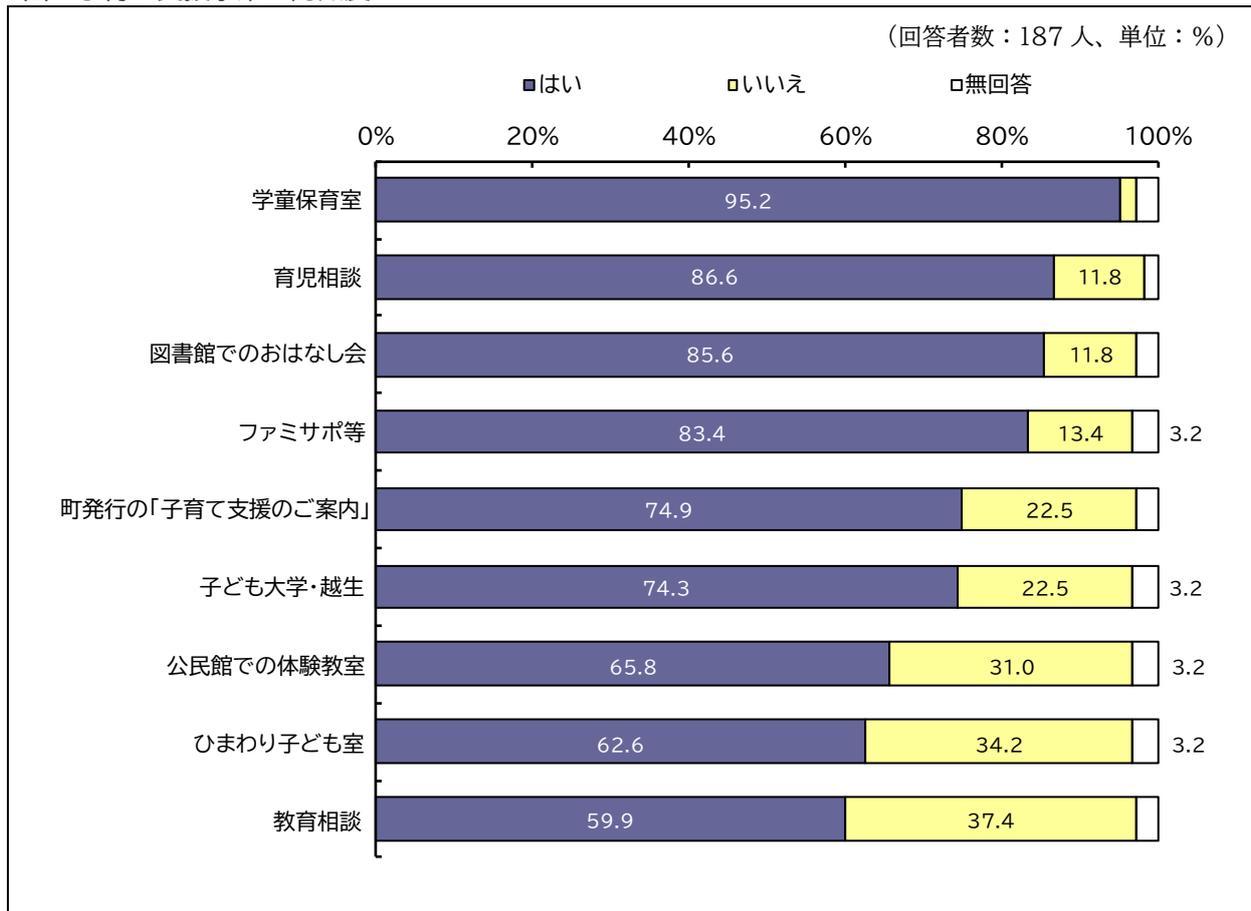


表 子育て支援事業の認知度

回答者数：187人、単位：人 (%)

区分	はい	いいえ	無回答
学童保育室	178 (95.2)	4 (2.1)	5 (2.7)
育児相談	162 (86.6)	22 (11.8)	3 (1.6)
図書館でのおはなし会	160 (85.6)	22 (11.8)	5 (2.7)
ファミサポ等	156 (83.4)	25 (13.4)	6 (3.2)
町発行の「子育て支援のご案内」	140 (74.9)	42 (22.5)	5 (2.7)
子ども大学・越生	139 (74.3)	42 (22.5)	6 (3.2)
公民館での体験教室	123 (65.8)	58 (31.0)	6 (3.2)
ひまわり子ども室	117 (62.6)	64 (34.2)	6 (3.2)
教育相談	112 (59.9)	70 (37.4)	5 (2.7)

(2) 子育て支援事業の利用経験

「学童保育室」、「育児相談」、「子ども大学・越生」が多くみられる

子育て支援事業の利用経験について「はい」の割合に着目すると、「学童保育室」が52.4%で最も多く、次いで「育児相談」が38.0%、「子ども大学・越生」が32.6%が続いています。

図 子育て支援事業の利用経験

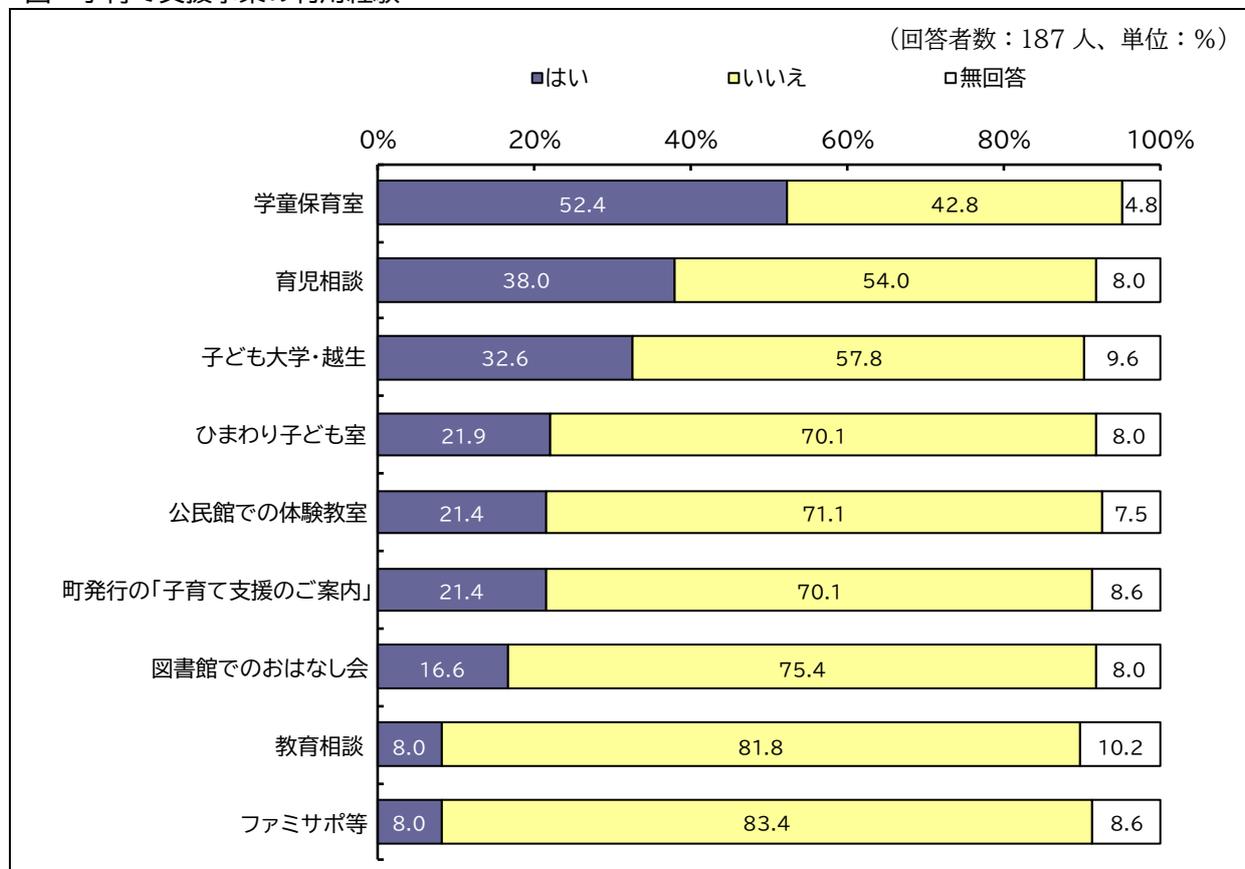


表 子育て支援事業の利用経験

回答者数：187人、単位：人 (%)

問 17(2)	はい	いいえ	無回答
学童保育室	98 (52.4)	80 (42.8)	9 (4.8)
育児相談	71 (38.0)	101 (54.0)	15 (8.0)
子ども大学・越生	61 (32.6)	108 (57.8)	18 (9.6)
ひまわり子ども室	41 (21.9)	131 (70.1)	15 (8.0)
公民館での体験教室	40 (21.4)	133 (71.1)	14 (7.5)
町発行の「子育て支援のご案内」	40 (21.4)	131 (70.1)	16 (8.6)
図書館でのおはなし会	31 (16.6)	141 (75.4)	15 (8.0)
教育相談	15 (8.0)	153 (81.8)	19 (10.2)
ファミサポ等	15 (8.0)	156 (83.4)	16 (8.6)

(3) 子育て支援事業の利用意向

「子ども大学・越生」、「公民館での体験教室」が多くみられる

子育て支援事業の利用意向について「はい」の割合に着目すると、「子ども大学・越生」が60.4%で最も多く、次いで「公民館での体験教室」が47.6%、「図書館でのおはなし会」が41.7%が続いています。

図 子育て支援事業の利用意向

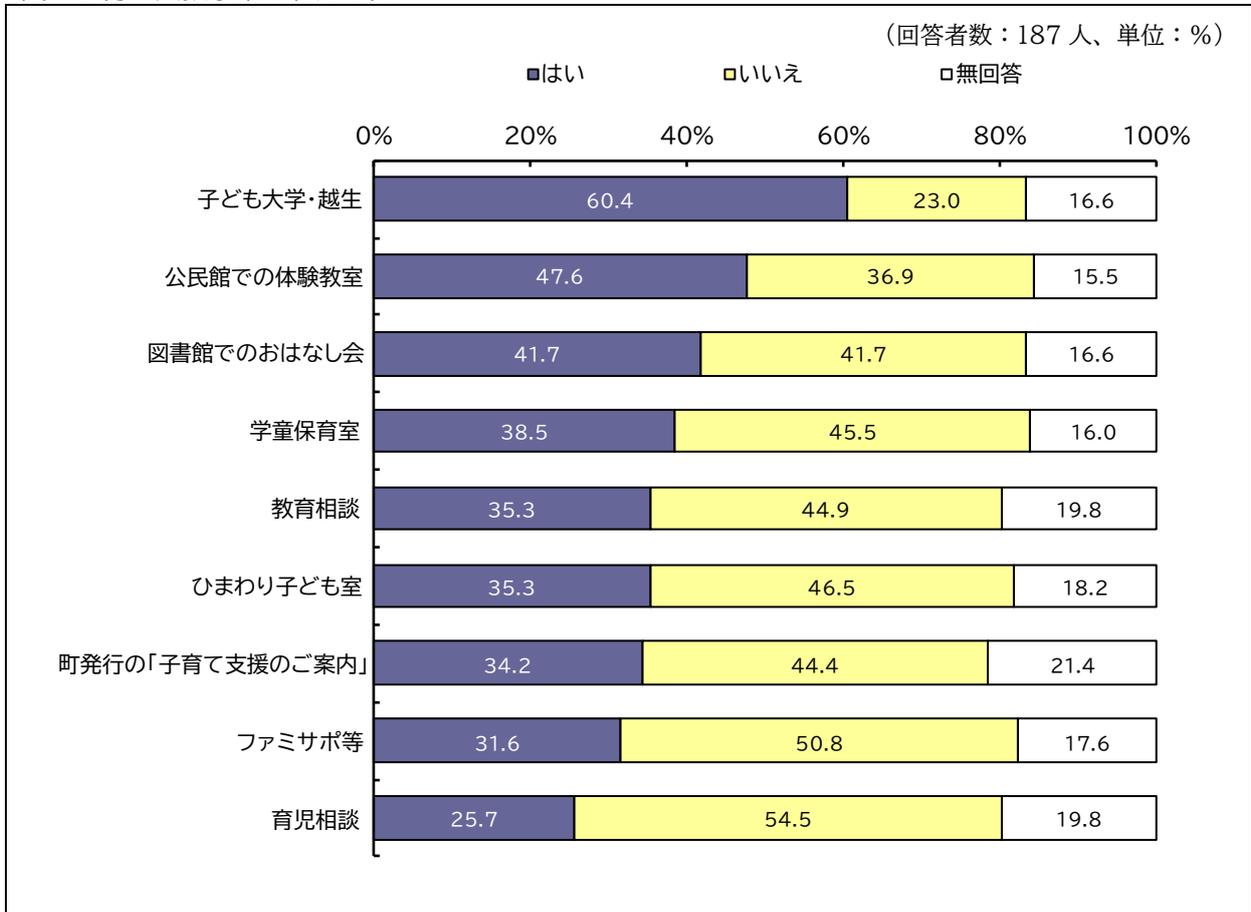


表 子育て支援事業の利用意向

回答者数：187人、単位：人 (%)

区分	はい	いいえ	無回答
子ども大学・越生	113 (60.4)	43 (23.0)	31 (16.6)
公民館での体験教室	89 (47.6)	69 (36.9)	29 (15.5)
図書館でのおはなし会	78 (41.7)	78 (41.7)	31 (16.6)
学童保育室	72 (38.5)	85 (45.5)	30 (16.0)
教育相談	66 (35.3)	84 (44.9)	37 (19.8)
ひまわり子ども室	66 (35.3)	87 (46.5)	34 (18.2)
町発行の「子育て支援のご案内」	64 (34.2)	83 (44.4)	40 (21.4)
ファミサポ等	59 (31.6)	95 (50.8)	33 (17.6)
育児相談	48 (25.7)	102 (54.5)	37 (19.8)

2-7-2 子育て支援事業の満足度（問17-1）

問17-1 その際の満足度はいかかですか。

「子ども大学・越生」が最も多い

子育て支援事業の満足度について「満足」の割合に着目すると、「子ども大学・越生」が54.1%で最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター等」が46.7%、「学童保育室」が40.8%で続いています。

図 子育て支援事業の満足度

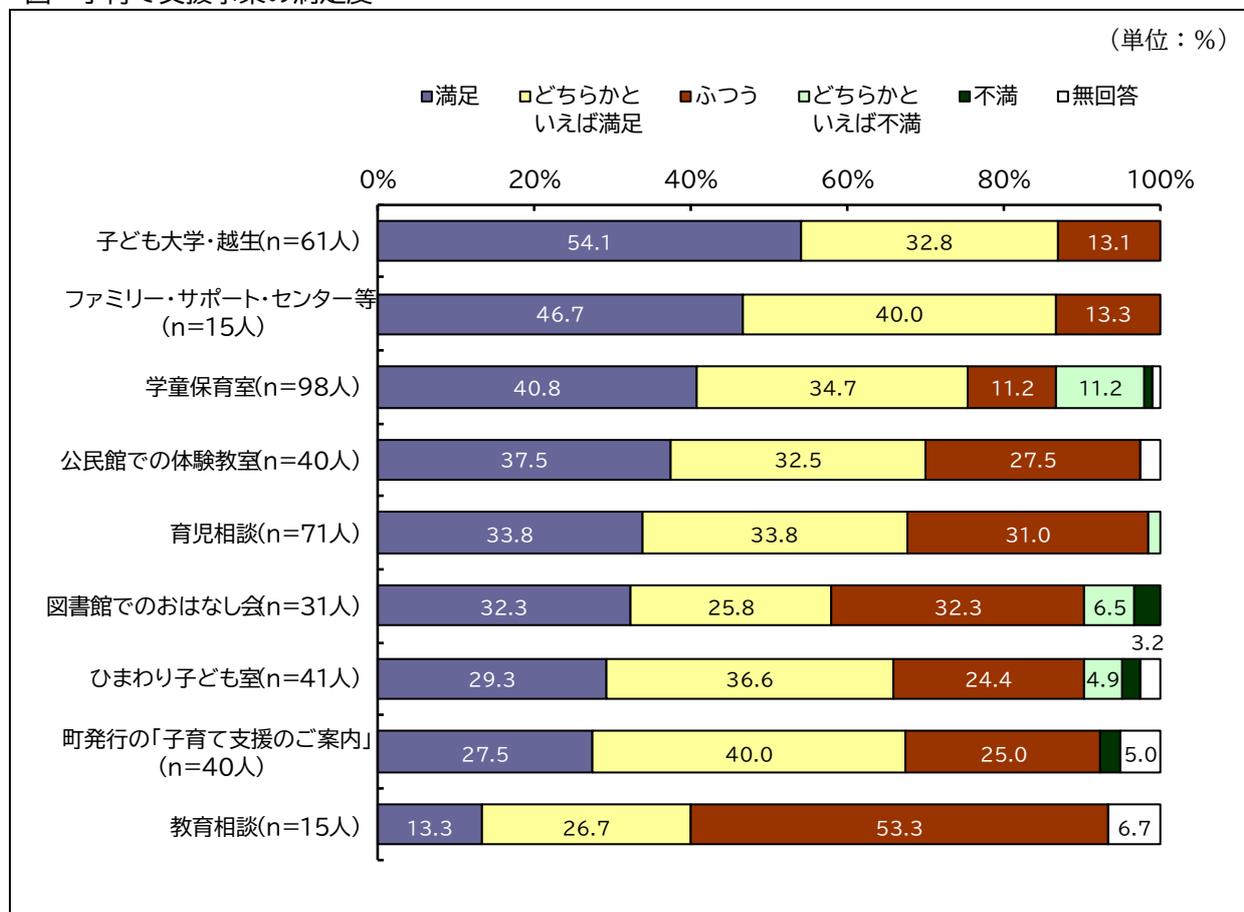


表 子育て支援事業の満足度

単位：人 (%)

問17-1①	回答者数	満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満	無回答
子ども大学・越生	61 (100.0)	33 (54.1)	20 (32.8)	8 (13.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ファミリー・サポート・センター等	15 (100.0)	7 (46.7)	6 (40.0)	2 (13.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
学童保育室	98 (100.0)	40 (40.8)	34 (34.7)	11 (11.2)	11 (11.2)	1 (1.0)	1 (1.0)
公民館での体験教室	40 (100.0)	15 (37.5)	13 (32.5)	11 (27.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.5)
育児相談	71 (100.0)	24 (33.8)	24 (33.8)	22 (31.0)	1 (1.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
図書館でのおはなし会	31 (100.0)	10 (32.3)	8 (25.8)	10 (32.3)	2 (6.5)	1 (3.2)	0 (0.0)
ひまわり子ども室	41 (100.0)	12 (29.3)	15 (36.6)	10 (24.4)	2 (4.9)	1 (2.4)	1 (2.4)
町発行の「子育て支援のご案内」	40 (100.0)	11 (27.5)	16 (40.0)	10 (25.0)	0 (0.0)	1 (2.5)	2 (5.0)
教育相談	15 (100.0)	2 (13.3)	4 (26.7)	8 (53.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (6.7)

第8節 現在の暮らしについて

2-8-1 今後の重点施策（問18）

問18 今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは何ですか。あてはまる番号を5つまで選んで○をつけてください。

「身近な公園の充実」が最も多い

今後の重点施策については、「身近な公園の充実」が65.8%で最も多く、次いで「経済的支援の充実」が51.3%、「仕事と家庭の両立支援の推進」が40.6%が続いています。

図 今後の重点施策（複数回答）

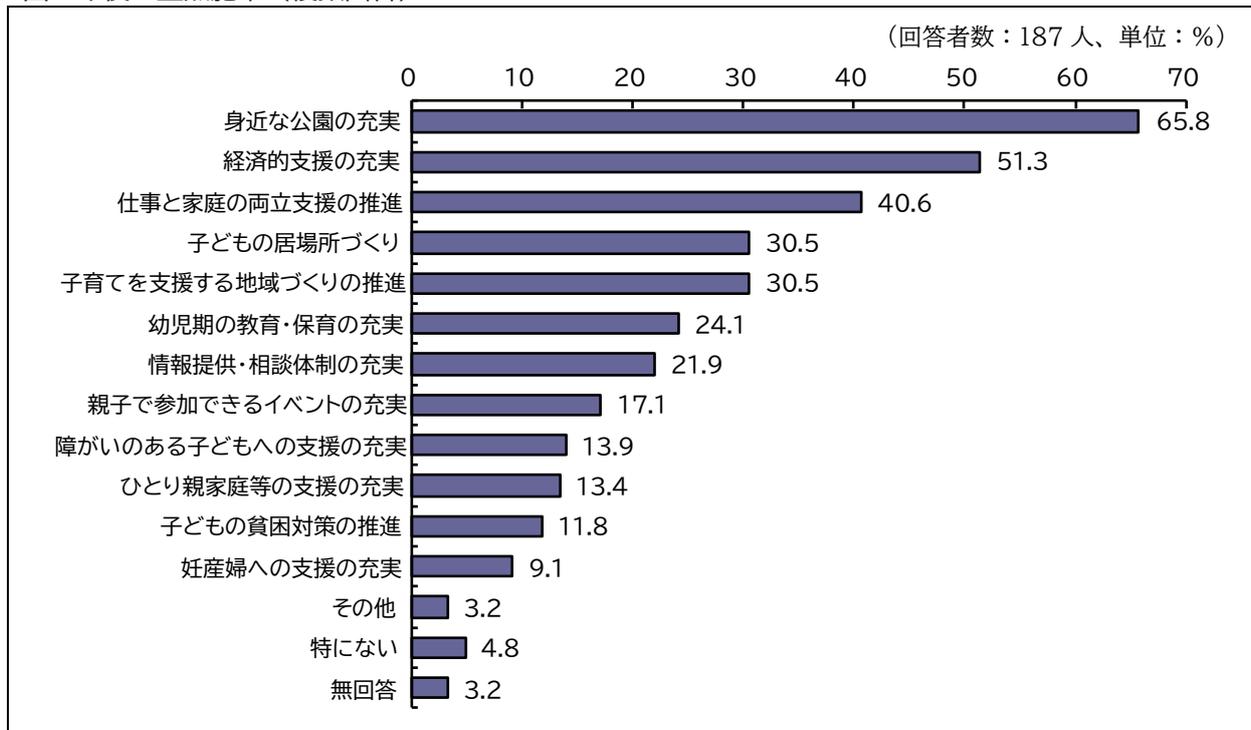


表 今後の重点施策（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
身近な公園の充実	123 (65.8)
経済的支援の充実	96 (51.3)
仕事と家庭の両立支援の推進	76 (40.6)
子どもの居場所づくり	57 (30.5)
子育てを支援する地域づくりの推進	57 (30.5)
幼児期の教育・保育の充実	45 (24.1)
情報提供・相談体制の充実	41 (21.9)

区分	人 (%)
親子で参加できるイベントの充実	32 (17.1)
障がいのある子どもへの支援の充実	26 (13.9)
ひとり親家庭等の支援の充実	25 (13.4)
子どもの貧困対策の推進	22 (11.8)
妊産婦への支援の充実	17 (9.1)
その他	6 (3.2)
特にない	9 (4.8)
無回答	6 (3.2)

2-8-2 イベント・事業に参加しやすい曜日（問19）

問19 子どもを対象としたイベント・事業は土曜日、日曜日のどちらが参加しやすいですか。

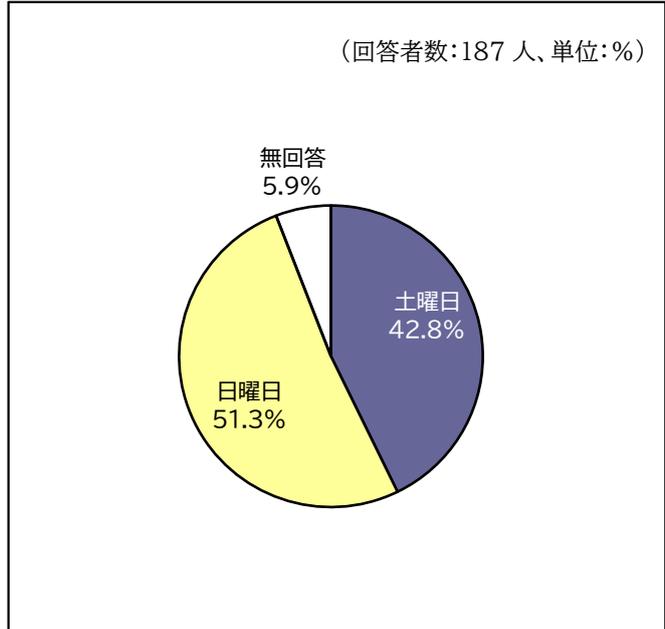
「日曜日」がやや多い

イベント・事業に参加しやすい曜日については、「土曜日」が42.8%、「日曜日」が51.3%となっています。

表 イベント・事業に参加しやすい曜日

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
土曜日	80 (42.8)
日曜日	96 (51.3)
無回答	11 (5.9)

図 イベント・事業に参加しやすい曜日



2-8-3 町全体の子育て環境の満足度（問20）

問20 越生町全体の子育て環境や子育て支援への満足度はいかがですか。

“満足・どちらかといえば満足”が41.8%

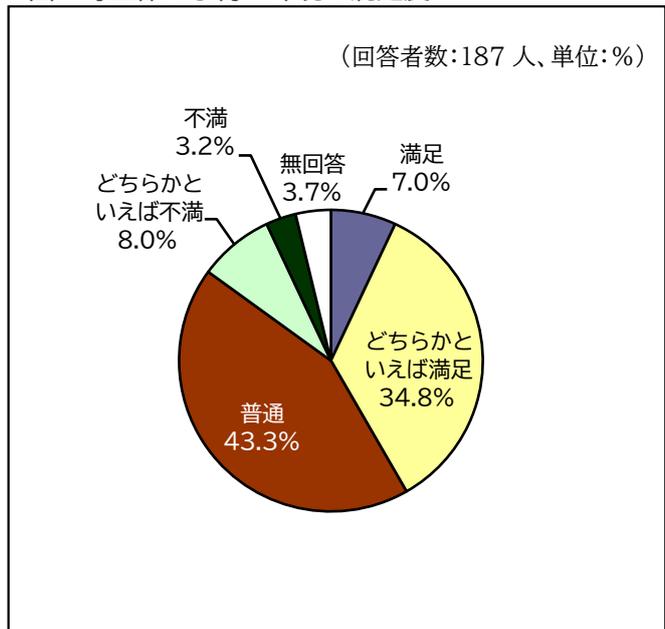
町全体の子育て環境の満足度については、「満足」が7.0%、「どちらかといえば満足」が34.8%であり、これらを合わせると41.8%が“満足・どちらかといえば満足”と回答しています。

一方、“どちらかといえば不満・不満”は合わせて11.2%となっています。

表 町全体の子育て環境の満足度

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
満足	13 (7.0)
どちらかといえば満足	65 (34.8)
普通	81 (43.3)
どちらかといえば不満	15 (8.0)
不満	6 (3.2)
無回答	7 (3.7)

図 町全体の子育て環境の満足度



第2編

子どもの生活実態調査

第3章

保護者調査（子どもの貧困）

第1節 回答者及び家族の状況

3-1-1 回答者と子どもとの関係（問1）

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。（1つに○）

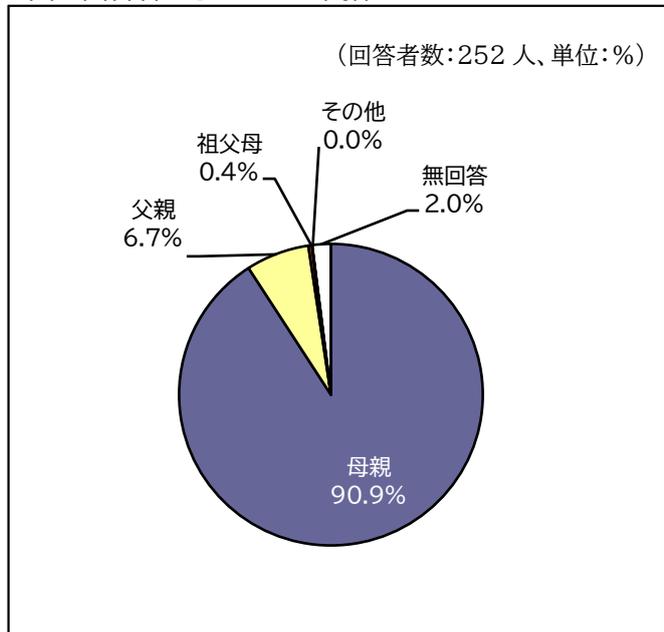
「母親」が90.9%

回答者と子どもとの関係については、「母親」が90.9%、「父親」が6.7%となっています。

表 回答者と子どもとの関係

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
母親	229 (90.9)
父親	17 (6.7)
祖父母	1 (0.4)
その他	0 (0.0)
無回答	5 (2.0)

図 回答者と子どもとの関係



3-1-2 家族構成（問2）

問2 あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。（1つに○）

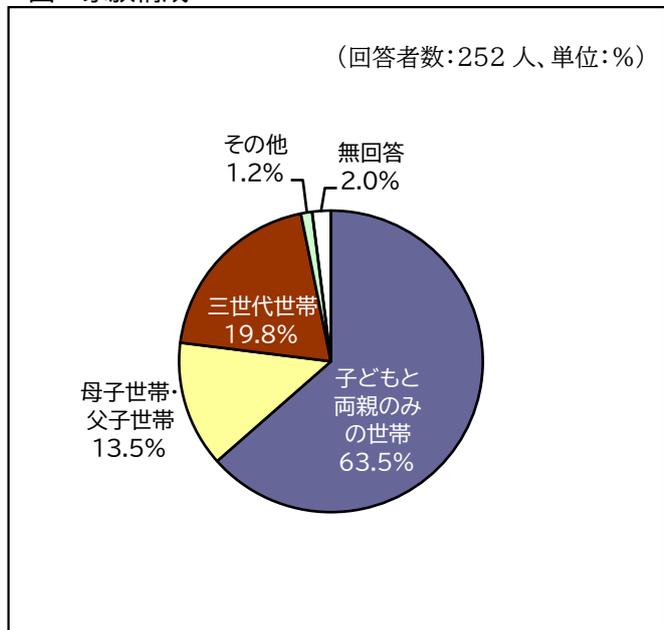
「子どもと両親のみの世帯」が63.5%

家族構成については、「子どもと両親のみの世帯」が63.5%、「母子世帯・父子世帯」が13.5%、「三世代世帯」が19.8%となっています。

表 家族構成

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
子どもと両親のみの世帯	160 (63.5)
母子世帯・父子世帯	34 (13.5)
三世代世帯	50 (19.8)
その他	3 (1.2)
無回答	5 (2.0)

図 家族構成



3-1-3 家族の人数（問3）

問3 あなたとお子さんを含めた、家族全員の人数は何人ですか。（単身赴任やひとり暮らしのお子さんなど、別居していても生計を一緒にする方はすべて含みます。）（1つに○）

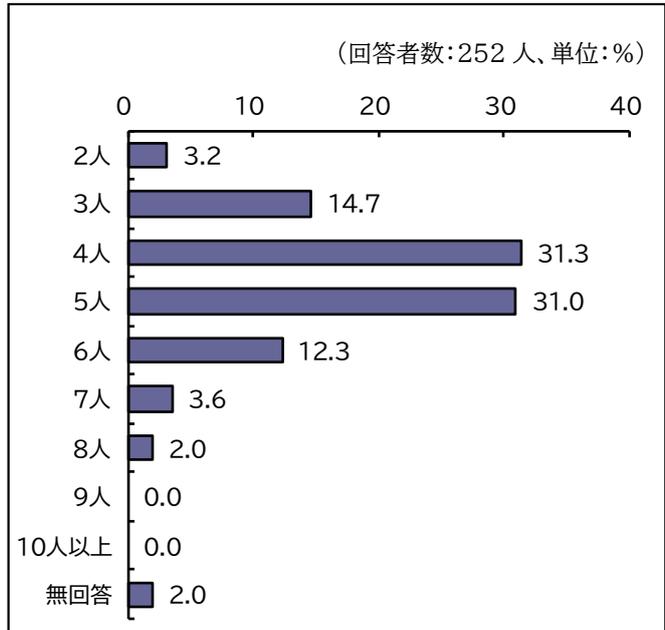
「4人」、「5人」が多くみられる

家族の人数については、「4人」が31.3%で最も多く、次いで「5人」が31.0%、「3人」が14.7%が続いています。

表 家族の人数

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
2人	8 (3.2)
3人	37 (14.7)
4人	79 (31.3)
5人	78 (31.0)
6人	31 (12.3)
7人	9 (3.6)
8人	5 (2.0)
9人	0 (0.0)
10人以上	0 (0.0)
無回答	5 (2.0)

図 家族の人数



3-1-4 子どもの人数（問4）

問4 家族のうち、お子さん（令和6年4月1日までに18歳に達する方まで）の人数は何人ですか。（1つに○）

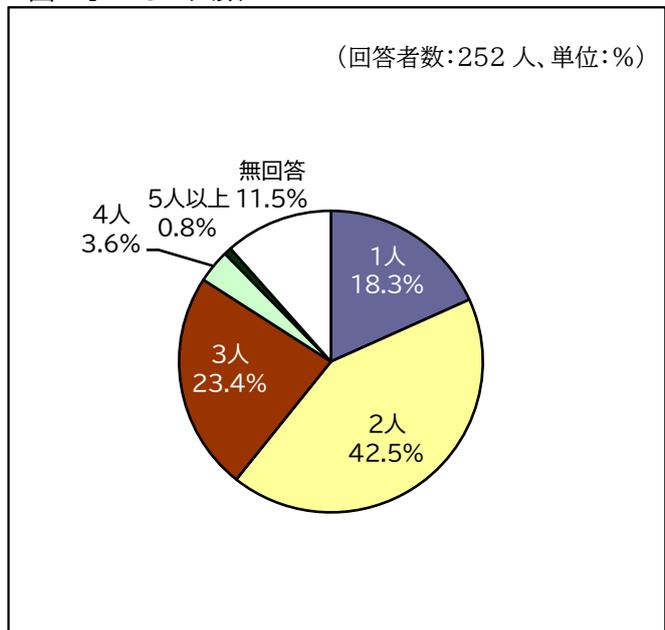
「2人」が最も多い

子どもの人数については、「1人」が18.3%、「2人」が42.5%、「3人」が23.4%などとなっています。

表 子どもの人数

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
1人	46 (18.3)
2人	107 (42.5)
3人	59 (23.4)
4人	9 (3.6)
5人以上	2 (0.8)
無回答	29 (11.5)

図 子どもの人数



3-1-5 親の婚姻状況（問5）

問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（1つに○）

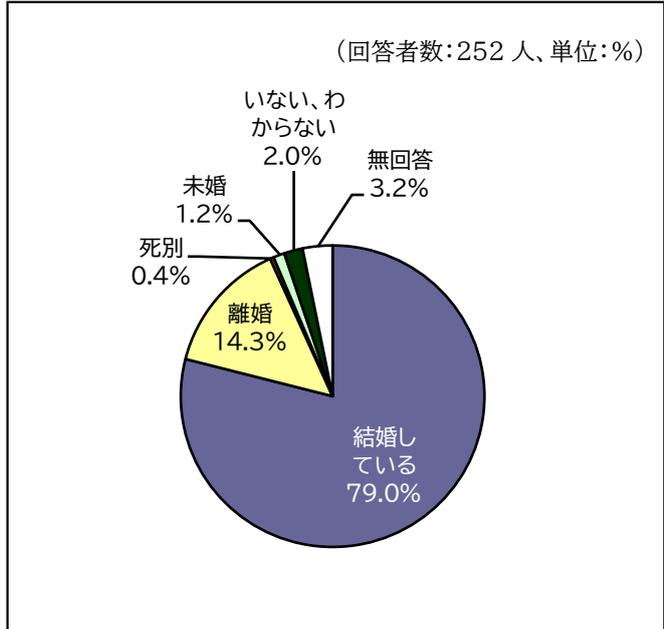
「結婚している」が79.0%

親の婚姻状況については、「結婚している」が79.0%、「離婚」が14.3%（36人）、「死別」が0.4%、「未婚」が1.2%となっています

表 親の婚姻状況

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
結婚している	199 (79.0)
離婚	36 (14.3)
死別	1 (0.4)
未婚	3 (1.2)
いない、わからない	5 (2.0)
無回答	8 (3.2)

図 親の婚姻状況



3-1-6 離婚相手との養育費の取り決めの状況（問6）

問6 前問で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（1つに○）

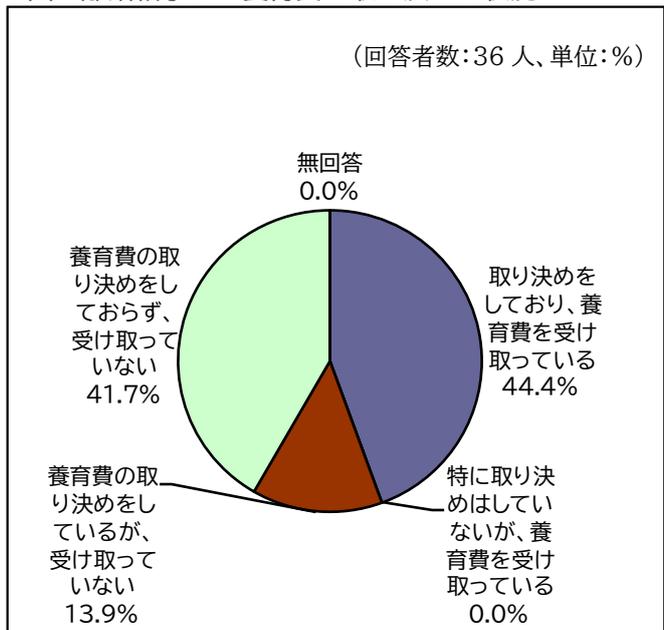
「取り決めをしており、受け取っている」が最も多い

親の婚姻状況において「離婚」と回答した36人に対し、離婚相手との養育費の取り決めの状況について聞いたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が44.4%で最も多く、次いで「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が41.7%で続いています。

表 離婚相手との養育費の取り決めの状況

区分	人 (%)
回答者総数	36 (100.0)
取り決めをしており、養育費を受け取っている	16 (44.4)
特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている	0 (0.0)
養育費の取り決めをしているが、受け取っていない	5 (13.9)
養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない	15 (41.7)
無回答	0 (0.0)

図 離婚相手との養育費の取り決めの状況



3-1-7 子どもの学年（問7）

問7 お子さんの学年を教えてください。（1つに○）

「小学5年生または小学6年生」が51.2%

子どもの学年については、「小学5年生または小学6年生」が51.2%、「中学1年生または中学2年生」が45.2%となっています。

図 子どもの学年

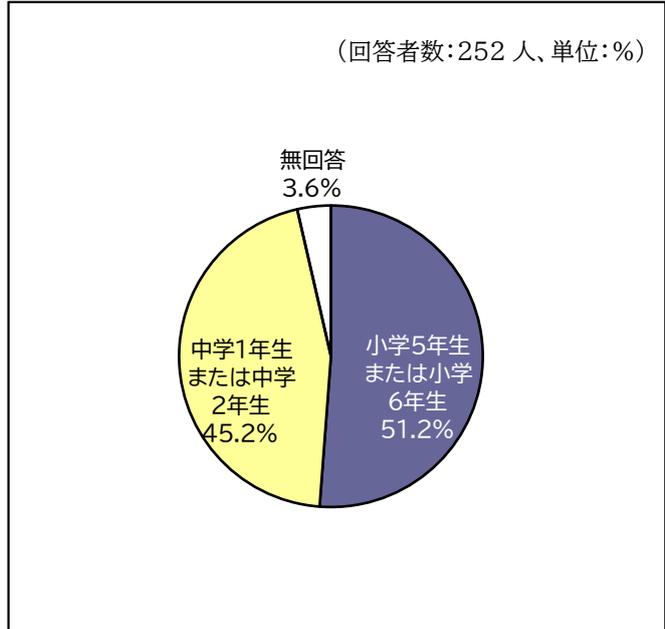


表 子どもの学年

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
小学5年生または小学6年生	129 (51.2)
中学1年生または中学2年生	114 (45.2)
無回答	9 (3.6)

第2節 父母の経歴と仕事について

3-2-1 親の最終学歴（問8）

問8 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。（1つに○）

（1）母親の最終学歴

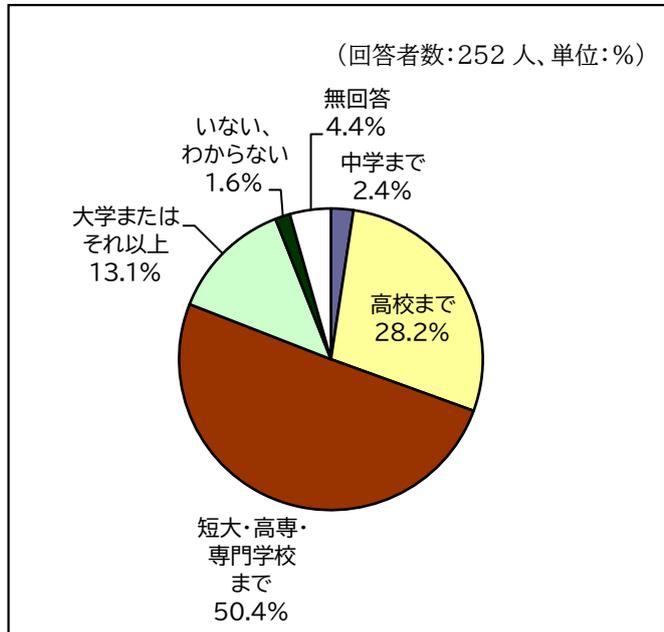
「短大・高専・専門学校まで」が50.4%

母親の最終学歴については、「短大・高専・専門学校まで」が50.4%で最も多く、次いで「高校まで」が28.2%、「大学またはそれ以上」が13.1%が続いています。

表 母親の最終学歴

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
中学まで	6 (2.4)
高校まで	71 (28.2)
短大・高専・専門学校まで	127 (50.4)
大学またはそれ以上	33 (13.1)
いない、わからない	4 (1.6)
無回答	11 (4.4)

図 母親の最終学歴



（2）父親の最終学歴

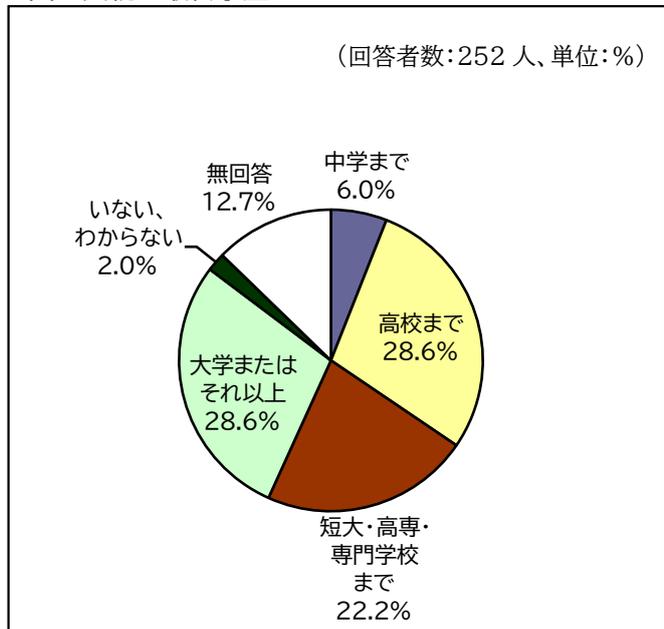
「高校まで」及び「大学またはそれ以上」が多くみられる

父親の最終学歴については、「高校まで」及び「大学またはそれ以上」がともに28.6%で最も多く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が22.2%が続いています。

表 父親の最終学歴

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
中学まで	15 (6.0)
高校まで	72 (28.6)
短大・高専・専門学校まで	56 (22.2)
大学またはそれ以上	72 (28.6)
いない、わからない	5 (2.0)
無回答	32 (12.7)

図 父親の最終学歴



3-2-2 親の就労状況（問9）

問9 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。（1つに○）

（1）母親の就労状況

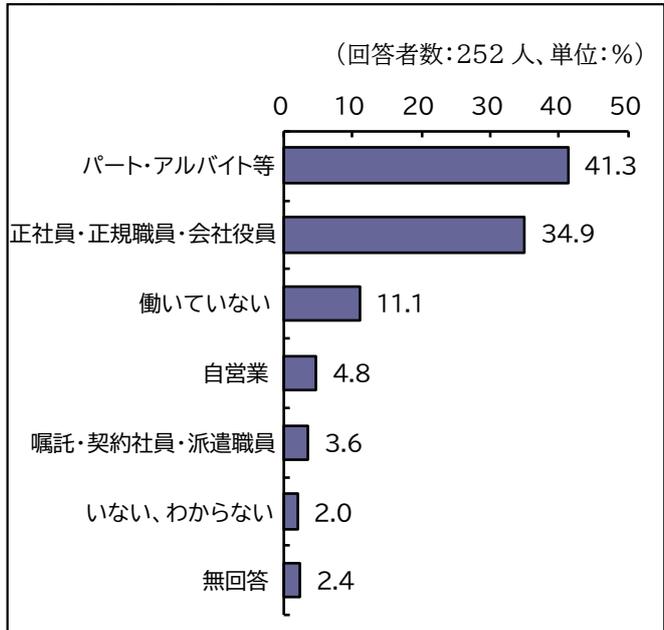
「パート・アルバイト等」が最も多い

母親の就労状況については、「パート・アルバイト等」が41.3%で最も多く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が34.9%で続いています。

表 母親の就労状況

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
パート・アルバイト等	104 (41.3)
正社員・正規職員・会社役員	88 (34.9)
働いていない	28 (11.1)
自営業	12 (4.8)
嘱託・契約社員・派遣職員	9 (3.6)
いない、わからない	5 (2.0)
無回答	6 (2.4)

図 母親の就労状況



（2）父親の就労状況

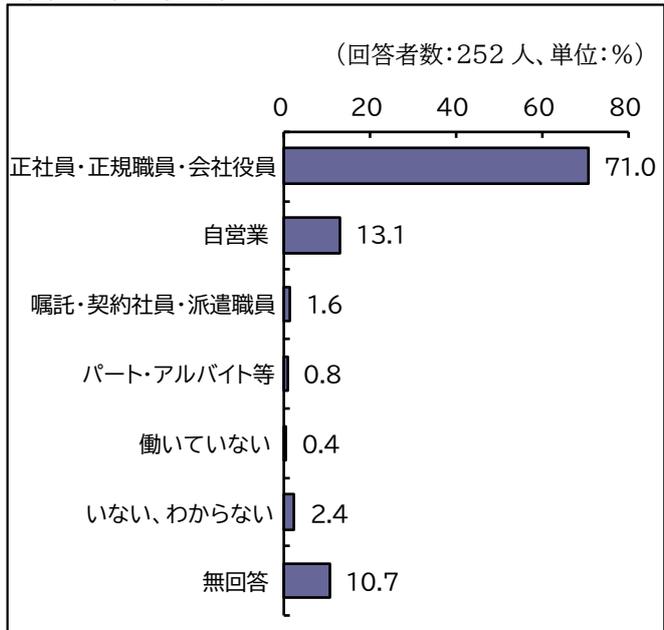
「正社員」が最も多い

父親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」が71.0%で最も多く、次いで「自営業」が13.1%で続いています。

表 父親の就労状況

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
正社員・正規職員・会社役員	179 (71.0)
自営業	33 (13.1)
嘱託・契約社員・派遣職員	4 (1.6)
パート・アルバイト等	2 (0.8)
働いていない	1 (0.4)
いない、わからない	6 (2.4)
無回答	27 (10.7)

図 父親の就労状況



3-2-3 働いていない理由（問9-1）

問9-1 「5. 働いていない」最も主な理由を教えてください。（1つに○）

（1）母親の働いていない理由

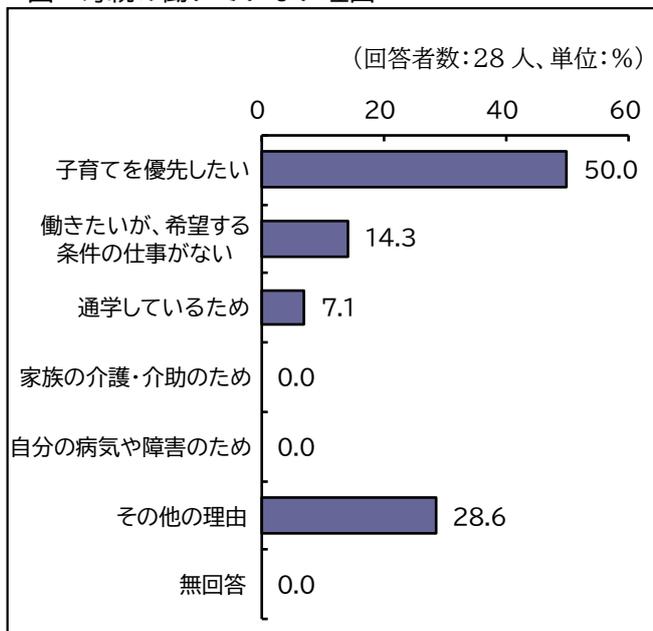
「子育てを優先したい」が最も多い

母親の就労状況において「働いていない」と回答した28人に対し、その理由について聞いたところ、「子育てを優先したい」が50.0%で最も多く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がない」が14.3%で続いています。

表 母親の働いていない理由

区分	人 (%)
回答者総数	28 (100.0)
子育てを優先したい	14 (50.0)
働きたいが、希望する条件の仕事がない	4 (14.3)
通学しているため	2 (7.1)
家族の介護・介助のため	0 (0.0)
自分の病気や障害のため	0 (0.0)
その他の理由	8 (28.6)
無回答	0 (0.0)

図 母親の働いていない理由



※父親の働いていない理由については、該当者が1人のため、掲載を省略します。

第3節 子育て・教育に関すること

3-3-1 保護者と子どもの関わり方（問10）

問10 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。
 (①～④についてそれぞれ1つに○)

「小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」が最も多い

保護者と子どもの関わり方について、「あてはまる」の割合に着目すると、「子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」が41.3%で最も多く、次いで「子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれる」が34.1%、「テレビ・ゲーム・インターネット等視聴時間等のルールを決めている」が27.0%で続いています。

図 保護者と子どもの関わり方

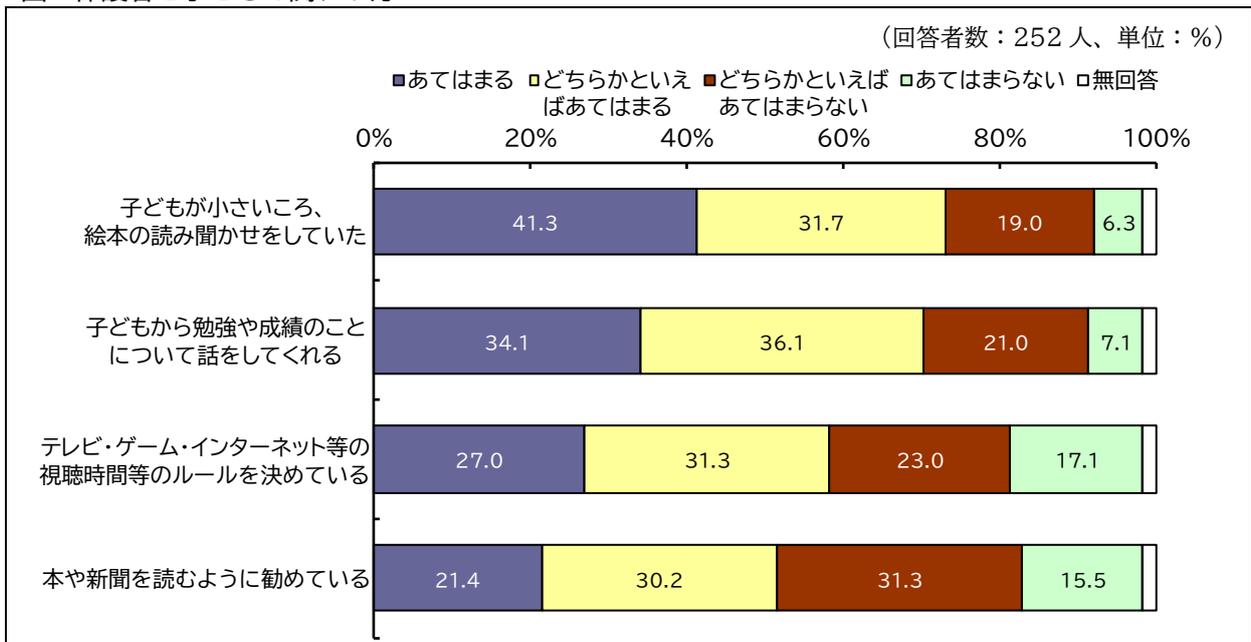


表 保護者と子どもの関わり方

回答者数：252人、単位：人 (%)

区分	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	104 (41.3)	80 (31.7)	48 (19.0)	16 (6.3)	4 (1.6)
子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれる	86 (34.1)	91 (36.1)	53 (21.0)	18 (7.1)	4 (1.6)
テレビ・ゲーム・インターネット等視聴時間等のルールを決めている	68 (27.0)	79 (31.3)	58 (23.0)	43 (17.1)	4 (1.6)
本や新聞を読むように勧めている	54 (21.4)	76 (30.2)	79 (31.3)	39 (15.5)	4 (1.6)

3-3-2 授業参観やPTA活動などへの参加状況（問11）

問11 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（①、②についてそれぞれ1つに○）

「授業参観や運動会などの学校行事」は「よく参加している」が73.4%

授業参観やPTA活動などへの参加状況について、「よく参加している」の割合に着目すると、「授業参観や運動会などの学校行事への参加」が73.4%、「PTA活動や保護者会などへの参加」が29.4%となっています

図 授業参観やPTA活動などへの参加状況

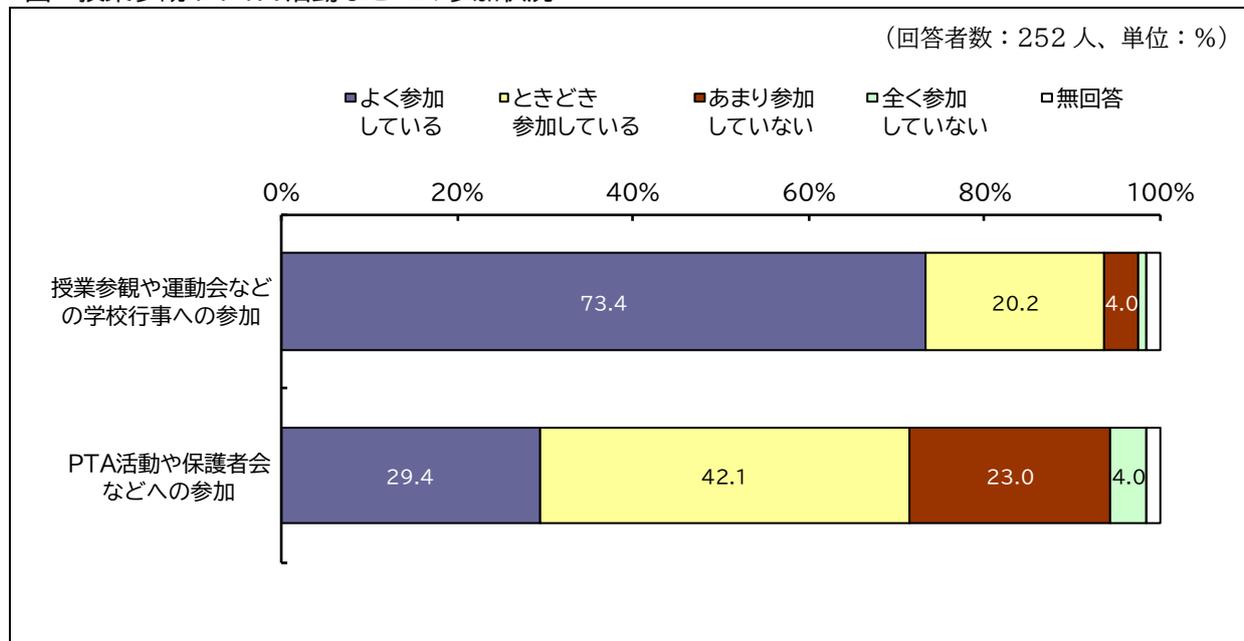


表 授業参観やPTA活動などへの参加状況

回答者数：252人、単位：人（％）

区分	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	全く参加していない	無回答
授業参観や運動会などの学校行事への参加	185（73.4）	51（20.2）	10（4.0）	2（0.8）	4（1.6）
PTA活動や保護者会などへの参加	74（29.4）	106（42.1）	58（23.0）	10（4.0）	4（1.6）

3-3-3 無料の学習支援の利用意向（問12）

問12 自宅や学校以外の場所で、無料で、お子さんが大人や大学生のボランティアなどから教えてもらいながら勉強ができる場所があったら利用したいと思いますか。（1つに○）

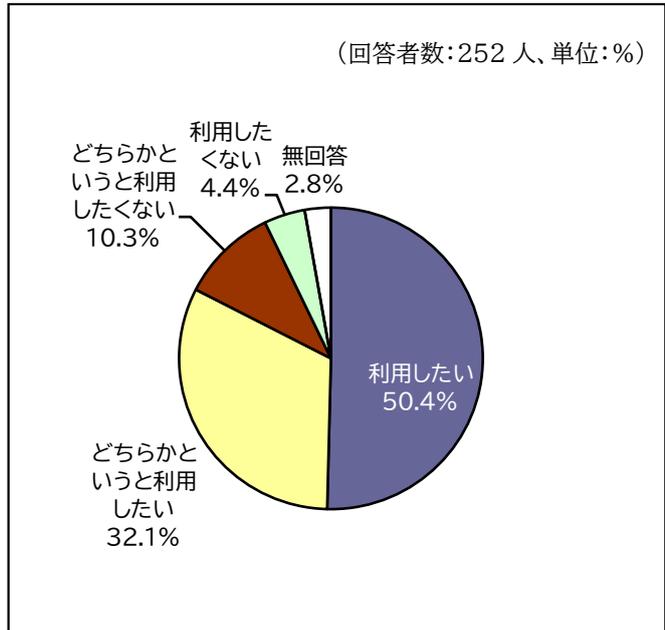
「利用したい」が50.4%

無料の学習支援の利用意向については、「利用したい」が50.4%、「どちらかという util したい」が32.1%、「どちらかという util したくない」が10.3%、「利用したくない」が4.4%となっています。

表 無料の学習支援の利用意向

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
利用したい	127 (50.4)
どちらかという util したい	81 (32.1)
どちらかという util したくない	26 (10.3)
利用したくない	11 (4.4)
無回答	7 (2.8)

図 無料の学習支援の利用意向



3-3-4 将来の進学への意向（問13）

問13 調査対象のお子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。（1つに○）

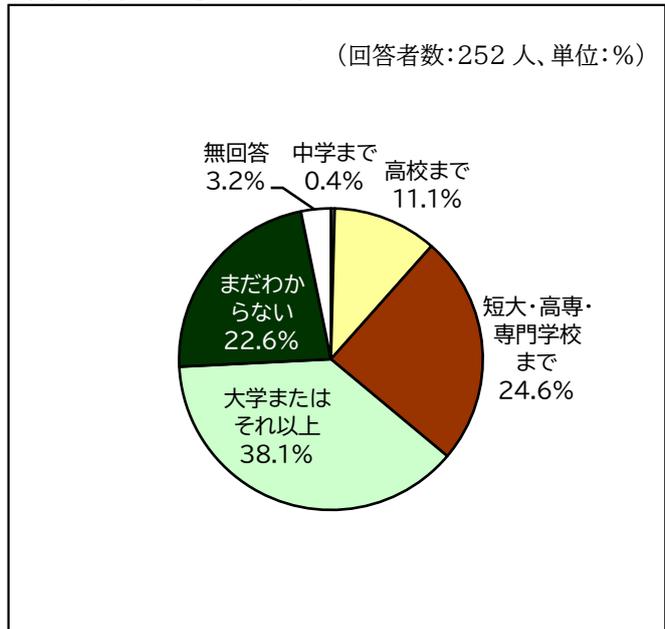
「大学またはそれ以上」が最も多い

将来の進学への意向については、「大学またはそれ以上」が38.1%で最も多く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が24.6%、「まだわからない」が22.6%で続いています。

表 将来の進学への意向

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
中学まで	1 (0.4)
高校まで	28 (11.1)
短大・高専・専門学校まで	62 (24.6)
大学またはそれ以上	96 (38.1)
まだわからない	57 (22.6)
無回答	8 (3.2)

図 将来の進学への意向



3-3-5 進学したい理由（問13-1）

問13-1 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

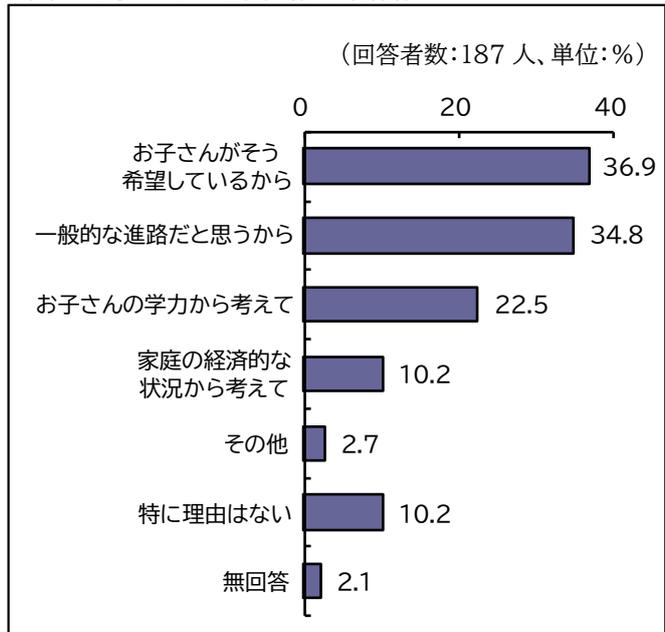
「お子さんがそう希望しているから」が最も多い

将来の進学の意向においていずれかの進路を回答した187人に対し、その理由について聞いたところ、「お子さんがそう希望しているから」が36.9%で最も多く、次いで「一般的な進路だと思うから」が34.8%で続いています。

表 進学したい理由（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	187 (100.0)
お子さんがそう希望しているから	69 (36.9)
一般的な進路だと思うから	65 (34.8)
お子さんの学力から考えて	42 (22.5)
家庭の経済的な状況から考えて	19 (10.2)
その他	5 (2.7)
特に理由はない	19 (10.2)
無回答	4 (2.1)

図 進学したい理由（複数回答）



3-3-6 進学にあたり、不安に思っていること（問14）

問14 調査対象のお子さんが高校に進学するにあたり、不安に思っていることは、どんなことですか。（あてはまるもの3つまでに○）

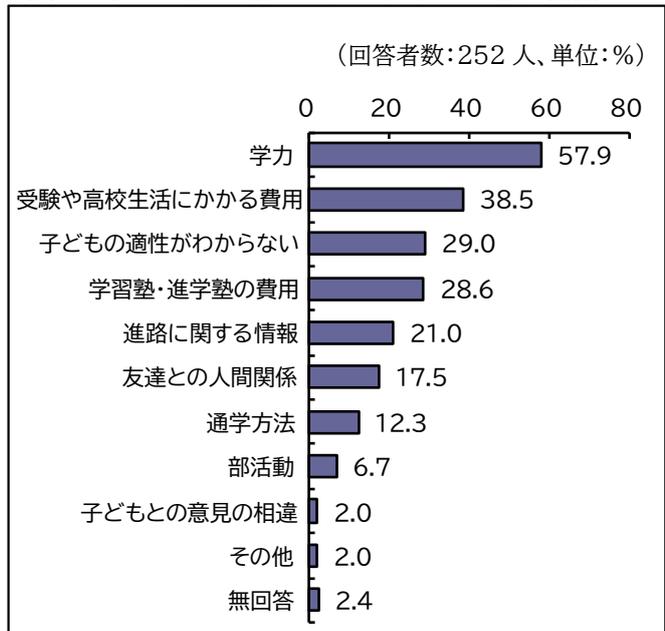
「学力」が最も多い

進学にあたり、不安に思っていることについては、「学力」が57.9%で最も多く、次いで「受験や高校生活にかかる費用」が38.5%、「子どもの進路の適性がわからない」が29.0%で続いています。

表 進学にあたり、不安に思っていること（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
学力	146 (57.9)
受験や高校生活にかかる費用	97 (38.5)
子どもの進路の適性がわからない	73 (29.0)
学習塾・進学塾の費用	72 (28.6)
進路に関する情報	53 (21.0)
友達との人間関係	44 (17.5)
通学方法	31 (12.3)
部活動	17 (6.7)
子どもとの進路に対する意見の相違	5 (2.0)
その他	5 (2.0)
無回答	6 (2.4)

図 進学にあたり、不安に思っていること（複数回答）



第4節 子どもの健康状況

3-4-1 医療機関に連れていかなかった経験の有無（問15）

問15 これまでに、お子さんを医療機関に連れていった方がよいと思ったが、実際には連れていかなかったことがありますか。（1つに○）

「あった」は21.8%

医療機関に連れていかなかった経験の有無については、「あった」が21.8%（55人）、「なかった」が76.6%となっています。

図 医療機関に連れていかなかった経験の有無

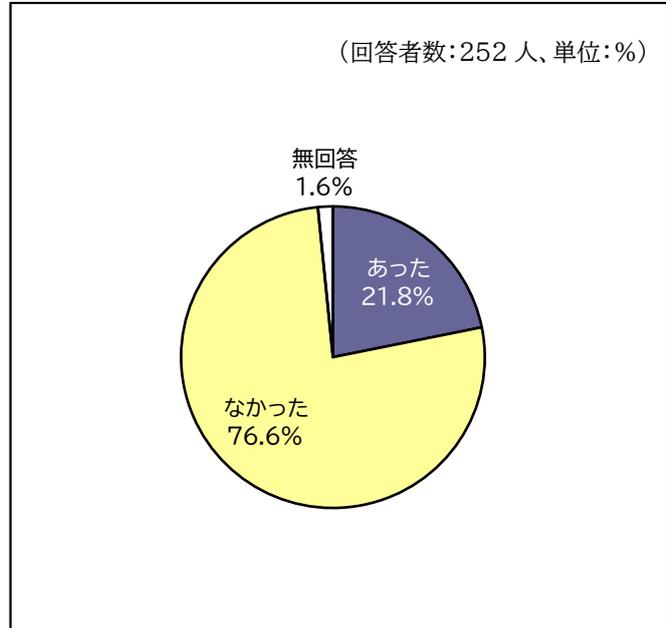


表 医療機関に連れていかなかった経験の有無

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
あった	55 (21.8)
なかった	193 (76.6)
無回答	4 (1.6)

3-4-2 医療機関に連れて行かなかった理由（問 15-1）

問 15-1 医療機関に連れていかなかった理由のうち、最も近いものに○をつけてください。（1つに○）

「受診させようと思ったが、様子を見て必要ないと判断した」が最も多い

医療機関に連れて行かなかった経験が「あった」と回答した 55 人に対し、その理由について聞いたところ、「受診させようと思ったが、様子を見て必要ないと判断した」が 65.5% で最も多く、次いで「忙しくて医療機関に連れて行く時間がなかった、」が 21.8% で続いています。

図 医療機関に連れて行かなかった理由

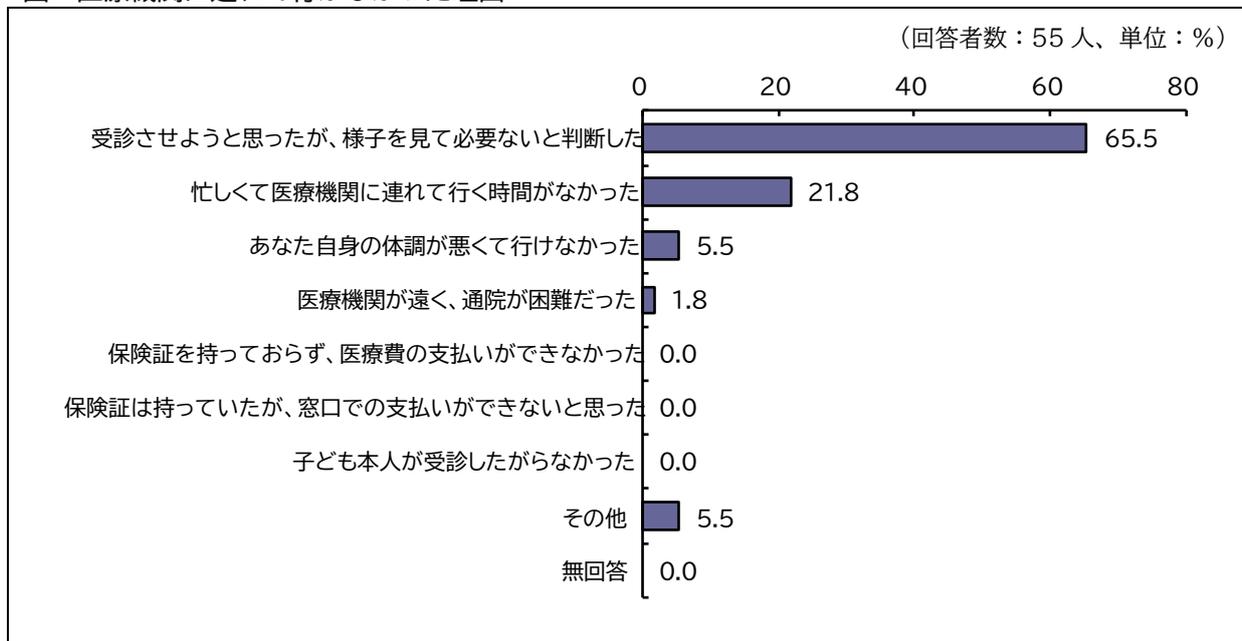


表 医療機関に連れて行かなかった理由

区分	人 (%)
回答者総数	55 (100.0)
受診させようと思ったが、様子を見て必要ないと判断した	36 (65.5)
忙しくて医療機関に連れて行く時間がなかった	12 (21.8)
あなた自身の体調が悪くて行けなかった	3 (5.5)
医療機関が遠く、通院が困難だった	1 (1.8)
保険証を持っておらず、医療費の支払いができなかった	0 (0.0)
保険証は持っていたが、窓口での支払いができないと思った	0 (0.0)
子ども本人が受診しなかった	0 (0.0)
その他	3 (5.5)
無回答	0 (0.0)

3-4-3 朝食の摂食頻度（問16）

問16 お子さんは、普段、朝食を食べていますか。この1カ月を振り返って、最もあてはまる番号を選んでください。（1つに○）

「毎日食べる」が86.9%

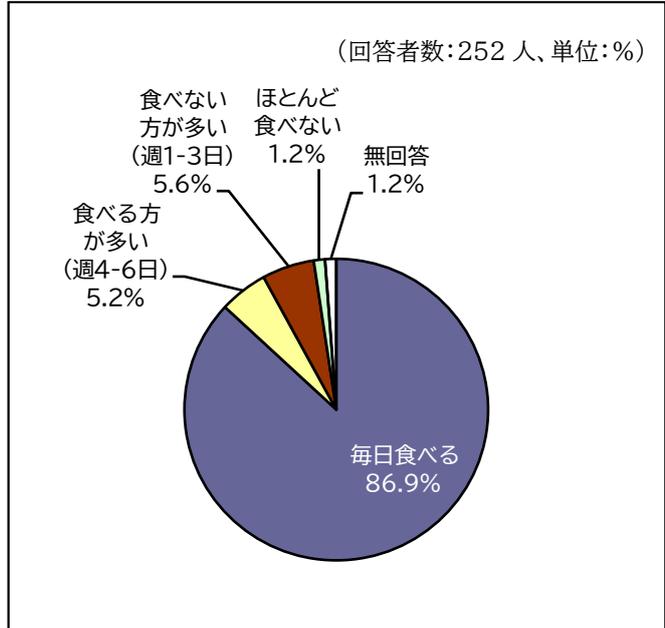
朝食の摂食頻度については、「毎日食べる」が86.9%、「食べる方が多い（週4～6日）」が5.2%となっています。

これに対し、「食べない方が多い（週1～3日）」が5.6%、「ほとんど食べない」が1.2%であり、これらを合わせると6.8%が“食べない方が多い・ほとんど食べない”と回答しています。

表 朝食の摂食頻度

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
毎日食べる	219 (86.9)
食べる方が多い(週4～6日)	13 (5.2)
食べない方が多い(週1～3日)	14 (5.6)
ほとんど食べない	3 (1.2)
無回答	3 (1.2)

図 朝食の摂食頻度



3-4-4 食事ができる居場所の利用意向（問17）

問17 子どもたちだけ、あるいは、一人で食事をするのがないような居場所があれば、利用させたいと思いますか。（1つに○）

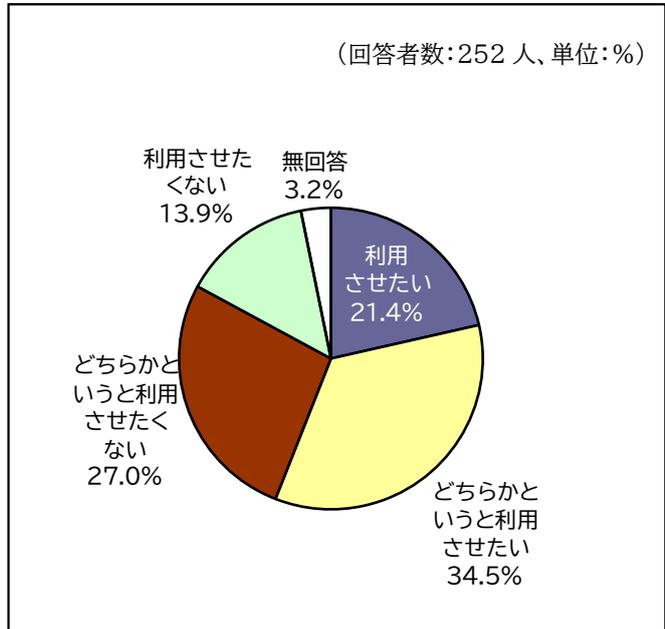
“利用させたい・どちらかという利用させたい”が55.9%

食事ができる居場所の利用意向については、「利用させたい」が21.4%、「どちらかという利用させたい」が34.5%であり、これらを合わせると55.9%が“利用させたい・どちらかという利用させたい”と回答しています。

表 食事ができる居場所の利用意向

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
利用させたい	54 (21.4)
どちらかという利用させたい	87 (34.5)
どちらかという利用させたくない	68 (27.0)
利用させたくない	35 (13.9)
無回答	8 (3.2)

図 食事ができる居場所の利用意向



第5節 現在の暮らしについて

3-5-1 子育てに関して頼れる人の状況（問18）

問18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。（1つに○）

（1）子育てに関する相談ができる人

①相談できる人の有無

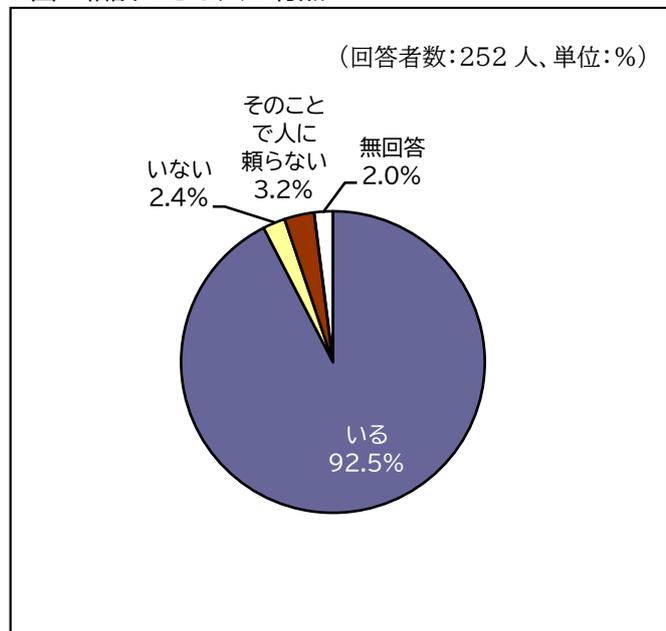
「いる」が92.5%

子育てに関する相談ができる人の有無については、「いる」が92.5%（233人）、「いない」が2.4%、「そのことで人に頼らない」が3.2%となっています。

表 相談できる人の有無

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
いる	233 (92.5)
いない	6 (2.4)
そのことで人に頼らない	8 (3.2)
無回答	5 (2.0)

図 相談できる人の有無



②相談できる人

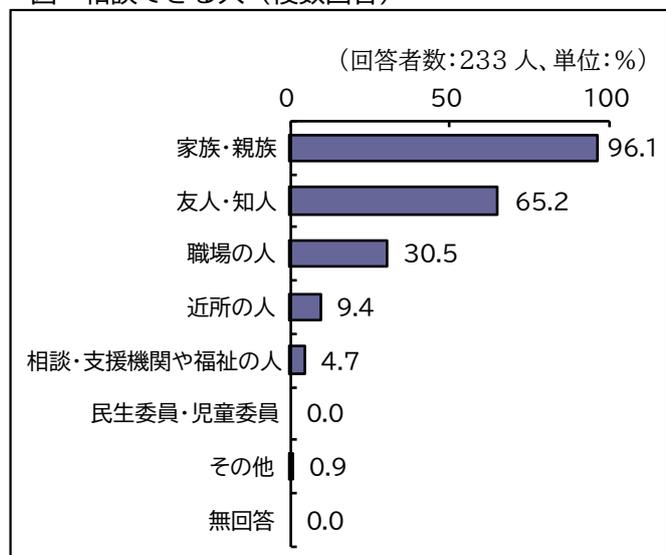
「家族・親族」や「友人・知人」が多い

相談できる人が「いる」と回答した233人に対し、それは誰かについて聞いたところ、「家族・親族」が96.1%で最も多く、次いで「友人・知人」が65.2%、「職場の人」が30.5%が続いています。

表 相談できる人（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	233 (100.0)
家族・親族	224 (96.1)
友人・知人	152 (65.2)
職場の人	71 (30.5)
近所の人	22 (9.4)
相談・支援機関や福祉の人	11 (4.7)
民生委員・児童委員	0 (0.0)
その他	2 (0.9)
無回答	0 (0.0)

図 相談できる人（複数回答）



（2）重要な事柄について相談ができる人

①相談できる人の有無

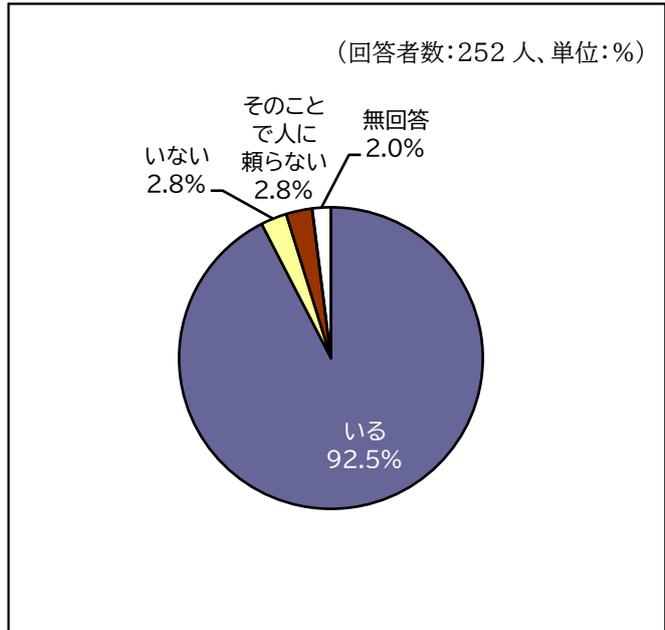
「いる」が92.5%

重要な事柄について相談ができる人の有無については、「いる」が92.5%（233人）、「いない」及び「そのことで人に頼らない」がともに2.8%となっています。

表 相談できる人の有無

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
いる	233 (92.5)
いない	7 (2.8)
そのことで人に頼らない	7 (2.8)
無回答	5 (2.0)

図 相談できる人の有無



②相談できる人

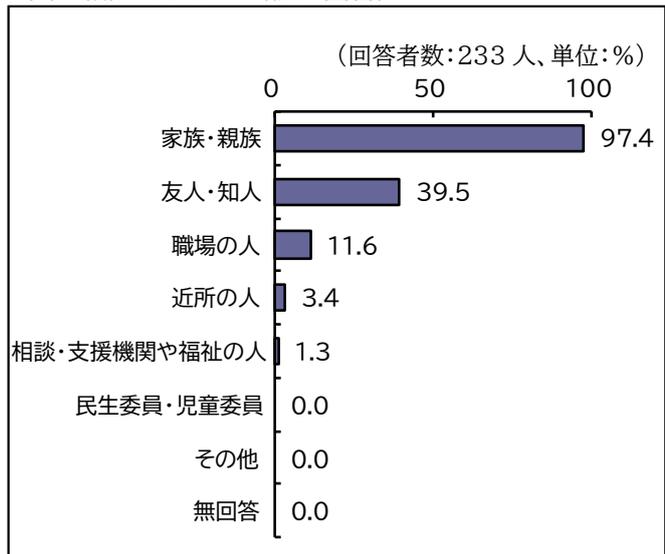
「家族・親族」が最も多い

相談できる人が「いる」と回答した233人に対し、それは誰かについて聞いたところ、「家族・親族」が97.4%で最も多く、次いで「友人・知人」が39.5%、「職場の人」が11.6%が続いています。

表 相談できる人（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	233 (100.0)
家族・親族	227 (97.4)
友人・知人	92 (39.5)
職場の人	27 (11.6)
近所の人	8 (3.4)
相談・支援機関や福祉の人	3 (1.3)
民生委員・児童委員	0 (0.0)
その他	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 相談できる人（複数回答）



（3）いざというときのお金の援助ができる人

①援助できる人の有無

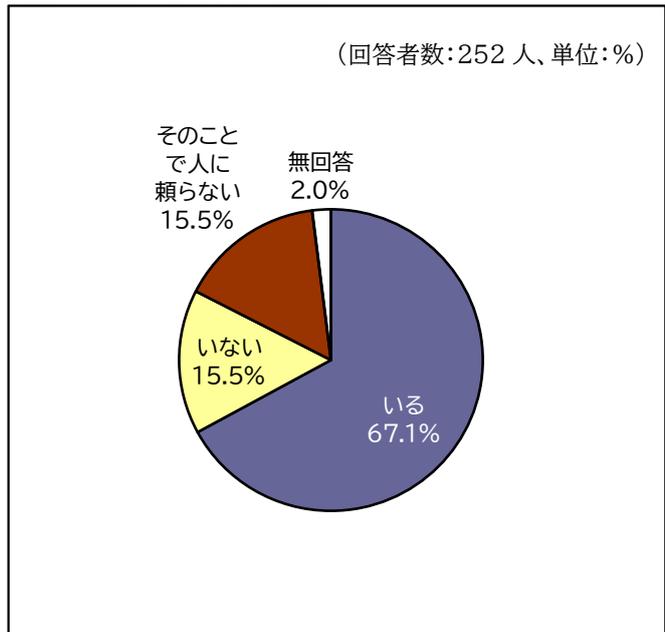
「いる」が67.1%

いざというときのお金の援助ができる人の有無については、「いる」が67.1%（169人）、「いない」及び「そのことで人に頼らない」がともに15.5%となっています。

表 援助できる人の有無

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
いる	169 (67.1)
いない	39 (15.5)
そのことで人に頼らない	39 (15.5)
無回答	5 (2.0)

図 援助できる人の有無



②援助できる人

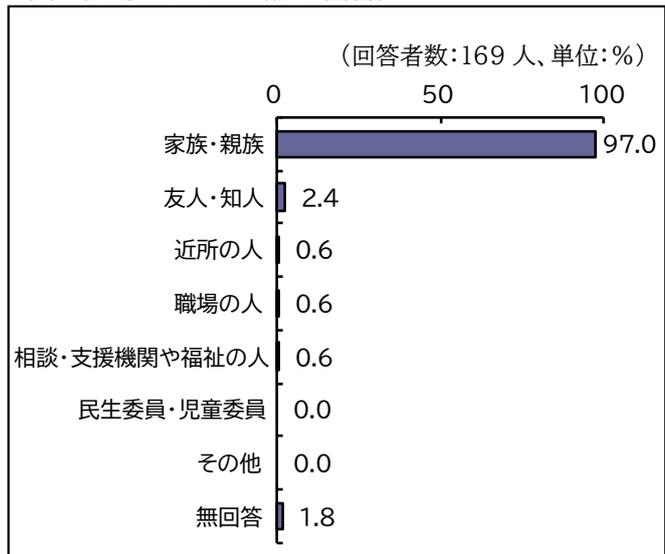
「家族・親族」に回答が集中している

援助できる人が「いる」と回答した169人に対し、それは誰かについて聞いたところ、「家族・親族」が97.0%で最も多く、この項目に回答が集中しています。

表 援助できる人（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	169 (100.0)
家族・親族	164 (97.0)
友人・知人	4 (2.4)
近所の人	1 (0.6)
職場の人	1 (0.6)
相談・支援機関や福祉の人	1 (0.6)
民生委員・児童委員	0 (0.0)
その他	0 (0.0)
無回答	3 (1.8)

図 援助できる人（複数回答）



3-5-2 現在の暮らしの状況（問19）

問19 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（1つに○）

“苦しい・大変苦しい”は33.4%

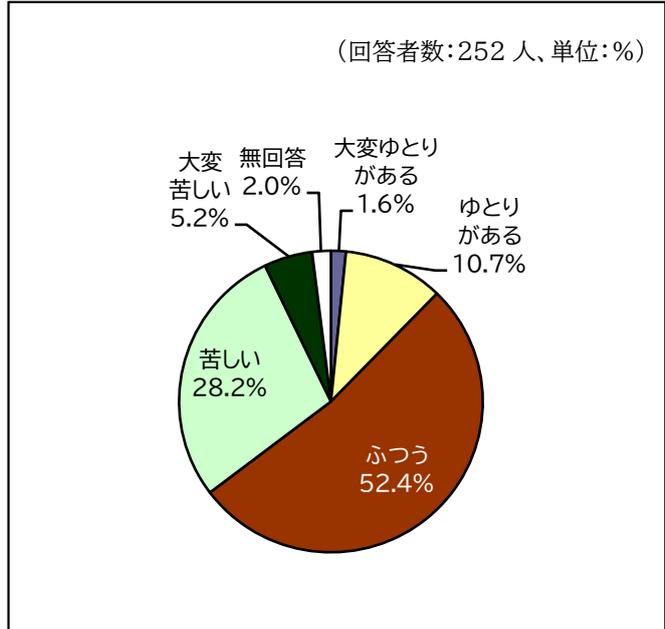
現在の暮らしの状況については、「大変ゆとりがある」が1.6%、「ゆとりがある」が10.7%であり、これらを合わせると12.3%が“大変ゆとりがある・ゆとりがある”と回答しています。

一方、“苦しい・大変苦しい”は合わせて33.4%となっています。

表 現在の暮らしの状況

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
大変ゆとりがある	4 (1.6)
ゆとりがある	27 (10.7)
ふつう	132 (52.4)
苦しい	71 (28.2)
大変苦しい	13 (5.2)
無回答	5 (2.0)

図 現在の暮らしの状況



3-5-3 家族の手取り収入（問20）

問20 昨年1年間（令和5年1月～12月）のご家族の手取り収入（税金や保険料を引いた、実際に手元に入ってくるお金）のおおよその総額を教えてください。（1つに○）

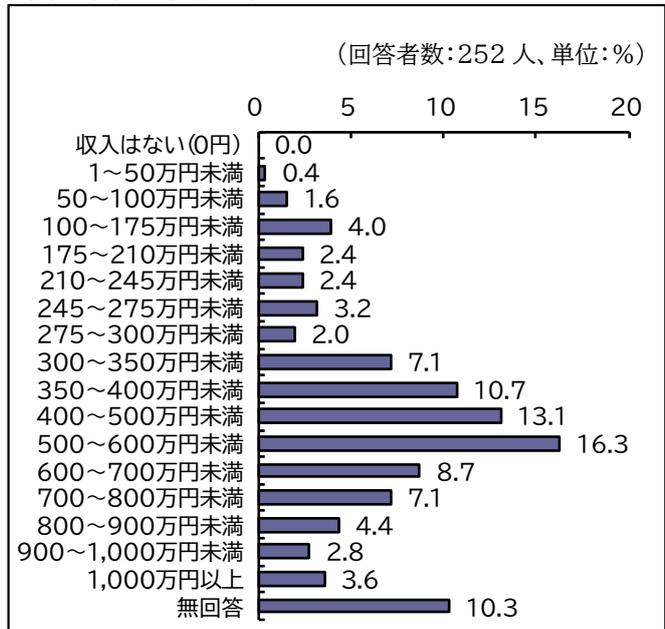
「500～600万円」が最も多い

家族の手取り収入については、「500～600万円」が16.3%で最も多く、次いで「400～500万円未満」が13.1%、「350～400万円未満」が10.7%で続いています。

表 家族の手取り収入

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
収入はない(0円)	0 (0.0)
1～50万円未満	1 (0.4)
50～100万円未満	4 (1.6)
100～175万円未満	10 (4.0)
175～210万円未満	6 (2.4)
210～245万円未満	6 (2.4)
245～275万円未満	8 (3.2)
275～300万円未満	5 (2.0)
300～350万円未満	18 (7.1)
350～400万円未満	27 (10.7)
400～500万円未満	33 (13.1)
500～600万円未満	41 (16.3)
600～700万円未満	22 (8.7)
700～800万円未満	18 (7.1)

図 家族の手取り収入



区分	人 (%)
800～900万円未満	11 (4.4)
900～1,000万円未満	7 (2.8)
1,000万円以上	9 (3.6)
無回答	26 (10.3)

3-5-4 食料が買えなかった経験の有無（問 21）

問 21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。（1つに○）

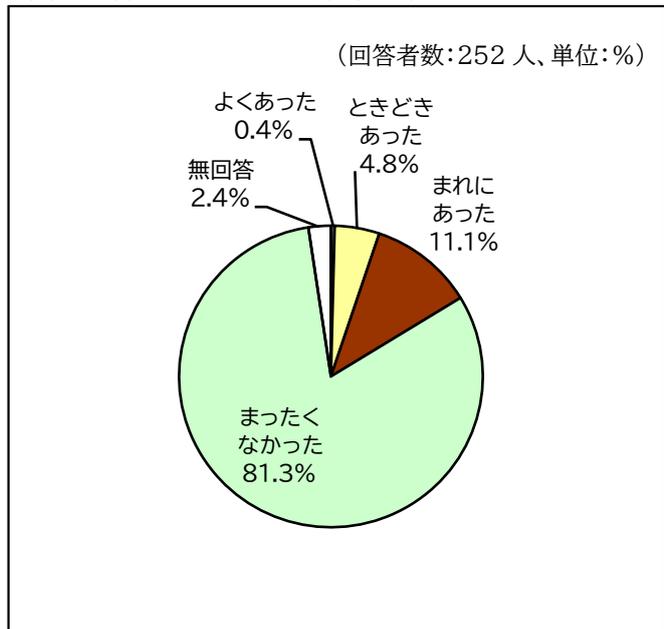
“あった”は16.3%

食料が買えなかった経験の有無については、「よくあった」が0.4%、「ときどきあった」が4.8%、「まれにあった」が11.1%であり、これらを合わせると16.3%が“あった”と回答しています。

表 食料が買えなかった経験の有無

区 分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
よくあった	1 (0.4)
ときどきあった	12 (4.8)
まれにあった	28 (11.1)
まったくなかった	205 (81.3)
無回答	6 (2.4)

図 食料が買えなかった経験の有無



3-5-5 衣服が買えなかった経験の有無（問 22）

問 22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（1つに○）

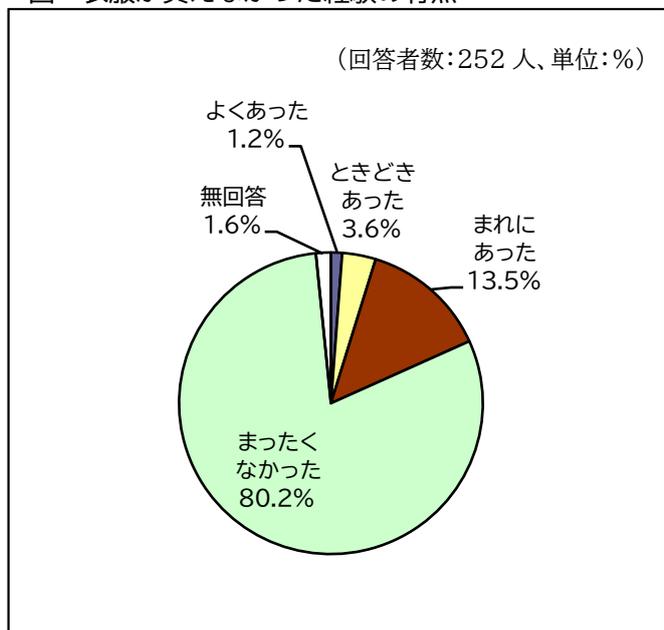
“あった”は18.3%

衣服が買えなかった経験の有無については、「よくあった」が1.2%、「ときどきあった」が3.6%、「まれにあった」が13.5%であり、これらを合わせると18.3%が“あった”と回答しています。

表 衣服が買えなかった経験の有無

区 分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
よくあった	3 (1.2)
ときどきあった	9 (3.6)
まれにあった	34 (13.5)
まったくなかった	202 (80.2)
無回答	4 (1.6)

図 衣服が買えなかった経験の有無



3-5-6 料金未払いになった経験の有無（問23）

問23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

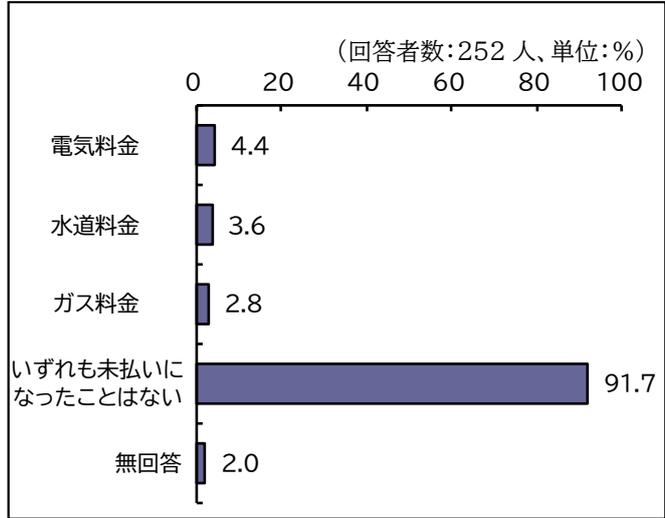
“あった”は6.3%

料金未払いになった経験の有無については、回答者総数から「いずれも未払いになったことはない」（91.7%）及び無回答（2.0%）を除く6.3%が“あった”と回答しています。

表 料金未払いになった経験の有無（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
電気料金	11 (4.4)
水道料金	9 (3.6)
ガス料金	7 (2.8)
いずれも未払いになったことはない	231 (91.7)
無回答	5 (2.0)

図 料金未払いになった経験の有無（複数回答）



3-5-7 この1か月間の気持ちの状況（問24）

問24 この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。次の①～⑥について、それぞれ1つに○をつけてください。

「何をするのも面倒だと感じた」や「神経過敏に感じた」が多くみられる

この1か月間の気持ちの状況について「いつも」、「たいてい」及び「ときどき」を合わせた割合に着目すると、「何をするのも面倒だと感じた」が36.5%（3.6%+8.7%+24.2%）で最も多く、次いで「神経過敏に感じた」が34.5%（5.6%+6.7%+22.2%）、「気分が沈み込んで、気が晴れないように感じた」が26.2%（1.2%+6.7%+18.3%）で続いています。

図 この1か月間の気持ちの状況

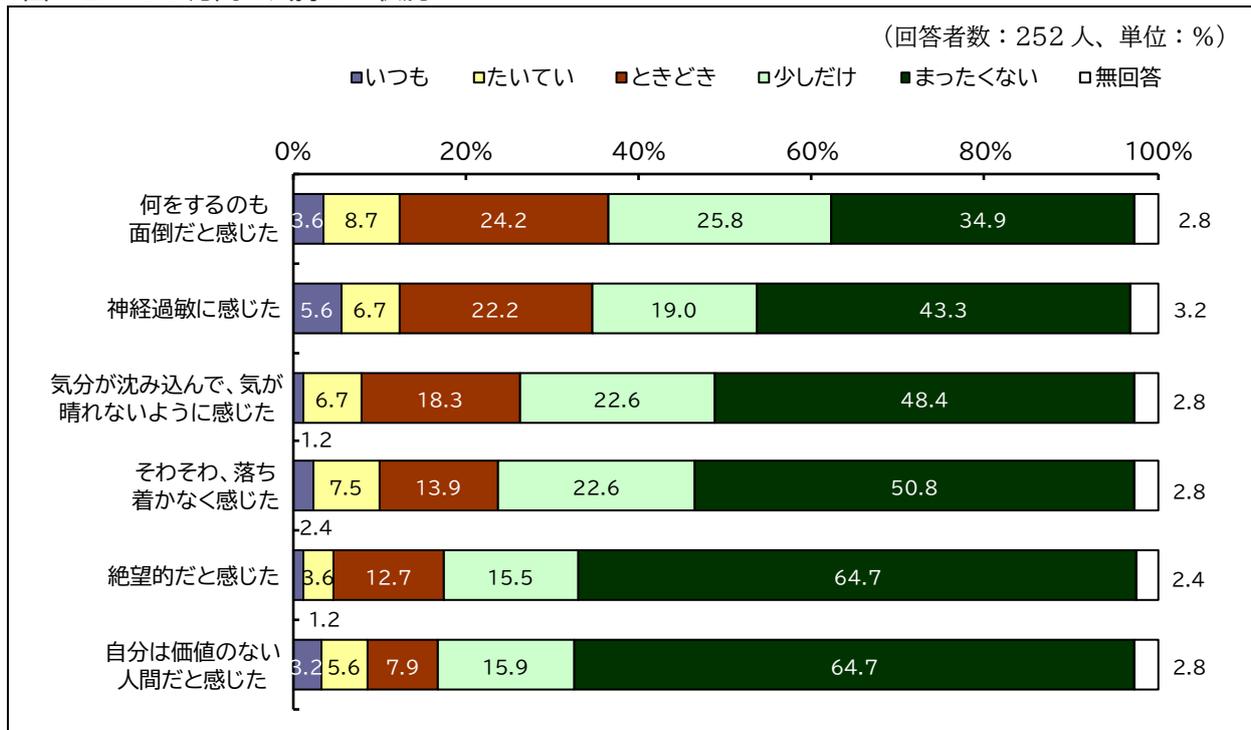


表 この1か月間の気持ちの状況

回答者数：252人、単位：人 (%)

区分	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
何をするのも面倒だと感じた	9 (3.6)	22 (8.7)	61 (24.2)	65 (25.8)	88 (34.9)	7 (2.8)
神経過敏に感じた	14 (5.6)	17 (6.7)	56 (22.2)	48 (19.0)	109 (43.3)	8 (3.2)
気分が沈み込んで、気が晴れないように感じた	3 (1.2)	17 (6.7)	46 (18.3)	57 (22.6)	122 (48.4)	7 (2.8)
そわそわ、落ち着かなく感じた	6 (2.4)	19 (7.5)	35 (13.9)	57 (22.6)	128 (50.8)	7 (2.8)
絶望的だと感じた	3 (1.2)	9 (3.6)	32 (12.7)	39 (15.5)	163 (64.7)	6 (2.4)
自分は価値のない人間だと感じた	8 (3.2)	14 (5.6)	20 (7.9)	40 (15.9)	163 (64.7)	7 (2.8)

3-5-8 現在の悩みや不安に感じていること（問25）

問25 あなたは、現在、どのような悩みや不安を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

「経済的なこと」や「子どもの教育やしつけのこと」が多くみられる

現在の悩みや不安に感じていることについては、「経済的なこと」が48.4%で最も多く、次いで「子どもの教育やしつけのこと」が38.1%、「老後の生活設計」が28.2%が続いています。

図 現在の悩みや不安に感じていること（複数回答）

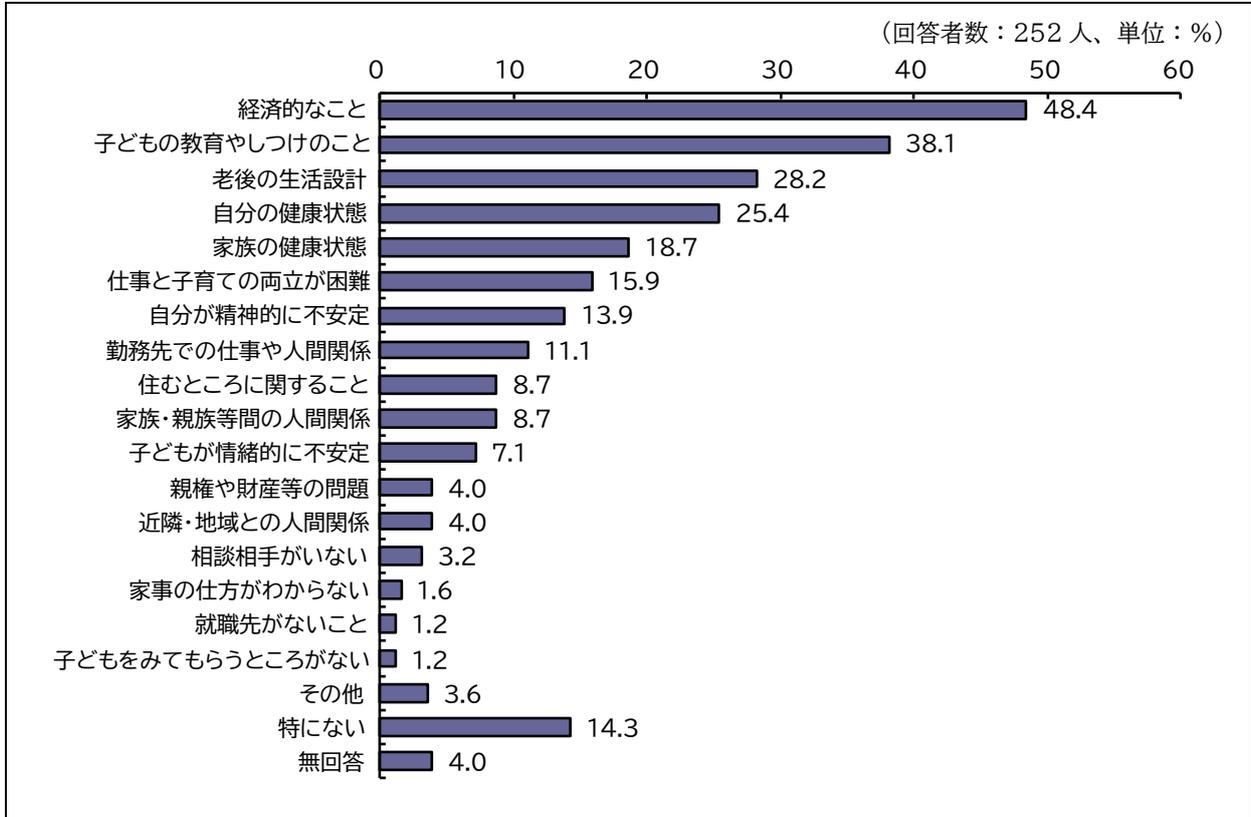


表 現在の悩みや不安に感じていること（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	252 (100.0)
経済的なこと	122 (48.4)
子どもの教育やしつけのこと	96 (38.1)
老後の生活設計	71 (28.2)
自分の健康状態	64 (25.4)
家族の健康状態	47 (18.7)
仕事と子育ての両立が困難	40 (15.9)
自分が精神的に不安定	35 (13.9)
勤務先での仕事や人間関係	28 (11.1)
住むところに関すること	22 (8.7)
家族・親族等間の人間関係	22 (8.7)

区分	人 (%)
子どもが情緒的に不安定	18 (7.1)
親権や財産等の問題	10 (4.0)
近隣・地域との人間関係	10 (4.0)
相談相手がない	8 (3.2)
家事の仕方がわからない	4 (1.6)
就職先がないこと	3 (1.2)
子どもをみてもらうところがない	3 (1.2)
その他	9 (3.6)
特になし	36 (14.3)
無回答	10 (4.0)

3-5-9 経済的支援の利用経験の有無（問26）

問26 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（①～⑤それぞれについて1つに○）

「就学援助」及び「児童扶養手当」が比較的多くみられる

経済的支援の利用経験の有無について、「現在利用している」及び「現在利用していないが、以前利用したことがある」を合わせた割合に着目すると、「就学援助」が20.7%（17.5%+3.2%）で最も多く、次いで「児童扶養手当」が19.9%（17.5%+2.4%）で続いています。

図 経済的支援の利用経験の有無

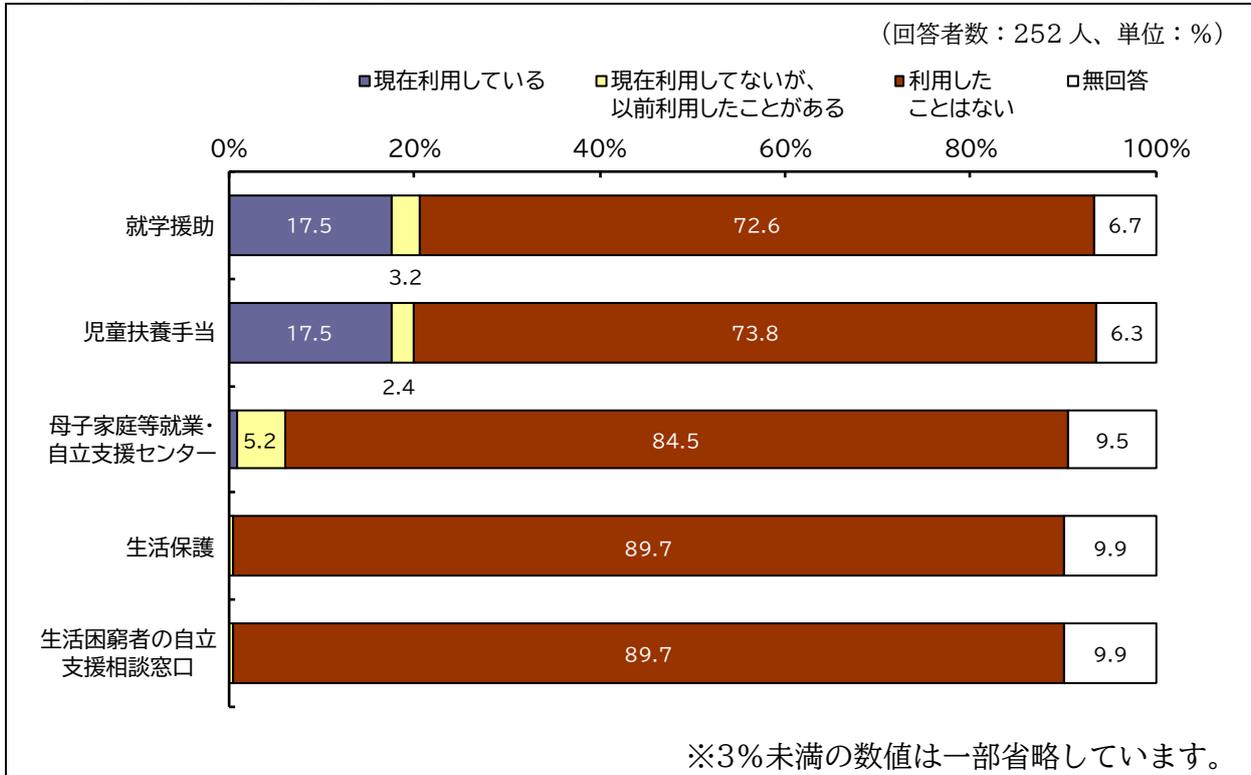


表 経済的支援の経験の有無

回答者数：252人、単位：人 (%)

区分	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことはない	無回答
就学援助	44 (17.5)	8 (3.2)	183 (72.6)	17 (6.7)
児童扶養手当	44 (17.5)	6 (2.4)	186 (73.8)	16 (6.3)
母子家庭等就業・自立支援センター	2 (0.8)	13 (5.2)	213 (84.5)	24 (9.5)
生活保護	0 (0.0)	1 (0.4)	226 (89.7)	25 (9.9)
生活困窮者の自立支援相談窓口	0 (0.0)	1 (0.4)	226 (89.7)	25 (9.9)

3-5-10 支援制度を利用したことがない理由（問26-1）

また、「3利用したことがない」場合、その理由は何ですか。（①～⑤の1つに○）

いずれの項目においても「制度の対象外だと思うから」が最も多い

支援制度を利用したことがない理由については、いずれの項目においても「制度の対象外だと思うから」が最も多くなっています。

図 支援制度を利用したことがない理由

単位：人（％）

区 分	回答者数	制度の対象外だ と思うから	利用できるが、特 に利用したいと思 わなかった	利用したいが、 制度を知らな かった	利用したいが、 手続き方法がわ からない・ 利用しにくい	その他の 理由	無回答
就学援助	183 (100.0)	172 (94.0)	2 (1.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (2.2)	5 (2.7)
生活保護	226 (100.0)	212 (93.8)	3 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (1.8)	7 (3.1)
生活困窮者の自立 支援相談窓口	226 (100.0)	209 (92.5)	4 (1.8)	1 (0.4)	1 (0.4)	3 (1.3)	8 (3.5)
児童扶養手当	186 (100.0)	176 (94.6)	1 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.6)	6 (3.2)
母子家庭等就業・ 自立支援センター	213 (100.0)	190 (89.2)	10 (4.7)	1 (0.5)	0 (0.0)	5 (2.3)	7 (3.3)

第4章

児童・生徒調査（子どもの貧困）

第1節 子ども自身に関することや健康状態について

4-1-1 性別（問1）

問1 あなたの性別を教えてください。（○は1つだけ）

男女はほぼ均等

性別については、「男」が47.4%、「女」が47.8%、「その他・答えたくない」が1.6%となっています。

図 性別

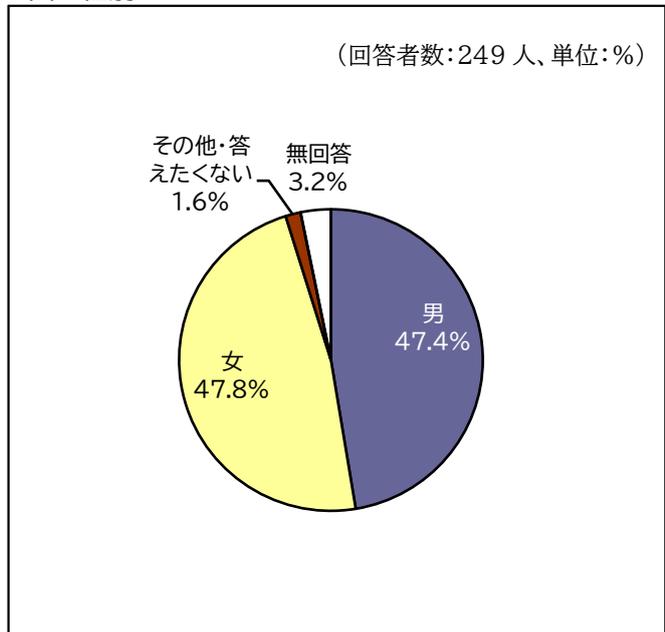


表 性別

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
男	118 (47.4)
女	119 (47.8)
その他・答えたくない	4 (1.6)
無回答	8 (3.2)

4-1-2 現在の健康状態（問2）

問2 あなたは、今健康ですか。（○は1つだけ）

「健康だと思う」が59.8%

現在の健康状態については、「健康だと思う」が59.8%、「ふつう」が31.7%、「あまり健康ではないと思う」が4.0%、「健康ではない」が0.4%となっています。

図 現在の健康状態

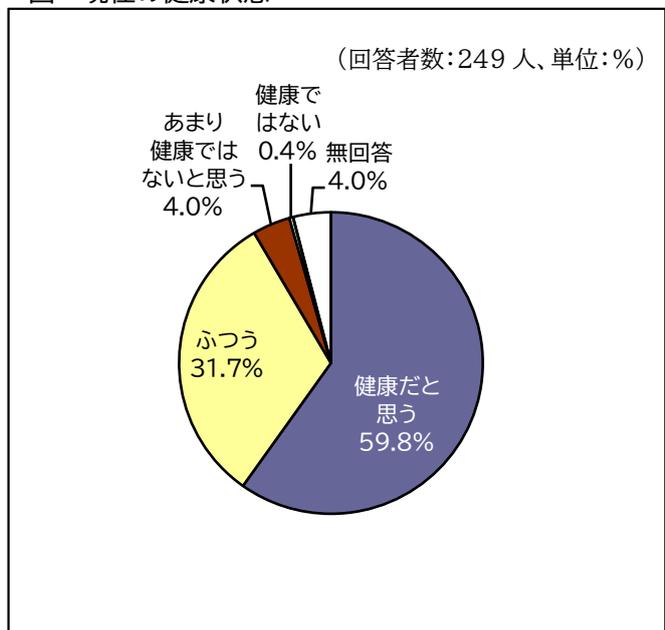


表 現在の健康状態

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
健康だと思う	149 (59.8)
ふつう	79 (31.7)
あまり健康ではないと思う	10 (4.0)
健康ではない	1 (0.4)
無回答	10 (4.0)

4-1-3 平日の睡眠時間（問3）

問3 学校に行く日のすいみん時間を教えてください。（○は1つだけ）

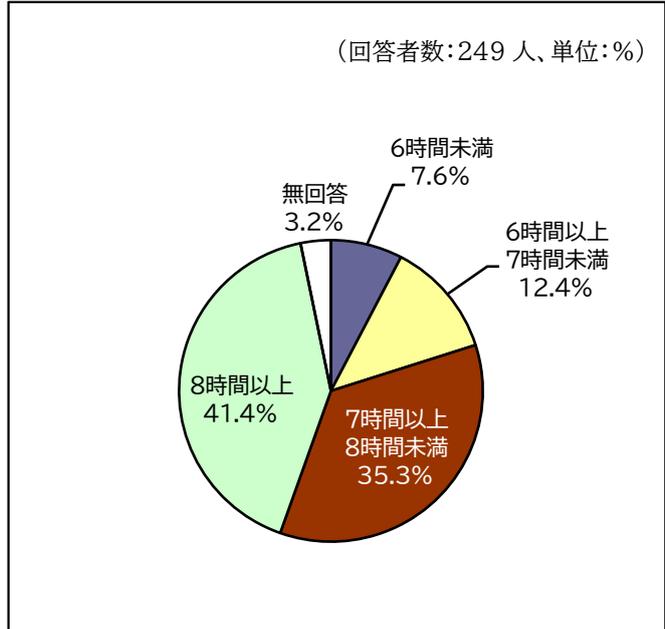
「8時間以上」が最も多い

平日の睡眠時間については、「6時間未満」が7.6%、「6時間以上7時間未満」が12.4%、「7時間以上8時間未満」が35.3%、「8時間以上」が41.4%となっています。

表 平日の睡眠時間

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
6時間未満	19 (7.6)
6時間以上7時間未満	31 (12.4)
7時間以上8時間未満	88 (35.3)
8時間以上	103 (41.4)
無回答	8 (3.2)

図 平日の睡眠時間



4-1-4 居眠りや疲れやすいなどの状況（問4）

問4 あなたは、つぎの①から③のことがどれくらいありますか。（それぞれ○は1つだけ）

「疲れやすい」は24.1%が「よくある」と回答している

居眠りや疲れやすいなどの状況について、「よくある」の割合に着目すると、「疲れやすい」が24.1%で最も多く、次いで「朝、食欲がない」が8.4%で続いています。

図 居眠りや疲れやすいなどの状況

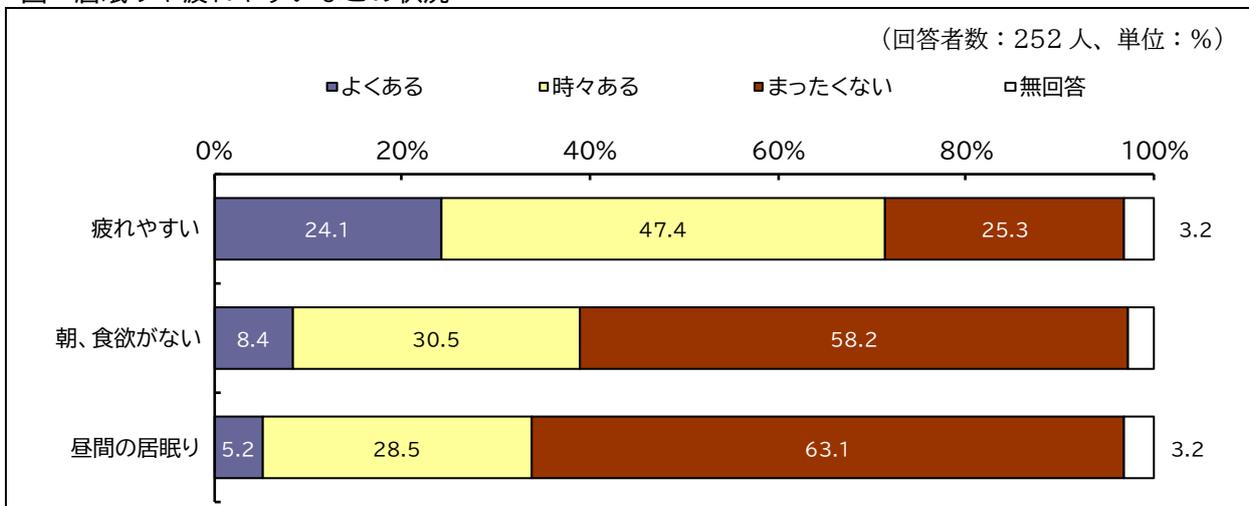


表 居眠りや疲れやすいなどの状況

回答者総数:249人、単位:人 (%)

区分	よくある	時々ある	まったくない	無回答
疲れやすい	60 (24.1)	118 (47.4)	63 (25.3)	8 (3.2)
朝、食欲がない	21 (8.4)	76 (30.5)	145 (58.2)	7 (2.8)
昼間の居眠り	13 (5.2)	71 (28.5)	157 (63.1)	8 (3.2)

4-1-5 生活に関連した物の所有状況（問5）

問5 次のものについて、あなたは持っていますか。また、「持っていないので欲しい」、「持っていないけれど欲しくはない」と思いますか。（①～⑩の1つずつに○）

「携帯電話・スマートフォン」や「パソコン」で「持っていないので欲しい」が多くみられる

生活に関連した物の所有状況について、「持っていないので欲しい」の割合に着目すると、「携帯電話・スマートフォン」が35.3%で最も多く、次いで「インターネットにつながるパソコン」が27.3%、「自分の使う部屋」が17.3%が続いています。

図 生活に関連した物の所有状況（「持っていないので欲しい」及び「持っていないけれど欲しくない」の割合）

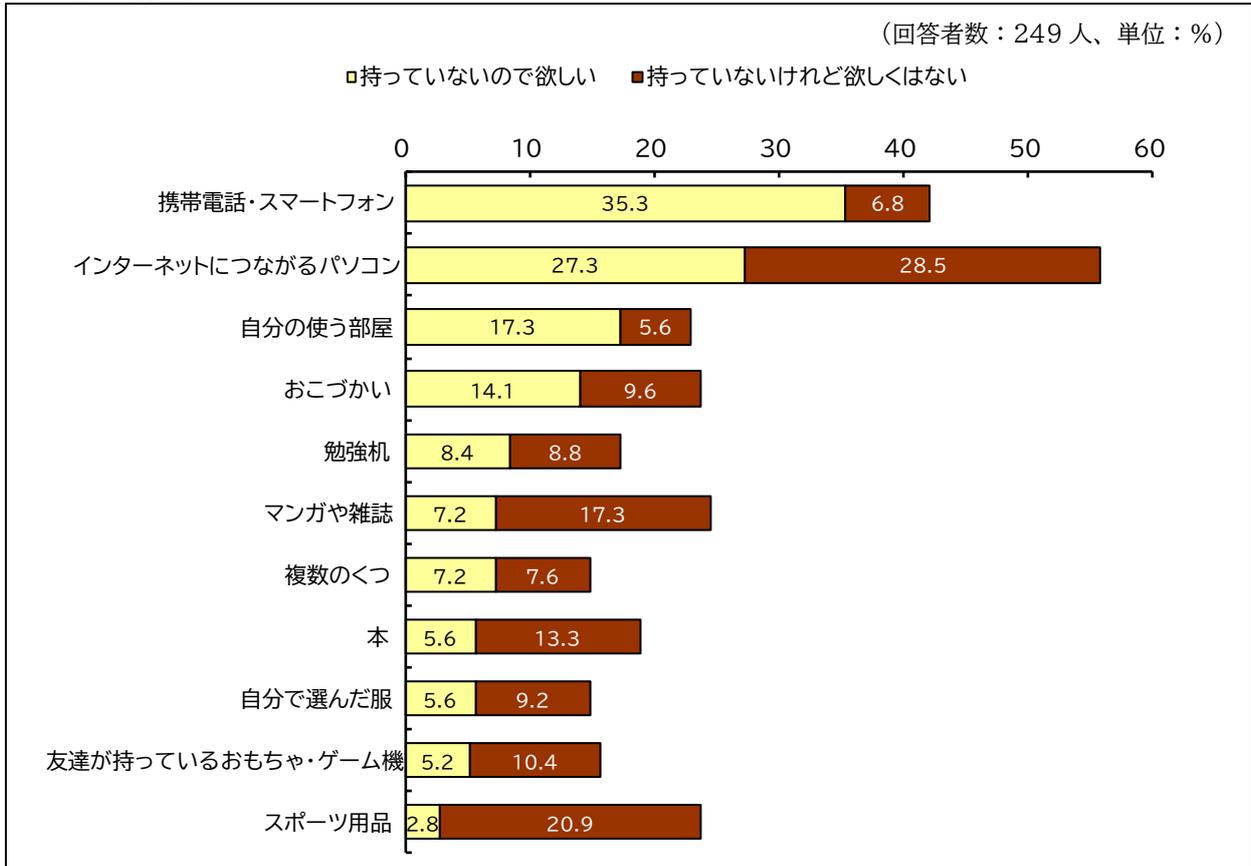


表 生活に関連した物の所有状況

回答者総数：249人、単位：人 (%)

区分	持っている	持っていないので欲しい	持っていないけれど欲しくはない	無回答
携帯電話・スマートフォン	136 (54.6)	88 (35.3)	17 (6.8)	8 (3.2)
インターネットにつながるパソコン	102 (41.0)	68 (27.3)	71 (28.5)	8 (3.2)
自分の使う部屋	184 (73.9)	43 (17.3)	14 (5.6)	8 (3.2)
おこづかい	184 (73.9)	35 (14.1)	24 (9.6)	6 (2.4)
勉強机	197 (79.1)	21 (8.4)	22 (8.8)	9 (3.6)
マンガや雑誌	179 (71.9)	18 (7.2)	43 (17.3)	9 (3.6)
複数のくつ	205 (82.3)	18 (7.2)	19 (7.6)	7 (2.8)
本	195 (78.3)	14 (5.6)	33 (13.3)	7 (2.8)
自分で選んだ服	206 (82.7)	14 (5.6)	23 (9.2)	6 (2.4)
友達を持っているおもちゃ・ゲーム機	204 (81.9)	13 (5.2)	26 (10.4)	6 (2.4)
スポーツ用品	182 (73.1)	7 (2.8)	52 (20.9)	8 (3.2)

第2節 普段考えていること

4-2-1 普段の考え方（問6）

問6 あなたは、次の①から⑦のことについて、どのように思いますか。（それぞれ○は1つだけ）

「家で過ごすのは安心」や「家族に愛されている」で「とても思う」が多くみられる

普段の考え方について「そう思う」の割合に着目すると、「家で過ごすのは安心できる」が83.5%で最も多く、次いで「自分は家族に愛されている」が75.9%、「がんばればよいことがある」が68.7%で続いています。

図 普段の考え方

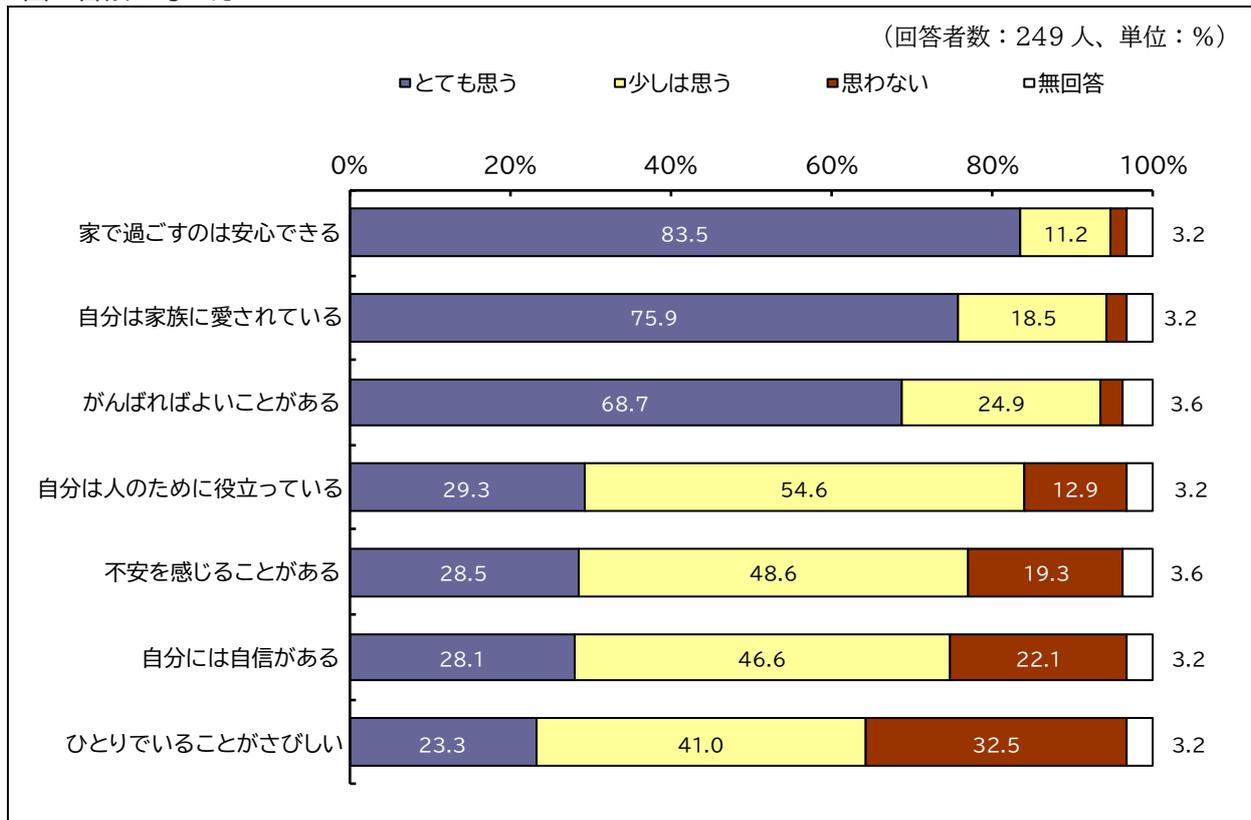


表 普段の考え方

回答者総数：249人、単位：人 (%)

区分	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
家で過ごすのは安心できる	208 (83.5)	28 (11.2)	5 (2.0)	8 (3.2)
自分は家族に愛されている	189 (75.9)	46 (18.5)	6 (2.4)	8 (3.2)
がんばればよいことがある	171 (68.7)	62 (24.9)	7 (2.8)	9 (3.6)
自分は人のために役立っている	73 (29.3)	136 (54.6)	32 (12.9)	8 (3.2)
不安を感じることもある	71 (28.5)	121 (48.6)	48 (19.3)	9 (3.6)
自分には自信がある	70 (28.1)	116 (46.6)	55 (22.1)	8 (3.2)
ひとりであることがさびしい	58 (23.3)	102 (41.0)	81 (32.5)	8 (3.2)

4-2-2 将来の進学への意向（問7）

問7 あなたは、どの段階まで進学したいですか。（○は1つだけ）

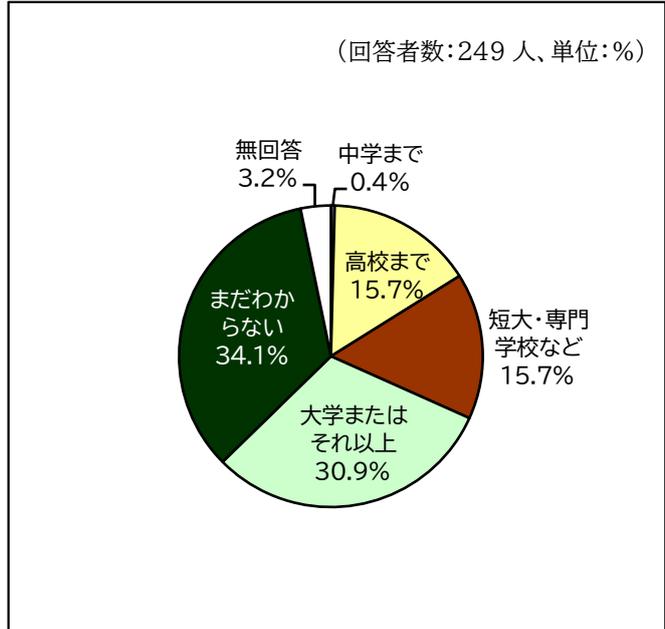
「まだわからない」が最も多い

将来の進学への意向については、「高校まで」及び「短大・高専・専門学校まで」がともに15.7%、「大学またはそれ以上」が30.9%、「まだわからない」が34.1%となっています。

表 将来の進学への意向

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
中学まで	1 (0.4)
高校まで	39 (15.7)
短大・専門学校など	39 (15.7)
大学またはそれ以上	77 (30.9)
まだわからない	85 (34.1)
無回答	8 (3.2)

図 将来の進学への意向



4-2-3 将来なりたい職業や夢の有無（問8）

問8 あなたは将来、なりたい職業や夢はありますか。（○は1つだけ）

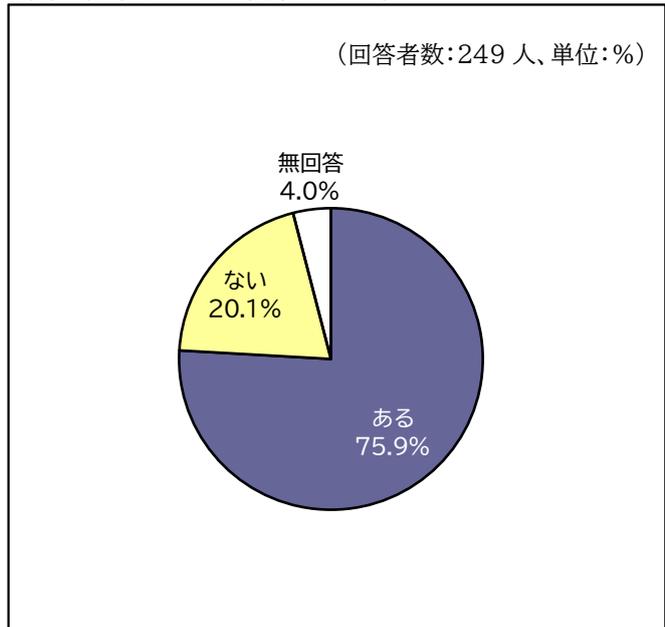
「ある」が75.9%

将来なりたい職業や夢の有無については、「ある」が75.9%、「ない」が20.1%となっています。

表 将来なりたい職業や夢の有無

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
ある	189 (75.9)
ない	50 (20.1)
無回答	10 (4.0)

図 将来なりたい職業や夢の有無



第3節 学校生活や勉強について

4-3-1 学校に行くことは楽しいか（問9）

問9 学校に行くのは楽しみですか。（○は1つだけ）

“とてもそう思う・そう思う”が75.5%

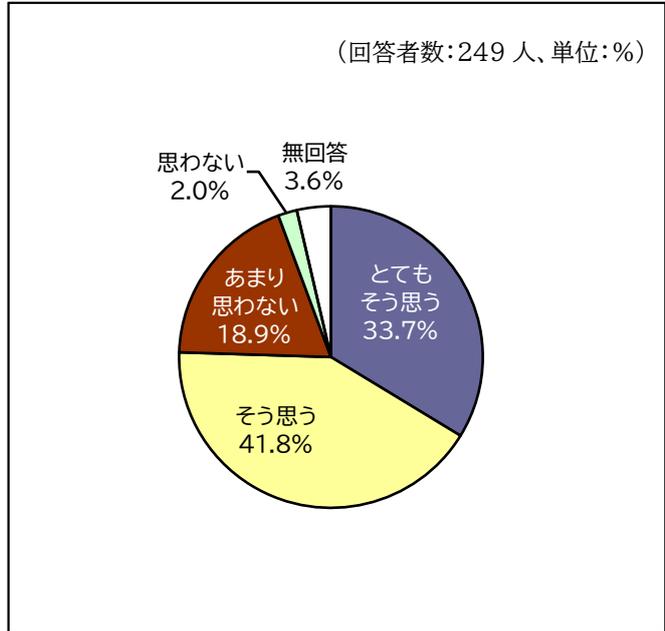
学校に行くことは楽しいかについては、「とてもそう思う」が33.7%、「そう思う」が41.8%であり、これらを合わせると75.5%が“とてもそう思う・そう思う”と回答しています。

一方、“あまり思わない・思わない”は合わせて20.9%となっています。

表 学校に行くことは楽しいか

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
とてもそう思う	84 (33.7)
そう思う	104 (41.8)
あまり思わない	47 (18.9)
思わない	5 (2.0)
無回答	9 (3.6)

図 学校に行くことは楽しいか



4-3-2 平日の勉強時間（問10）

問10 あなたは平日に、家でどのくらい勉強していますか。（○は1つだけ）

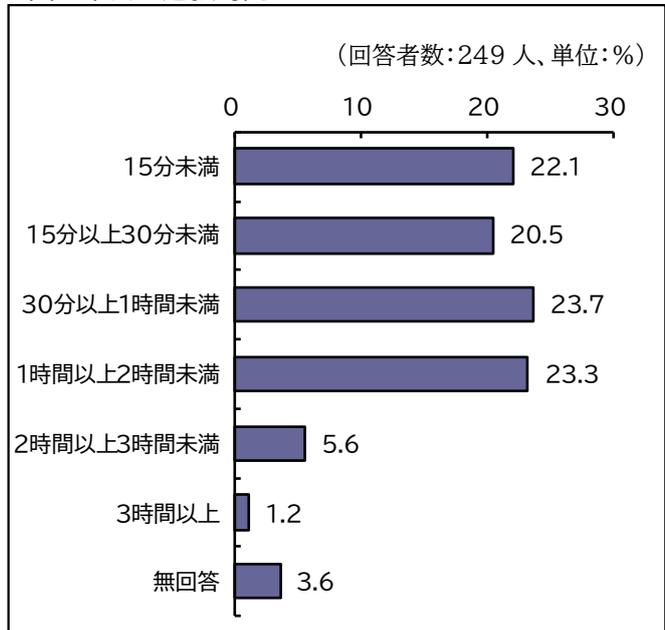
「15分未満」から「1時間以上2時間未満」にかけて回答者が分散

平日の勉強時間については、「30分以上1時間未満」が23.7%で最も多くなっていますが、「15分未満」から「1時間以上2時間未満」にかけて回答者が分散しています。

表 平日の勉強時間

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
15分未満	55 (22.1)
15分以上30分未満	51 (20.5)
30分以上1時間未満	59 (23.7)
1時間以上2時間未満	58 (23.3)
2時間以上3時間未満	14 (5.6)
3時間以上	3 (1.2)
無回答	9 (3.6)

図 平日の勉強時間



4-3-3 授業がわからないことの有無（問11）

問11 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（○は1つだけ）

“わかる”は47.8%

授業がわからないことの有無については、「いつもわかる」が13.3%、「だいたいわかる」が34.5%であり、これらを合わせると47.8%が“わかる”と回答しています。

一方、「わからないことが多い」及び「ほとんどわからない」を合わせた“わからない”の割合は10.8%となっています。

図 授業がわからないことの有無

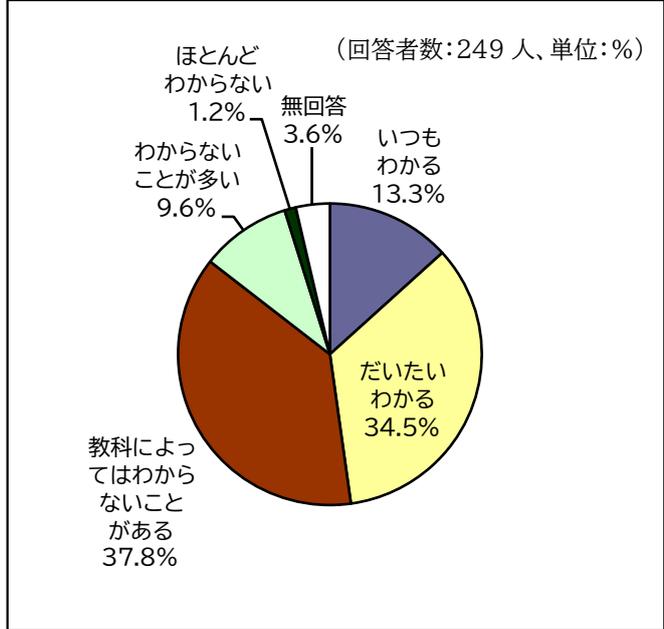


表 授業がわからないことの有無

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
いつもわかる	33 (13.3)
だいたいわかる	86 (34.5)
教科によってはわからないことがある	94 (37.8)
わからないことが多い	24 (9.6)
ほとんどわからない	3 (1.2)
無回答	9 (3.6)

4-3-4 勉強がわからないときの相談相手（問12）

問12 勉強していてわからないとき、だれに質問をしますか。（○は1つだけ）

「友達」が最も多い

勉強がわからないときの相談相手については、「友達」が34.5%で最も多く、次いで「学校の先生」が28.9%、「お母さん」が25.7%で続いています。

図 勉強がわからないときの相談相手（複数回答）※

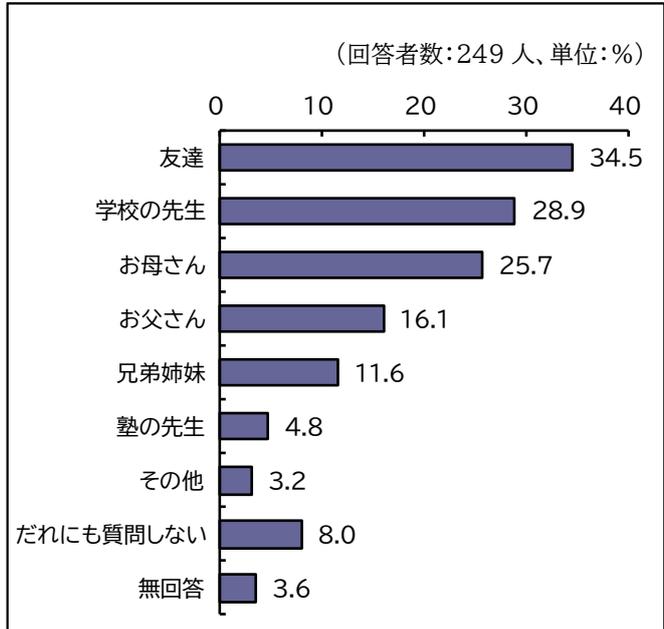


表 勉強がわからないときの相談相手（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
友達	86 (34.5)
学校の先生	72 (28.9)
お母さん	64 (25.7)
お父さん	40 (16.1)
兄弟姉妹	29 (11.6)
塾の先生	12 (4.8)
その他	8 (3.2)
だれにも質問しない	20 (8.0)
無回答	9 (3.6)

※設問は単数回答となっていました。複数の選択肢を回答した人が多くみられたため、複数回答を含めて集計しました。

4-3-5 日頃頑張っていること（問13）

問13 あなたが頑張っていることは何ですか。当てはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

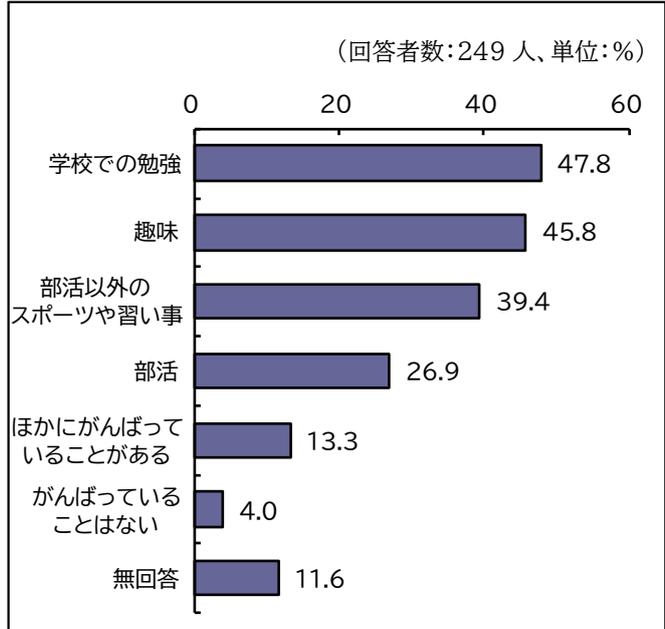
「勉強」や「趣味」が多くみられる

日頃頑張っていることについては、「学校での勉強」が47.8%で最も多く、次いで「趣味」が45.8%、「部活以外のスポーツや習い事」が39.4%が続いています。

表 日頃頑張っていること（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
学校での勉強	119 (47.8)
趣味	114 (45.8)
部活以外のスポーツや習い事	98 (39.4)
部活	67 (26.9)
ほかにかんばっていることがある	33 (13.3)
がんばっていることはない	10 (4.0)
無回答	29 (11.6)

図 日頃頑張っていること（複数回答）



第4節 食事の状況

4-4-1 朝食や夕食の摂食頻度（問14）

問14 普段、朝食や夕食を食べていますか。最もあてはまる番号を選んでください。（①～③の1つずつに○）

「夕食」は、長期休業中の昼食や朝食に比べて「毎日食べる」の割合が高い

朝食や夕食の摂食頻度について「毎日食べる」の割合に着目すると、「夕食」が91.2%で最も多く、次いで「長期休業中の昼食」が80.7%、「朝食」が76.7%が続いています。

図 朝食や夕食の摂食頻度

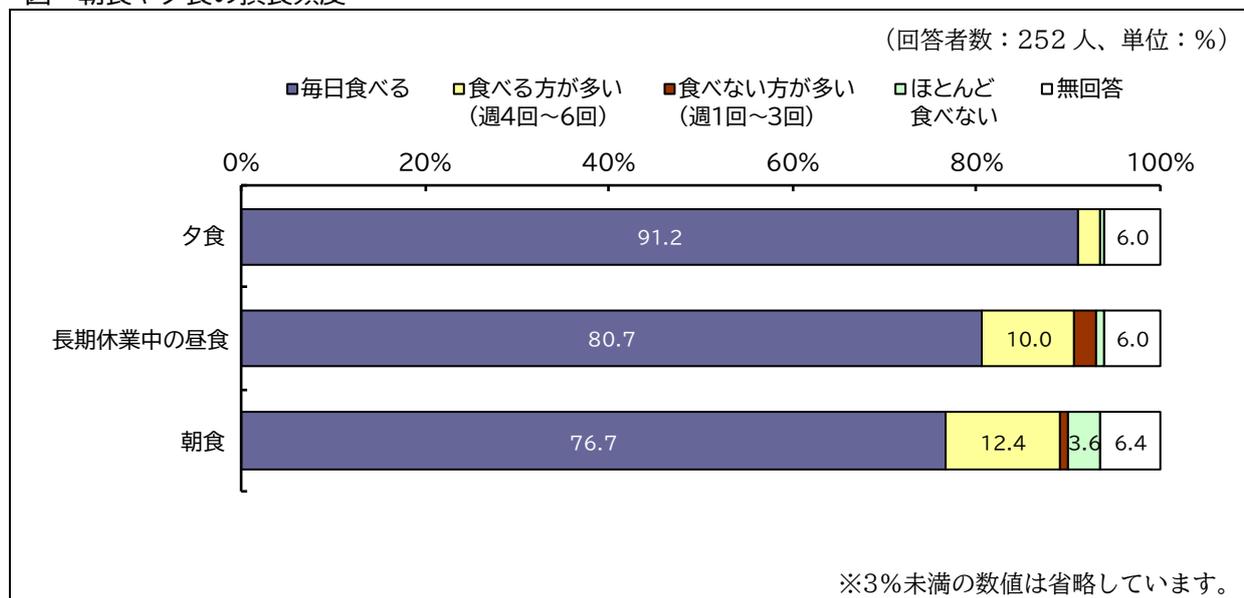


表 朝食や夕食の摂食頻度

回答者総数：249人、単位：人 (%)

区分	毎日食べる	食べる方が多い (週4回～6回)	食べない方が多い (週1回～3回)	ほとんど 食べない	無回答
夕食	227 (91.2)	6 (2.4)	0 (0.0)	1 (0.4)	15 (6.0)
長期休業中の昼食	201 (80.7)	25 (10.0)	6 (2.4)	2 (0.8)	15 (6.0)
朝食	191 (76.7)	31 (12.4)	2 (0.8)	9 (3.6)	16 (6.4)

4-4-2 家庭における様々な食品の摂食頻度（問15）

問15 普段、学校で出される給食をのぞいて、次の食品をどのくらい食べますか。この1カ月を振り返って、最もあてはまる番号を選んでください。（①～⑥の1つずつに○）

「肉・魚・大豆」及び「野菜・果物」で「毎日食べる」が多くみられる

家庭における様々な食品の摂食頻度について、「毎日食べる」の割合に着目すると、「肉・魚・大豆」が64.7%で最も多く、次いで「野菜・果物」が63.5%、「牛乳・乳製品」が44.2%で続いています。

図 家庭における様々な食品の摂食頻度

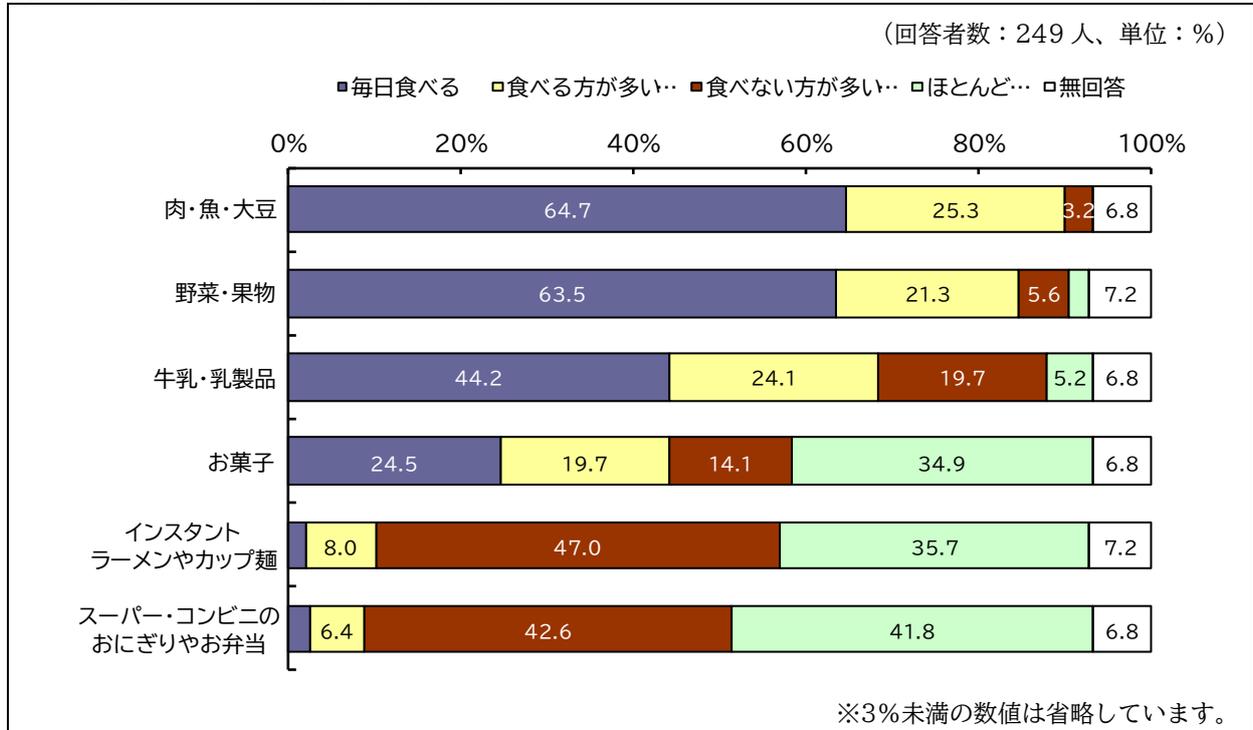


表 家庭における様々な食品の摂食頻度

回答者総数：252人、単位：人 (%)

問15①肉・魚・大豆	毎日食べる	食べる方が多い (週4回～6回)	食べない方が多い (週1回～3回)	ほとんど 食べない	無回答
肉・魚・大豆	161 (64.7)	63 (25.3)	8 (3.2)	0 (0.0)	17 (6.8)
野菜・果物	158 (63.5)	53 (21.3)	14 (5.6)	6 (2.4)	18 (7.2)
牛乳・乳製品	110 (44.2)	60 (24.1)	49 (19.7)	13 (5.2)	17 (6.8)
お菓子	61 (24.5)	49 (19.7)	35 (14.1)	87 (34.9)	17 (6.8)
インスタント ラーメン やカップ麺	5 (2.0)	20 (8.0)	117 (47.0)	89 (35.7)	18 (7.2)
スーパー・コンビニの おにぎりやお弁当	6 (2.4)	16 (6.4)	106 (42.6)	104 (41.8)	17 (6.8)

4-4-3 夕食を誰と食べているか（問16）

問16 あなたは、主に夕食を誰と食べていますか。（○は1つだけ）

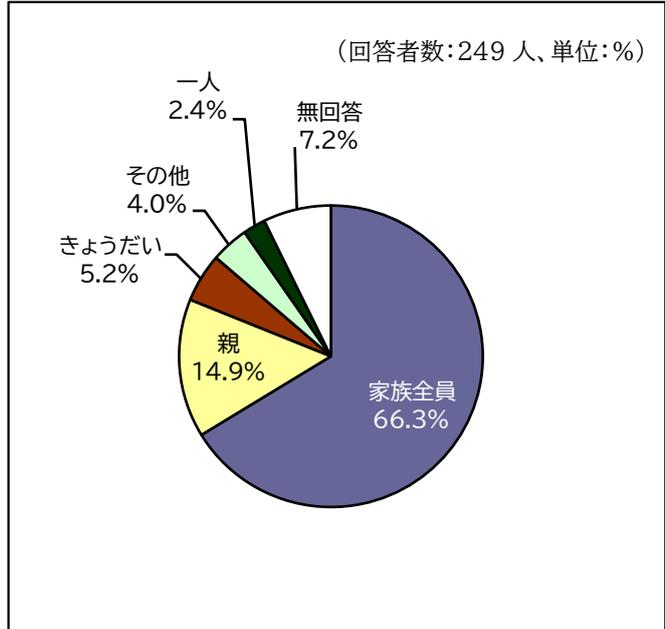
「家族全員」が66.3%

夕食を誰と食べているかについては、「家族全員」が66.3%、「親」が14.9%、「きょうだい」が5.2%などとなっています。

表 夕食を誰と食べているか

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
家族全員	165 (66.3)
親	37 (14.9)
きょうだい	13 (5.2)
その他	10 (4.0)
一人	6 (2.4)
無回答	18 (7.2)

図 夕食を誰と食べているか



4-4-4 「こども食堂」の利用意向（問17）

問17 家の近くに「こども食堂」があったら食べに行きますか。（○は1つだけ）

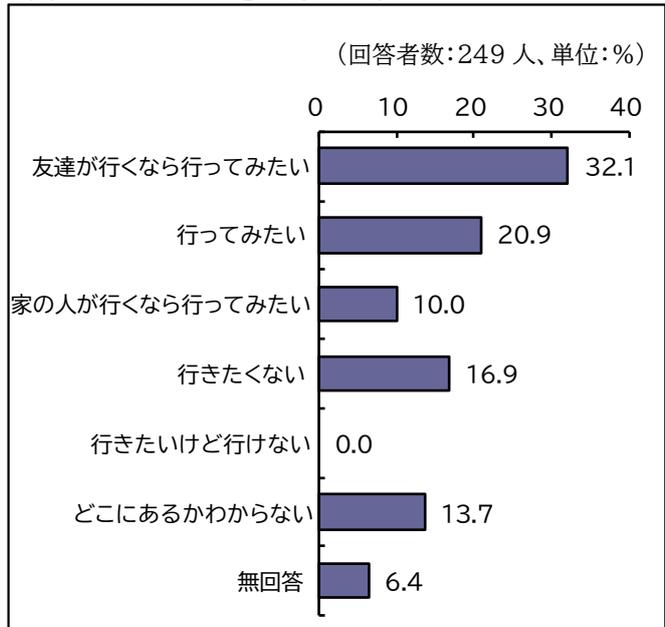
「友達が行くなら行ってみたい」が最も多い

「こども食堂」の利用意向については、「友達が行くなら行ってみたい」が32.1%で最も多く、次いで「行ってみたい」が20.9%、「行きたくない」が16.9%で続いています。

表 「こども食堂」の利用意向

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
友達が行くなら行ってみたい	80 (32.1)
行ってみたい	52 (20.9)
家の人が行くなら行ってみたい	25 (10.0)
行きたくない	42 (16.9)
行きたいけど行けない	0 (0.0)
どこにあるかわからない	34 (13.7)
無回答	16 (6.4)

図 「こども食堂」の利用意向



4-4-5 生活の満足度（問18）

問18 あなたは今の生活に満足していますか。（○は1つ）

“満足・どちらかと言えば満足”が74.3%

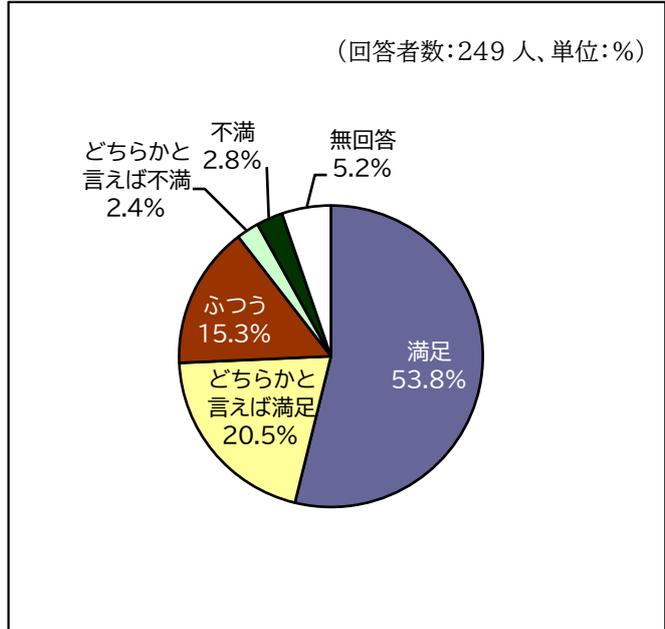
生活の満足度については、「満足」が53.8%、「どちらかと言えば満足」が20.5%であり、これらを合わせると74.3%が“満足・どちらかと言えば満足”と回答しています。

一方、“どちらかと言えば不満・不満”は合わせて5.2%となっています。

表 生活の満足度

区分	人 (%)
回答者総数	249 (100.0)
満足	134 (53.8)
どちらかと言えば満足	51 (20.5)
ふつう	38 (15.3)
どちらかと言えば不満	6 (2.4)
不満	7 (2.8)
無回答	13 (5.2)

図 生活の満足度



第 5 章

児童・生徒調査（ヤングケアラー）

第1節 子ども自身の状況

5-1-1 性別（問1）

問1 あなたの性別は。（○は1つ）

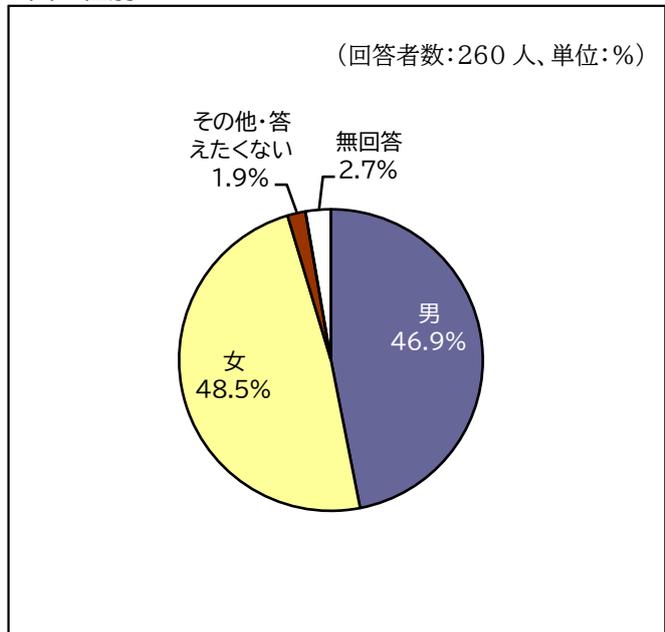
男女はほぼ均等

性別については、「男」が46.9%、「女」が48.5%、「その他・答えたくない」が1.9%となっています。

表 性別

区分	人 (%)
回答者総数	260 (100.0)
男	122 (46.9)
女	126 (48.5)
その他・答えたくない	5 (1.9)
無回答	7 (2.7)

図 性別



5-1-2 学校名（問2）

問2 あなたの学校は。（○は1つ）

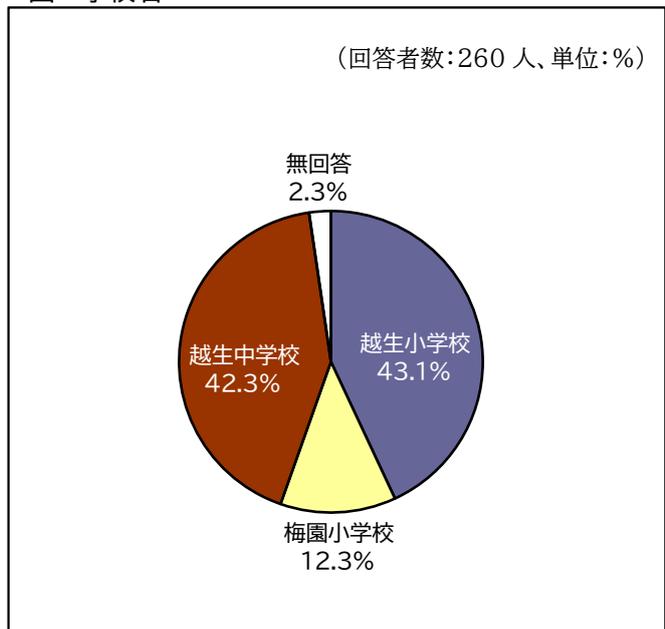
「越生小学校」が43.1%

学校名については、「越生小学校」が43.1%、「梅園小学校」が12.3%、「越生中学校」が42.3%となっています。

表 学校名

区分	人 (%)
回答者総数	260 (100.0)
越生小学校	112 (43.1)
梅園小学校	32 (12.3)
越生中学校	110 (42.3)
無回答	6 (2.3)

図 学校名



5-1-3 同居している家族（問3）

問3 あなたがいっしょに住んでいる人はどなたですか。（○はいくつでも）

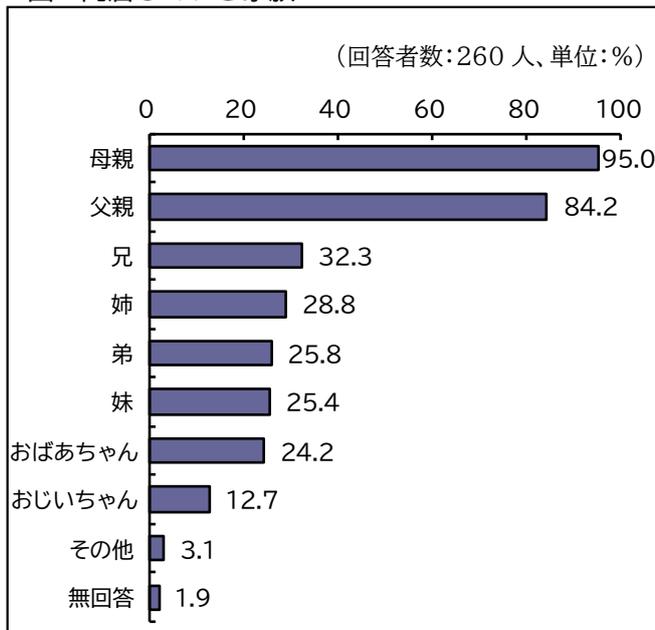
「母親」が95.0%

同居している家族については、「母親」が95.0%で最も多く、次いで「父親」が84.2%、「兄」が32.3%で続いています。

表 同居している家族

区分	人 (%)
回答者総数	260 (100.0)
母親	247 (95.0)
父親	219 (84.2)
兄	84 (32.3)
姉	75 (28.8)
弟	67 (25.8)
妹	66 (25.4)
おばあちゃん	63 (24.2)
おじいちゃん	33 (12.7)
その他	8 (3.1)
無回答	5 (1.9)

図 同居している家族



5-1-4 健康状態（問4）

問4 あなたの健康状態を教えてください。（○は1つ）

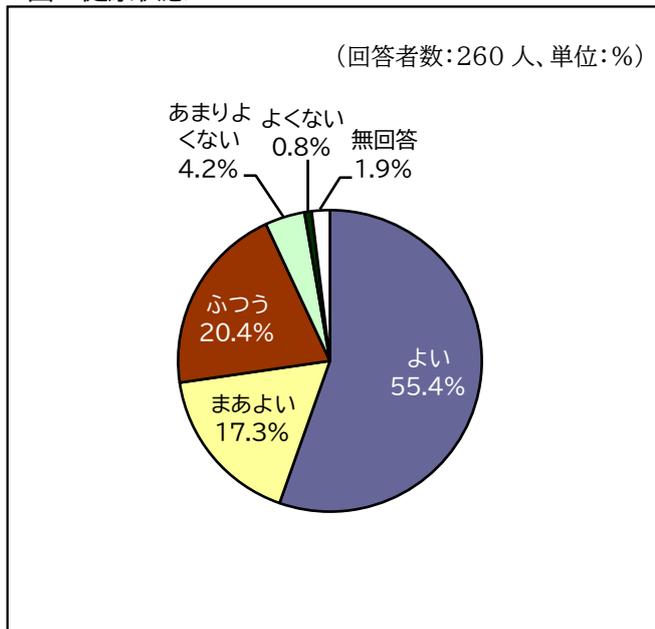
「よい」が55.4%

健康状態については、「よい」が55.4%、「まあよい」が17.3%、「ふつう」が20.4%、「あまりよくない」が4.2%、「よくない」が0.8%となっています。

表 健康状態

区分	人 (%)
回答者総数	260 (100.0)
よい	144 (55.4)
まあよい	45 (17.3)
ふつう	53 (20.4)
あまりよくない	11 (4.2)
よくない	2 (0.8)
無回答	5 (1.9)

図 健康状態



第2節 「ヤングケアラー」に関する状況について

5-2-1 世話をしている家族の有無（問5）

問5 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（○は1つ）

「いる」は13.5%

世話をしている家族の有無については、「いる」が13.5%（35人）、「いない」が64.2%となっています。

これを小学生・中学生別にみると、「いる」の割合は小学生が13.2%、中学生が14.5%となっています。

※「いる」と回答した41人のうち、世話をしている家族（問5-1）において「その他」を選択し、その内容が「ペット」または「していない」であった6人を「いない」に読み替えて集計しました。

図 世話をしている家族の有無

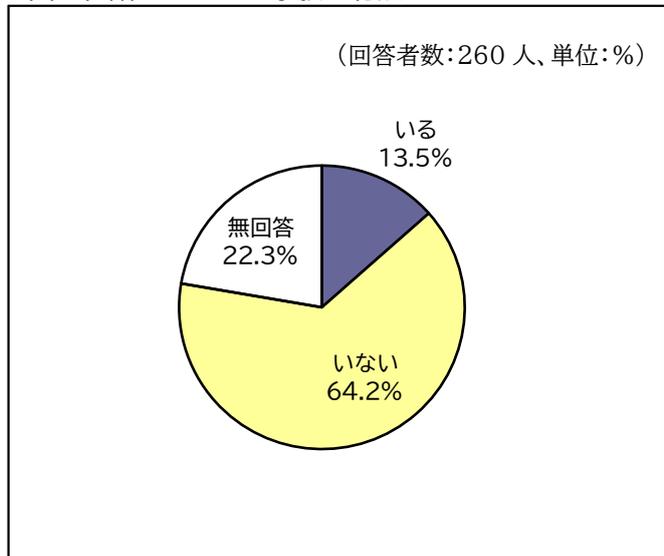


表 世話をしている家族の有無

単位：人 (%)

	回答者総数	小学生	中学生
回答者総数	260 (100.0)	144 (100.0)	110 (100.0)
いる	35 (13.5)	19 (13.2)	16 (14.5)
いない	167 (64.2)	90 (62.5)	77 (70.0)
無回答	58 (22.3)	35 (24.3)	17 (15.5)

5-2-2 世話をしている家族（問5-1）

問5-1 だれのお世話をしていますか。（○はいくつでも）

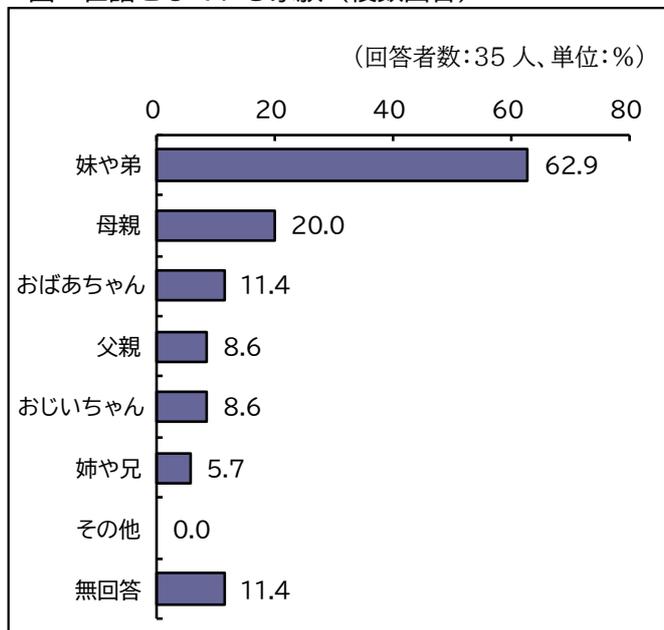
「妹や弟」が最も多い

世話をしている家族の有無において「いる」と回答した35人に対し、それは誰かについて聞いたところ、「妹や弟」が62.9%で最も多く、次いで「母親」が20.0%で続いています。

表 世話をしている家族（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	35 (100.0)
妹や弟	22 (62.9)
母親	7 (20.0)
おばあちゃん	4 (11.4)
父親	3 (8.6)
おじいちゃん	3 (8.6)
姉や兄	2 (5.7)
その他	0 (0.0)
無回答	4 (11.4)

図 世話をしている家族（複数回答）



5-2-3 世話の内容（問5-2）

問5-2 どのようなお世話をしていますか。（○はいくつでも）

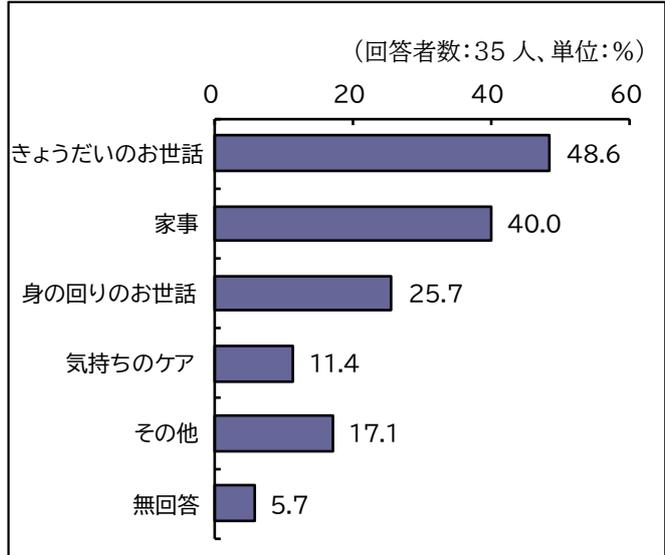
「きょうだいのお世話」が最も多い

世話の内容については、「きょうだいのお世話」が48.6%で最も多く、次いで「家事」が40.0%、「身の回りのお世話」が25.7%で続いています。

表 世話の内容（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	35 (100.0)
きょうだいのお世話	17 (48.6)
家事	14 (40.0)
身の回りのお世話	9 (25.7)
気持ちのケア	4 (11.4)
その他	6 (17.1)
無回答	2 (5.7)

図 世話の内容（複数回答）



5-2-4 世話をすることによる影響（問5-3）

問5-3 お世話をしていることで自分の生活にどのような影響が出ていると思いますか。（○はいくつでも）

“影響がある”が14.3%

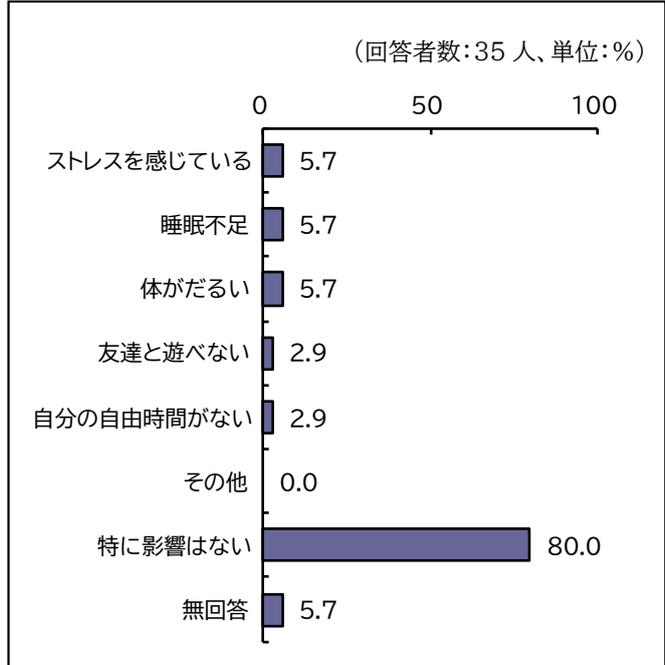
世話をすることによる影響については、回答者総数から「特にない」（80.0%）及び無回答（5.7%）を除く14.3%（5人）が“影響がある”と回答しています。

その内訳は、「ストレスを感じている」、「睡眠不足」及び「体がだるい」がともに5.7%となっています。

表 世話をすることによる影響（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	35 (100.0)
ストレスを感じている	2 (5.7)
睡眠不足	2 (5.7)
体がだるい	2 (5.7)
友達と遊べない	1 (2.9)
自分の自由時間がない	1 (2.9)
学校を休むことが多くなっている	0 (0.0)
学校への遅刻が多くなっている	0 (0.0)
習い事ができない	0 (0.0)
宿題をする時間がない	0 (0.0)
授業に集中できない	0 (0.0)
成績が落ちた	0 (0.0)
まわりの人と話が合わない	0 (0.0)

図 世話をすることによる影響（複数回答）



区分	人 (%)
お世話について話せる人がいなくて、自分だけだと感じる	0 (0.0)
ご飯をしっかり食べられない	0 (0.0)
その他	0 (0.0)
特に影響はない	28 (80.0)
無回答	2 (5.7)

第3節 相談相手や居場所、将来のことについて

5-3-1 現在の悩みや不安（問6）

問6 あなたには、いま、どのような悩みや不安がありますか。（○はいくつでも）

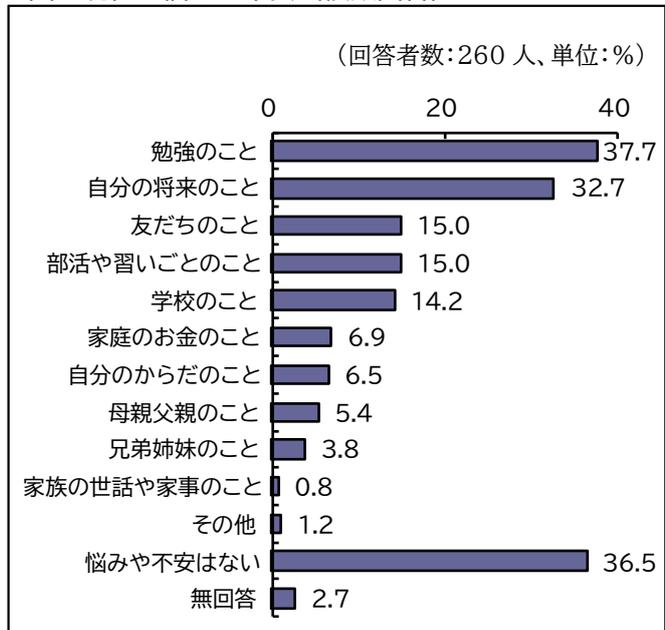
「勉強のこと」や「将来のこと」が多くみられる

現在の悩みや不安については、「勉強のこと」が37.7%で最も多く、次いで「自分の将来のこと」が32.7%、「友だちのこと」及び「部活や習いごとのこと」がともに15.0%で続いています。

表 現在の悩みや不安（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	260 (100.0)
勉強のこと	98 (37.7)
自分の将来のこと	85 (32.7)
友だちのこと	39 (15.0)
部活や習いごとのこと	39 (15.0)
学校のこと	37 (14.2)
家庭のお金のこと	18 (6.9)
自分のからだのこと	17 (6.5)
母親父親のこと	14 (5.4)
兄弟姉妹のこと	10 (3.8)
家族の世話や家事のこと	2 (0.8)
その他	3 (1.2)

図 現在の悩みや不安（複数回答）



区分	人 (%)
悩みや不安はない	95 (36.5)
無回答	7 (2.7)

5-3-2 悩みや不安の相談相手（問7）

問7 悩みや不安があったとき、気軽に相談できる相手は誰ですか。（○はいくつでも）

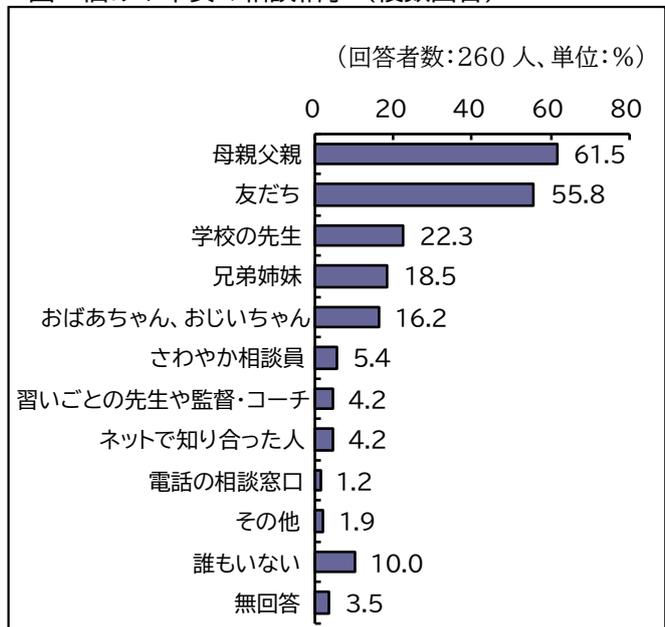
「母親父親」や「友だち」が多くみられる

悩みや不安の相談相手については、「母親父親」が61.5%で最も多く、次いで「友だち」が55.8%、「学校の先生」が22.3%で続いています。

表 悩みや不安の相談相手（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	260 (100.0)
母親父親	160 (61.5)
友だち	145 (55.8)
学校の先生	58 (22.3)
兄弟姉妹	48 (18.5)
おばあちゃん、おじいちゃん	42 (16.2)
さわやか相談員	14 (5.4)
習いごとの先生や監督・コーチ	11 (4.2)
ネットで知り合った人	11 (4.2)
電話の相談窓口	3 (1.2)
その他	5 (1.9)
誰もいない	26 (10.0)
無回答	9 (3.5)

図 悩みや不安の相談相手（複数回答）



5-3-3 安心できる居場所（問8）

問8 あなたが、安心して過ごすことのできる居場所はどこですか。（〇はいくつでも）

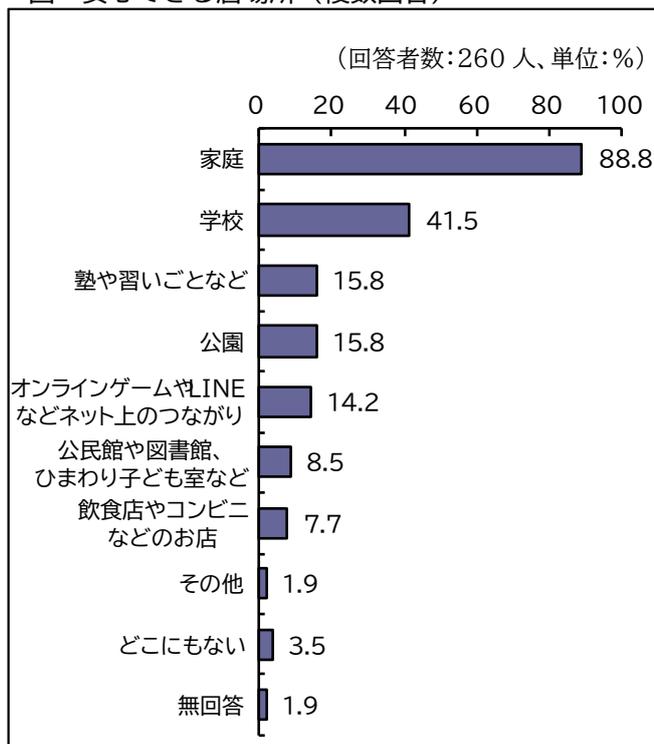
「家庭」が最も多い

安心できる居場所については、「家庭」が88.8%で最も多く、次いで「学校」が41.5%、「塾や習いごとなど」及び「公園」がともに15.8%が続いています。

表 安心できる居場所（複数回答）

区分	人 (%)
回答者総数	260 (100.0)
家庭	231 (88.8)
学校	108 (41.5)
塾や習いごとなど	41 (15.8)
公園	41 (15.8)
オンラインゲームやLINE などネット上のつながり	37 (14.2)
公民館や図書館、ひまわり子ども室など	22 (8.5)
飲食店やコンビニなどのお店	20 (7.7)
その他	5 (1.9)
どこにもない	9 (3.5)
無回答	5 (1.9)

図 安心できる居場所（複数回答）



5-3-4 将来の進学意向（問9）

問9 将来、どの段階まで進学したいですか。（〇は1つ）

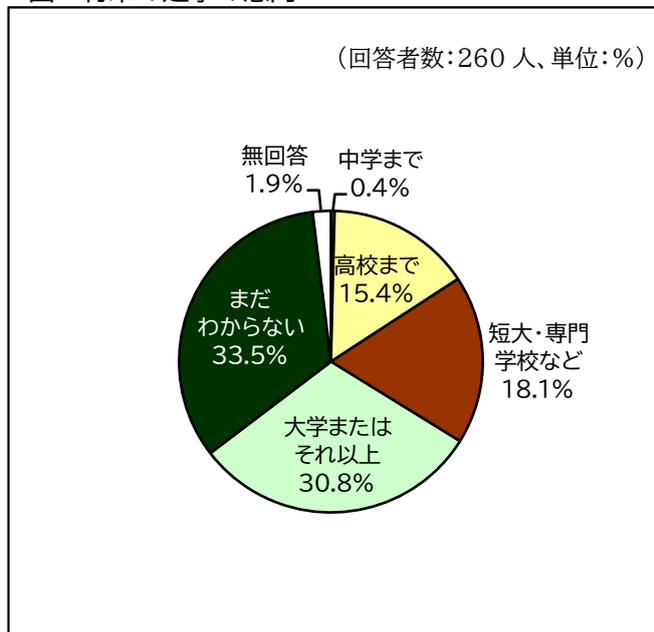
「まだわからない」が最も多い

将来の進学意向については、「まだわからない」が33.5%で最も多く、次いで「大学またはそれ以上」が30.8%、「短大・高専・専門学校まで」が18.1%、「高校まで」が15.4%が続いています。

表 将来の進学意向

区分	人 (%)
回答者総数	260 (100.0)
中学まで	1 (0.4)
高校まで	40 (15.4)
短大・専門学校など	47 (18.1)
大学またはそれ以上	80 (30.8)
まだわからない	87 (33.5)
無回答	5 (1.9)

図 将来の進学意向



第4節 子どもの権利擁護について

5-4-1 大人にこそりがけてほしいこと（問10）

問10 子どもに対して、大人にこそりがけてほしいことは何ですか。あてはまる番号を5つまで選び○をつけてください。

「自分のことは自分で考えて決めさせてほしい」が最も多い

大人にこそりがけてほしいことについては、「自分のことは自分で考えて決めさせてほしい」が28.5%で最も多く、次いで「友だちやきょうだいと比べないでほしい」が27.3%、「きまりや約束ごとを一方向的に押しつけないでほしい」が24.6%で続いています。

図 大人にこそりがけてほしいこと（複数回答）

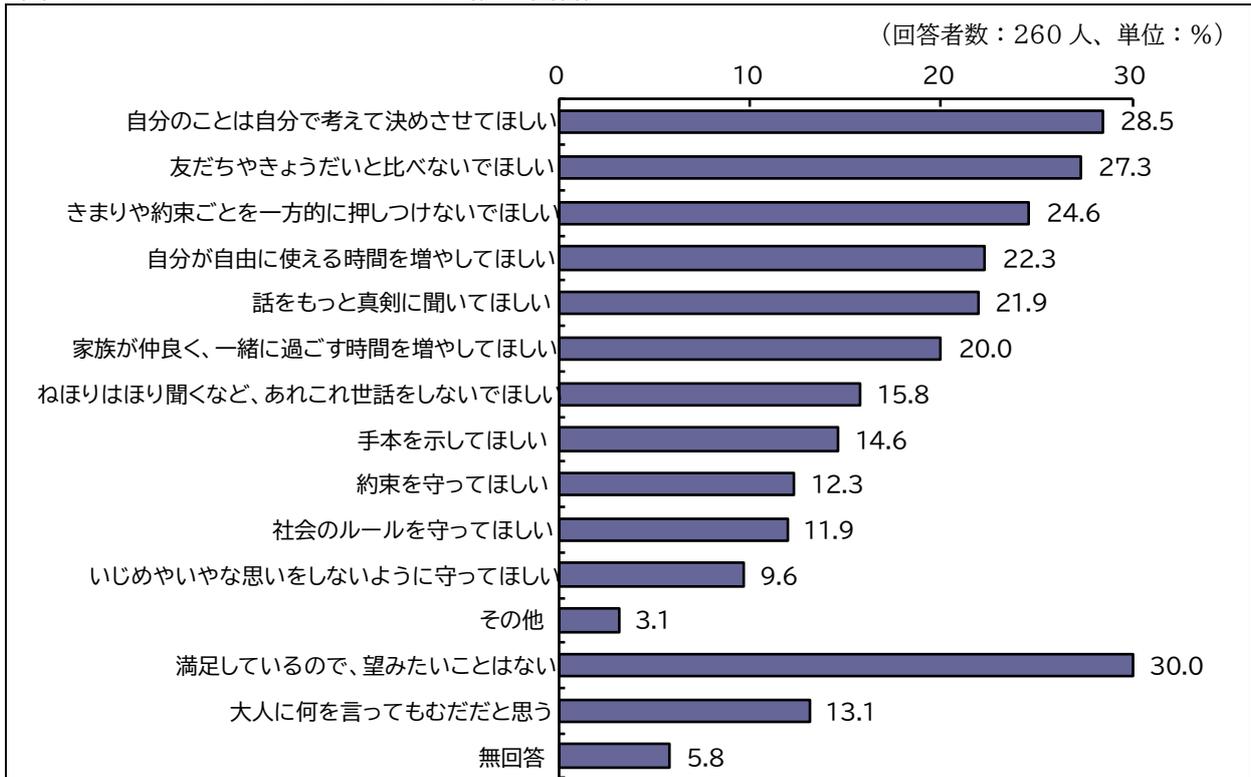


表 大人にこそりがけてほしいこと（複数回答）

区分	人 (%)	区分	人 (%)
回答者総数	260 (100.0)	手本を示してほしい	38 (14.6)
自分のことは自分で考えて決めさせてほしい	74 (28.5)	約束を守ってほしい	32 (12.3)
友だちやきょうだいと比べないでほしい	71 (27.3)	社会のルールを守ってほしい	31 (11.9)
きまりや約束ごとを一方向的に押しつけないでほしい	64 (24.6)	いじめにあたり学校でいやな思いをしないように守ってほしい	25 (9.6)
自分が自由に使える時間を増やしてほしい	58 (22.3)	その他	8 (3.1)
話をもっと真剣に聞いてほしい	57 (21.9)	満足しているので、望みたいことはない	78 (30.0)
家族が仲良く、一緒に過ごす時間を増やしてほしい	52 (20.0)	大人に何を言ってもむだだと思う	34 (13.1)
ねほりはほり聞くなど、あれこれ世話をしないでほしい	41 (15.8)	無回答	15 (5.8)

5-4-2 子どもの権利について大切だと思うこと（問11）

問11 子どもの権利（下に説明があります）について特に大切だと思うことは何ですか。あてはまる番号を5つまで選び○をつけてください。

「人と違う自分らしさが認められること」が最も多い

子どもの権利について大切だと思うことについては、「人と違う自分らしさが認められること」が56.2%で最も多く、次いで「暴力や言葉で傷つけられないこと」が45.0%、「障害のある子どもが差別されなくて暮らせること」が44.2%で続いています。

図 子どもの権利について大切だと思うこと（複数回答）

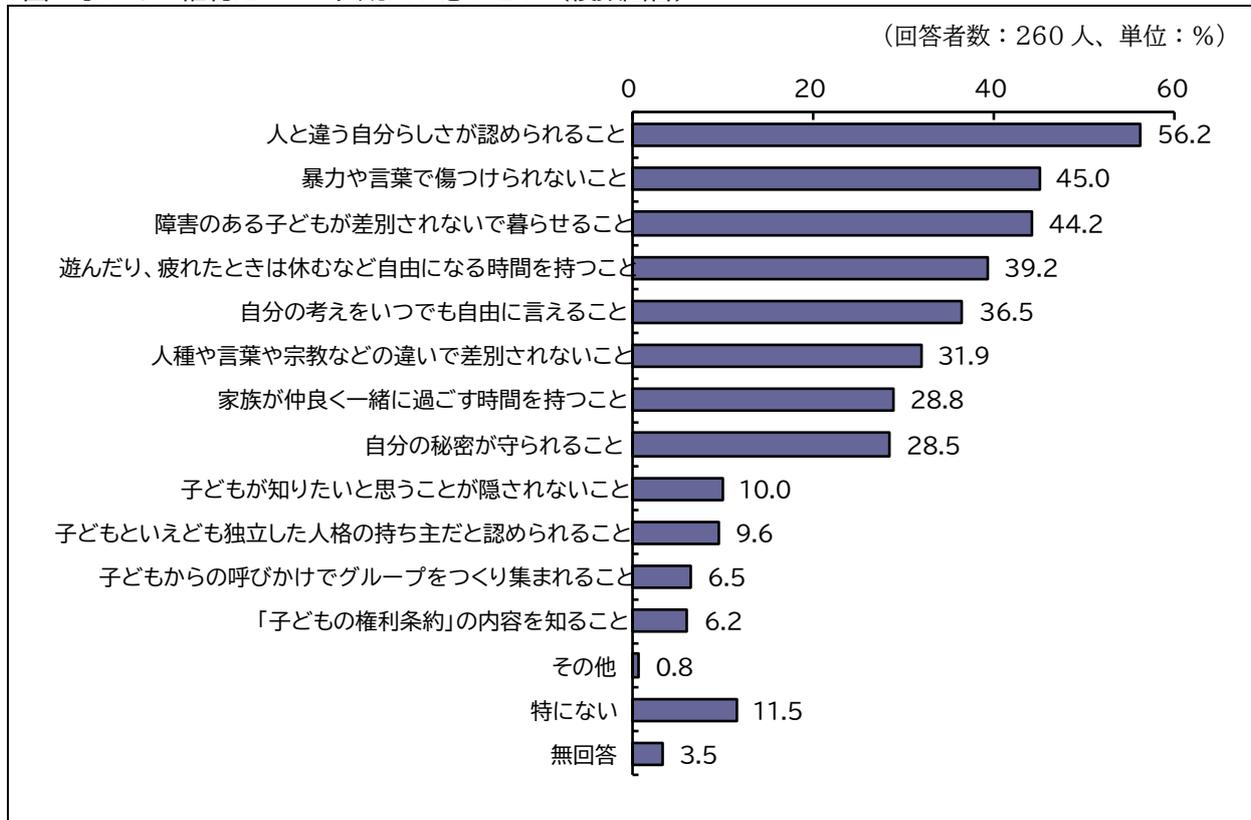


表 子どもの権利について大切だと思うこと（複数回答）

区分	人 (%)	区分	人 (%)
回答者総数	260 (100.0)	子どもが知りたいと思うことが隠されないこと	26 (10.0)
人と違う自分らしさが認められること	146 (56.2)	子どもといえども独立した人格の持ち主だと認められること	25 (9.6)
暴力や言葉で傷つけられないこと	117 (45.0)	子どもからの自由な呼びかけでグループをつくり集まれること	17 (6.5)
障害のある子どもが差別されなくて暮らせること	115 (44.2)	「子どもの権利条約」の内容を知ること	16 (6.2)
遊んだり、疲れたときは休むなど自由になる時間を持つこと	102 (39.2)	その他	2 (0.8)
自分の考えをいつでも自由に言えること	95 (36.5)	特になし	30 (11.5)
人種や言葉や宗教などの違いで差別されないこと	83 (31.9)	無回答	9 (3.5)
家族が仲良く一緒に過ごす時間を持つこと	75 (28.8)		
自分の秘密が守られること	74 (28.5)		

